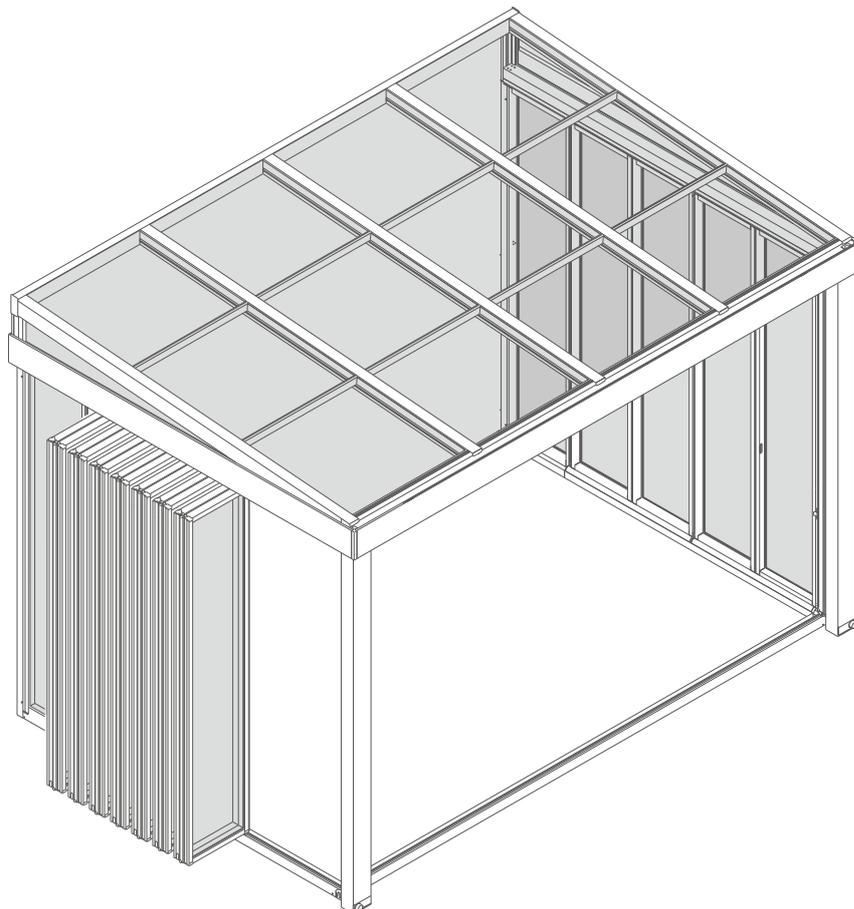


エクシオール ジーマ 本体編

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** : 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** : 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** : 注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。
- Pポイント** : 説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 梁の重量がありますので、必要人数の確保、またはユニック車を使用してください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「サポートフレーム」を使用してください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。

| シーリングメーカー | 品名および品番 |
|-------------------------------|----------|
| 信越化学工業(株) | シーラント72 |
| モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合) | トスシール380 |
| 東レ・ダウコーニング・シリコン(株) | SE960 |

- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。

🧑 お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工工程上、L型ドライバーおよび65、35～45mmドライバービットを使用します。
- 下記工具をご用意ください。
 - ・L型ドライバー ・65mm、35～45mmドライバービット ・スパナまたはレンチ(7mm・M4用)
- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 入隅の場合は「φ4.5×63 丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて「防水コンセント」「連結コネクタ」「PF管」を現場で手配してください。
- 垂木LEDを取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因となりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)
 - ・M6ボルト : 5.2N・m±0.5N・m (52±5kgf・cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

<施工上のご注意(つづき)>



お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事についてのご注意>



注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。



お願い

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

<電気配線工事について>



注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線工事に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100Vの照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。
- 垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。



お願い

- 照明用配線にはVVFφ1.6 またはφ2.0の3芯単線を準備してください。
- 照明には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFに出来ません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 家側からの配管はパナソニック製PF管呼び16または壁から絶縁処理を行ない配線を行なってください。

INDEX

| | | | |
|---------------------|----|-------------------------------------|----|
| 1 基本寸法と各部の名称 | 8 | 5-1-1 デッキ施工 ベースプレート施工 | 35 |
| 1-1 基本寸法 | 8 | 5-1-2 土間施工 柱埋込み仕様 | 35 |
| 1-1-1 テラスタイプ | 8 | 5-1-3 デッキ施工・土間施工 ベースプレート施工 | 35 |
| 1-1-2 テラスタイプ(連棟) | 8 | 5-2 ロング柱 | 36 |
| 1-1-3 ルームタイプ | 9 | 5-2-1 デッキ施工 柱埋込み仕様 | 36 |
| 1-1-4 ルームタイプ(連棟) | 9 | 5-2-2 デッキ施工・土間施工 外面床なし仕様(インナーデッキなど) | 36 |
| 1-2 各部の名称 | 10 | 6 施工前の重要確認事項 | 37 |
| 1-2-1 テラスタイプ | 10 | 6-1 柱・垂木掛けの取付け | 37 |
| 1-2-2 ルームタイプ | 11 | 6-2 垂木掛けの分割利用について | 38 |
| 2 断面納まり図 | 12 | 6-3 床面仕上げについて | 38 |
| 2-1 テラスタイプデッキ仕様 | 12 | 6-3-1 外面仕上げについて | 38 |
| 2-1-1 出幅断面納まり図 | 12 | 6-3-2 内面仕上げ施工の内面仕上げについて | 39 |
| 2-1-2 間口断面納まり図 | 14 | 6-4 ルームタイプ 方立の取付け、調整FIXの固定について | 39 |
| 2-2 テラスタイプ土間仕様 | 16 | 6-5 コーナー部の垂直出しについて | 40 |
| 2-2-1 出幅断面納まり図 | 16 | 6-6 シーリング処理 | 40 |
| 2-2-2 間口断面納まり図 | 18 | 6-6-1 基本タイプ | 40 |
| 2-3 ルームタイプデッキ仕様 | 20 | 6-6-2 連棟、入隅の場合 | 43 |
| 2-3-1 出幅断面納まり図 | 20 | 7 水盛遣方・水糸張り | 44 |
| 2-3-2 間口断面納まり図 | 22 | 8 配線工事 | 45 |
| 2-4 ルームタイプ土間仕様 | 24 | 8-1 配線のとりまわし | 45 |
| 2-4-1 出幅断面納まり図 | 24 | 8-1-1 注意事項 | 45 |
| 2-4-2 間口断面納まり図 | 26 | 8-1-2 内天井なし・スクエアライト(DC12Vタイプ)の場合 | 45 |
| 3 基礎伏図 | 28 | (1)ACアダプターを使用する場合 | 45 |
| 3-1 基本仕様 | 28 | (2)トランス電源ユニット35Wまたは60Wを使用する場合 | 45 |
| 3-1-1 6R×1.5間 | 28 | 8-1-3 内天井・ダウンライトの場合 | 46 |
| 3-1-2 6R×2.0間 | 28 | (1)AC100Vタイプを使用する場合 | 46 |
| 3-1-3 6R×2.5間 | 28 | (2)トランス電源ユニット35Wまたは60Wを使用する場合 | 46 |
| 3-1-4 6R×3.0間 | 28 | 8-1-4 配線工事 | 47 |
| 3-1-5 8R×1.5間 | 29 | 8-1-5 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け | 48 |
| 3-1-6 8R×2.0間 | 29 | 9 床ベース材の施工 | 49 |
| 3-1-7 8R×2.5間 | 29 | 9-1 束石の埋設 | 49 |
| 3-1-8 8R×3.0間 | 29 | 9-2 間口ベース材の連結 | 49 |
| 3-1-9 10R×1.5間 | 30 | 9-2-1 入隅仕様の場合 | 49 |
| 3-1-10 10R×2.0間 | 30 | 9-2-2 連棟仕様の場合 | 50 |
| 3-1-11 10R×2.5間 | 30 | 9-3 床ベース材の組立て | 51 |
| 3-1-12 10R×3.0間 | 30 | 9-3-1 床ベース材側面用の組立て | 51 |
| 3-2 入隅仕様 | 31 | 9-3-2 床ベース材間口用躯体側の組立て | 51 |
| 3-2-1 6R×1.5間 | 31 | 9-3-3 床ベース材間口用柱側の組立て | 52 |
| 3-2-2 6R×2.0間 | 31 | 9-4 床ベース材設置の際の確認事項 | 52 |
| 3-2-3 6R×2.5間 | 31 | 9-4-1 束柱固定金具の向き | 52 |
| 3-2-4 6R×3.0間 | 31 | 9-4-2 床ベース材について | 53 |
| 3-2-5 8R×1.5間 | 32 | 9-4-3 床ベース材の設置順番について | 53 |
| 3-2-6 8R×2.0間 | 32 | 9-5 床ベース材の設置 | 54 |
| 3-2-7 8R×2.5間 | 32 | 10 テラス部の施工 | 55 |
| 3-2-8 8R×3.0間 | 32 | 10-1 部材の組立て | 55 |
| 3-2-9 10R×1.5間 | 33 | 10-1-1 上部方立の組立て | 55 |
| 3-2-10 10R×2.0間 | 33 | 10-1-2 垂木掛けの加工 | 55 |
| 3-2-11 10R×2.5間 | 33 | (1)一般地域用(6,8R)の場合 | 55 |
| 3-2-12 10R×3.0間 | 33 | (2)一般地域用(10R)の場合 積雪1500Nの場合 | 55 |
| 4 柱の位置だし | 34 | (3)積雪3000Nの場合 | 55 |
| 4-1 単体仕様 | 34 | (4)連棟の場合 | 56 |
| 4-2 連棟仕様 | 34 | (5)垂木にLED照明を取付ける場合 | 56 |
| 5 代表的な施工例 | 35 | (6)入隅の場合 | 56 |
| 5-1 標準柱 | 35 | (7)シャッターボックスを避けて施工する場合 | 56 |

| | | | |
|-------------------------------------|----|------------------------------|-----|
| 10-1-3 垂木掛けの組立て | 57 | 10-14-1 基本、中間柱の場合 | 81 |
| 10-2 柱の加工 | 58 | 10-14-2 連棟仕様の場合 | 81 |
| 10-2-1 主柱、連棟柱の場合 | 58 | 10-15 雨樋桁の取付け | 82 |
| 10-2-2 中間柱の場合 | 60 | 10-16 柱側面カバーの取付け | 83 |
| 10-3 主柱の組立て | 62 | 10-17 たて樋、柱前面カバーの取付け | 84 |
| 10-3-1 主柱の加工 | 62 | 10-18 水切りシートの貼付け(強度桁(標準)の場合) | 85 |
| (1)ベースプレートを使用する場合 | 62 | 10-18-1 水切りシートの切断 | 85 |
| (2)埋込みの場合 | 62 | 10-18-2 水切りシートの貼付け | 85 |
| (3)ロング柱で床ベース材使用時の加工 | 62 | (1)主柱への貼付け | 85 |
| 10-3-2 主柱の組立て | 63 | (2)連棟柱への貼付け | 86 |
| (1)妻梁取付金具Aの取付け | 63 | 10-19 水切りシートの貼付け(強度桁(大型)の場合) | 87 |
| (2)ベースプレートの取付け | 63 | 10-19-1 水切りシートの切断 | 87 |
| 10-4 中間柱の組立て | 64 | 10-19-2 水切りシートの貼付け | 87 |
| 10-4-1 中間柱の加工 | 64 | 10-20 垂木、妻垂木の取付け | 88 |
| (1)中間柱の加工 | 64 | 10-20-1 10尺の場合の部材の加工 | 88 |
| (2)中間柱取付金具の取付け | 64 | 10-20-2 垂木、妻垂木の取付け | 88 |
| 10-4-2 中間柱のベースプレート用加工(ベースプレート仕様の場合) | 65 | 10-21 中骨の取付け | 89 |
| (1)中間柱の加工 | 65 | 10-22 屋根材の取付け | 90 |
| (2)中間柱用ベースプレートの取付け | 65 | 10-22-1 屋根材の取付け | 90 |
| 10-5 連棟柱の組立て(ベースプレート仕様の場合) | 66 | 10-22-2 垂木カバーの取付け | 91 |
| 10-5-1 連棟柱の加工 | 66 | 10-23 垂木、妻垂木化粧材の取付け | 92 |
| 10-5-2 ベースプレートの取付け | 66 | 10-23-1 垂木、妻垂木化粧材の取付け | 92 |
| 10-6 入隅納まり内天井施工の場合 | 67 | 10-23-2 垂木LED照明を取付ける場合 | 93 |
| 10-6-1 入隅側主柱の加工 | 67 | 10-23-3 シャッターボックスを避けて施工する場合 | 94 |
| 10-6-2 入隅側主柱の部品組替え | 67 | (1)部材の加工 | 94 |
| 10-6-3 内天井入隅用縦枠の組立て | 68 | (2)キャップの取付け | 94 |
| 10-6-4 内天井入隅用縦枠の取付け | 68 | 10-24 妻梁上部FIXパネルの取付け | 95 |
| 10-7 調整FIX受枠・上部方立の取付け | 69 | 10-24-1 妻梁上部FIX縦枠(方立側)の取付け | 95 |
| 10-7-1 取付位置の確認 | 69 | 10-24-2 妻梁上部FIX縦枠(柱側)の取付け | 95 |
| (1)床ベース材を使用しない場合 | 69 | 10-24-3 パネルの取付け | 96 |
| (2)床ベース材を使用する場合 | 69 | 10-24-4 妻梁上部FIX押縁(方立側)の取付け | 97 |
| 10-7-2 方立の取付け | 70 | 10-24-5 妻梁上部FIX押縁(柱側)の取付け | 97 |
| (1)ルームタイプの場合 | 70 | 10-24-6 後付けビートの取付け | 98 |
| (2)テラスタイプの場合 | 71 | 10-24-7 上部方立溝フタの取付け | 98 |
| 10-8 垂木掛けの取付け | 72 | 11 仕上げ | 99 |
| 10-8-1 標準の場合 | 72 | 11-1 垂木フタ、妻垂木フタの取付け | 99 |
| (1)600N・1500Nの場合 | 72 | 11-2 妻梁カバーの取付け | 100 |
| (2)3000Nの場合 | 73 | 11-3 垂木掛けカバーの取付け | 100 |
| 10-8-2 入隅躯体側出幅違い仕様の場合 | 74 | 11-3-1 シャッターボックスを回避して施工する場合 | 100 |
| 10-8-3 連棟仕様の場合 | 74 | (1)垂木フタの加工 | 100 |
| 10-9 桁の組立て | 74 | (2)垂木掛け上用フタの取付け | 100 |
| 10-9-1 強度桁の組立て | 74 | 11-3-2 垂木掛けカバーの取付け | 101 |
| 10-9-2 雨樋桁の組立て | 75 | 11-4 垂木掛けキャップの取付け | 101 |
| (1)桁キャップ、垂木取付け金具の取付け | 75 | 11-5 幕板の取付け | 102 |
| (2)連棟の場合 | 75 | 11-5-1 連棟仕様の場合の幕板の切断 | 102 |
| 10-10 柱の建込み | 76 | 11-5-2 幕板の組立て | 102 |
| 10-11 ベースプレート仕様の場合 | 77 | 11-5-3 幕板取付材の取付け | 103 |
| 10-11-1 主柱の場合 | 77 | 11-5-4 幕板の取付け | 103 |
| 10-11-2 連棟柱の場合 | 77 | 12 パネル部の施工 | 104 |
| 10-12 強度桁の仮固定 | 78 | 12-1 上レールの取付け | 104 |
| 10-12-1 基本、中間柱の場合 | 78 | 12-1-1 上レールの取付け位置について | 104 |
| 10-12-2 連棟仕様の場合 | 78 | (1)標準納まりの場合 | 104 |
| 10-12-3 中間柱の場合 | 79 | (2)片側入隅納まりの場合 | 104 |
| 10-12-4 ベースプレート仕様の場合 | 79 | (3)連棟納まりの場合 | 104 |
| 10-13 妻梁の取付け | 80 | 12-1-2 上レールの取付け | 105 |
| 10-14 強度桁の固定 | 81 | 12-2 上レール(前面用)の加工 | 106 |

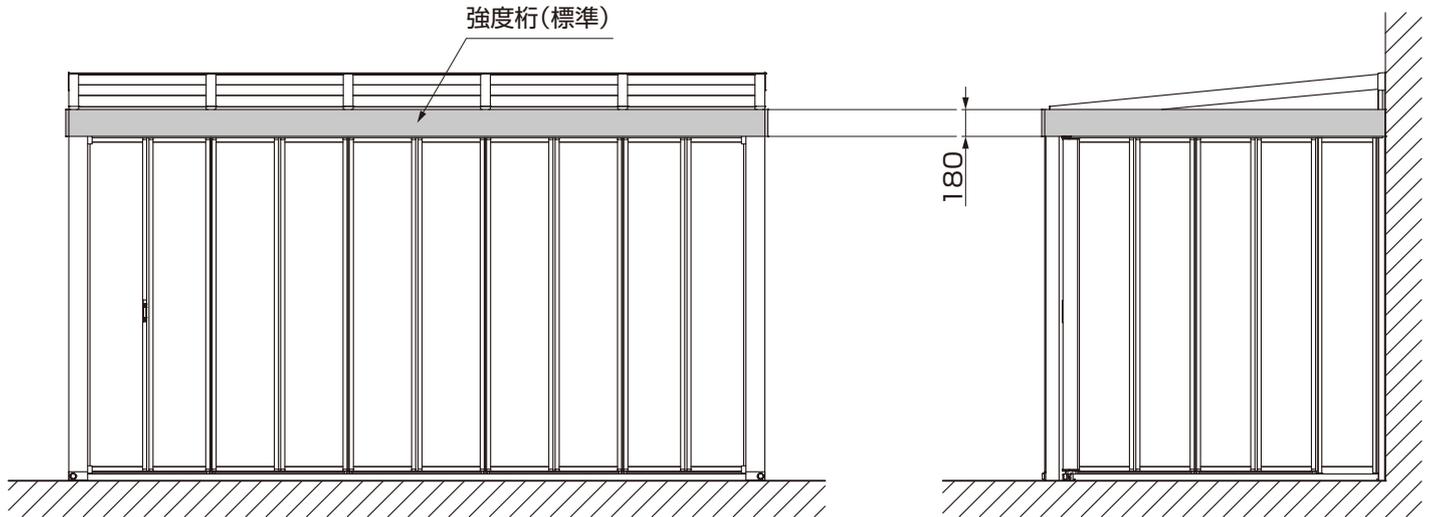
| | | | |
|-------------------------------------|-----|----------------------------|-----|
| 12-2-1 上レール(前面用)の加工 | 106 | 12-13 召し合せ部品の取付け | 137 |
| 12-2-2 上レール(前面用)の取付け | 106 | 12-14 調整FIXパネルの固定 | 138 |
| 12-3 下レールの取付け | 108 | 12-15 パネル寸法の確認 | 139 |
| 12-3-1 下レールの仮置き | 108 | 12-16 シーリング | 140 |
| 12-3-2 下レール(側面用)の切断 | 109 | 12-17 下レール回転ブレードの取付け | 141 |
| 12-3-3 下レールの位置決め | 109 | 12-17-1 下レール回転ブレードの設置場所の確認 | 142 |
| 12-4 下レール(前面用)の加工 | 110 | 12-17-2 下レール回転ブレードの取付け | 142 |
| 12-4-1 両入隅の場合 | 110 | 12-18 換気パネルの取付け | 143 |
| (1)下レール外カバーの切断位置決め | 110 | 12-18-1 オペレーターハンドルの組立て | 144 |
| (2)下レール外カバーの切断 | 110 | 12-18-2 オペレーターハンドルの取付け | 144 |
| (3)下レールベースの切欠き加工 | 111 | 12-19 換気パネルの取付け | 144 |
| 12-5 下レールの固定 | 111 | 12-19-1 ガラスの取付け | 145 |
| 12-5-1 下レールの穴加工 | 111 | 12-19-2 ハンドルの向き調整 | 145 |
| 12-5-2 下レールコーナーピース受けの取付け | 112 | 12-19-3 ルーバー下枠小口キャップの取付け | 145 |
| 12-5-3 下レールの固定 | 112 | 12-20 柱戸当り部品の取付け | 145 |
| 12-6 施工寸法の計測と下レールの水平確認 | 113 | 12-20-1 取付け方法 | 146 |
| 12-7 下レール躯体側塞ぎ調整材の取付け | 114 | 12-20-2 主柱への取付け | 146 |
| 12-7-1 下レール躯体側塞ぎ調整材の加工 | 114 | 12-20-3 中間柱の場合 | 147 |
| 12-7-2 下レール躯体側塞ぎ調整材の取付け | 114 | 12-20-4 連棟柱の場合 | 148 |
| 12-8 土間見切り材の取付け | 115 | 13 梱包明細表 | 149 |
| 12-9 ベース材束柱の取付け | 115 | | |
| 12-10 調整FIXパネル・換気パネルの建込み | 116 | | |
| 12-10-1 調整FIXパネルの組立て | 116 | | |
| 12-10-2 上レールアタッチ材(躯体側用)の加工 | 117 | | |
| 12-10-3 調整FIXパネルの建込み | 117 | | |
| 12-11 ガラスフィックスパネルの建込み | 119 | | |
| 12-11-1 ガラスフィックスパネルの組立て | 119 | | |
| 12-11-2 ガラスフィックスパネルの建込み | 120 | | |
| 12-11-3 ガラスフィックスと折戸パネルを同じ開口部に取付ける場合 | 121 | | |
| (1)出幅 | 121 | | |
| (2)間口 | 121 | | |
| 12-12 入隅・連棟用縦枠の取付け | 122 | | |
| 12-12-1 入隅・連棟用縦枠の加工 | 122 | | |
| (1)連棟部以外の加工 | 122 | | |
| (2)連棟部の加工 | 123 | | |
| 12-12-2 入隅用縦枠戸当りの加工 | 123 | | |
| 12-12-3 入隅・連棟用縦枠の取付け | 124 | | |
| (1)上レール(間口側)の部品の取外しおよび加工 | 124 | | |
| (2)上レール(側面側)の部品の加工 | 124 | | |
| (3)連棟部以外の場合 | 125 | | |
| (4)連棟部の場合 | 127 | | |
| 12-12-4 入隅用縦枠戸当りの取付け | 127 | | |
| 12-12-5 入隅用縦枠隙間塞ぎ部材の取付け | 128 | | |
| 12-12-6 入隅用縦枠上カバーの取付け | 129 | | |
| (1)連棟部以外の場合 | 129 | | |
| (2)連棟部の場合 | 129 | | |
| 12-12-7 折戸パネルの吊込み | 130 | | |
| (1)折戸パネルの吊込み順番の確認 | 130 | | |
| (2)折戸パネルの吊込み方法 | 131 | | |
| (3)連棟タイプの折戸パネルの吊込み | 132 | | |
| (4)折戸パネルの組合せ | 133 | | |
| (5)折戸パネルの部品取付け | 134 | | |
| 12-12-8 上下レールコーナー部品の取付け | 135 | | |
| (1)上レールコーナーピースの取付け | 135 | | |
| (2)下レールコーナーピースカバーの取付け | 136 | | |
| 12-12-9 下レールストレートピースの取付け | 136 | | |

※本取付説明書で使用している名称については下図を参照してください。

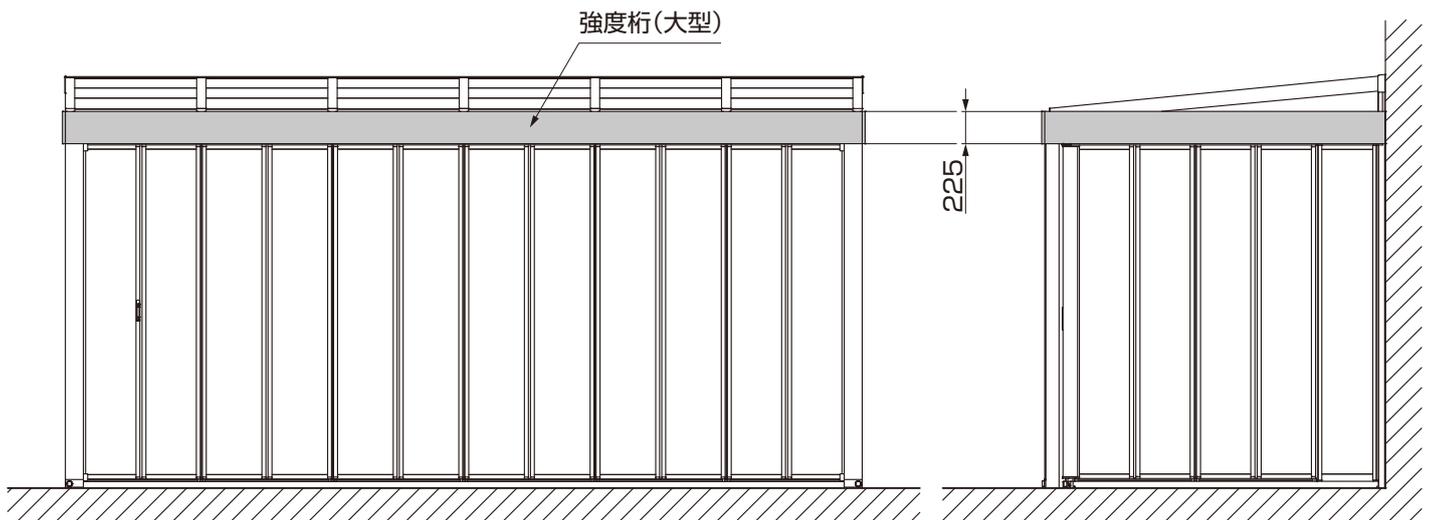
P ポイント

- 強度桁には「強度桁(標準)」と「強度桁(大型)」があります。本取付説明書では、「強度桁(標準)」で表現していますが施工方法は同様です。

強度桁(標準)



強度桁(大型)



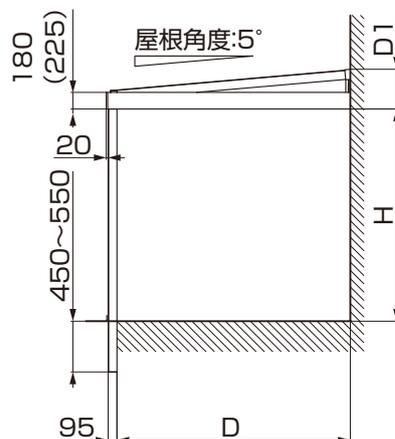
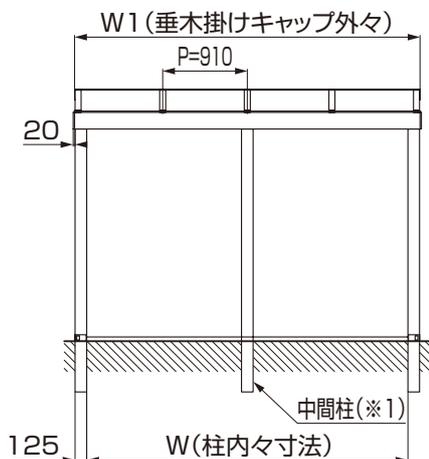
1 基本寸法と各部の名称

1-1 基本寸法

1-1-1 テラスタイプ

警告

●600Nタイプ[強度桁(標準)]仕様の3.0間、1500Nタイプの2.5間以上、3000Nタイプの2.0間以上は強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※1)



間口寸法

| | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
|----|------|------|------|------|
| W | 2545 | 3455 | 4365 | 5275 |
| W1 | 2801 | 3711 | 4621 | 5531 |

出幅寸法

| | D | D1 |
|-----|------|--------------|
| 6尺 | 1835 | 373.3(418.3) |
| 8尺 | 2440 | 426.2(471.2) |
| 10尺 | 3045 | 479.1(524.1) |

高さ寸法

| | H21 | H23 | H25 | H32 |
|---|------|------|------|------|
| H | 2100 | 2300 | 2500 | 3200 |

()は強度桁(大型)仕様の場合

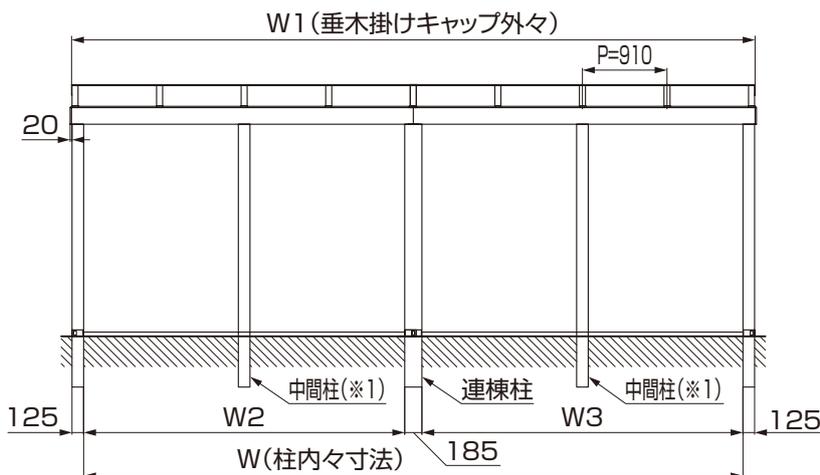
1-1-2 テラスタイプ(連棟)

警告

●600Nタイプ[強度桁(標準)]仕様の3.0間、1500Nタイプの2.5間以上、3000Nタイプの2.0間以上は強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※1)

Pポイント

●強度桁(大型)の連棟はできません。



間口寸法

| | W | W1 | W2 | W3 |
|----------------|-------|-------|------|------|
| 1.5間+2.0間=3.5間 | 6185 | 6441 | 2545 | 3455 |
| 1.5間+2.5間=4.0間 | 7095 | 7351 | 2545 | 4365 |
| 1.5間+3.0間=4.5間 | 8005 | 8261 | 2545 | 5275 |
| 2.0間+3.0間=5.0間 | 8915 | 9171 | 3455 | 5275 |
| 2.5間+3.0間=5.5間 | 9825 | 10081 | 4365 | 5275 |
| 3.0間+3.0間=6.0間 | 10735 | 10991 | 5275 | 5275 |

出幅寸法

| | D | D1 |
|-----|------|-------|
| 6尺 | 1835 | 373.3 |
| 8尺 | 2440 | 426.2 |
| 10尺 | 3045 | 479.1 |

高さ寸法

| | H21 | H23 | H25 | H32 |
|---|------|------|------|------|
| H | 2100 | 2300 | 2500 | 3200 |

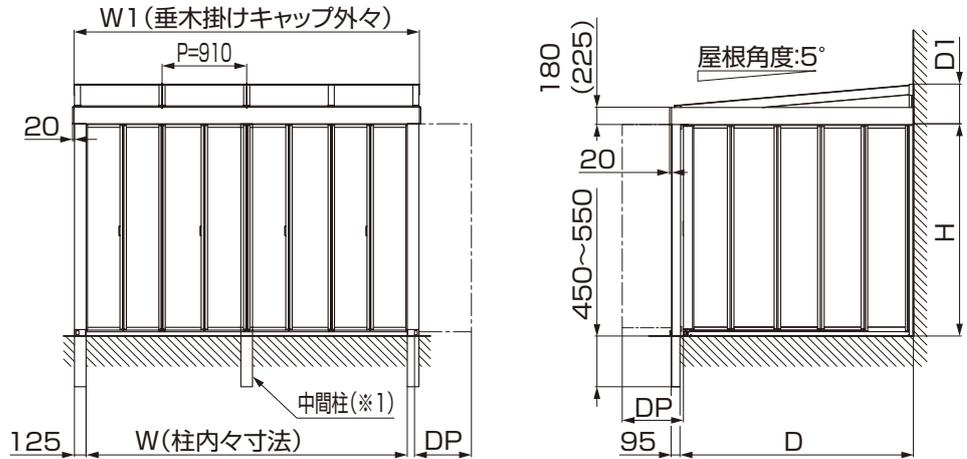
1-1-3 ルームタイプ

警告

●600Nタイプ[強度桁(標準)]仕様の3.0間、1500Nタイプの2.5間以上、3000Nタイプの2.0間以上は強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※1)

Pポイント

- 折戸パネルの境目(垂木の芯)と中間柱の芯を合わせて位置決めをしてください。
- 2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。



間口寸法

| | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
|----|------|------|------|------|
| W | 2545 | 3455 | 4365 | 5275 |
| W1 | 2801 | 3711 | 4621 | 5531 |

出幅寸法

| | D | D1 |
|-----|------|--------------|
| 6R | 1835 | 373.3(418.3) |
| 8R | 2440 | 426.2(471.2) |
| 10R | 3045 | 479.1(524.1) |

高さ寸法

| | H |
|-----|------|
| H21 | 2100 |
| H23 | 2300 |
| H25 | 2500 |

折り畳み時の折戸パネル最大出寸法

| | 前面 | 側面 | | |
|----|-----|-------|-------|-----|
| | | 6R | 8R | 10R |
| DP | 412 | 325.5 | 445.5 | 409 |

※DPは下レール外面からの最大寸法

()は強度桁(大型)仕様の場合

1-1-4 ルームタイプ(連棟)

警告

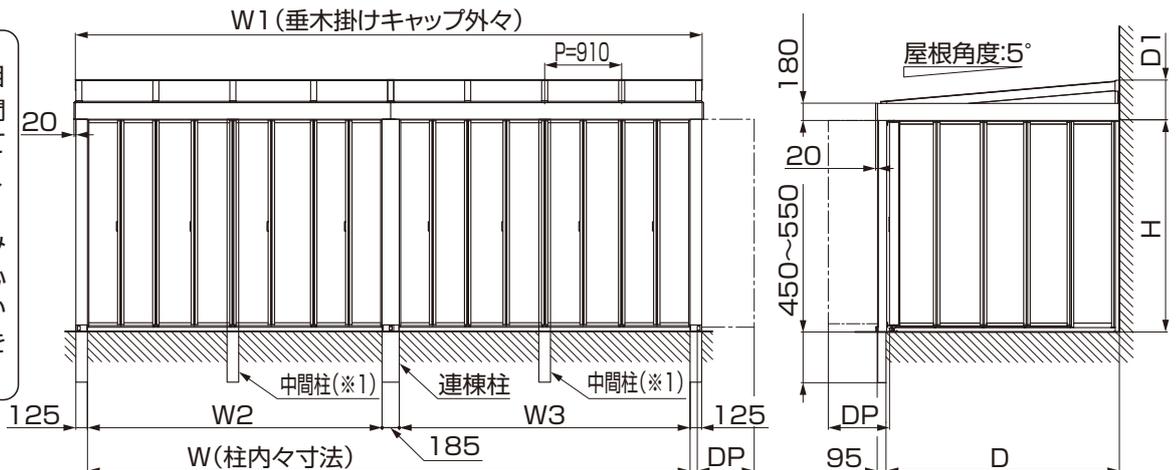
●600Nタイプ[強度桁(標準)]仕様の3.0間、1500Nタイプの2.5間以上、3000Nタイプの2.0間以上は強度が不足するため、必ず中間柱を使用してください。(※1)

Pポイント

- 強度桁(大型)の連棟はできません。

Pポイント

- 折戸パネルの境目(垂木の芯)と中間柱の芯を合わせて位置決めをしてください。
- 2.5間の場合のみジーマ本体の中心に対して右寄りか左寄りに中間柱を設置します。



間口寸法

| | W | W1 | W2 | W3 |
|----------------|-------|-------|------|------|
| 1.5間+2.0間=3.5間 | 6185 | 6441 | 2545 | 3455 |
| 1.5間+2.5間=4.0間 | 7095 | 7351 | 2545 | 4365 |
| 1.5間+3.0間=4.5間 | 8005 | 8261 | 2545 | 5275 |
| 2.0間+3.0間=5.0間 | 8915 | 9171 | 3455 | 5275 |
| 2.5間+3.0間=5.5間 | 9825 | 10081 | 4365 | 5275 |
| 3.0間+3.0間=6.0間 | 10735 | 10991 | 5275 | 5275 |

出幅寸法

| | D | D1 |
|-----|------|-------|
| 6R | 1835 | 373.3 |
| 8R | 2440 | 426.2 |
| 10R | 3045 | 479.1 |

高さ寸法

| | H21 | H23 | H25 |
|---|------|------|------|
| H | 2100 | 2300 | 2500 |

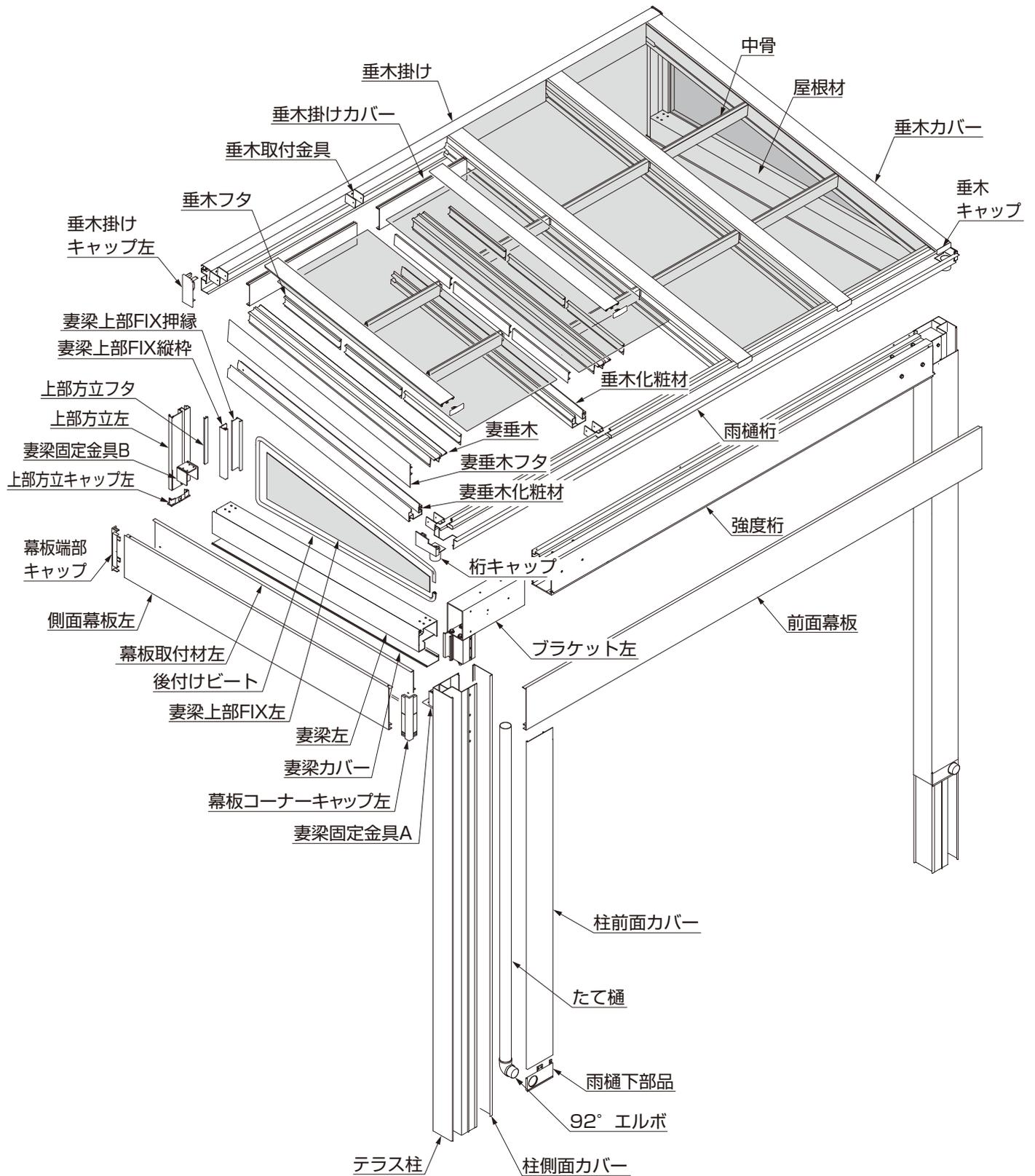
折り畳み時の折戸パネル最大出寸法

| | 前面 | 側面 | | |
|----|-----|-------|-------|-----|
| | | 6R | 8R | 10R |
| DP | 412 | 325.5 | 445.5 | 409 |

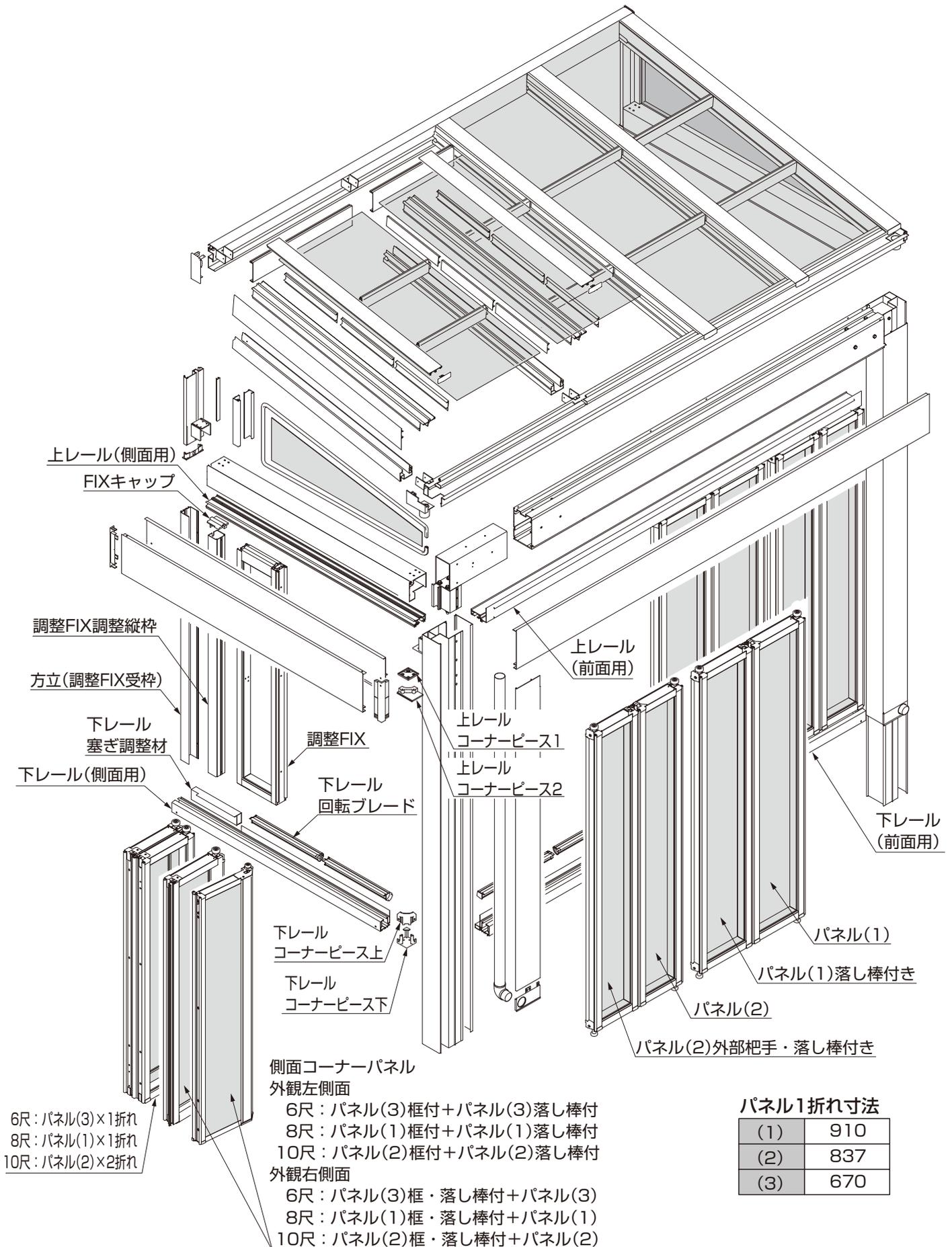
※DPは下レール外面からの最大寸法

1-2 各部の名称

1-2-1 テラスタイプ



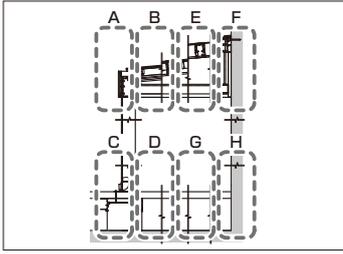
1-2-2 ルームタイプ



2 断面納まり図

2-1 テラスタイプデッキ仕様

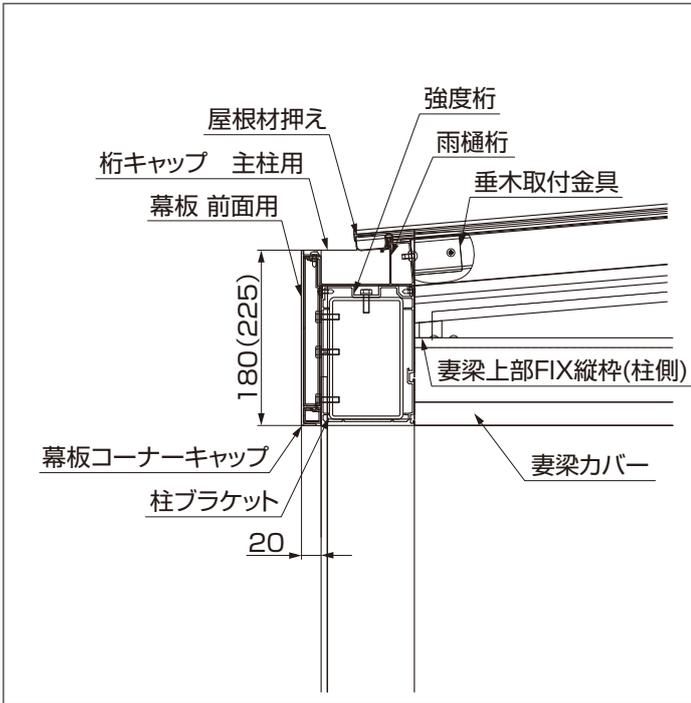
2-1-1 出幅断面納まり図



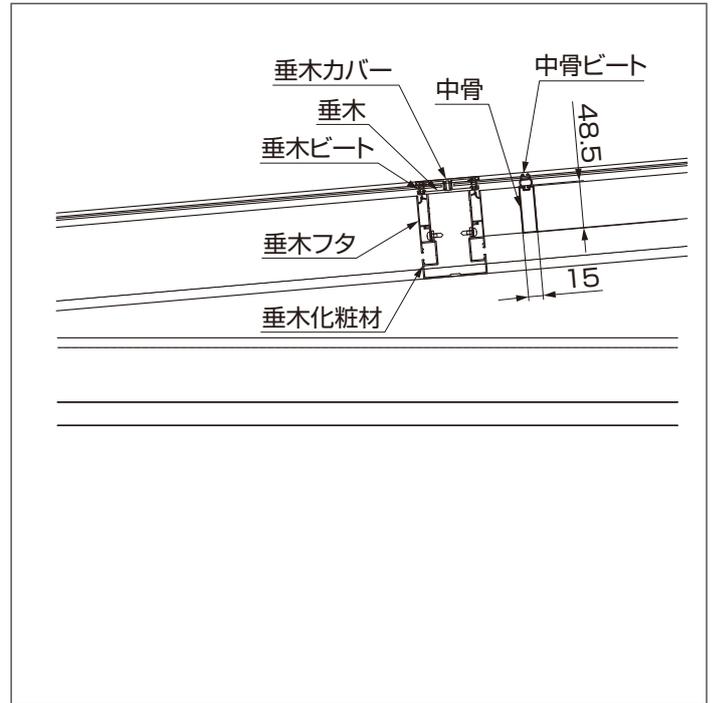
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

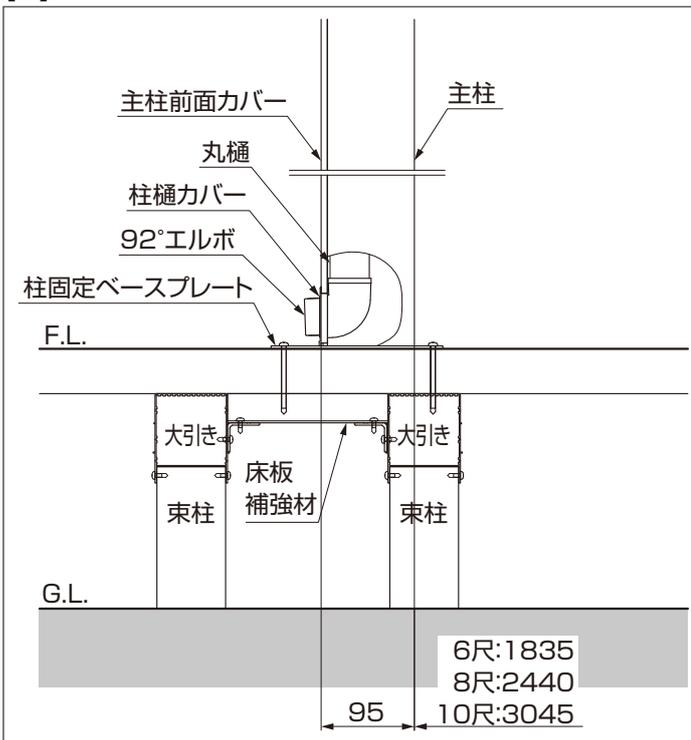
[A]



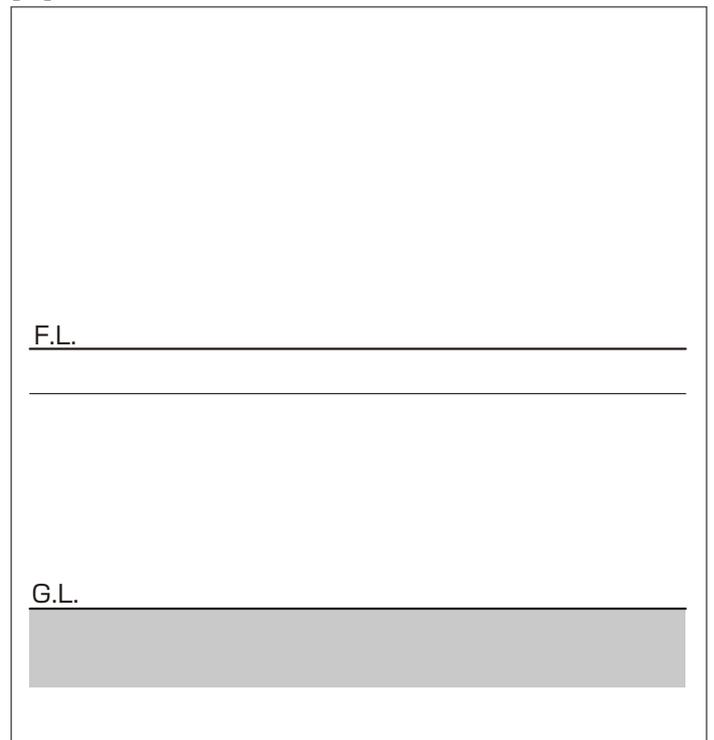
[B]

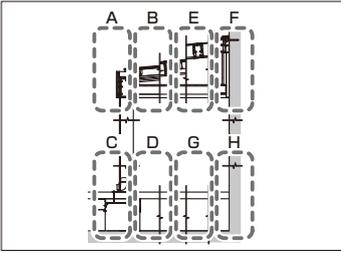


[C]

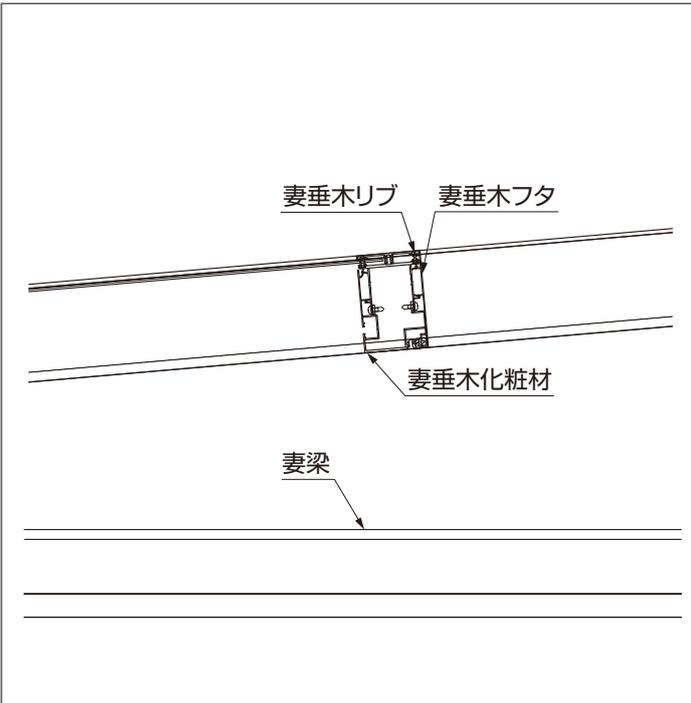


[D]

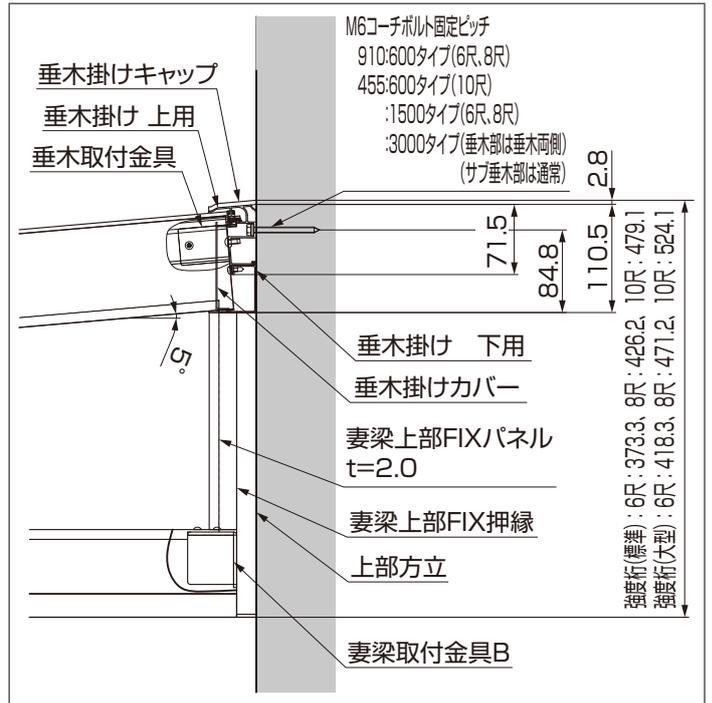




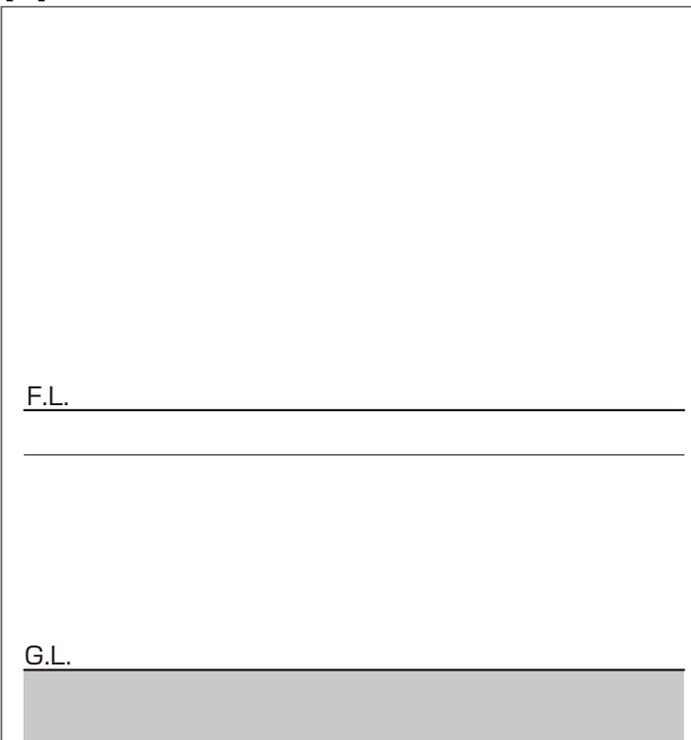
[E]



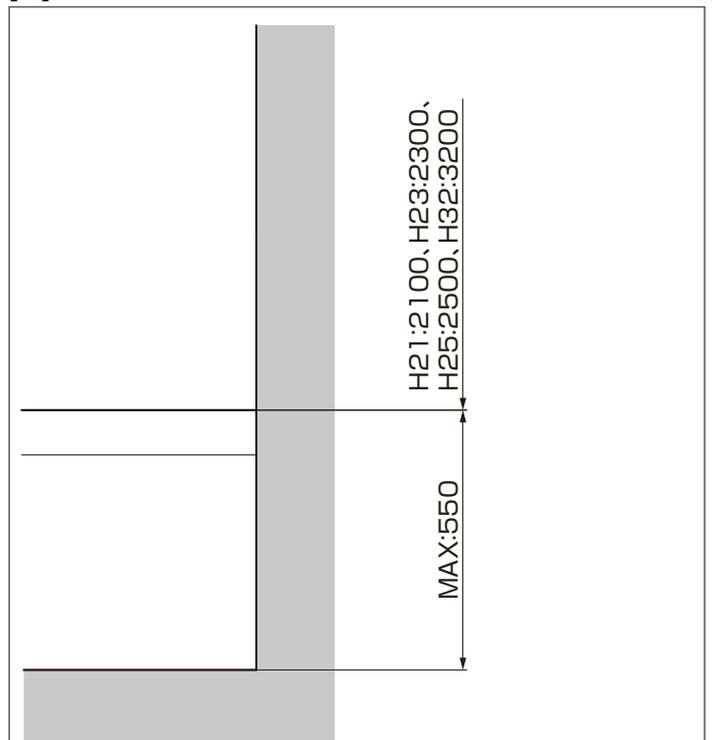
[F]



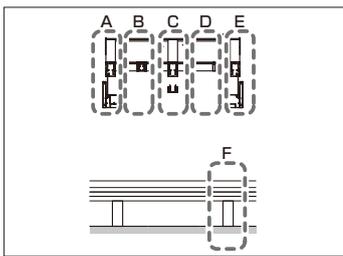
[G]



[H]



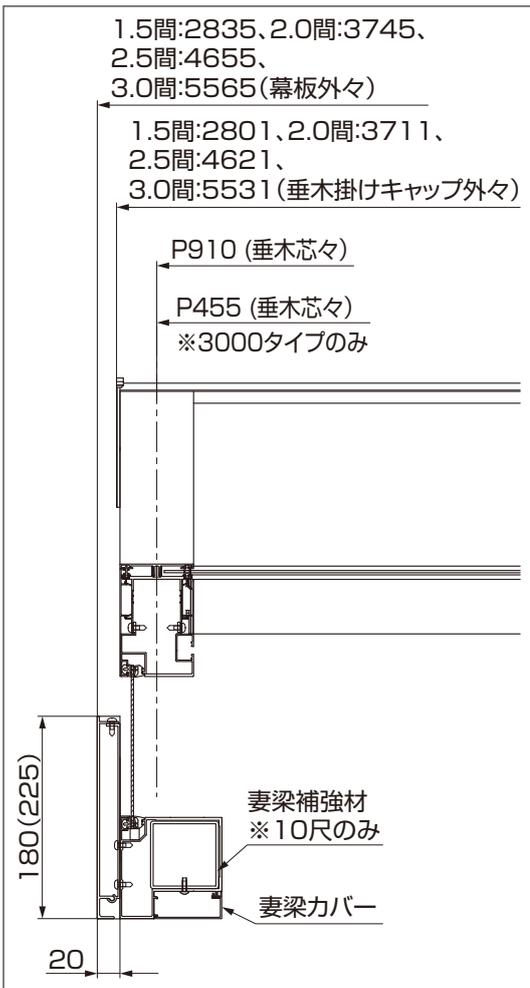
2-1-2 間口断面納まり図



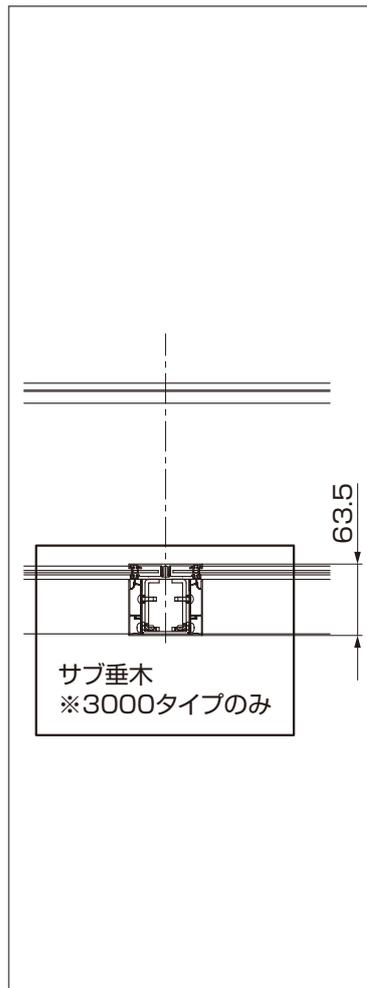
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

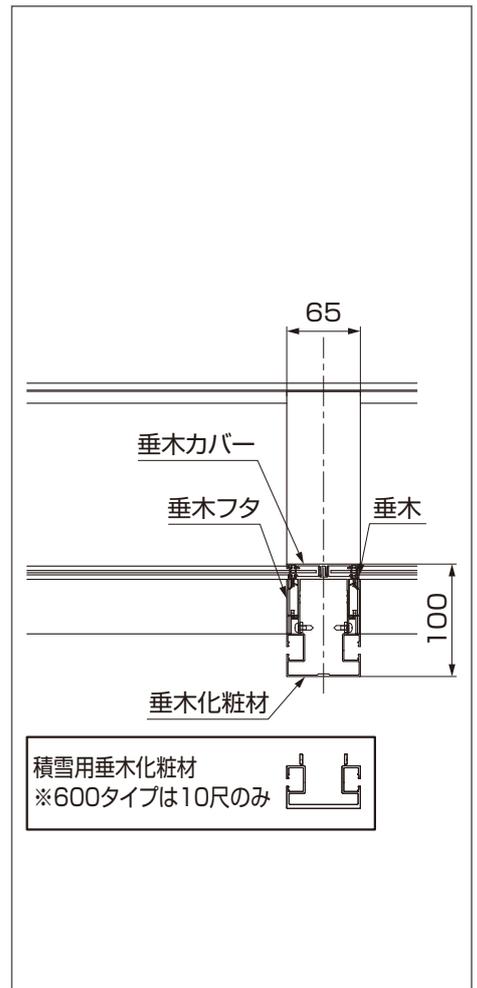
[A]

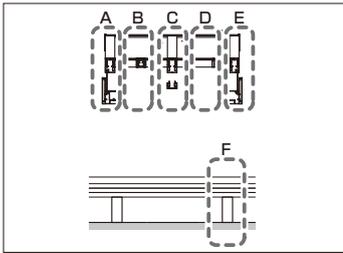


[B]

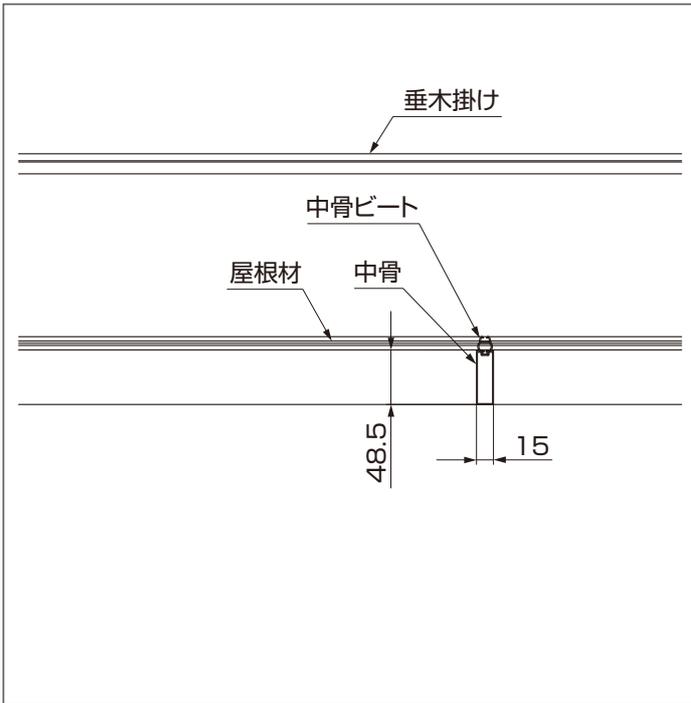


[C]

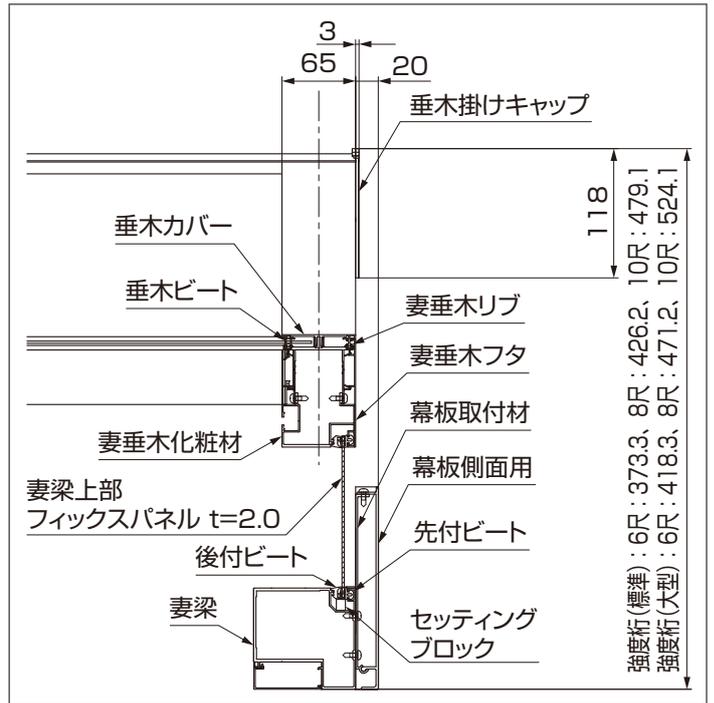




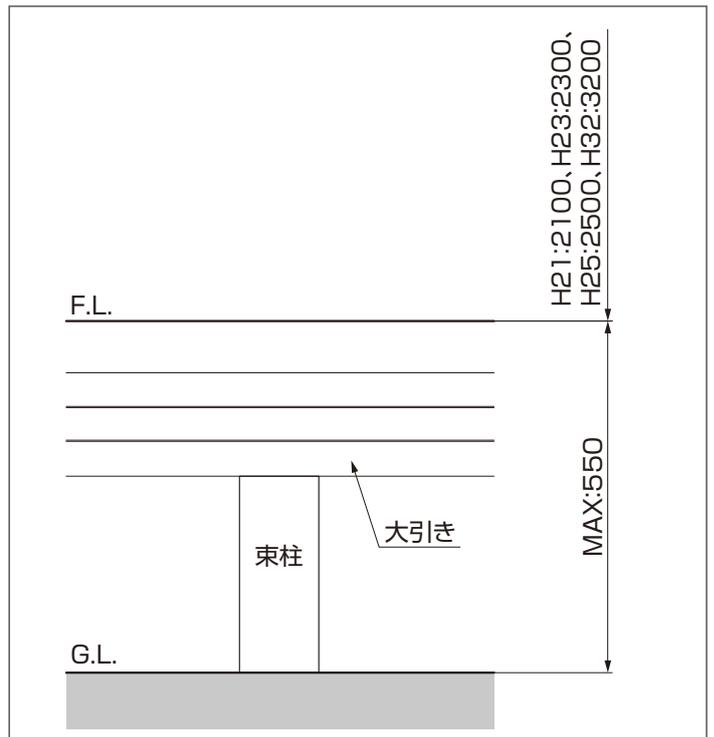
[D]



[E]

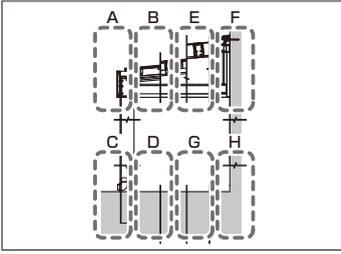


[F]



2-2 テラスタイプ土間仕様

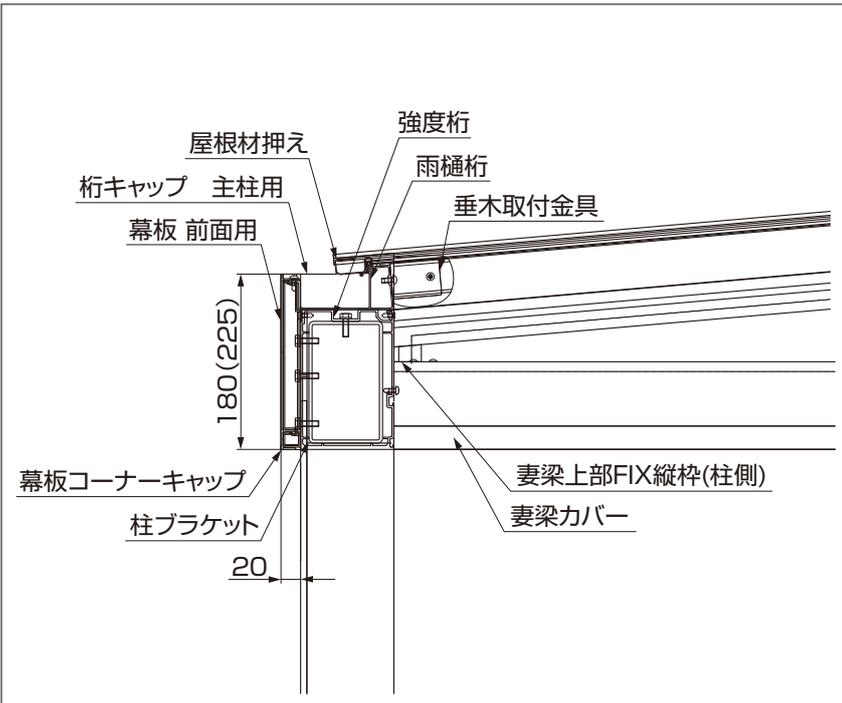
2-2-1 出幅断面納まり図



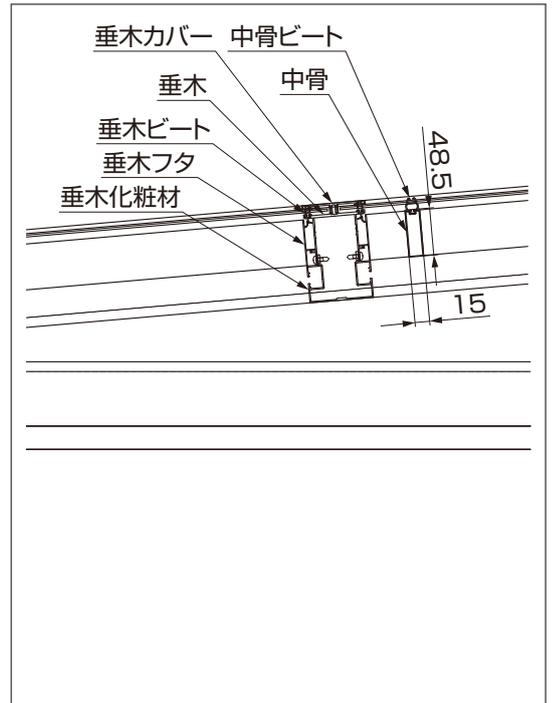
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

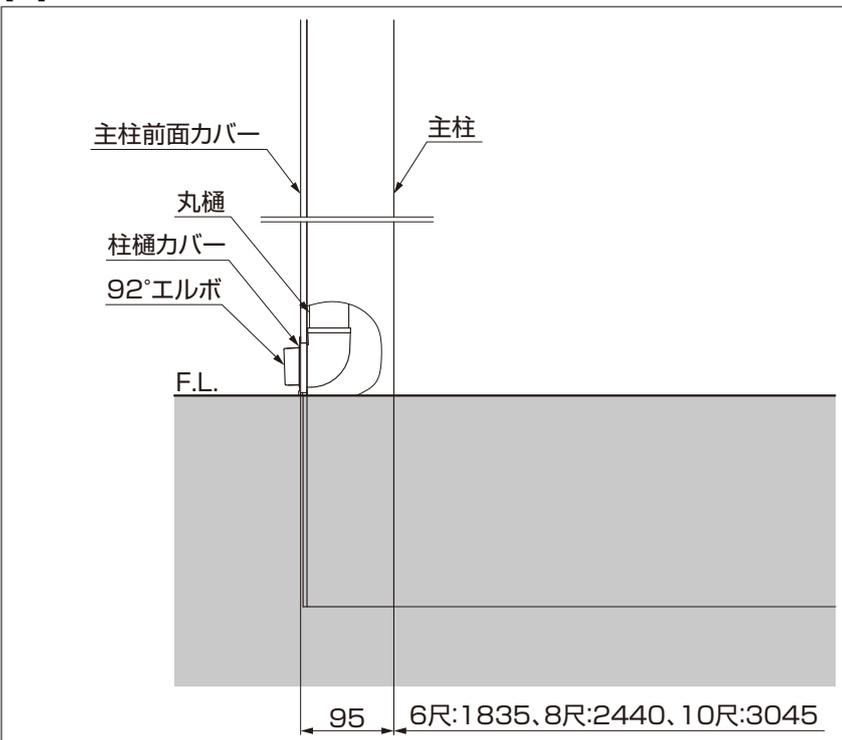
[A]



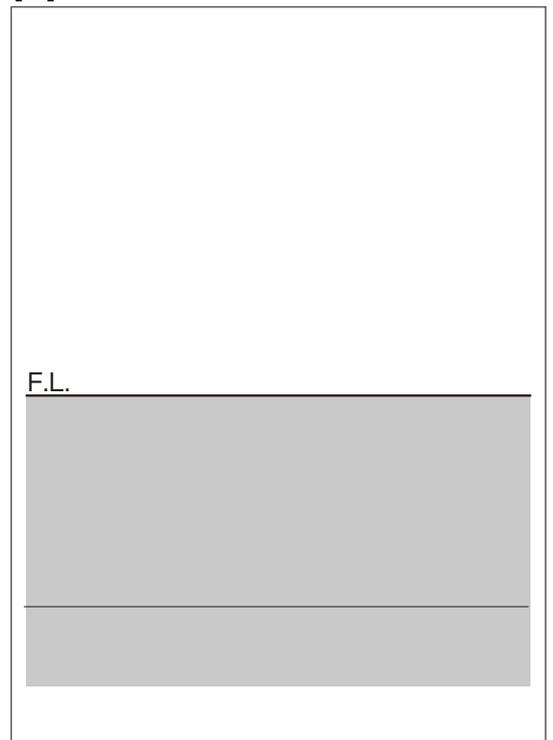
[B]

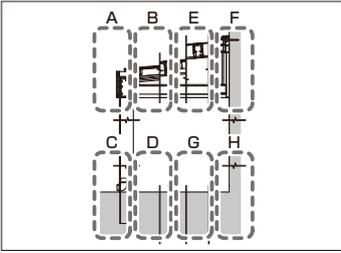


[C]

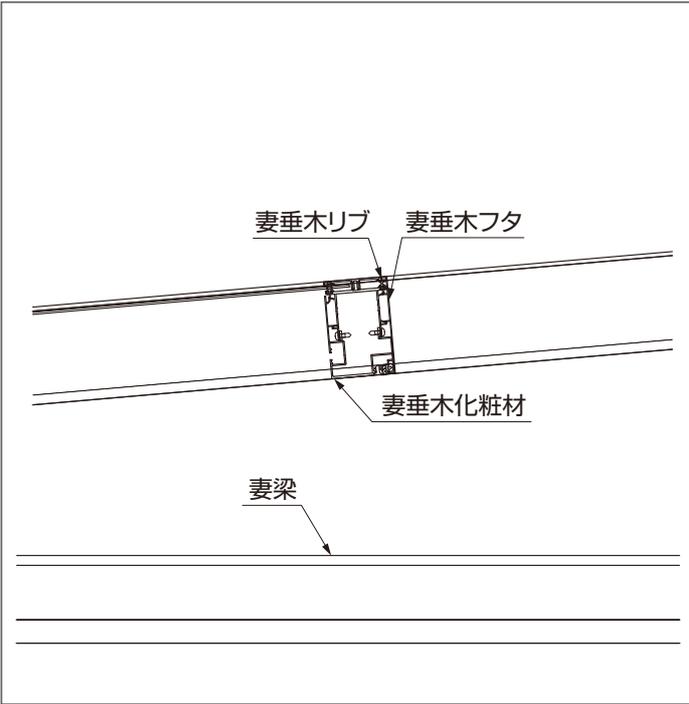


[D]

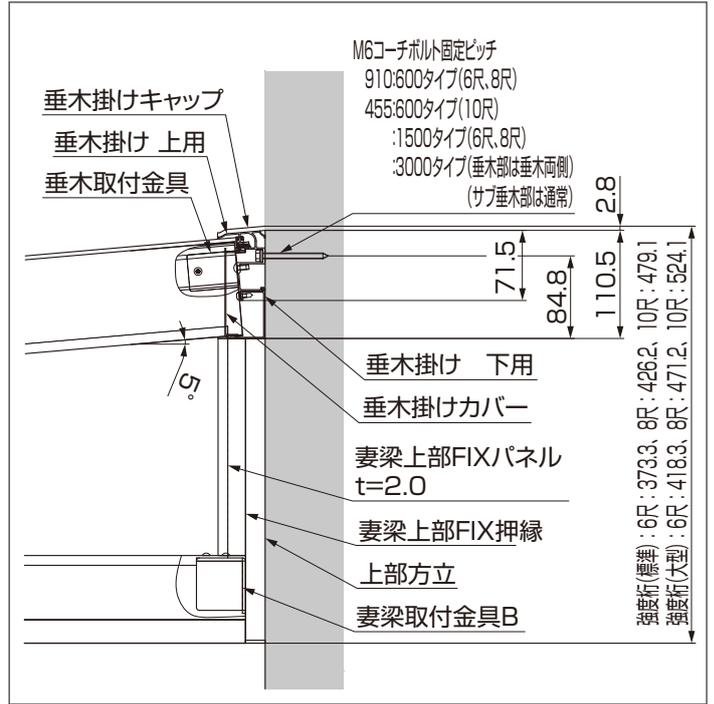




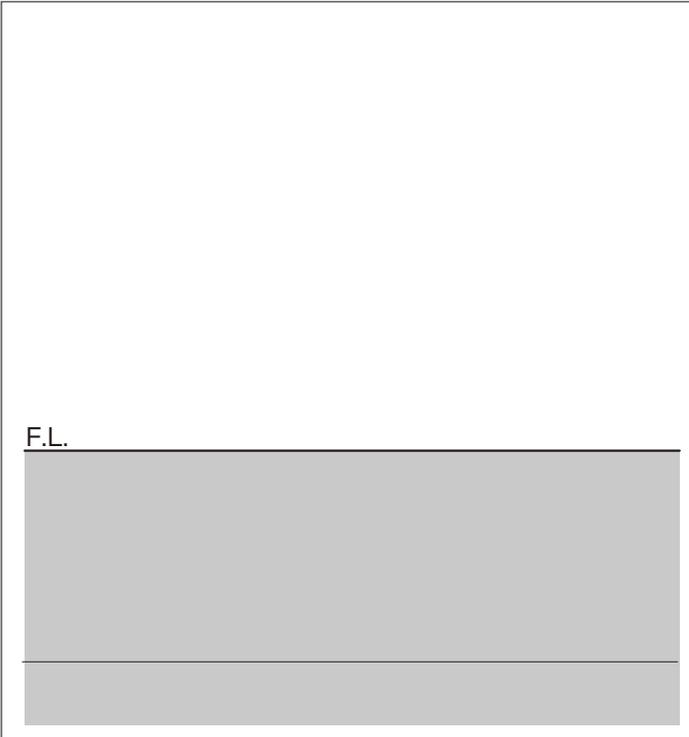
[E]



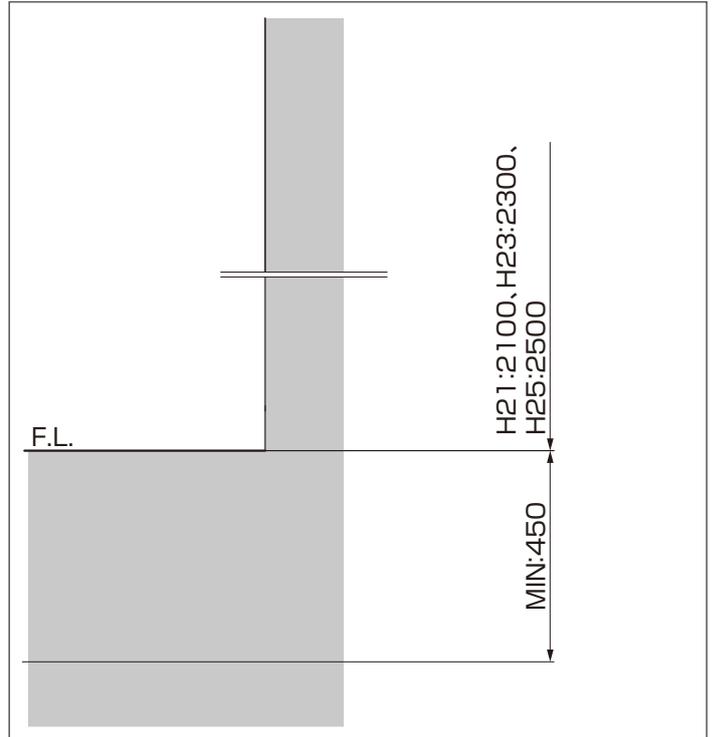
[F]



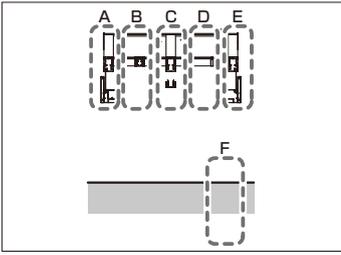
[G]



[H]



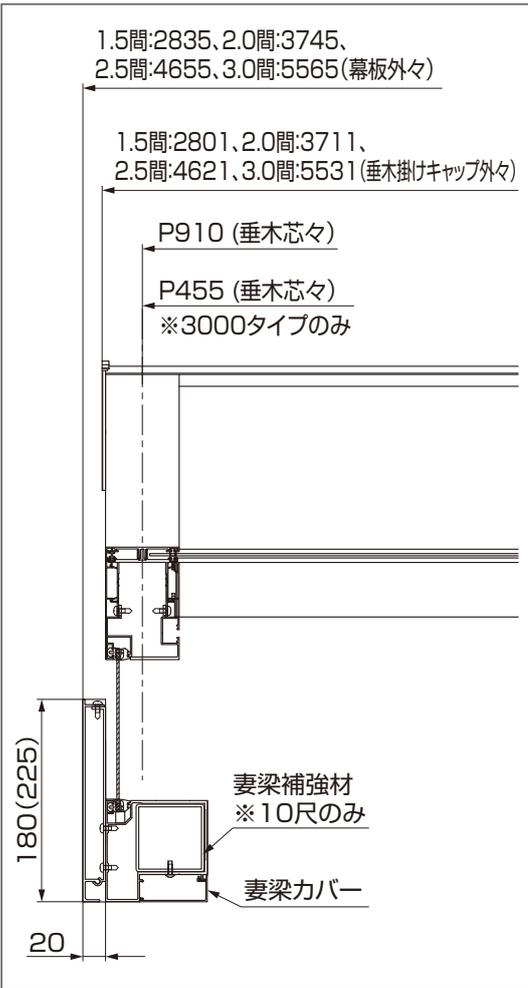
2-2-2 間口断面納まり図



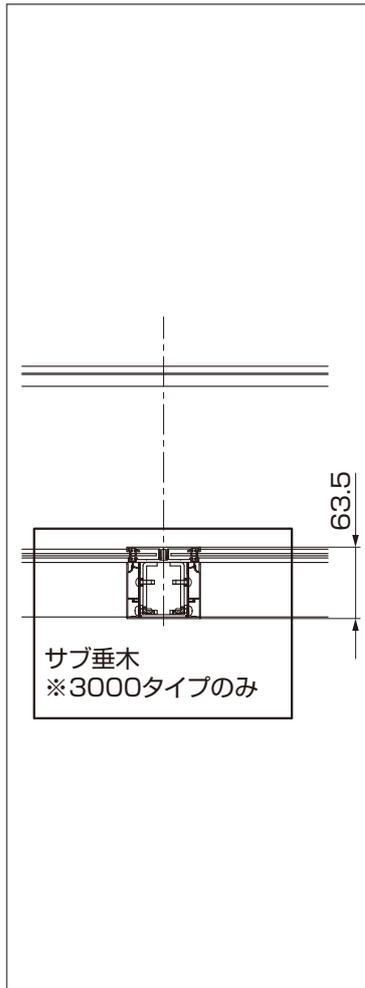
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合があります。

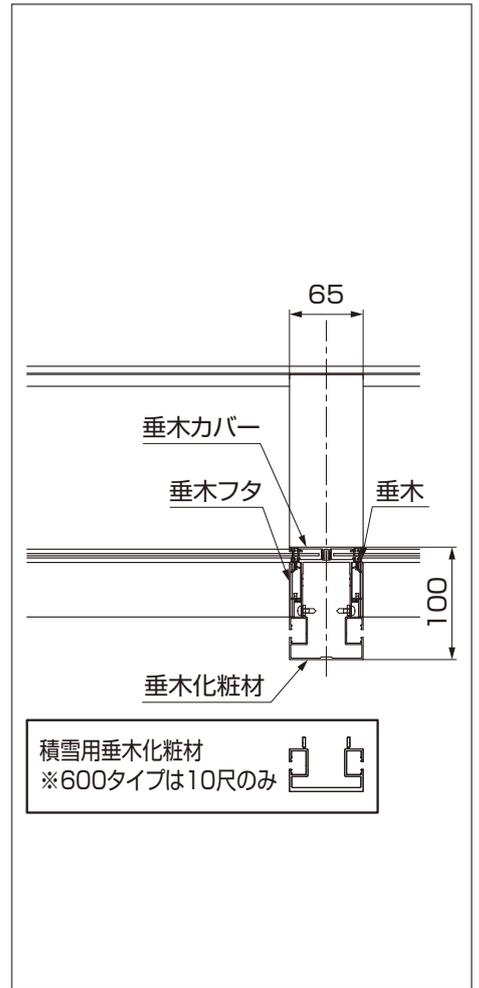
[A]

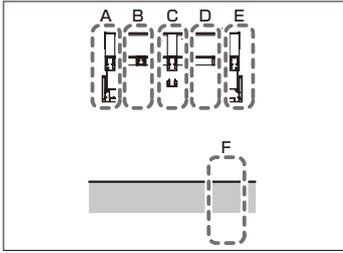


[B]

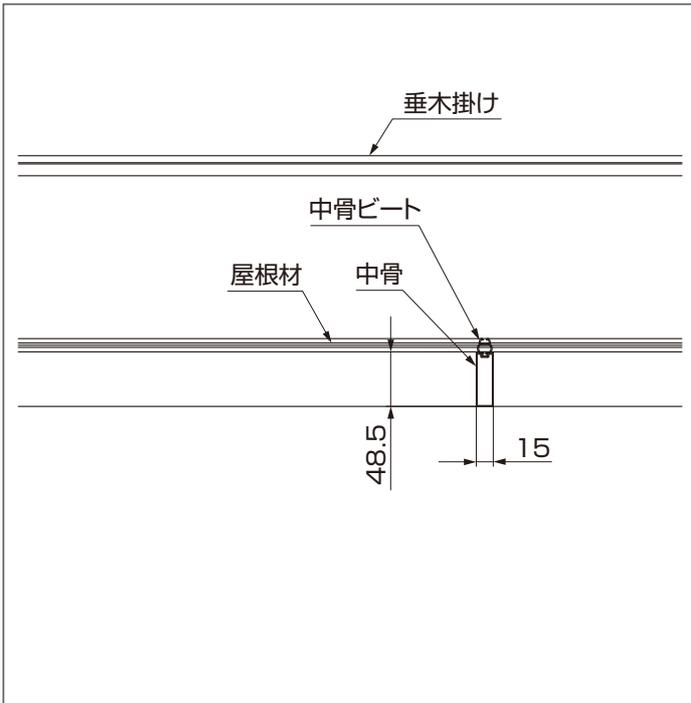


[C]

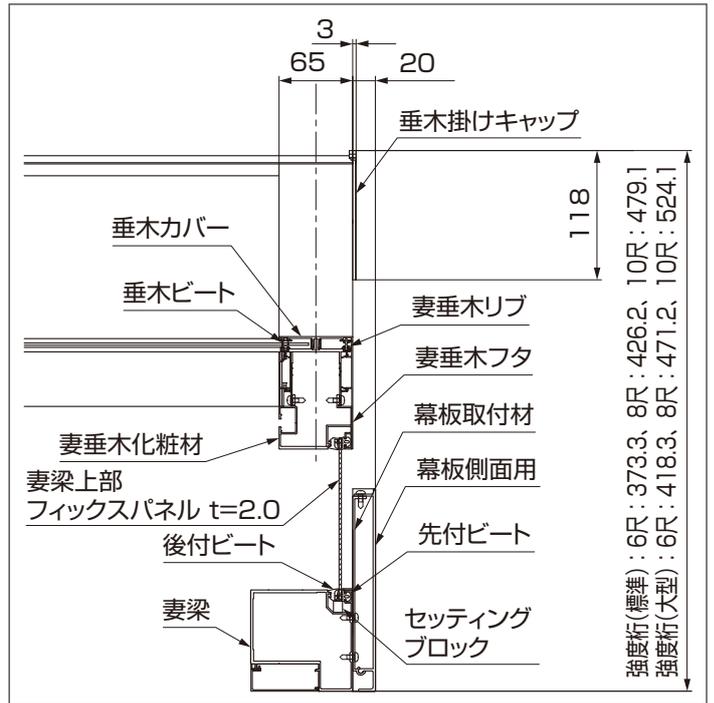




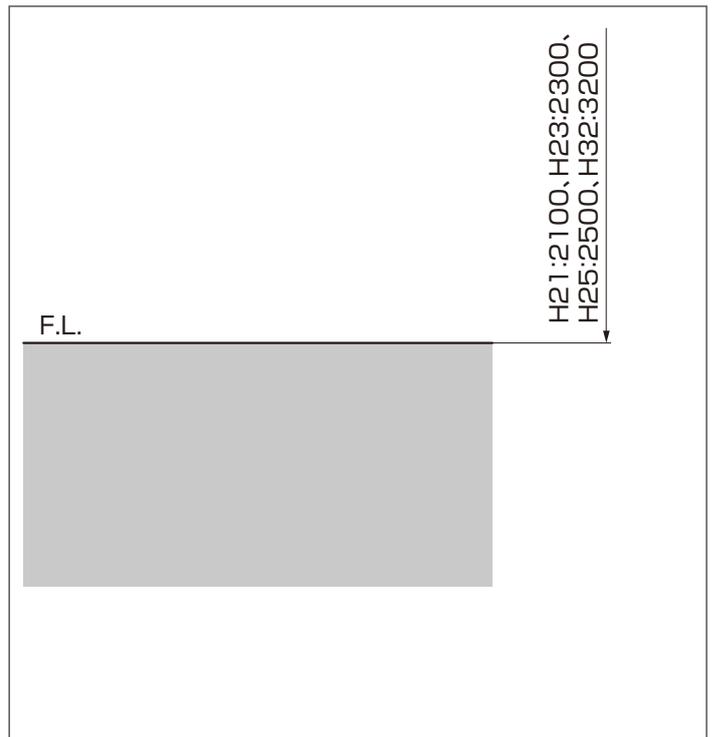
[D]



[E]

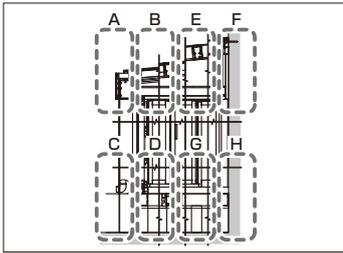


[F]



2-3 ルームタイプデッキ仕様

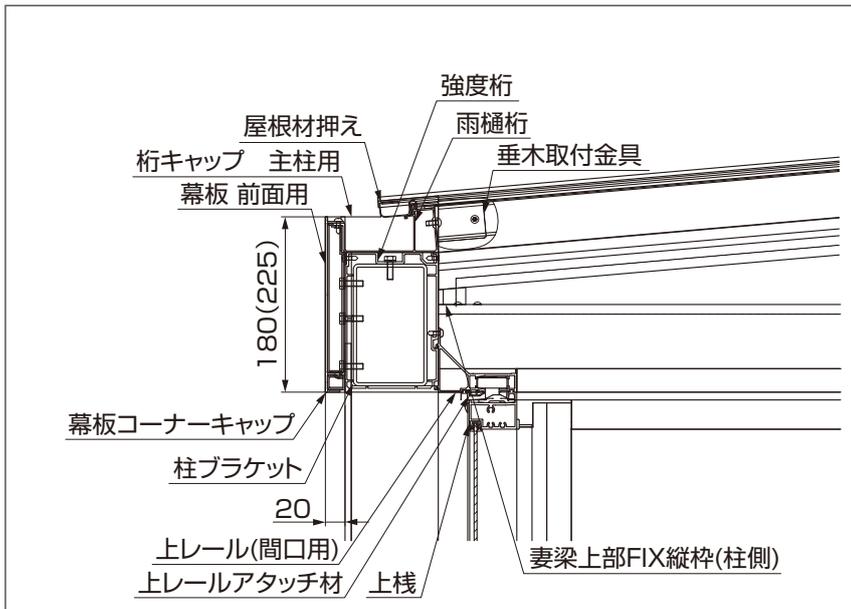
2-3-1 出幅断面納まり図



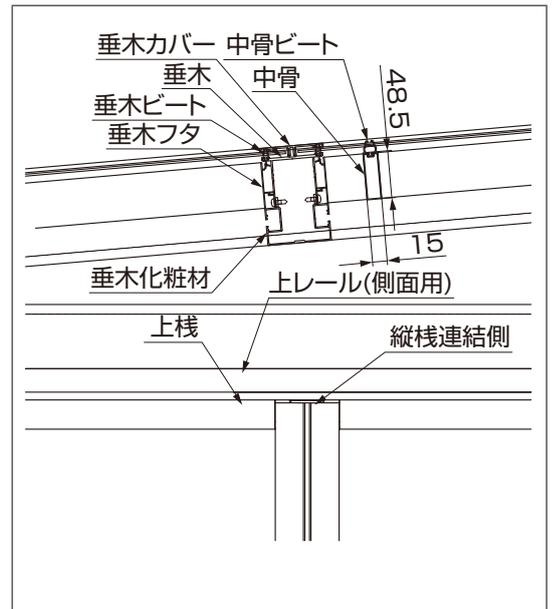
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

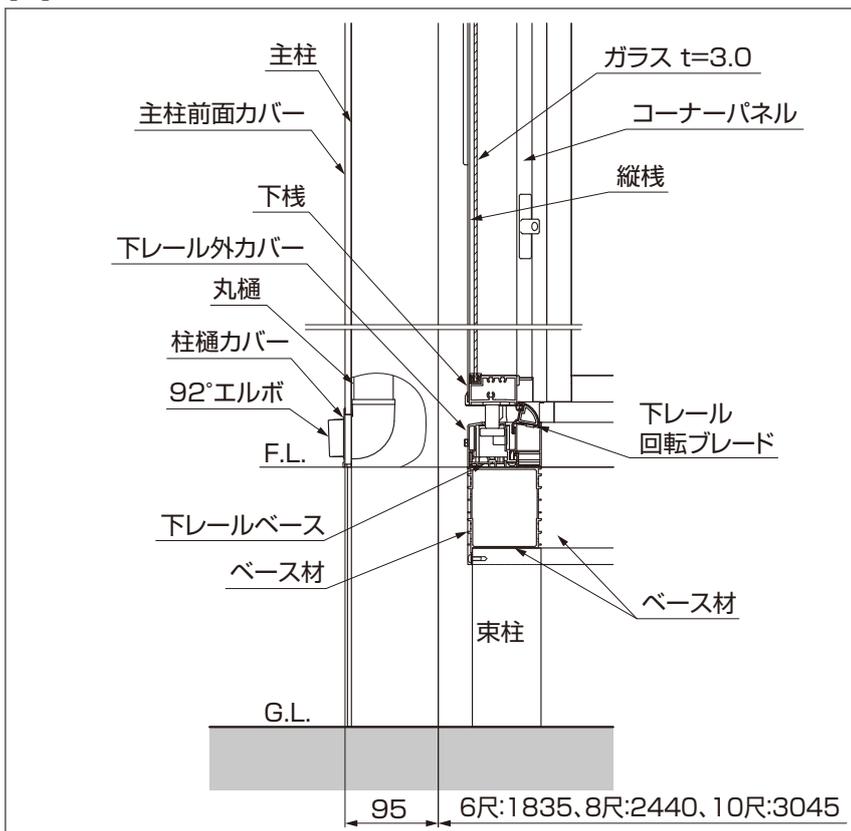
[A]



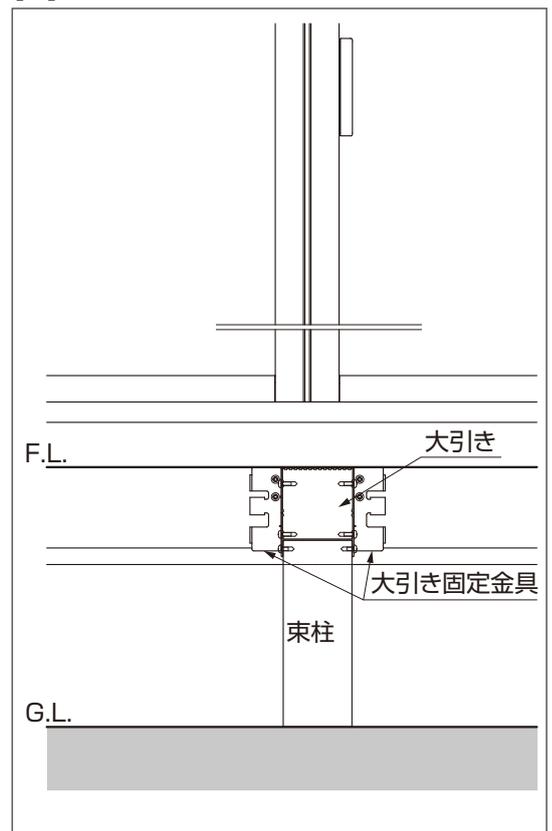
[B]

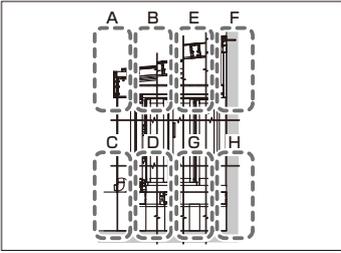


[C]

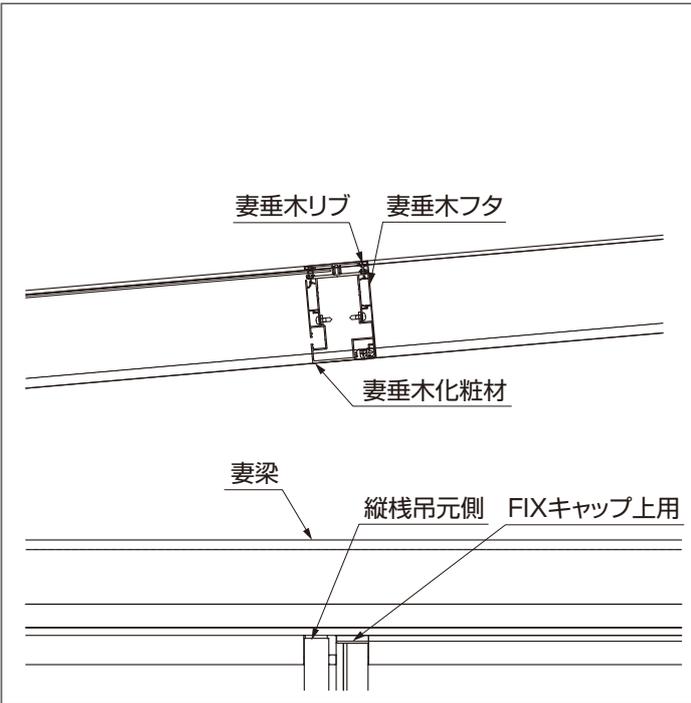


[D]

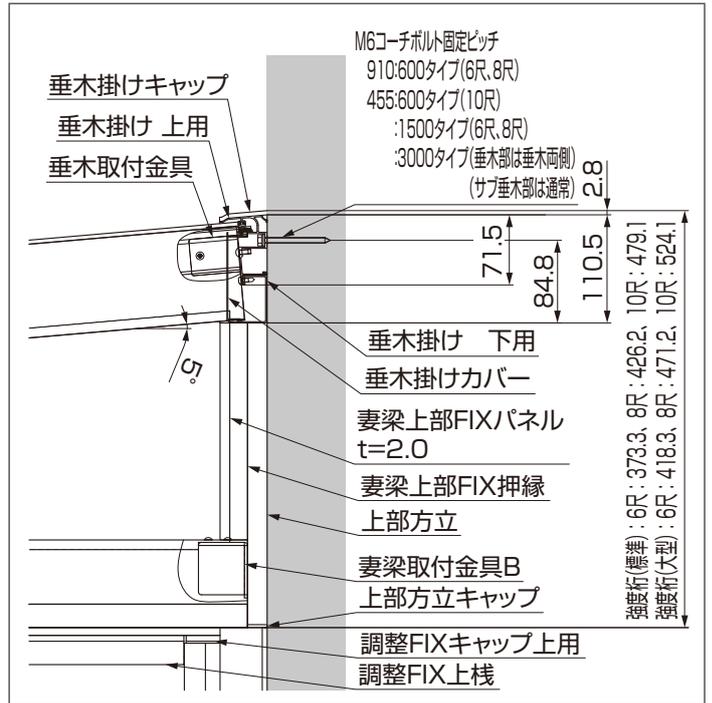




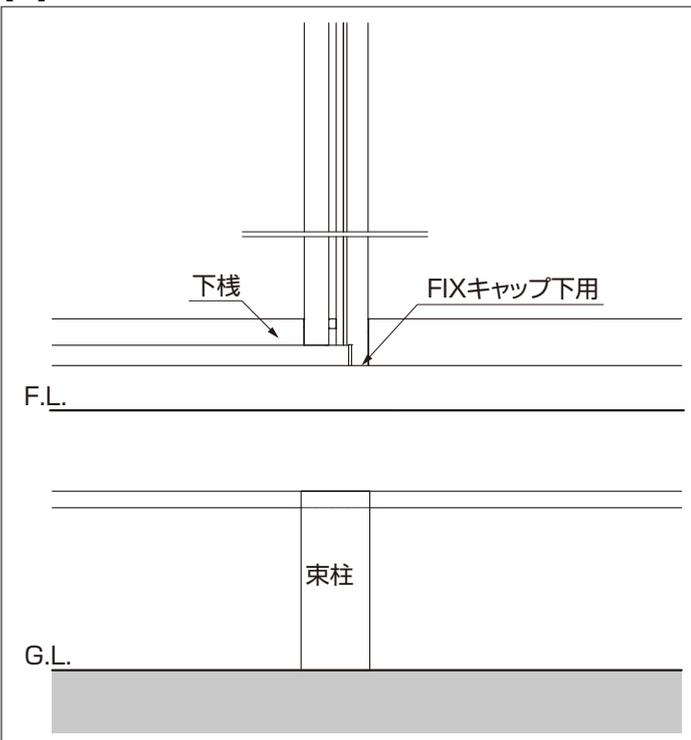
[E]



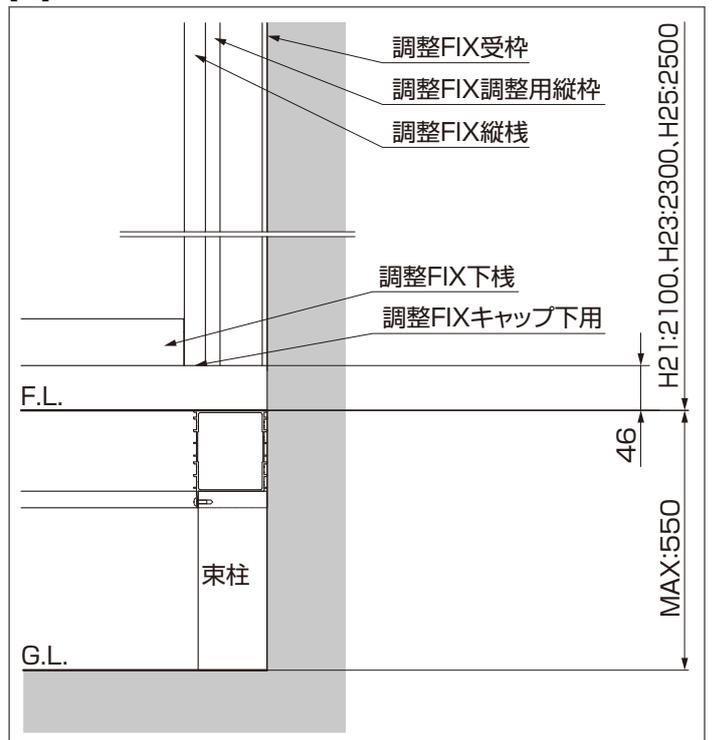
[F]



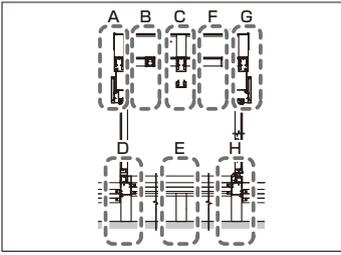
[G]



[H]

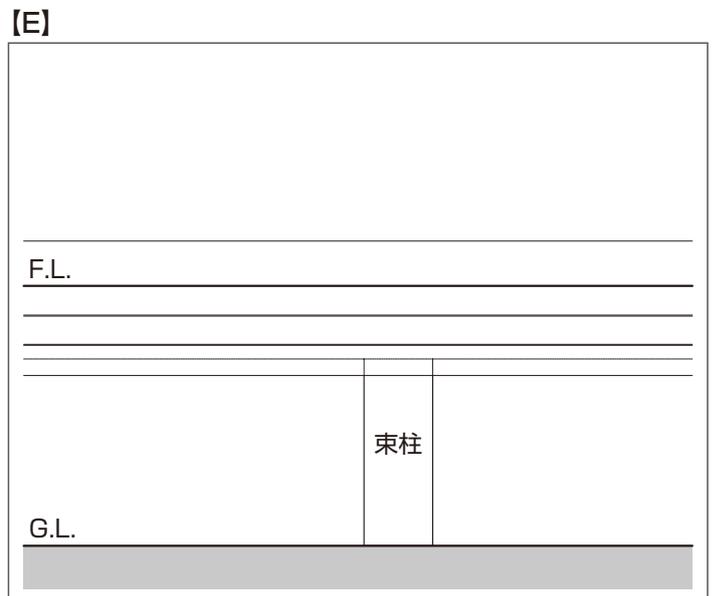
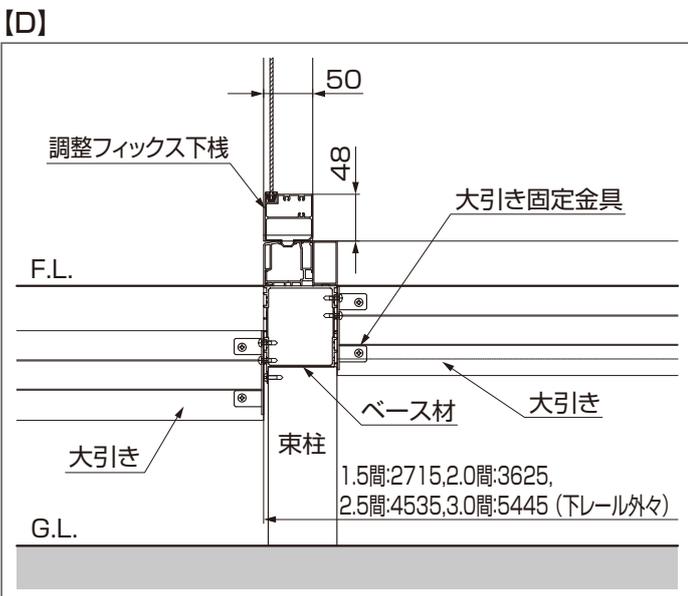
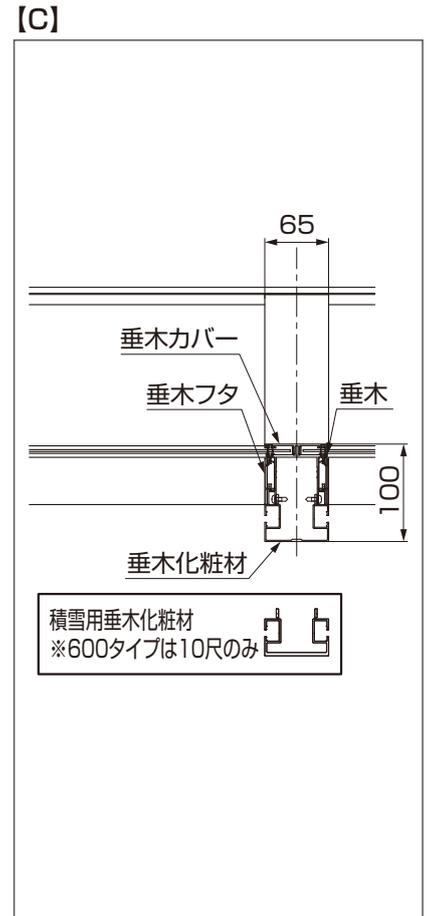
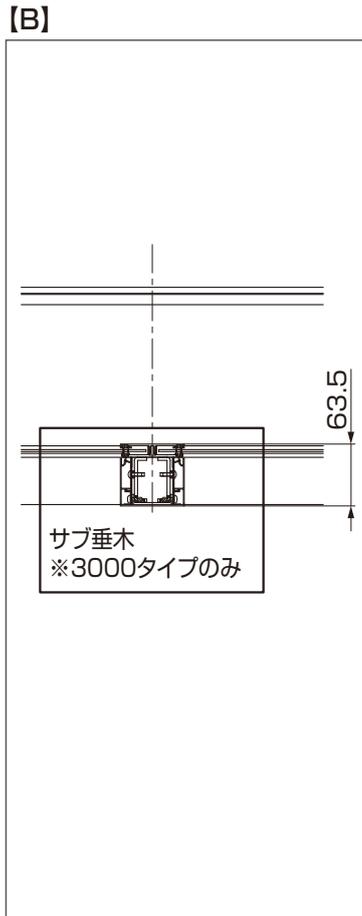
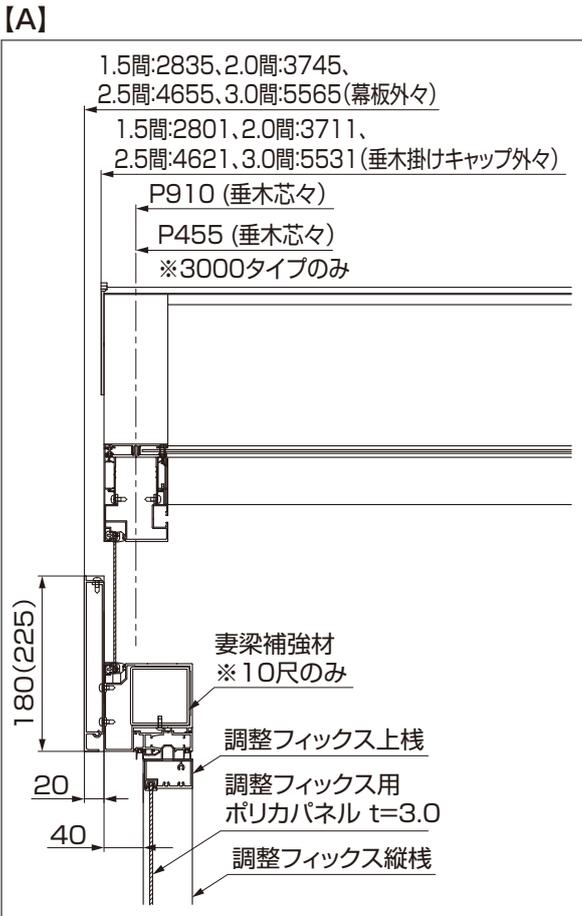


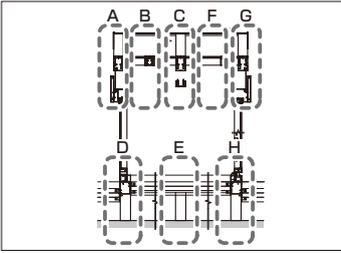
2-3-2 間口断面納まり図



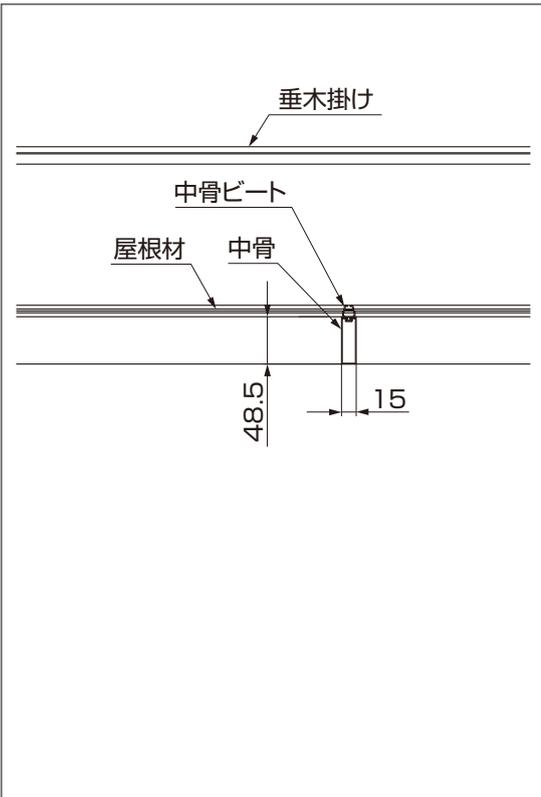
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

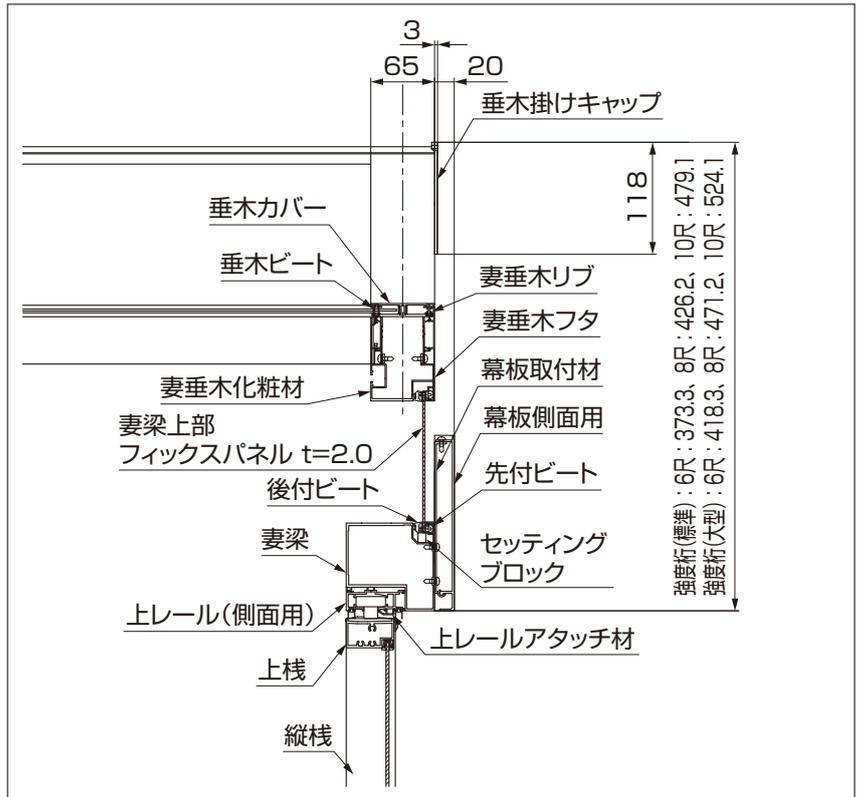




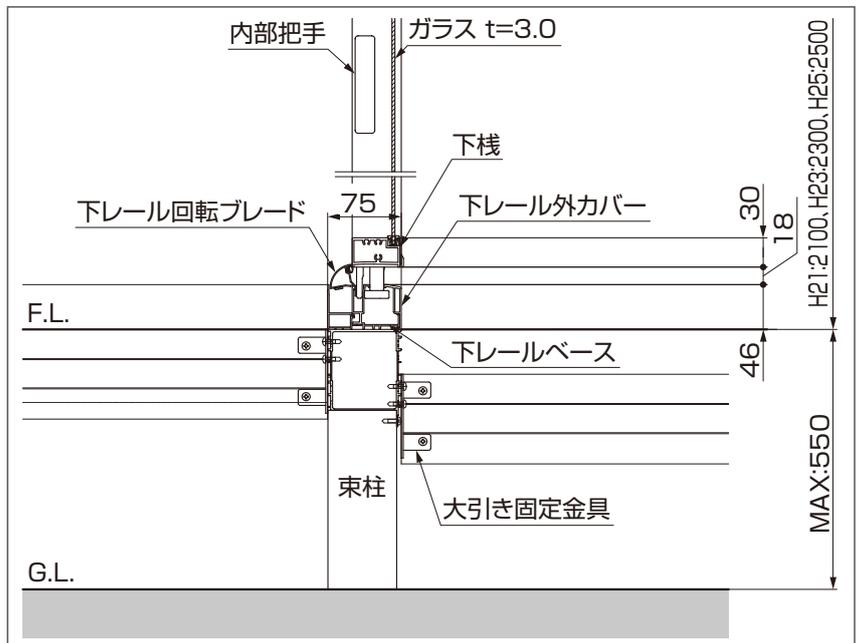
[F]



[G]

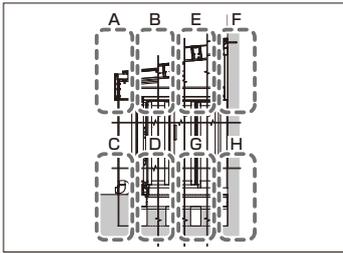


[H]



2-4 ルームタイプ土間仕様

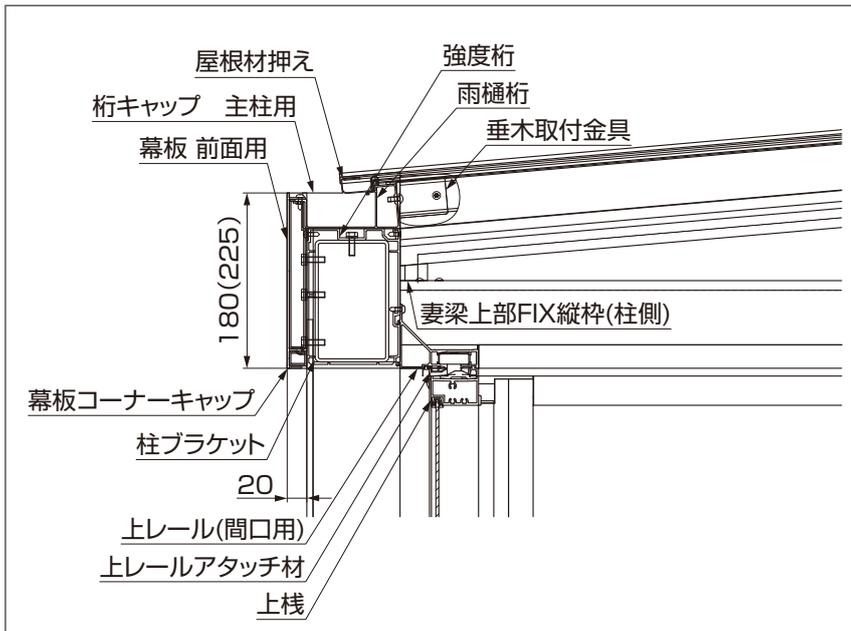
2-4-1 出幅断面納まり図



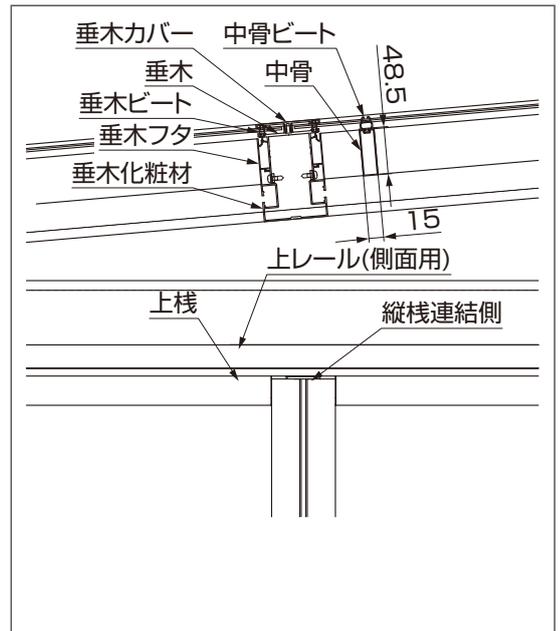
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合です。

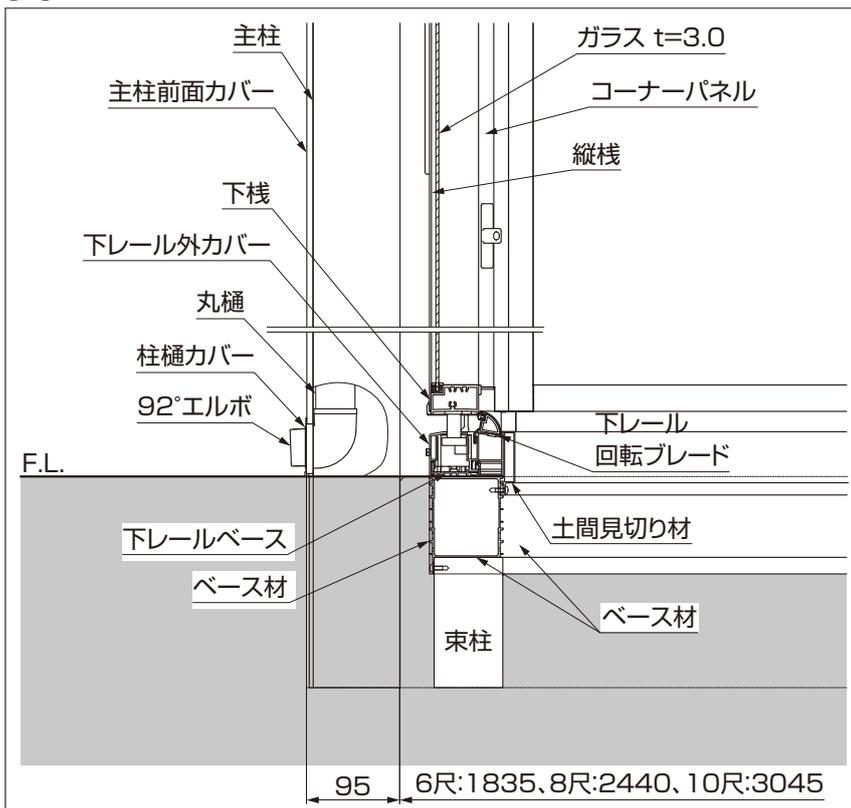
【A】



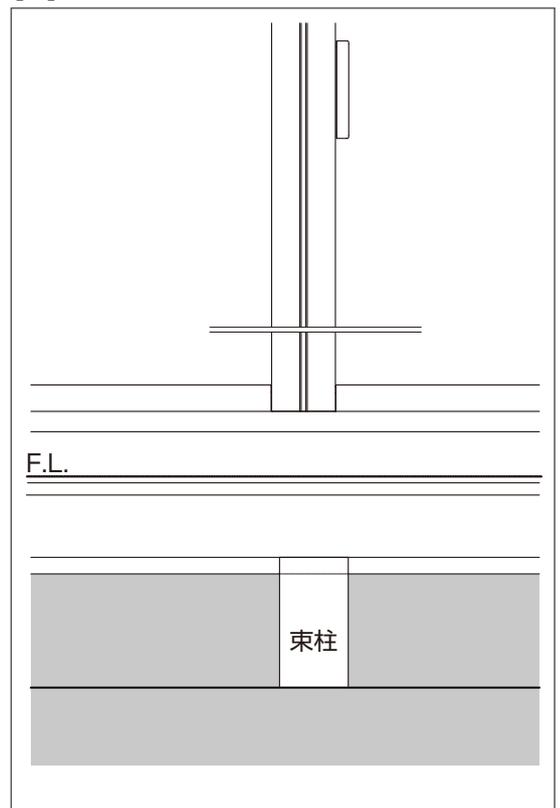
【B】

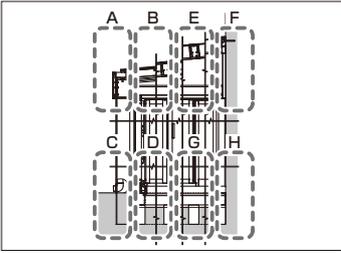


【C】

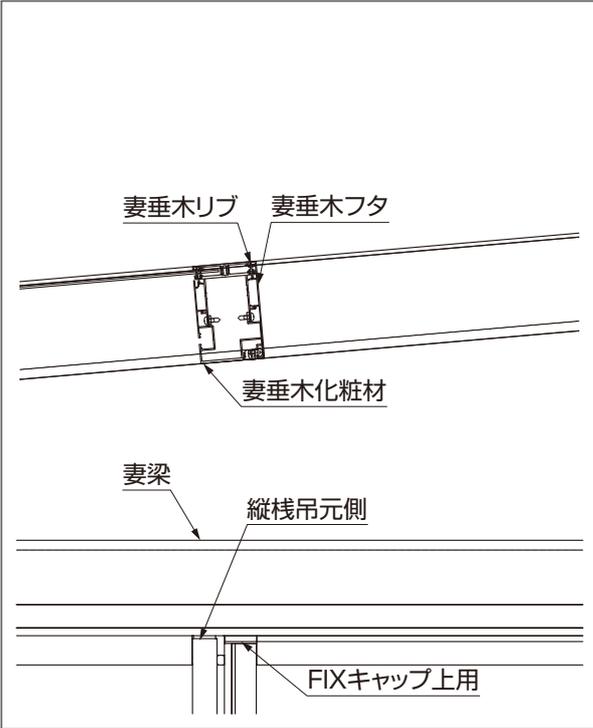


【D】

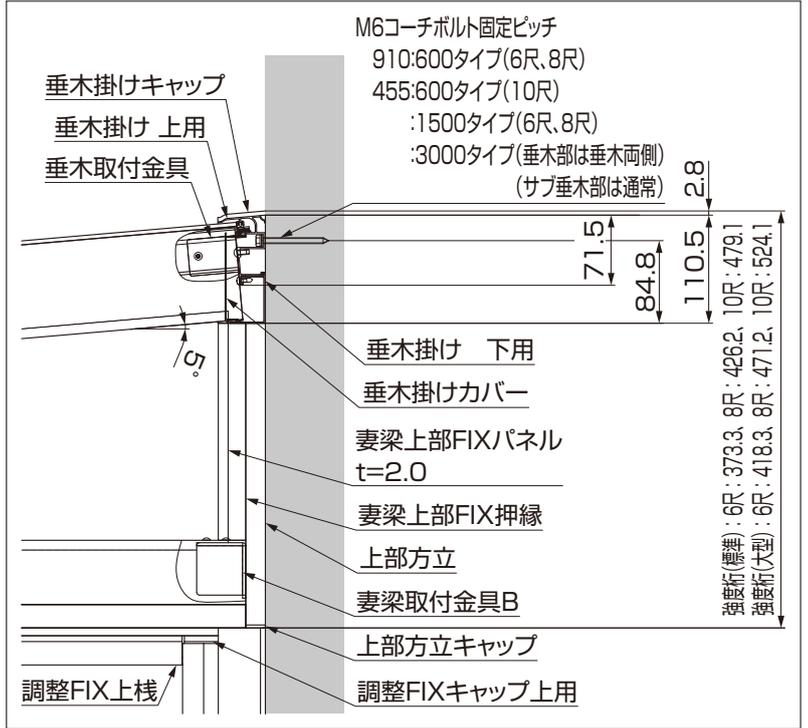




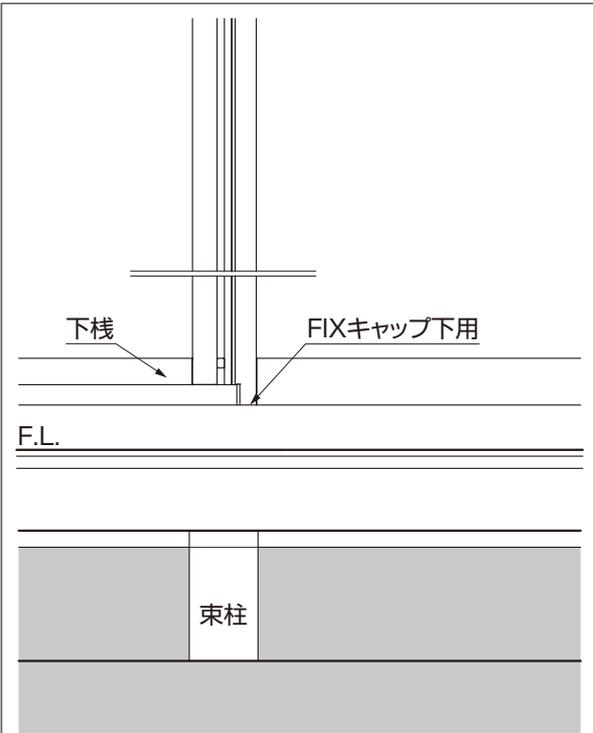
[E]



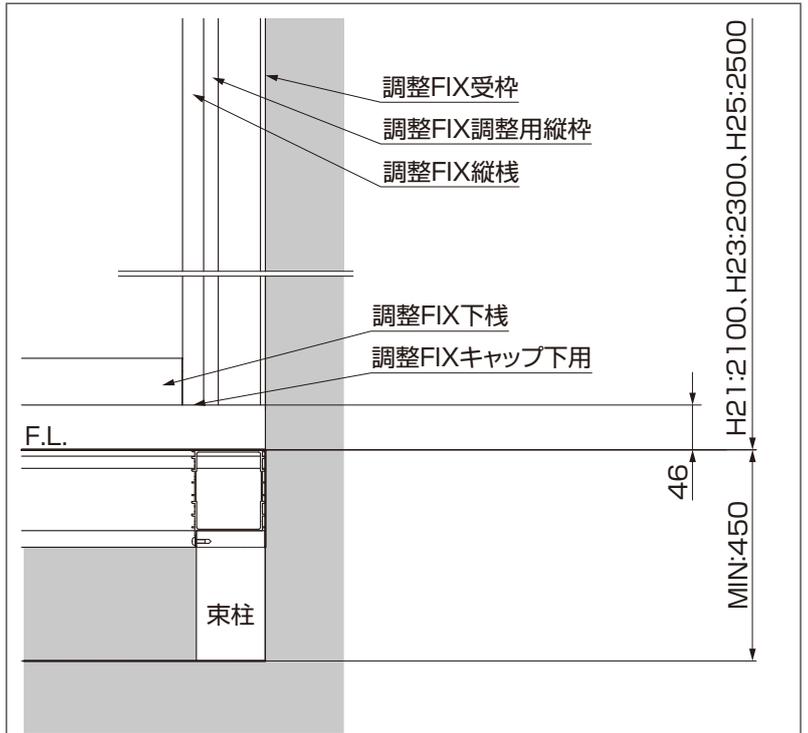
[F]



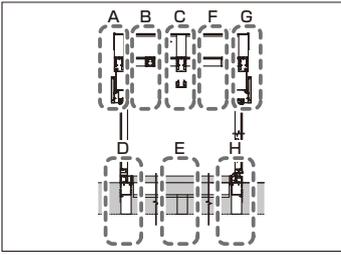
[G]



[H]

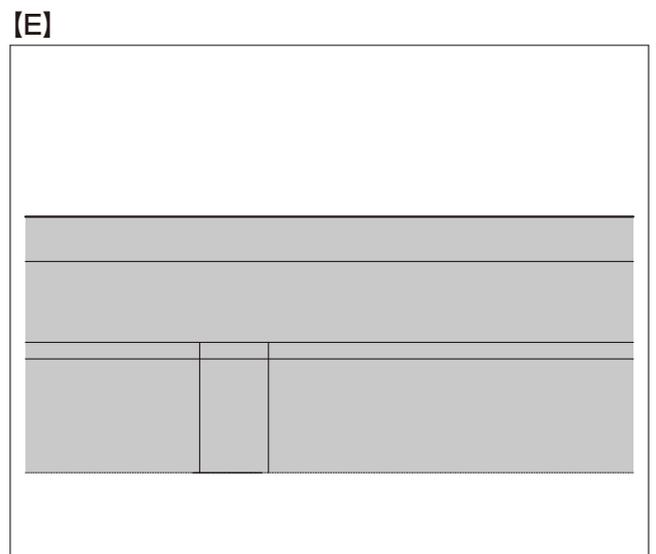
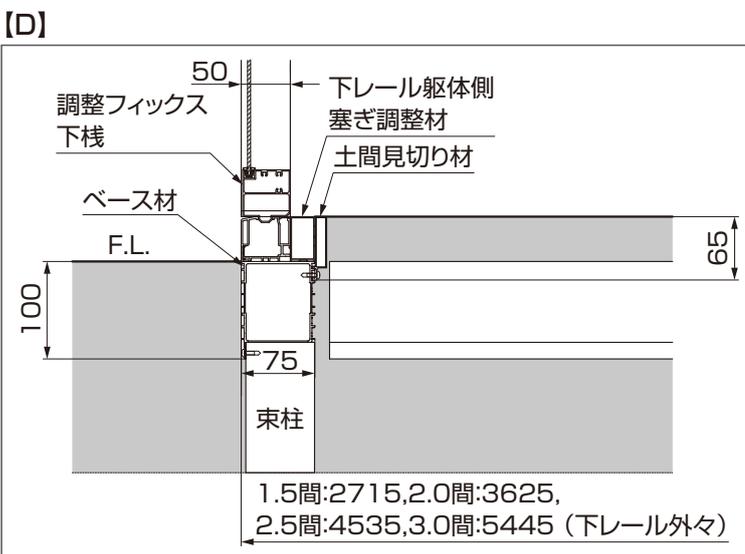
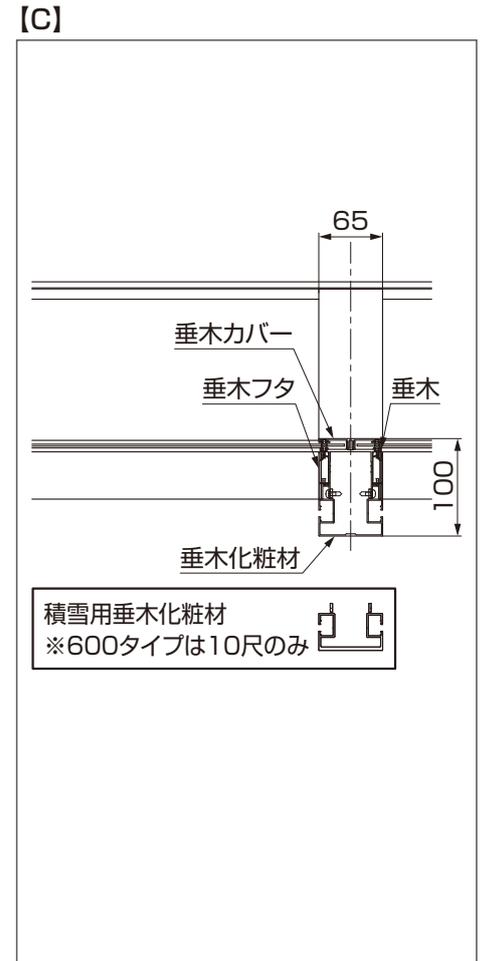
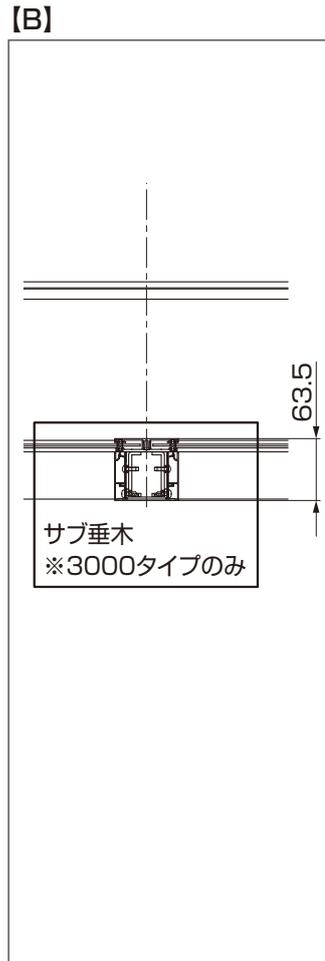
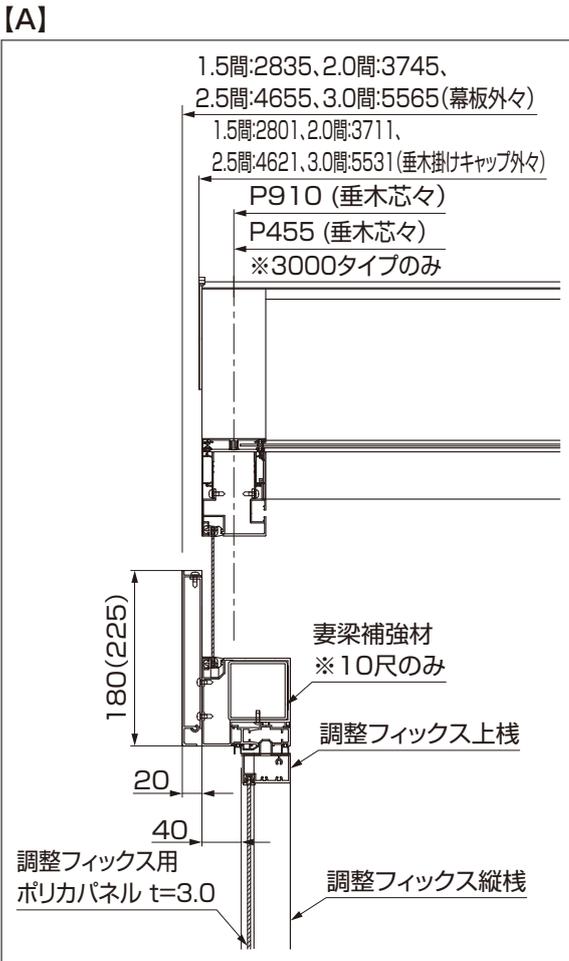


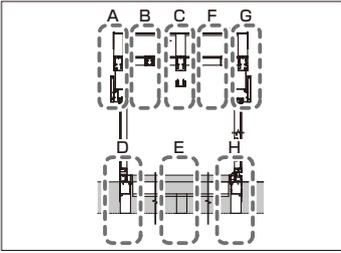
2-4-2 間口断面納まり図



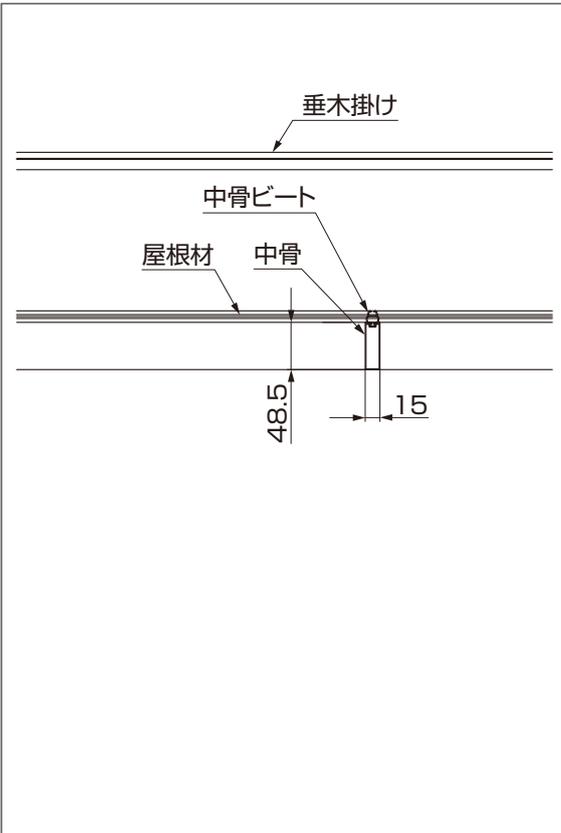
Pポイント

- 全体寸法については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- ()が付いている寸法は強度桁(大型)仕様の場合があります。

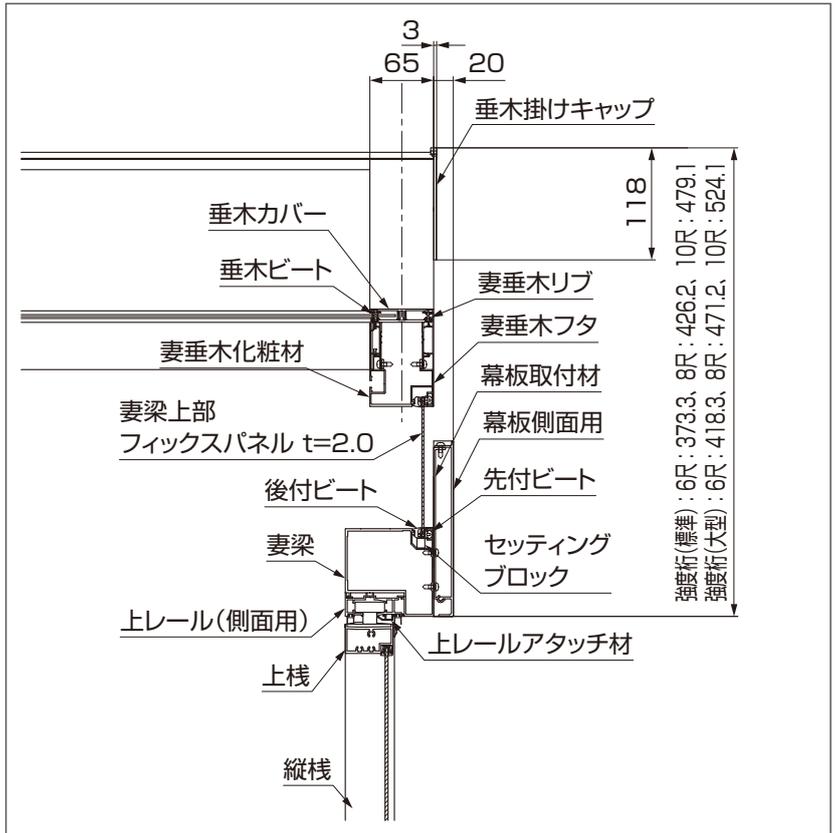




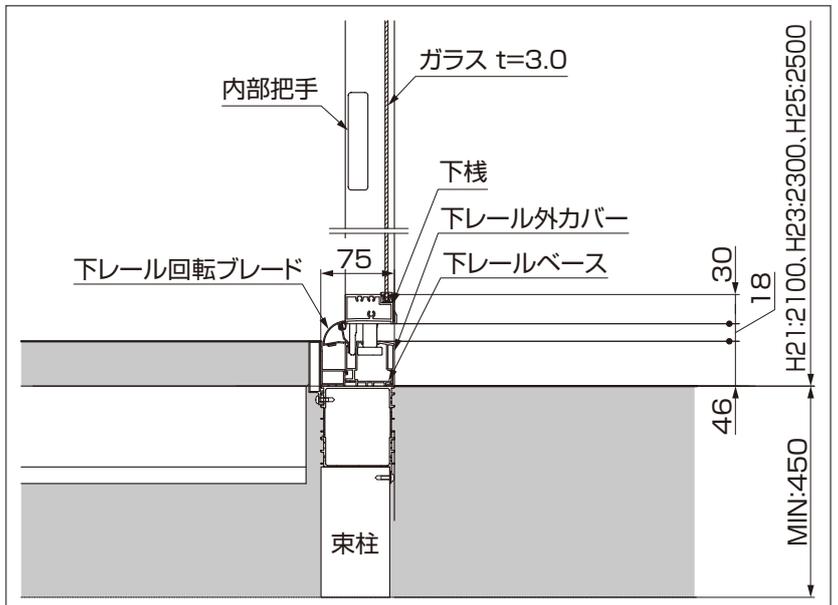
[F]



[G]



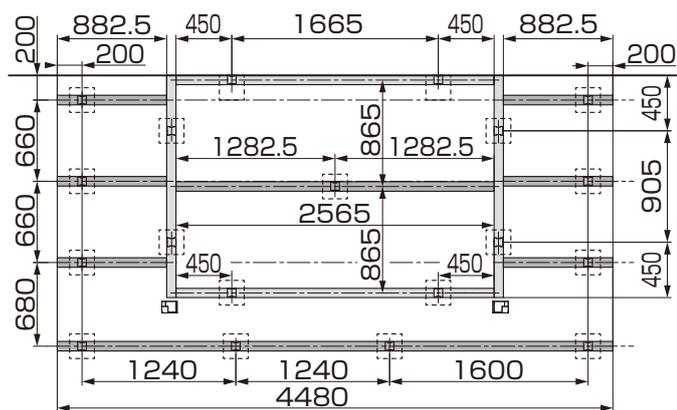
[H]



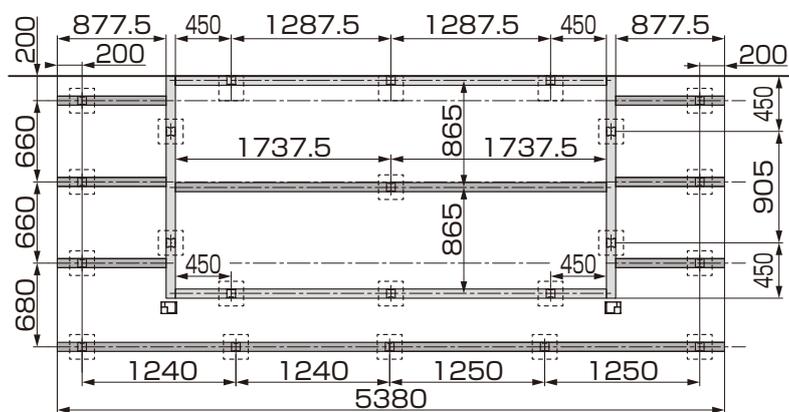
3 基礎伏図

3-1 基本仕様

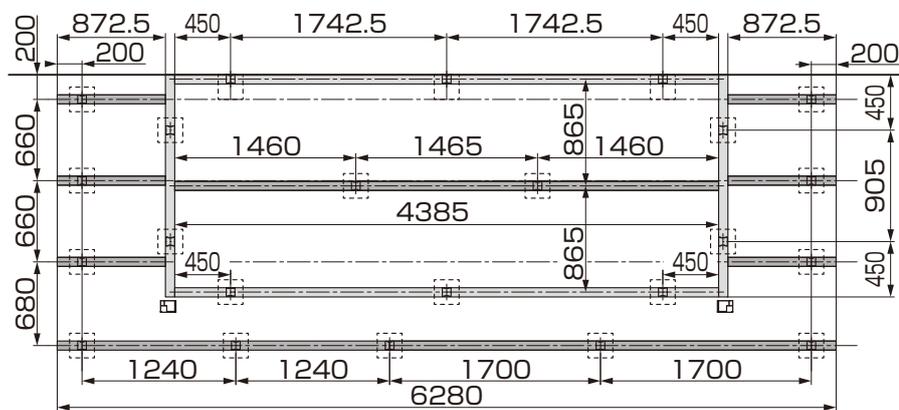
3-1-1 6尺×1.5間



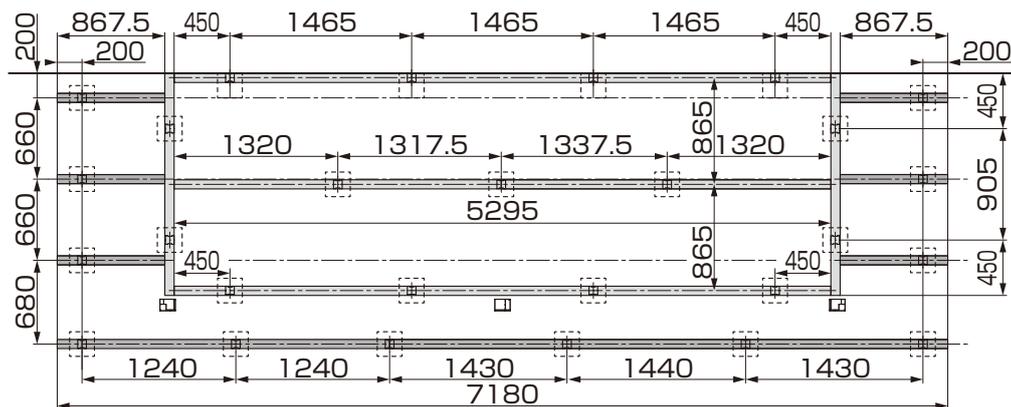
3-1-2 6尺×2.0間



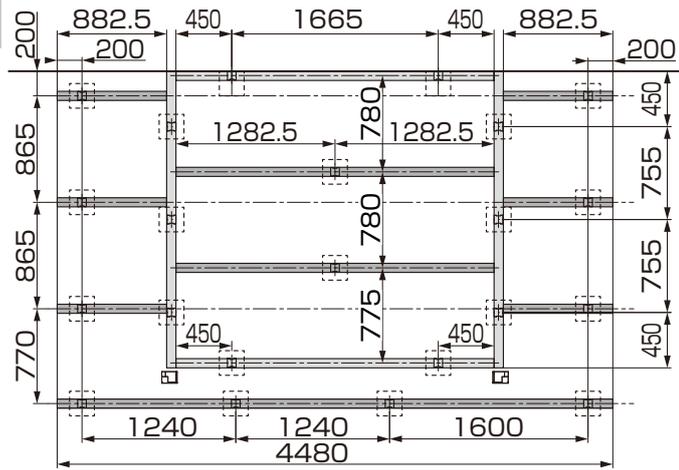
3-1-3 6尺×2.5間



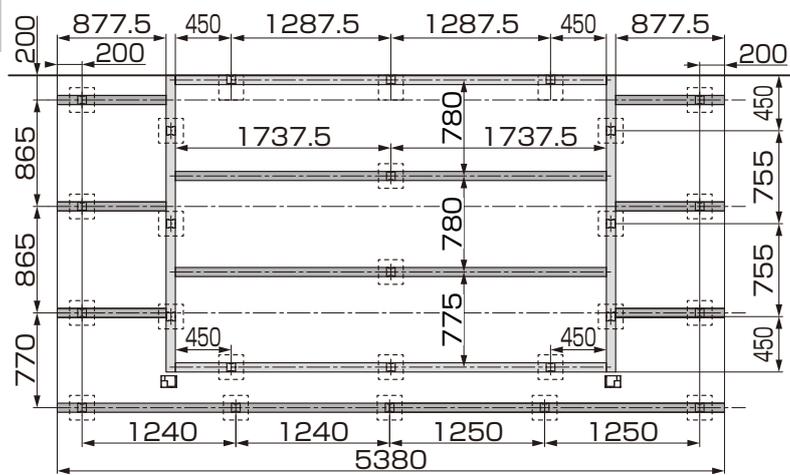
3-1-4 6尺×3.0間



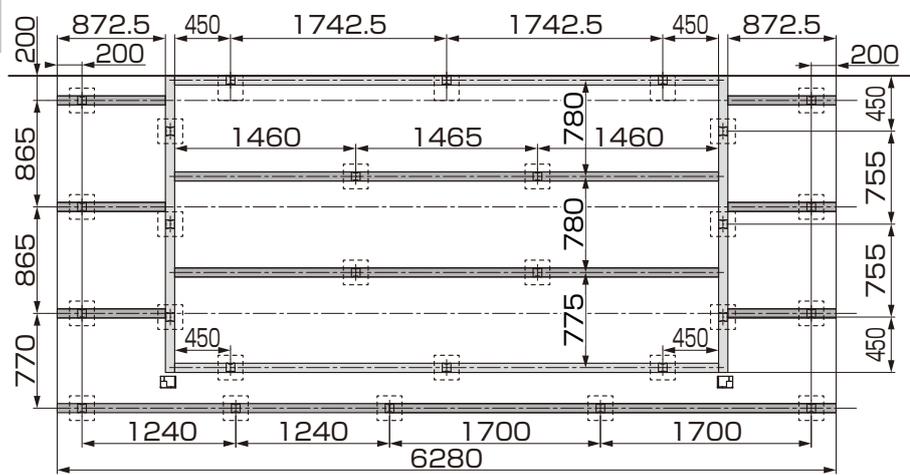
3-1-5 8尺×1.5間



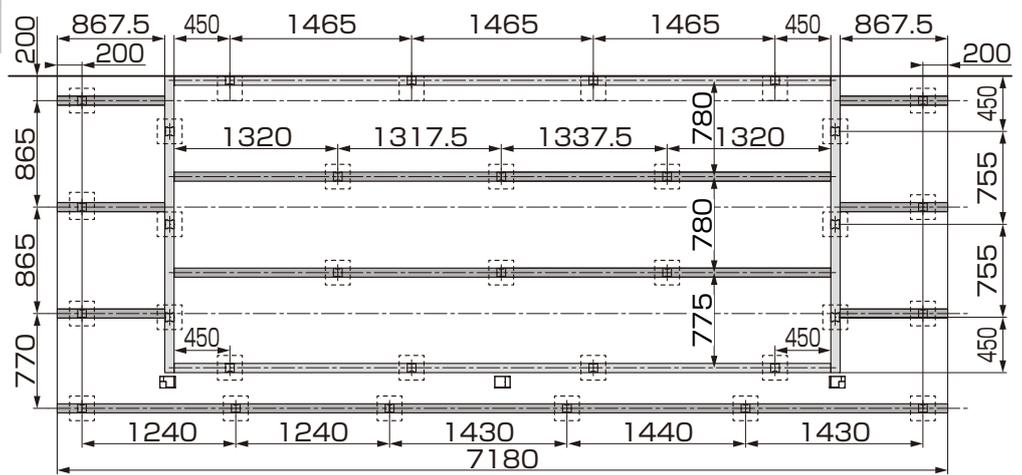
3-1-6 8尺×2.0間



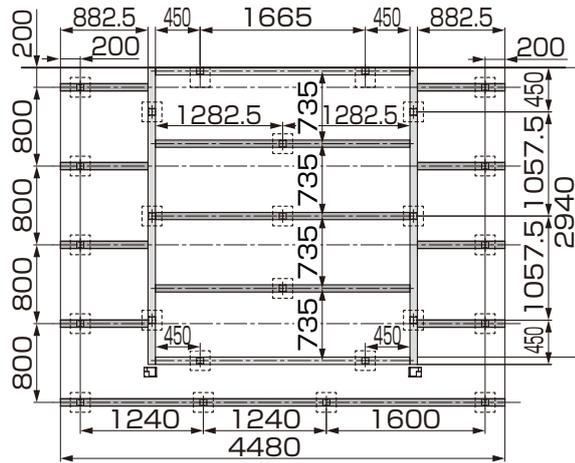
3-1-7 8尺×2.5間



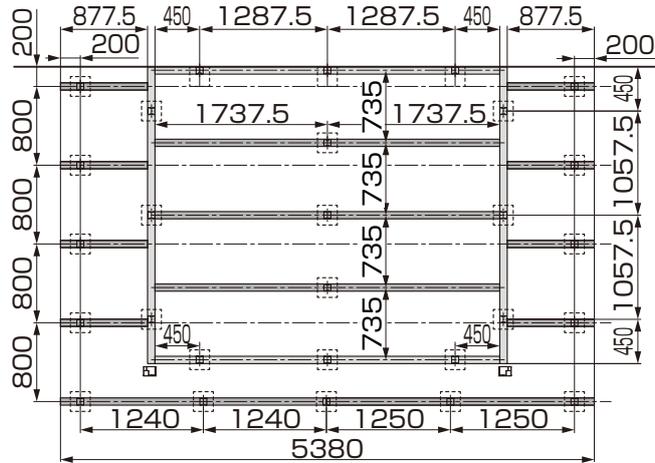
3-1-8 8尺×3.0間



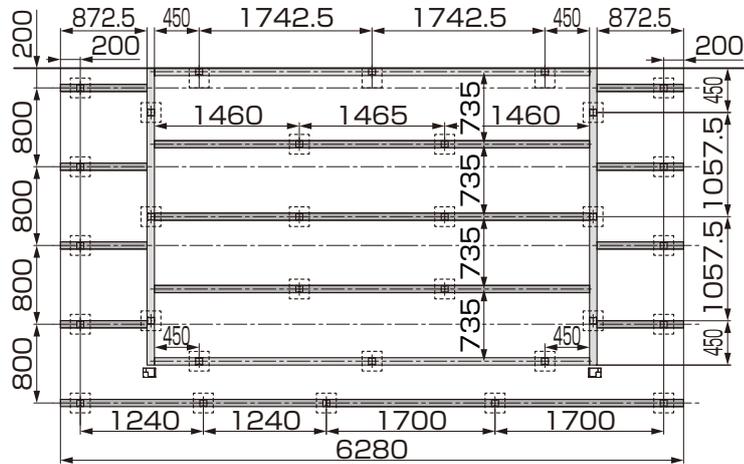
3-1-9 10尺×1.5間



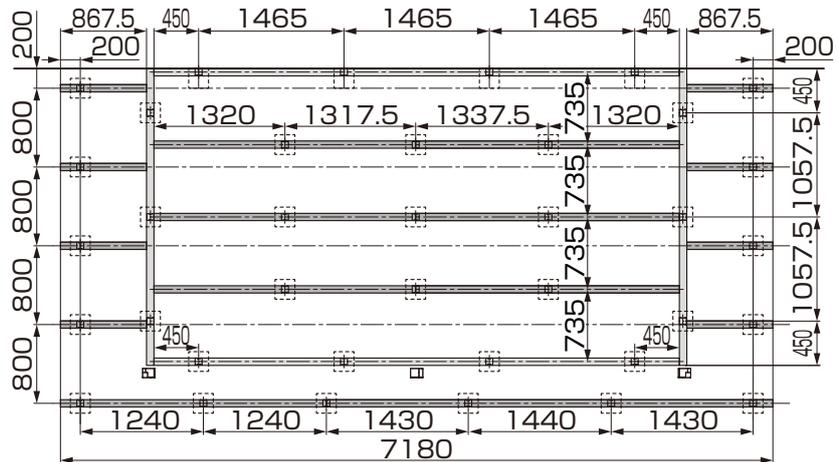
3-1-10 10尺×2.0間



3-1-11 10尺×2.5間

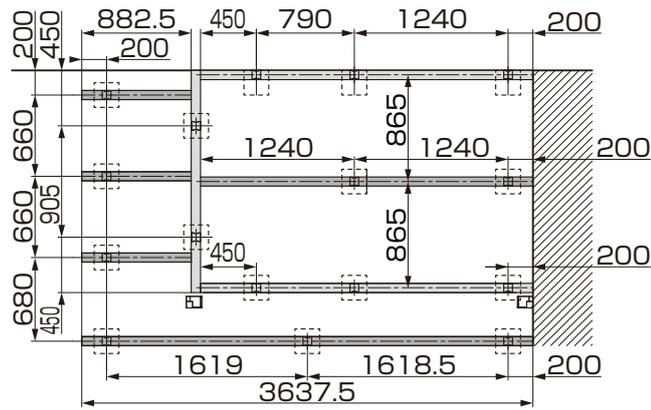


3-1-12 10尺×3.0間

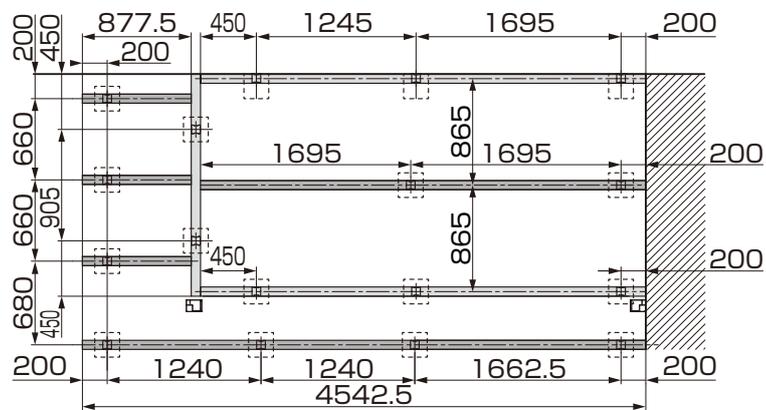


3-2 入隅仕様

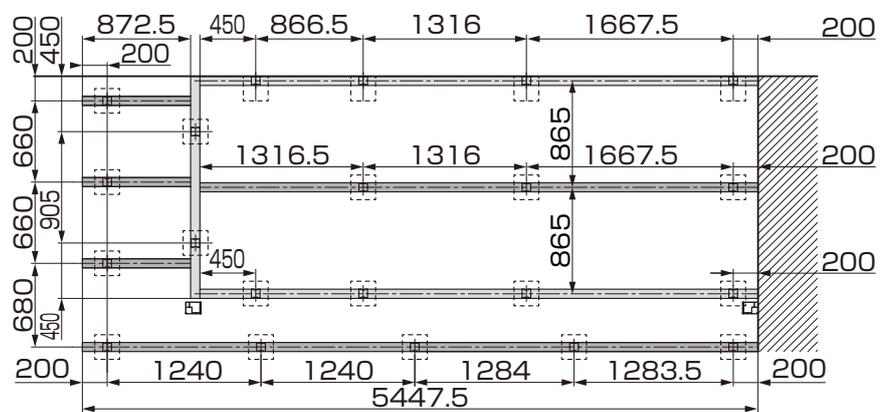
3-2-1 6尺×1.5間



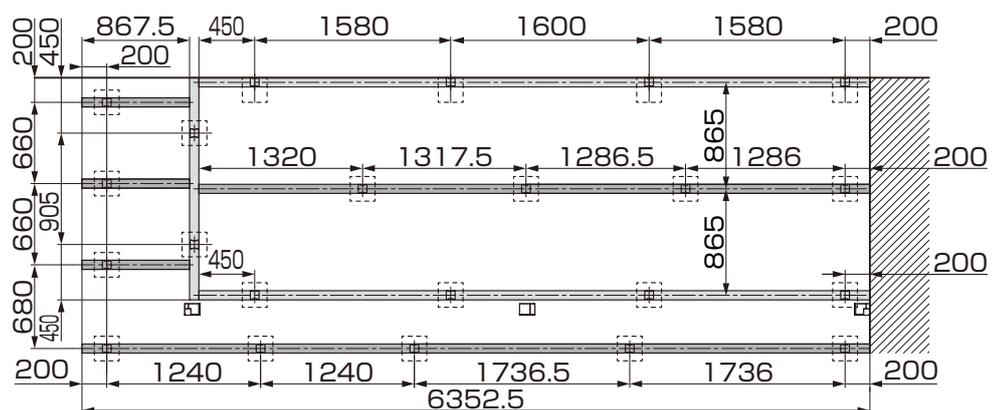
3-2-2 6尺×2.0間



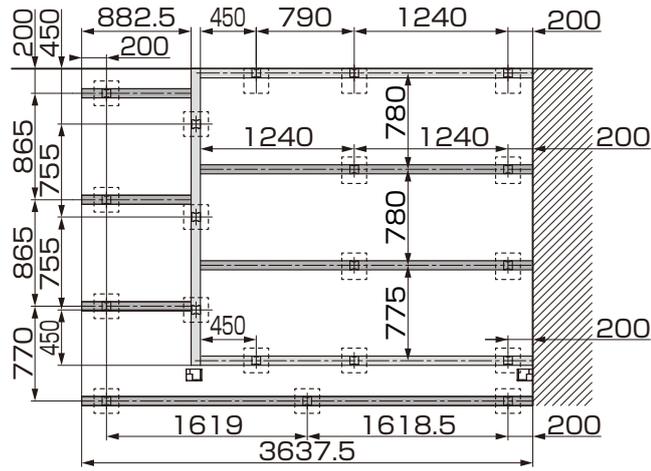
3-2-3 6尺×2.5間



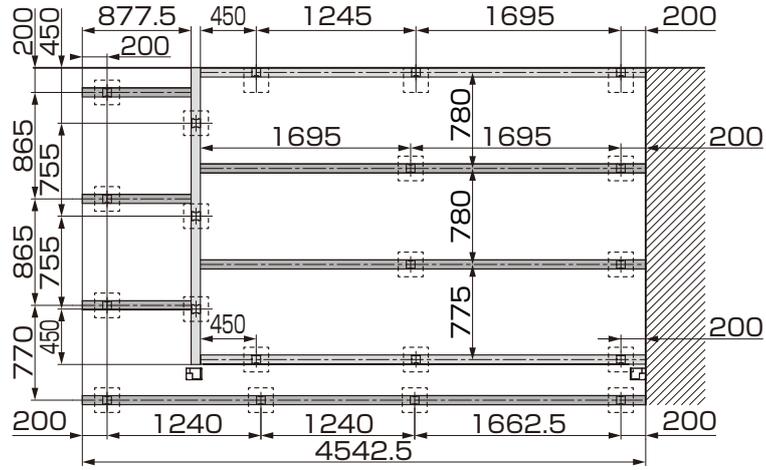
3-2-4 6尺×3.0間



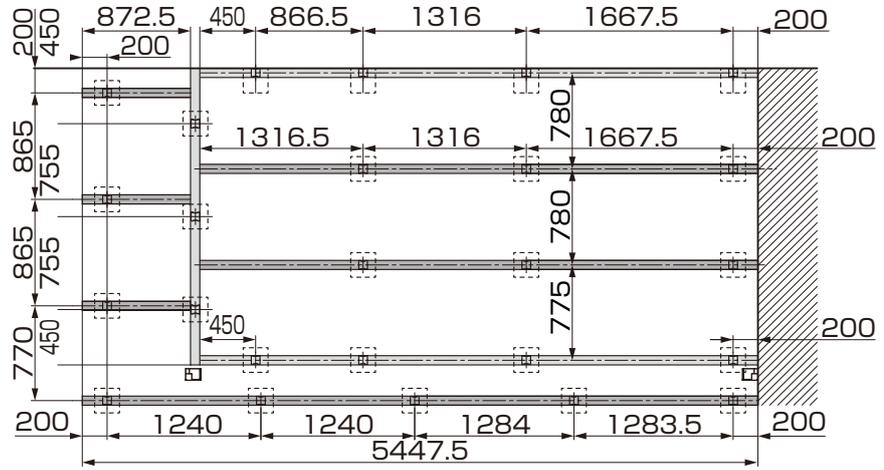
3-2-5 8尺×1.5間



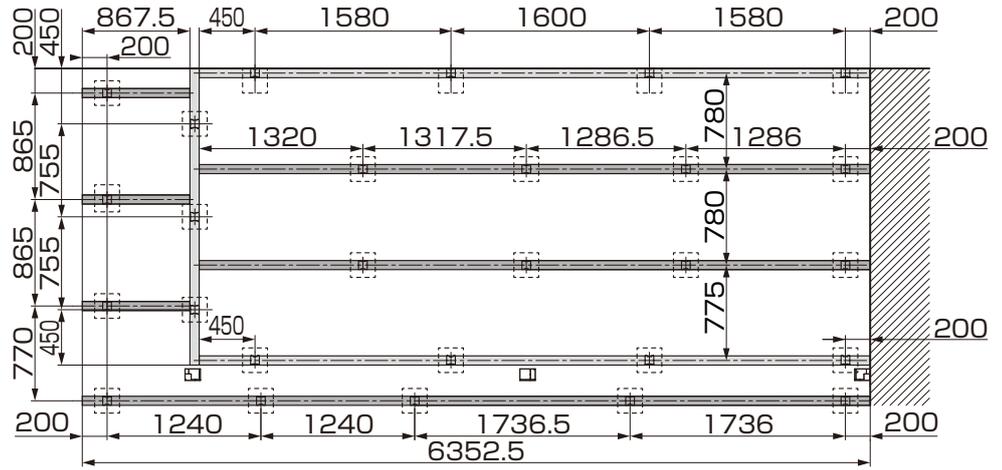
3-2-6 8尺×2.0間



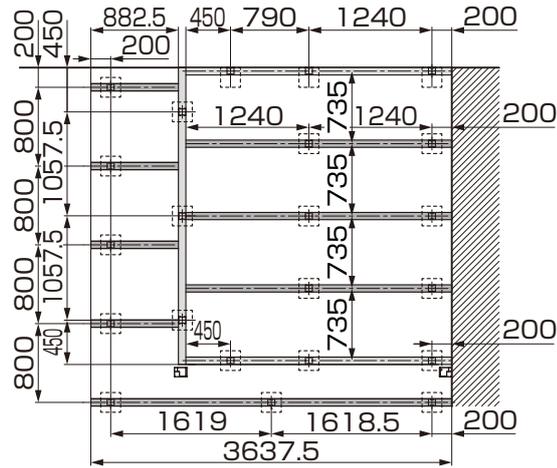
3-2-7 8尺×2.5間



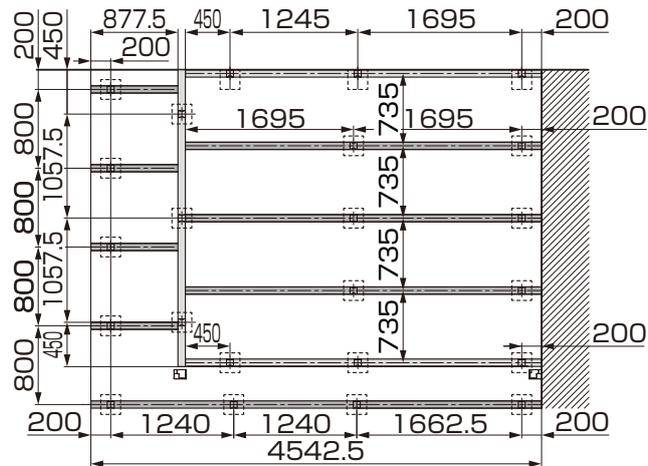
3-2-8 8尺×3.0間



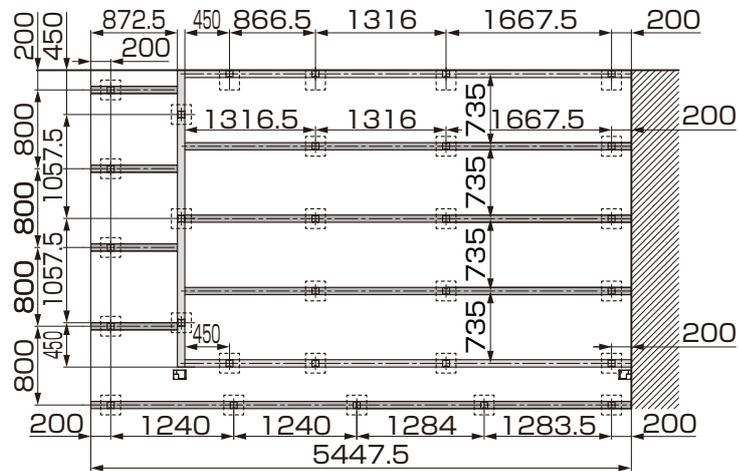
3-2-9 10尺×1.5間



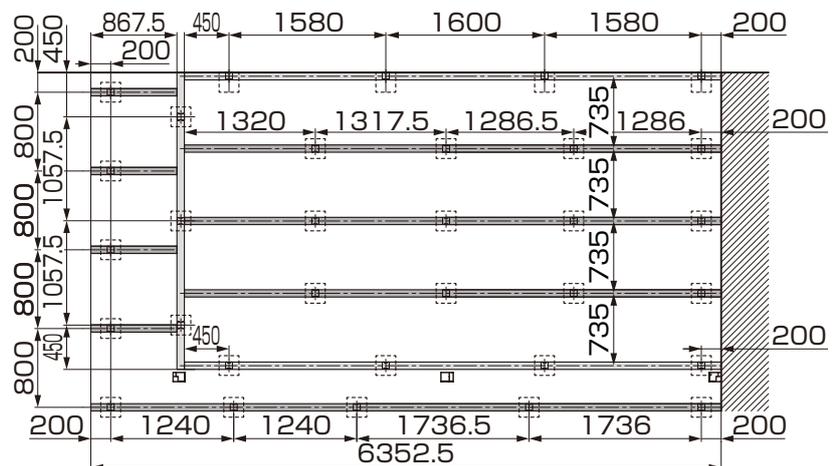
3-2-10 10尺×2.0間



3-2-11 10尺×2.5間



3-2-12 10尺×3.0間

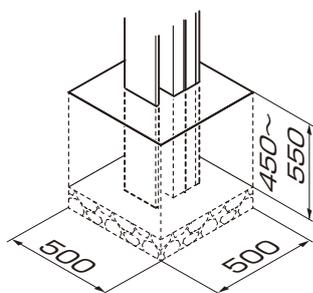


4 柱の位置だし

4-1 単体仕様

Pポイント

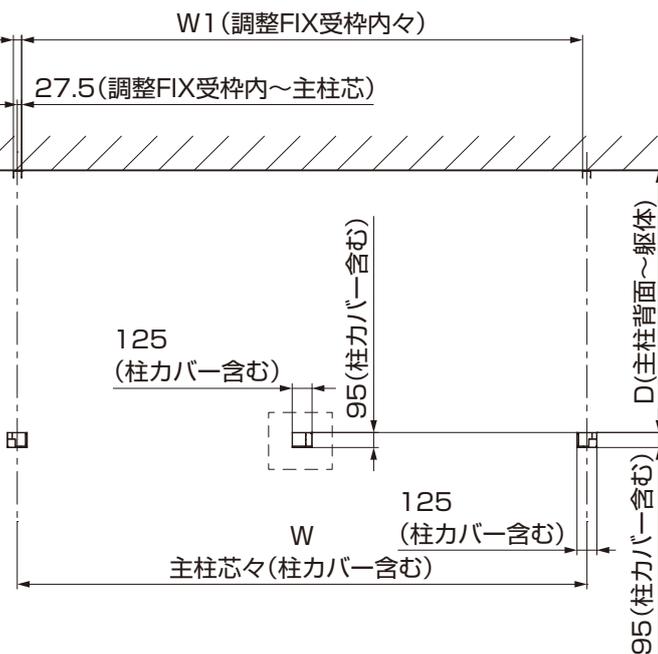
- 中間柱の位置については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- 柱の下面に砕石を敷きつめてください。



基礎サイズ(各柱共通)

出幅寸法

| 出幅 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
|----|------|------|------|
| D | 1835 | 2440 | 3045 |



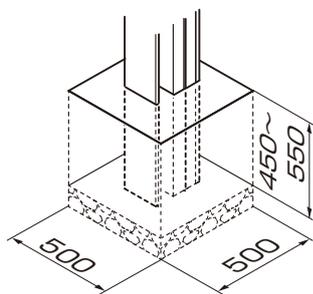
間口寸法

| 間口 | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
|----|------|------|------|------|
| W | 2670 | 3580 | 4490 | 5400 |
| W1 | 2615 | 3525 | 4435 | 5345 |

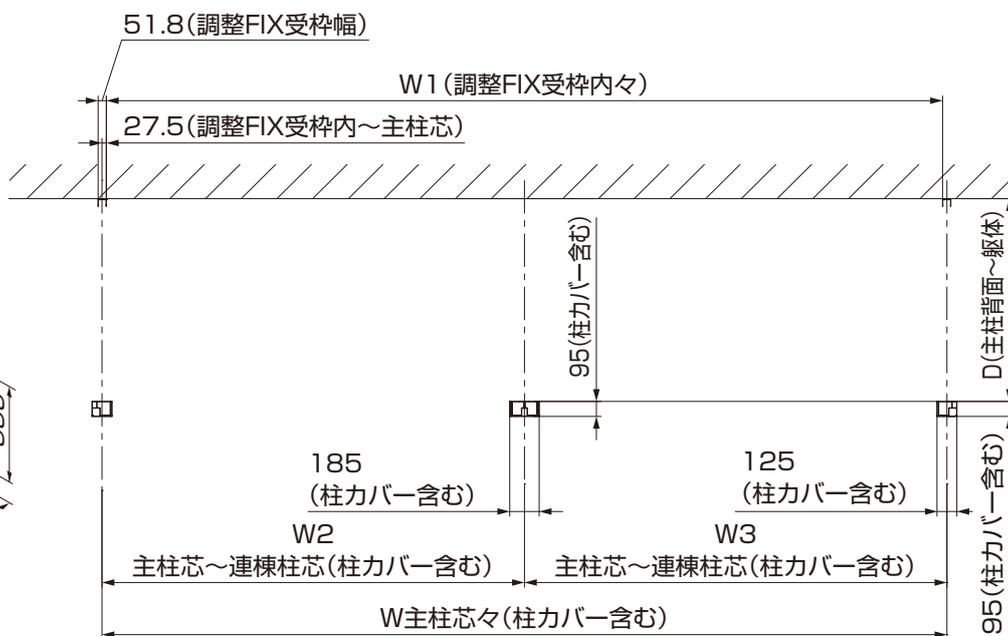
4-2 連棟仕様

Pポイント

- 中間柱の位置については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- 柱の下面に砕石を敷きつめてください。



基礎サイズ(各柱共通)



出幅寸法

| 出幅 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
|----|------|------|------|
| D | 1835 | 2440 | 3045 |

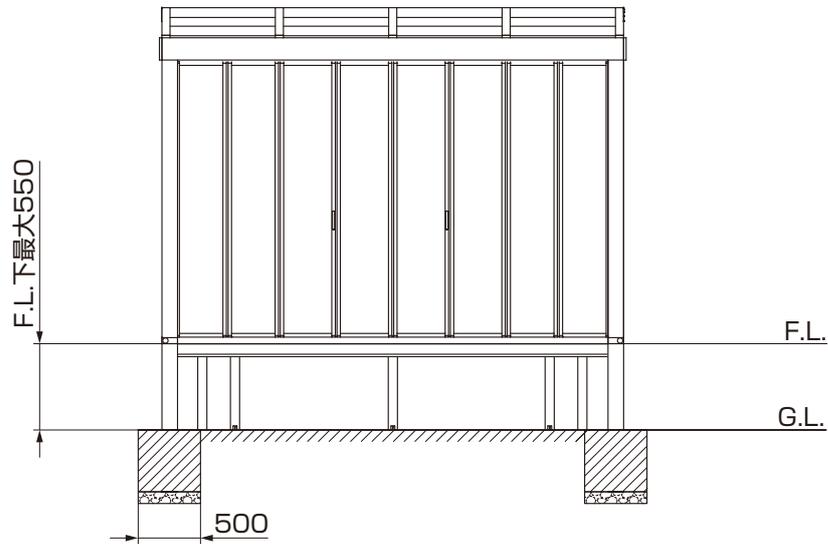
間口寸法

| 間口 | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | | |
|-------|------|------|------|------|------|-------|
| W2、W3 | 2700 | 3610 | 4520 | 5430 | | |
| 間口 | 3.5間 | 4.0間 | 4.5間 | 5.0間 | 5.5間 | 6.0間 |
| W | 6310 | 7220 | 8130 | 9040 | 9950 | 10860 |
| W1 | 6255 | 7165 | 8075 | 8985 | 9895 | 10805 |

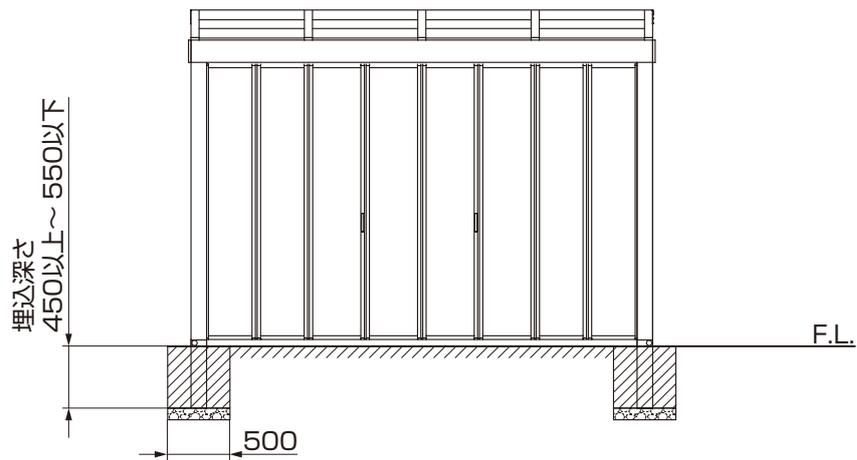
5 代表的な施工例

5-1 標準柱

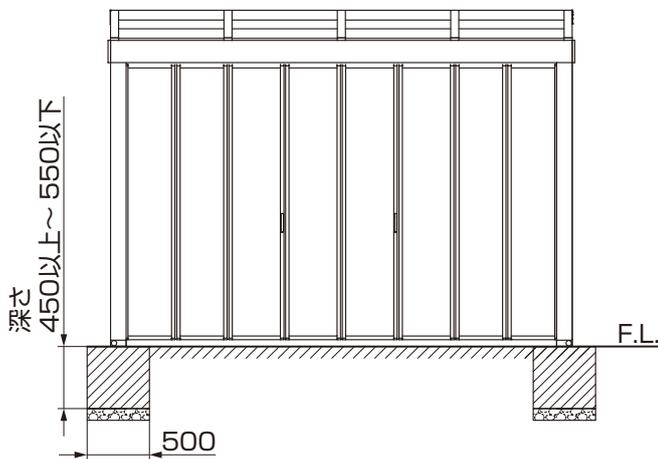
5-1-1 デッキ施工 ベースプレート施工 ※ベースプレートのデッキ上施工はできません。



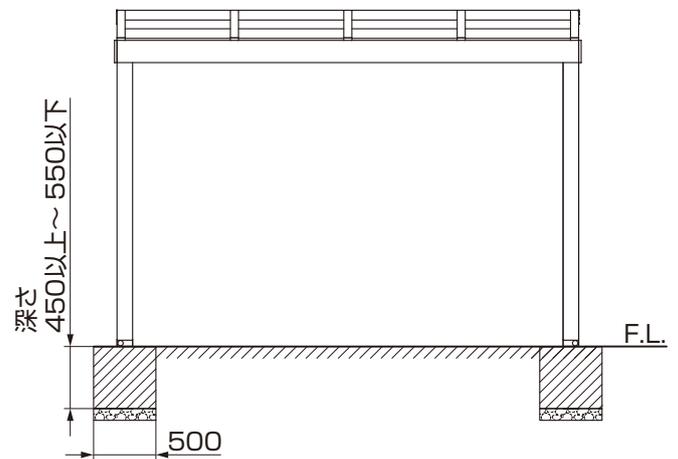
5-1-2 土間施工 柱埋込み仕様



5-1-3 デッキ施工・土間施工 ベースプレート施工 ※ルームタイプのベースプレート施工は土間のみとなります。



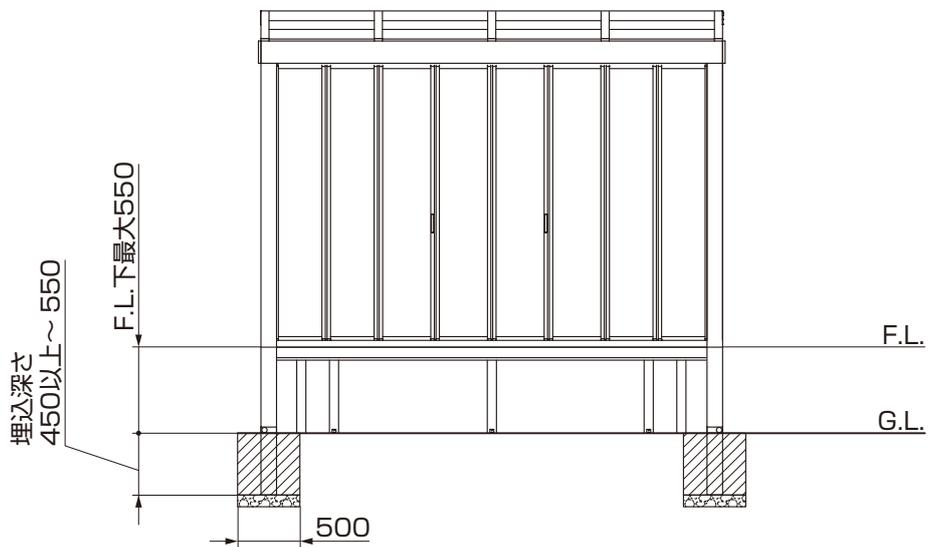
ルームタイプ



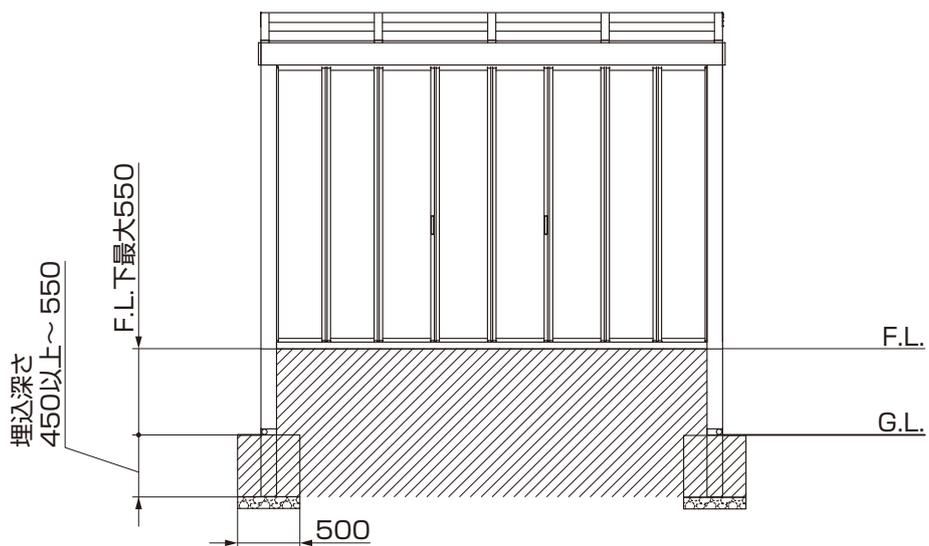
テラスタイプ

5-2 ロング柱

5-2-1 デッキ施工 柱埋込み仕様



5-2-2 デッキ施工・土間施工 外面床なし仕様(インナーデッキなど)



6 施工前の重要確認事項

6-1 柱・垂木掛けの取付け

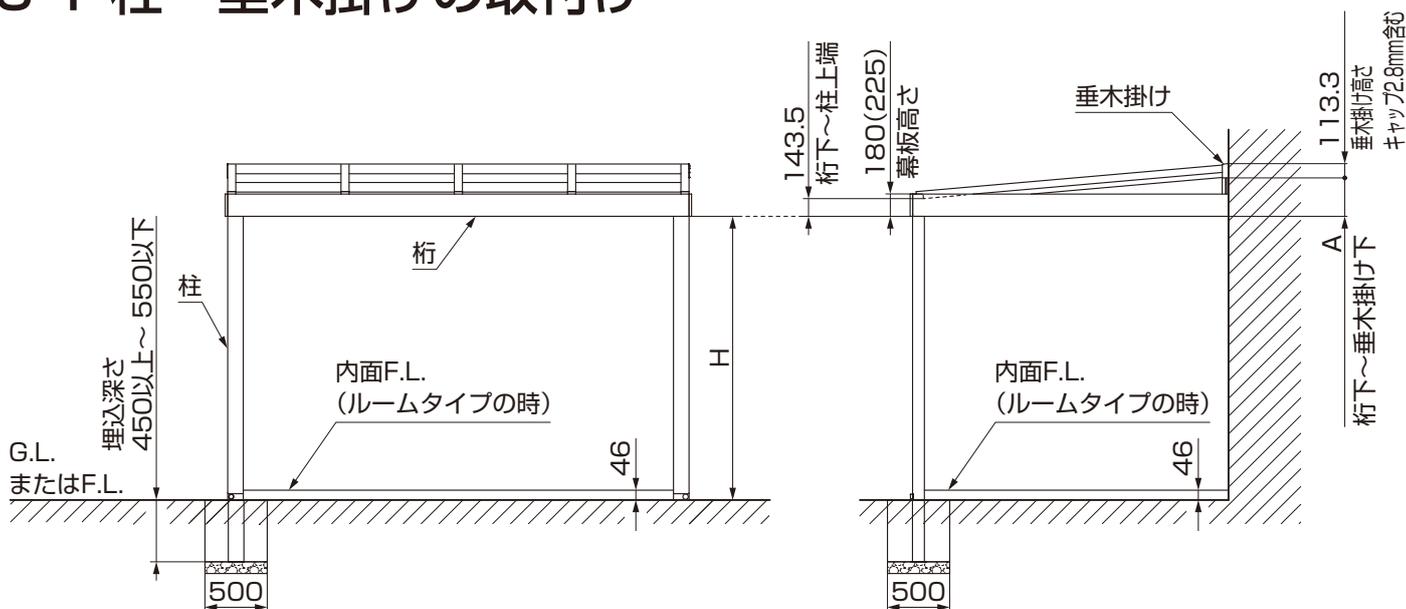


表6-1 垂木掛け固定位置(F.L.～垂木掛け下面)

※()寸法は強度桁(大型)を示します。

| | 6R | | | |
|-------|------|----------|------------|---------------------------|
| | H | A | H+A | 許容範囲 |
| H2100 | 2100 | 260(305) | 2360(2405) | 2357 ~ 2361 (2402 ~ 2406) |
| H2300 | 2300 | 260(305) | 2560(2605) | 2557 ~ 2561 (2602 ~ 2606) |
| H2500 | 2500 | 260(305) | 2760(2805) | 2757 ~ 2761 (2802 ~ 2806) |

| | 8R | | | |
|-------|------|--------------|----------------|---------------------------|
| | H | A | H+A | 許容範囲 |
| H2100 | 2100 | 312.9(357.9) | 2412.9(2457.9) | 2410 ~ 2414 (2455 ~ 2459) |
| H2300 | 2300 | 312.9(357.9) | 2612.9(2657.9) | 2610 ~ 2614 (2655 ~ 2659) |
| H2500 | 2500 | 312.9(357.9) | 2812.9(2857.9) | 2810 ~ 2814 (2855 ~ 2859) |

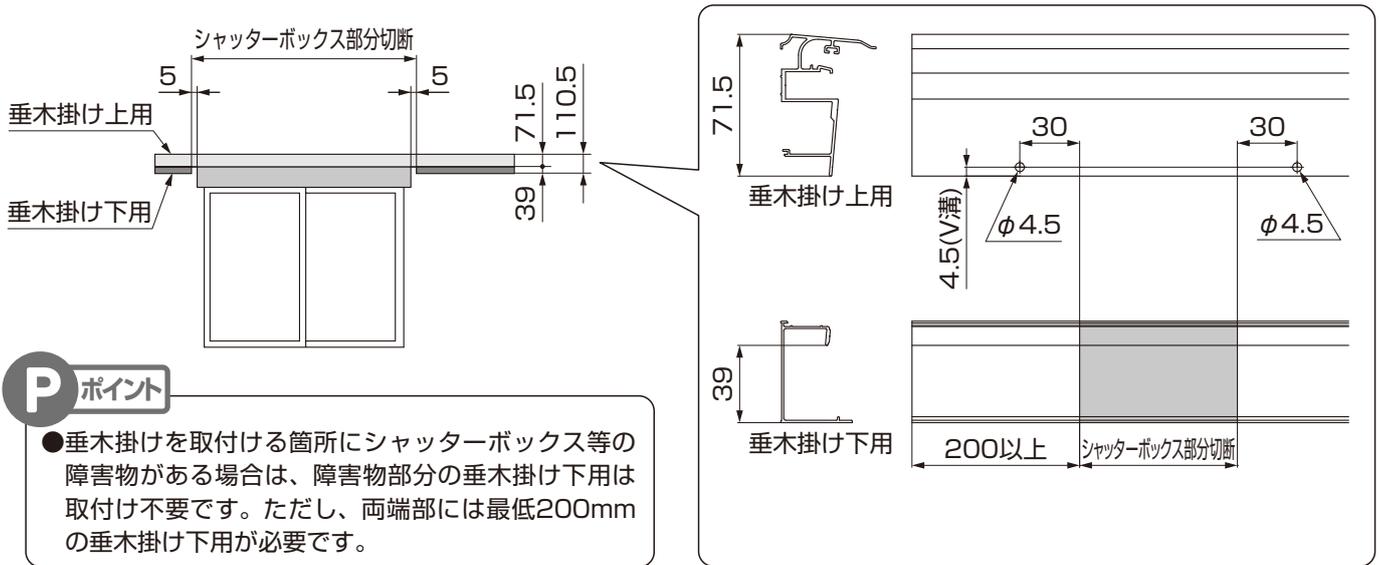
| | 10R | | | |
|-------|------|--------------|----------------|---------------------------|
| | H | A | H+A | 許容範囲 |
| H2100 | 2100 | 365.8(410.8) | 2465.8(2510.8) | 2463 ~ 2467 (2508 ~ 2512) |
| H2300 | 2300 | 365.8(410.8) | 2665.8(2710.8) | 2663 ~ 2667 (2708 ~ 2712) |
| H2500 | 2500 | 365.8(410.8) | 2865.8(2910.8) | 2863 ~ 2867 (2908 ~ 2912) |

P ポイント

- 「基本寸法と各部の名称 基本寸法(P.8参照)」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。
- ルームタイプでは垂木掛けの固定の高さ、柱の埋込みや柱の切断寸法は表6-1の許容範囲に納まるように施工してください。許容範囲外で施工した場合、下レール回転ブレードの作動に悪影響をきたし、雨水などの浸入の原因になります。
- 柱の垂直出しは確実に行なってください。躯体からの距離は基準にしないでください。
- 柱の長さは、埋込み寸法の最大値を550mm、G.L.～F.L.寸法の最大値を550mmとして設定しております。
- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず現場実寸法を確認してください。
- 柱は必ず下側より切断してください。
- 柱の切断寸法は「テラス部の施工 柱の加工(P.55参照)」を参照してください。
- 柱の埋込み寸法は必ず450mm以上を確保してください。
- それぞれが短くなった分、エクシオールおよびテラスの高さを高くしないでください。

6-2 垂木掛けの分割利用について

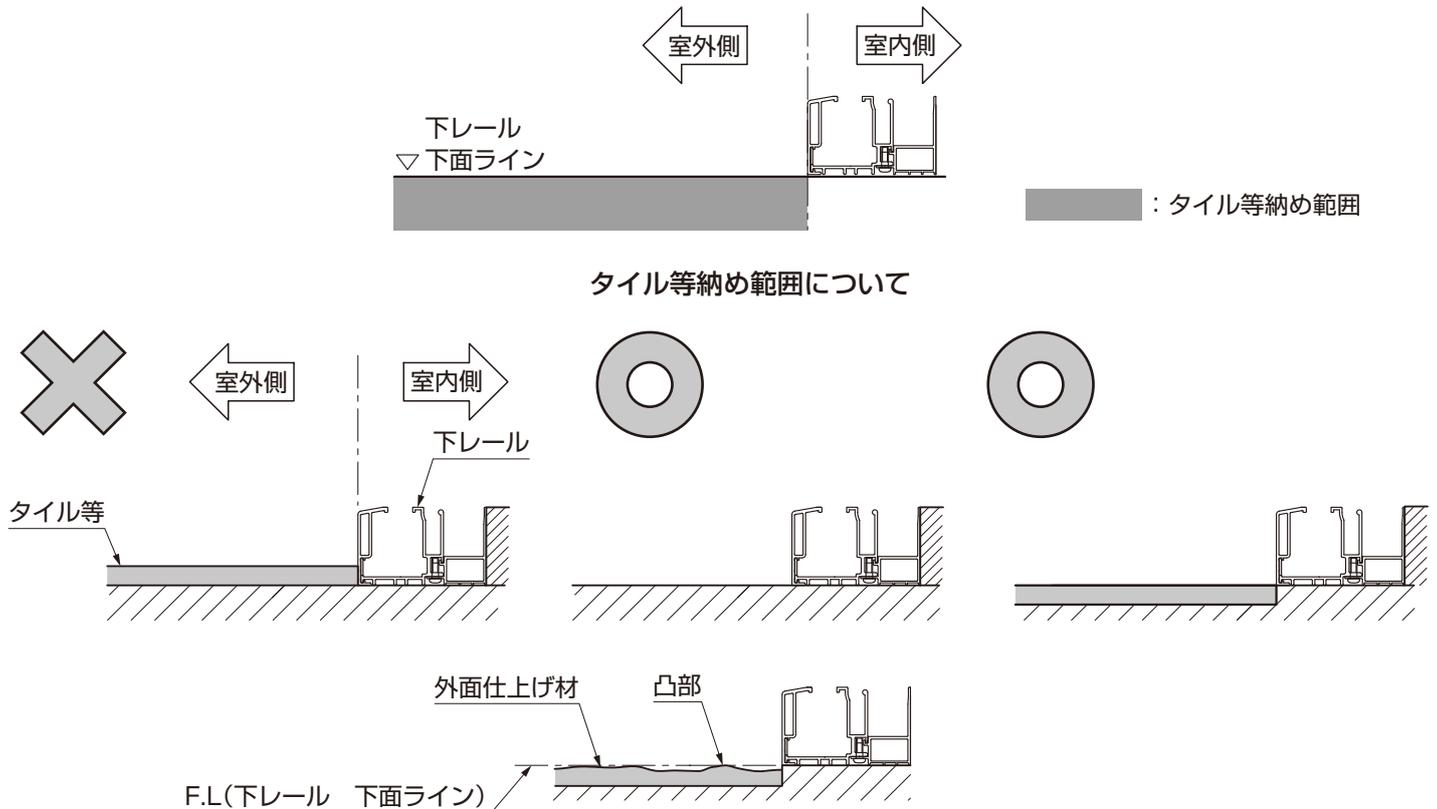
※垂木掛け打付け面の障害物(シャッターボックスなど)を避けて設置する方法です。



6-3 床面仕上げについて

6-3-1 外面仕上げについて

①室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。



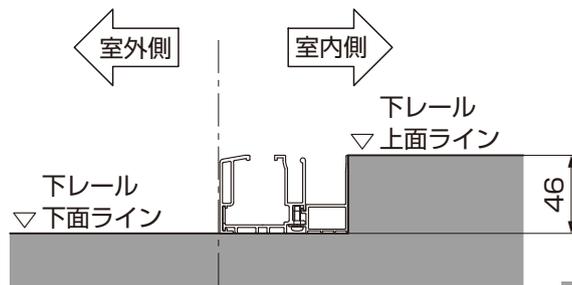
凸凹の大きいタイル等の納まりについて

Pポイント

- タイル等は  の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなくなる場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

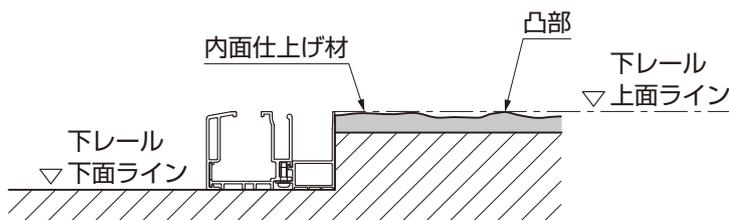
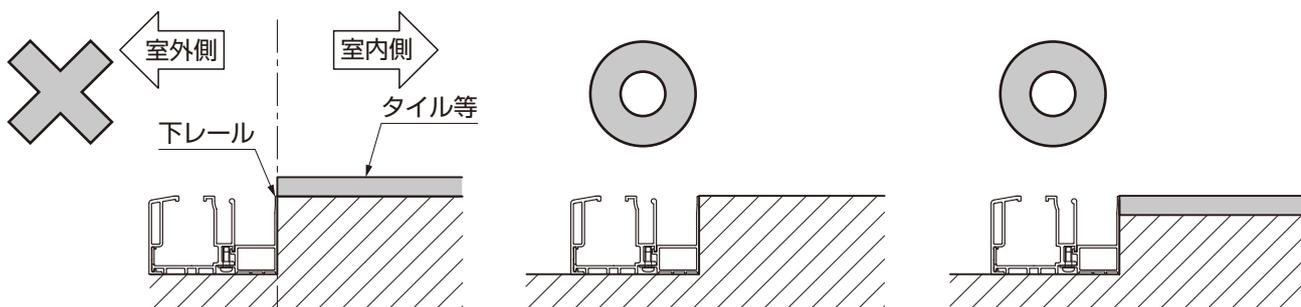
6-3-2 内面立上げ施工の内面仕上げについて

①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。



仕上げ範囲について

■ : 土間(タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



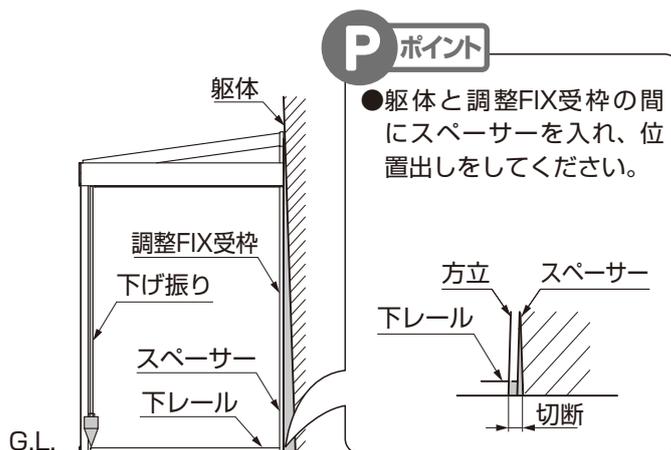
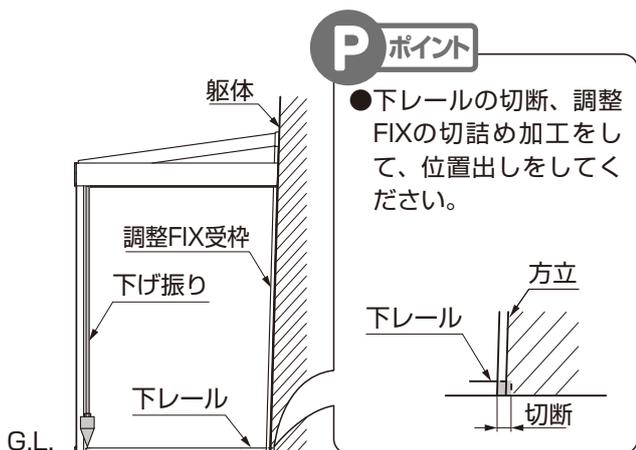
凸凹の大きいタイル等の納まりについて

Pポイント

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面より高くしてしまうと、オプションの網戸レールを取付けた場合、網戸レールが折戸パネル下面にあたり、折戸パネルや網戸レールが破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くないように仕上げてください。

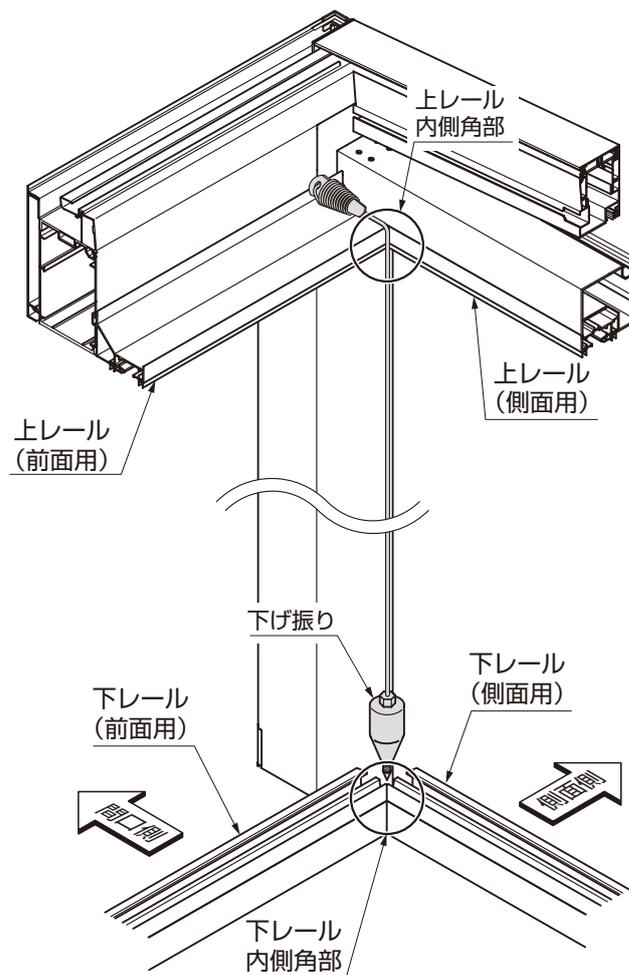
6-4 ルームタイプ 方立の取付け、調整FIXの固定について

①躯体の状態によって、調整FIX受枠に調整FIXを固定できない場合、調整FIX受枠と調整FIXを固定できるように調整をして、位置出しを行なってください。



E430_201705B

6-5 コーナー部の垂直出しについて

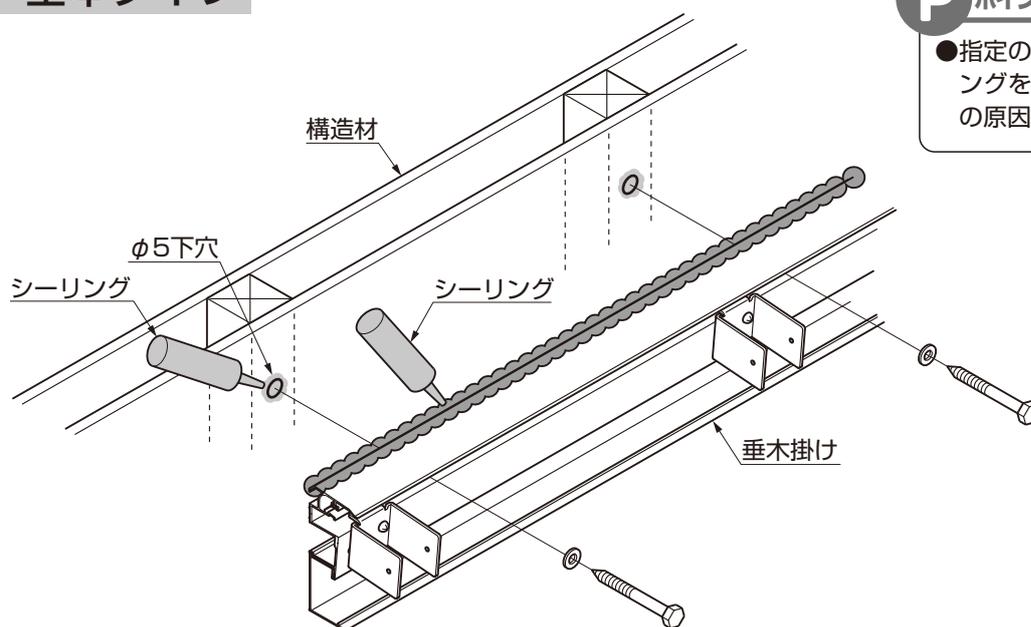


Pポイント

- 側面上レールと側面下レールの内側角部を、下げ振りを使って垂直な位置にしてください。この作業を行わないと、パネルのコーナー部の通過がスムーズでなくなります。

6-6 シーリング処理

6-6-1 基本タイプ



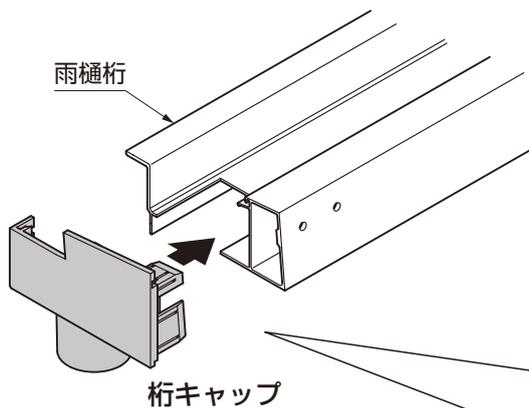
垂木掛け、垂木掛け取付けネジ打ち込み部

Pポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

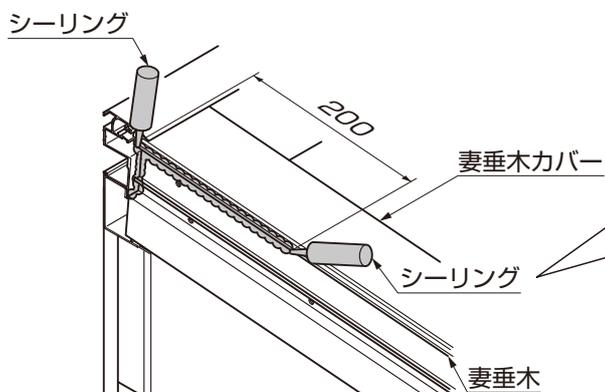
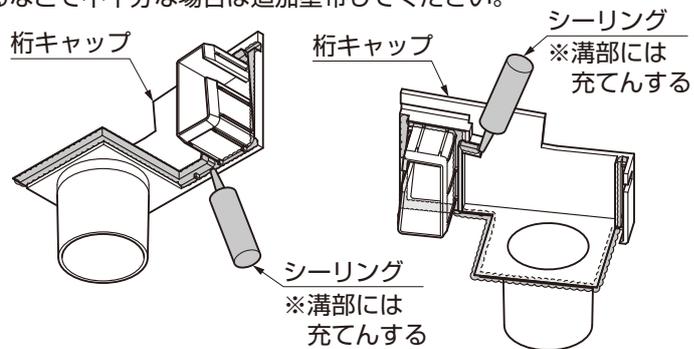
Pポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

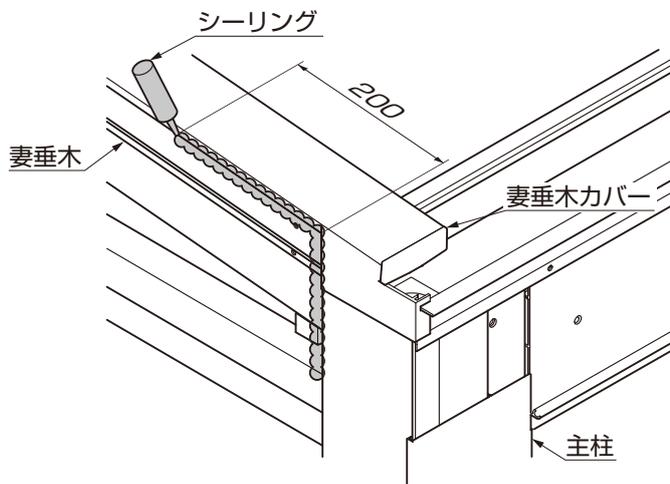
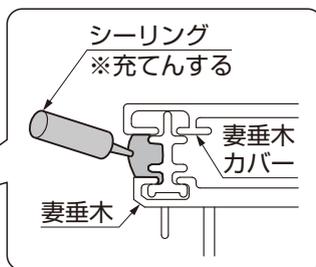


Pポイント

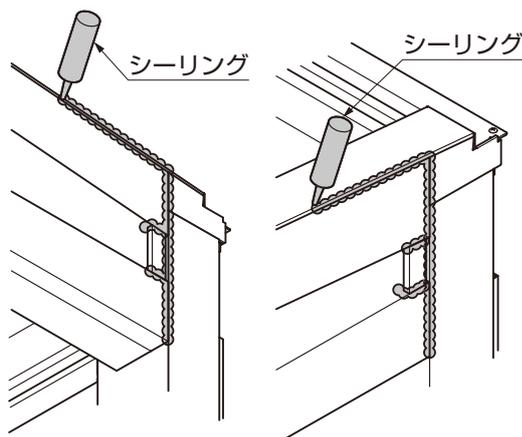
●組付け後はシーリングが雨樋と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。シーリングが組付けによって、切れるなどで不十分な場合は追加塗布してください。



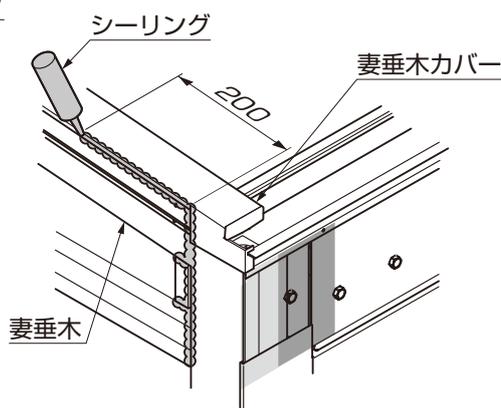
垂木掛け・妻垂木・妻垂木カバー



主柱・妻垂木・妻垂木カバー(強度桁(標準))



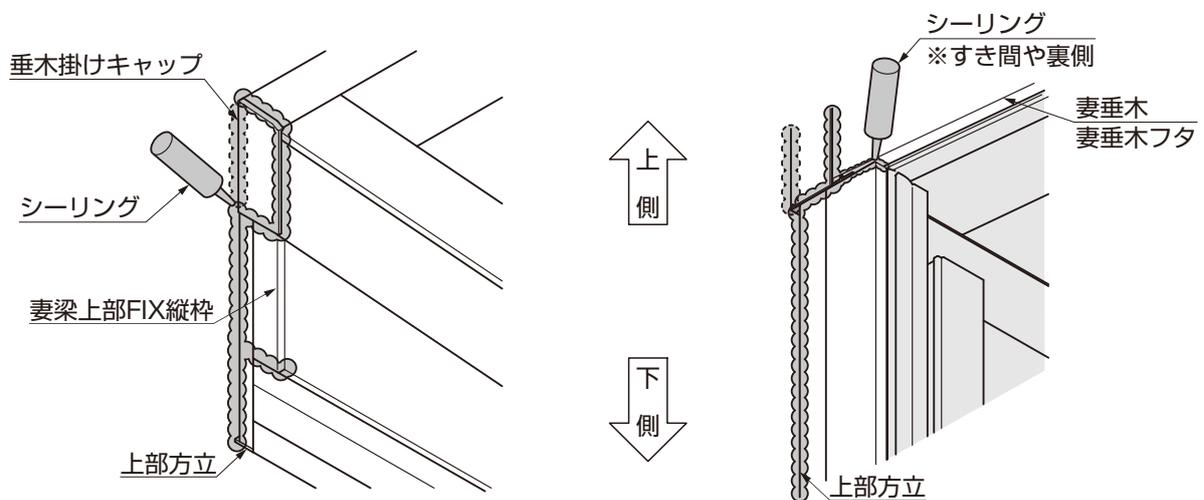
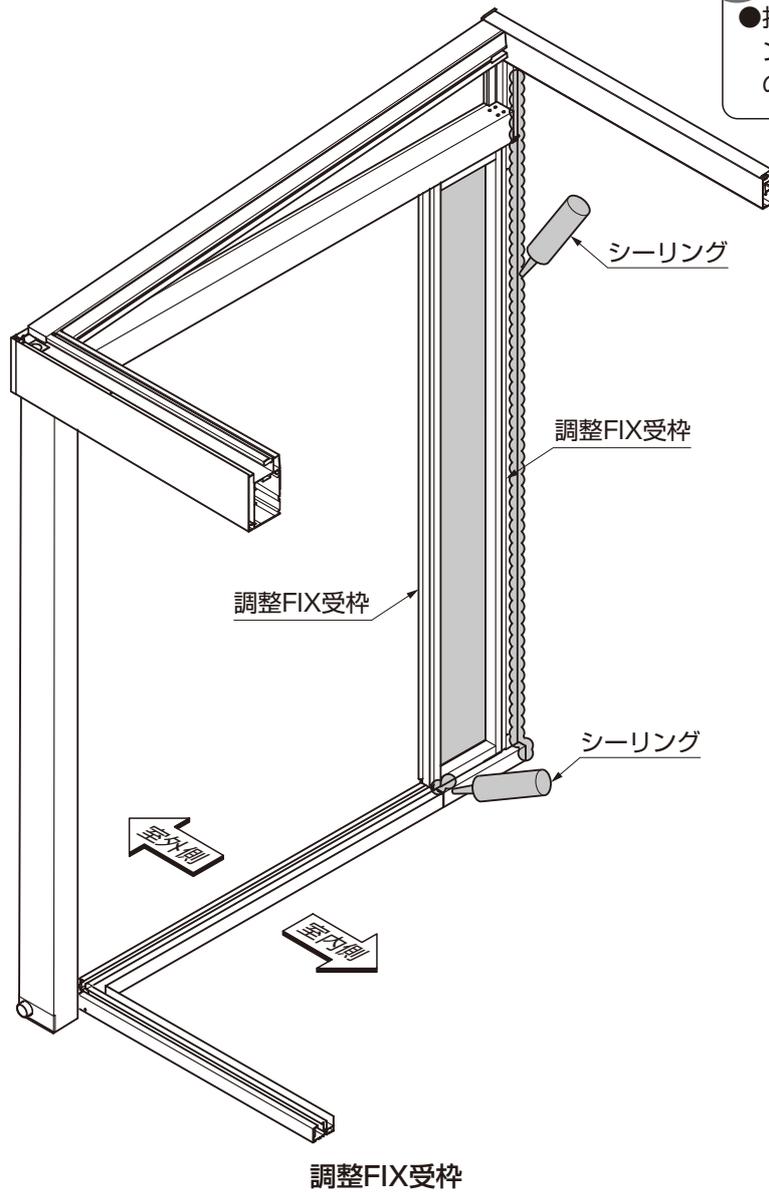
主柱・妻垂木・妻垂木カバー(強度桁(大型))



6-6-1 基本タイプ(つづき)

Pポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

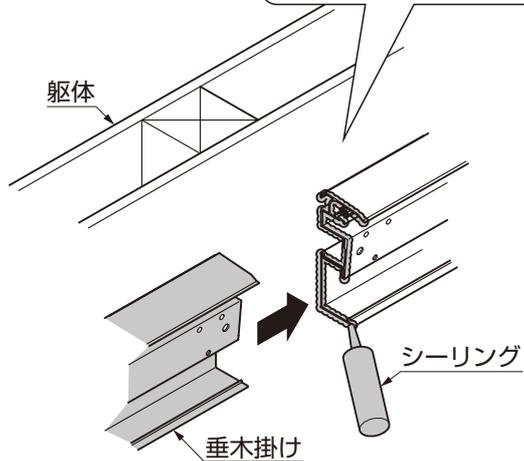


垂木掛けキャップ・上部方立・妻梁上部FIX縦枠・妻垂木・妻垂木フタ

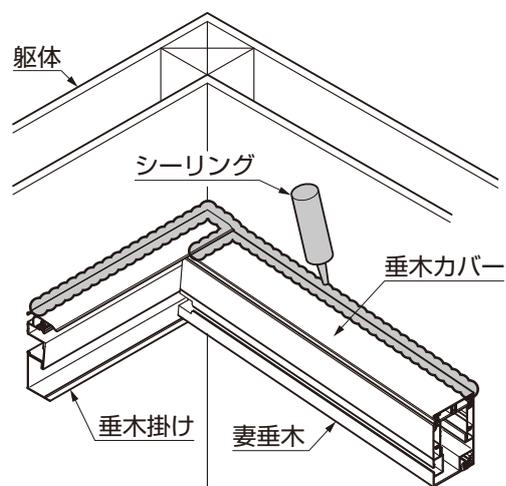
6-6-2 連棟、入隅の場合 ※基本タイプのシーリングに加えて行なってください。

P ポイント

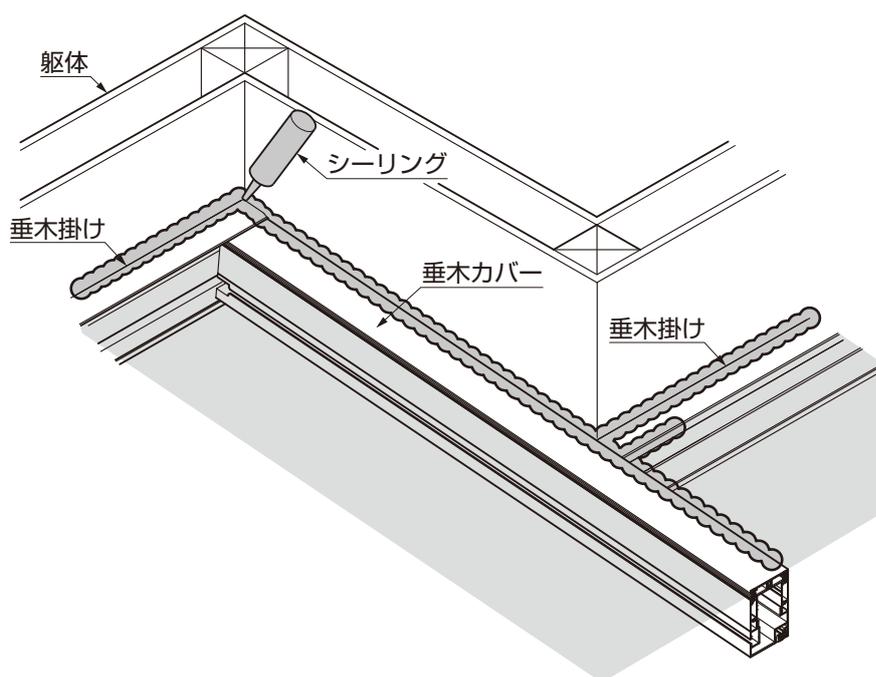
- 組付けによって切れるなどで不十分な場合は追加塗布してください。



連棟時 垂木掛け



入隅時 躯体側妻垂木側面材



出幅違い躯体側垂木部

7 水盛遣方・水糸張り

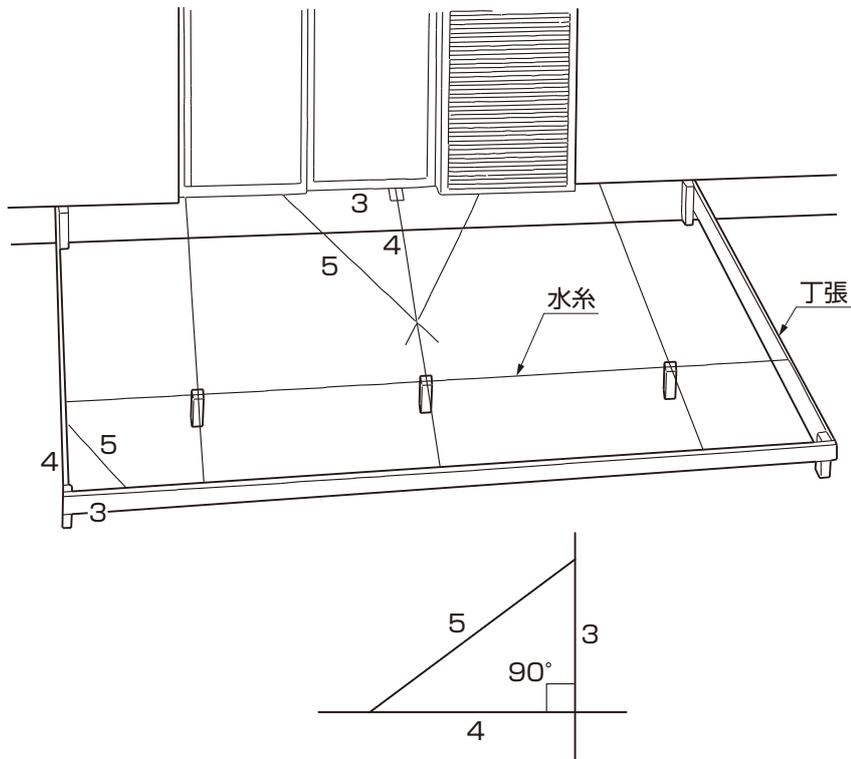


図7-1 直角出し寸法

- ①「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図7-1の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。
- ⑤基準となる箇所の寸法を図7-2を参照し、必要部分の墨出しをしてください。

P ポイント

- ルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないと折戸パネルの開閉や下レール回転ブレードの作動に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図7-1の方法等で割り出してください。

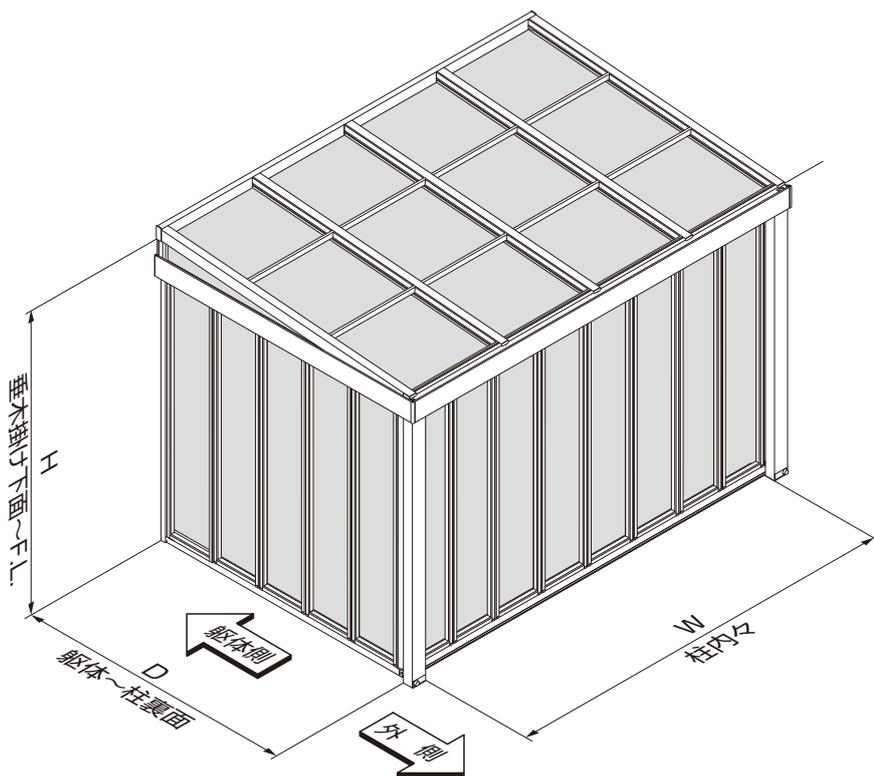


図7-2

8 配線工事

8-1 配線のとりまわし ※LED照明を取り付ける場合の作業です。

8-1-1 注意事項

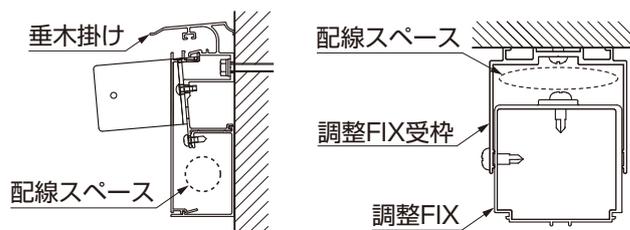
⚠ 注意

- AC100Vの電線の接続、施工には電気工事士の資格が必要です(コネクタ配線を除く)。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

P ポイント

【垂木掛けの溝や調整FIX受枠を配線に利用する場合】

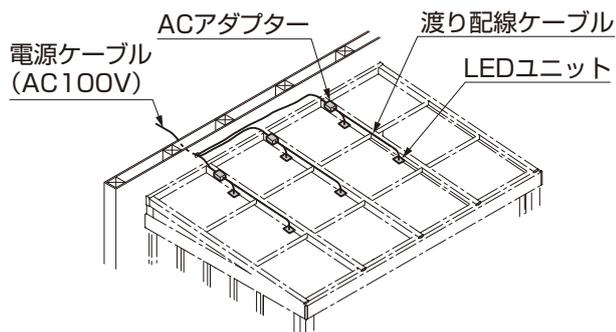
- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



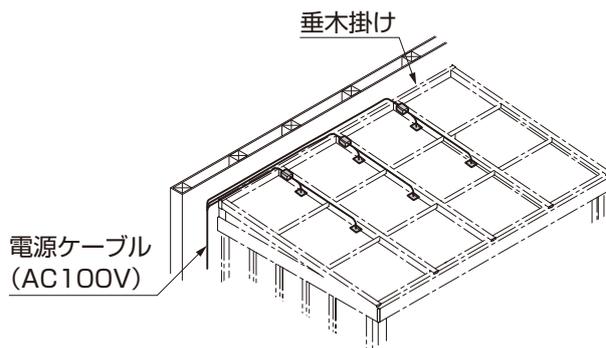
8-1-2 内天井なし・スクエアライト(DC12Vタイプ)の場合

(1) ACアダプターを使用する場合

- ①LEDユニットの配線をとりまわしてください。



躯体に穴をあけて配線する場合



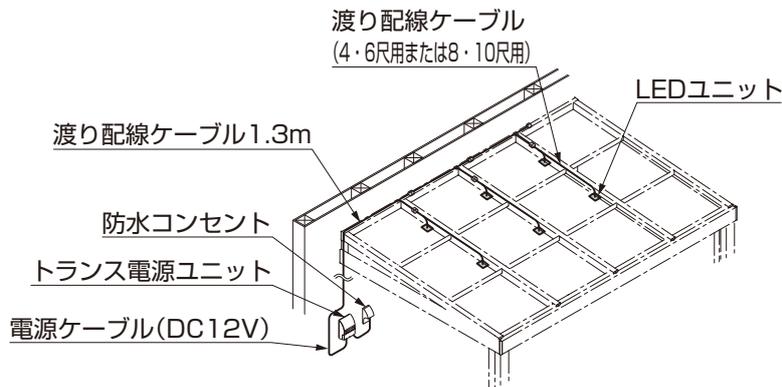
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

P ポイント

- LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

(2) トランス電源ユニット35Wまたは60Wを使用する場合

- ①LEDユニットの配線をとりまわしてください。



P ポイント

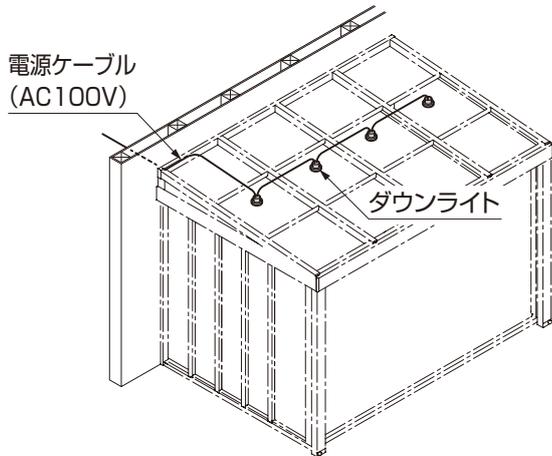
- LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

8-1-3 内天井・ダウンライトの場合

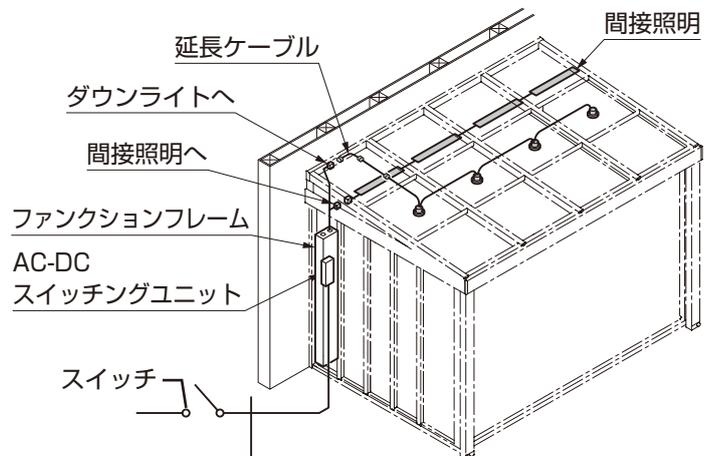
(1) AC100Vタイプを使用する場合

①ダウンライトの配線をとりまわしてください。

※下図配線は一例ですので、
詳細は「エクシオールジーマ 内天井編(E426)」も
合わせてご確認ください。



ダウンライトのみの場合



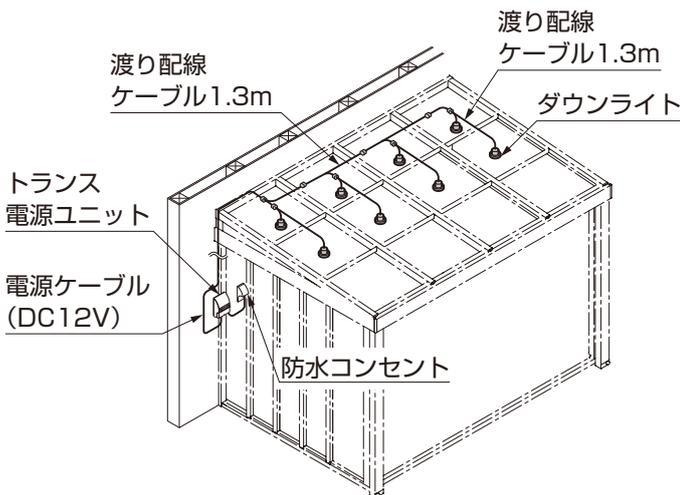
ダウンライト+間接照明の場合

Pポイント

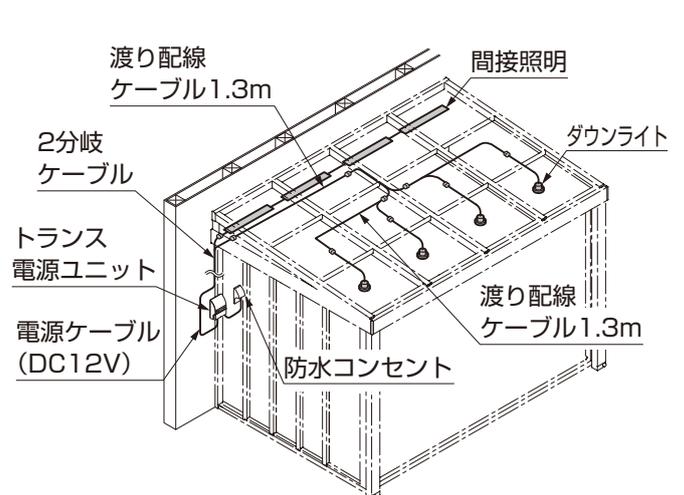
- ダウンライトは、内天井1枚あたり1個までです。
- 電源ケーブル・スイッチは現場手配して下さい。

(2) トランス電源ユニット35Wまたは60Wを使用する場合

①ダウンライトの配線をとりまわしてください。



ダウンライトのみの場合

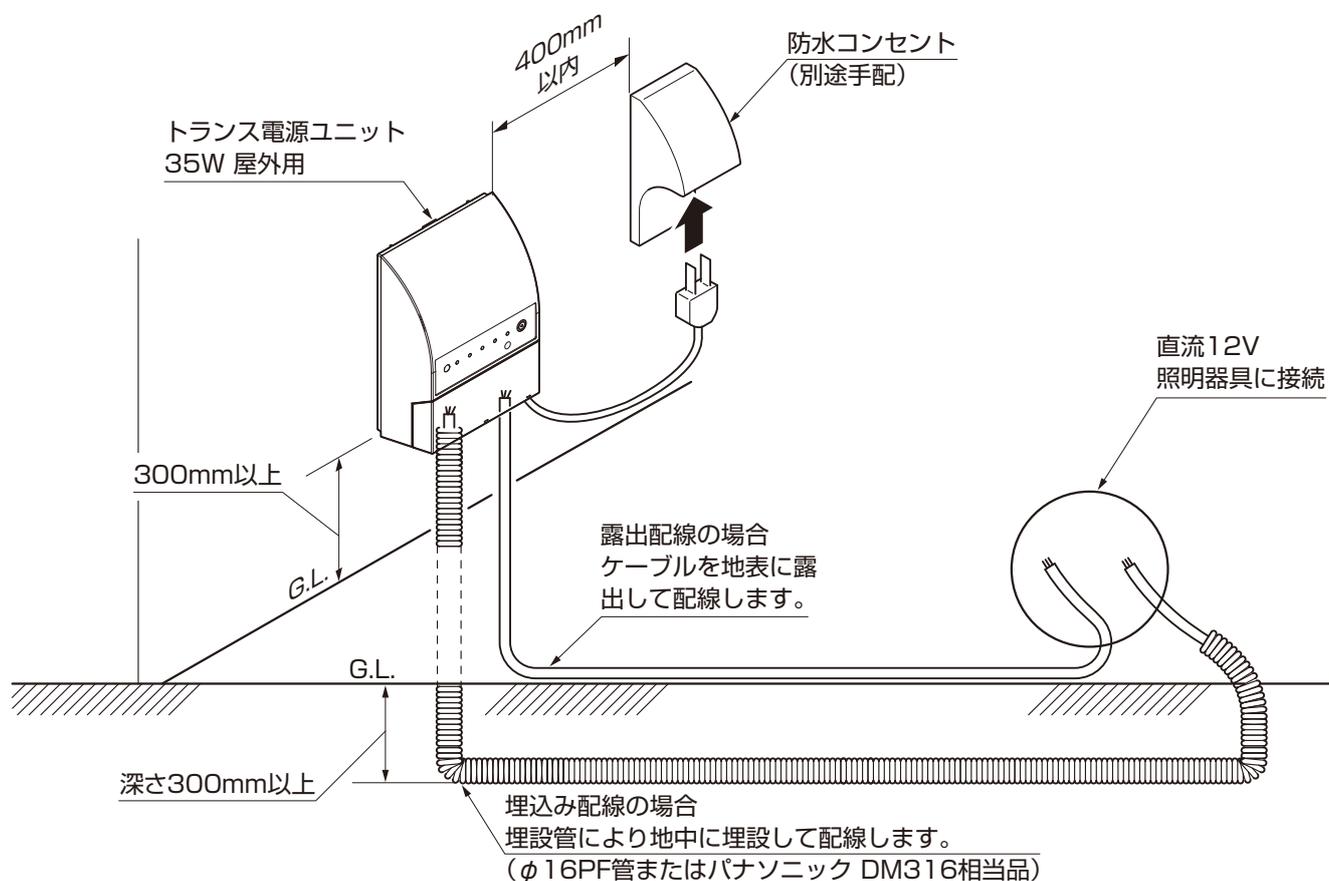


ダウンライト+間接照明の場合

Pポイント

- ダウンライトは、渡り配線ケーブルを介して合計24個まで連続接続が可能です。

8-1-4 配線工事



Pポイント

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W / 60W 屋外用 取付説明書(Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

8-1-5 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け

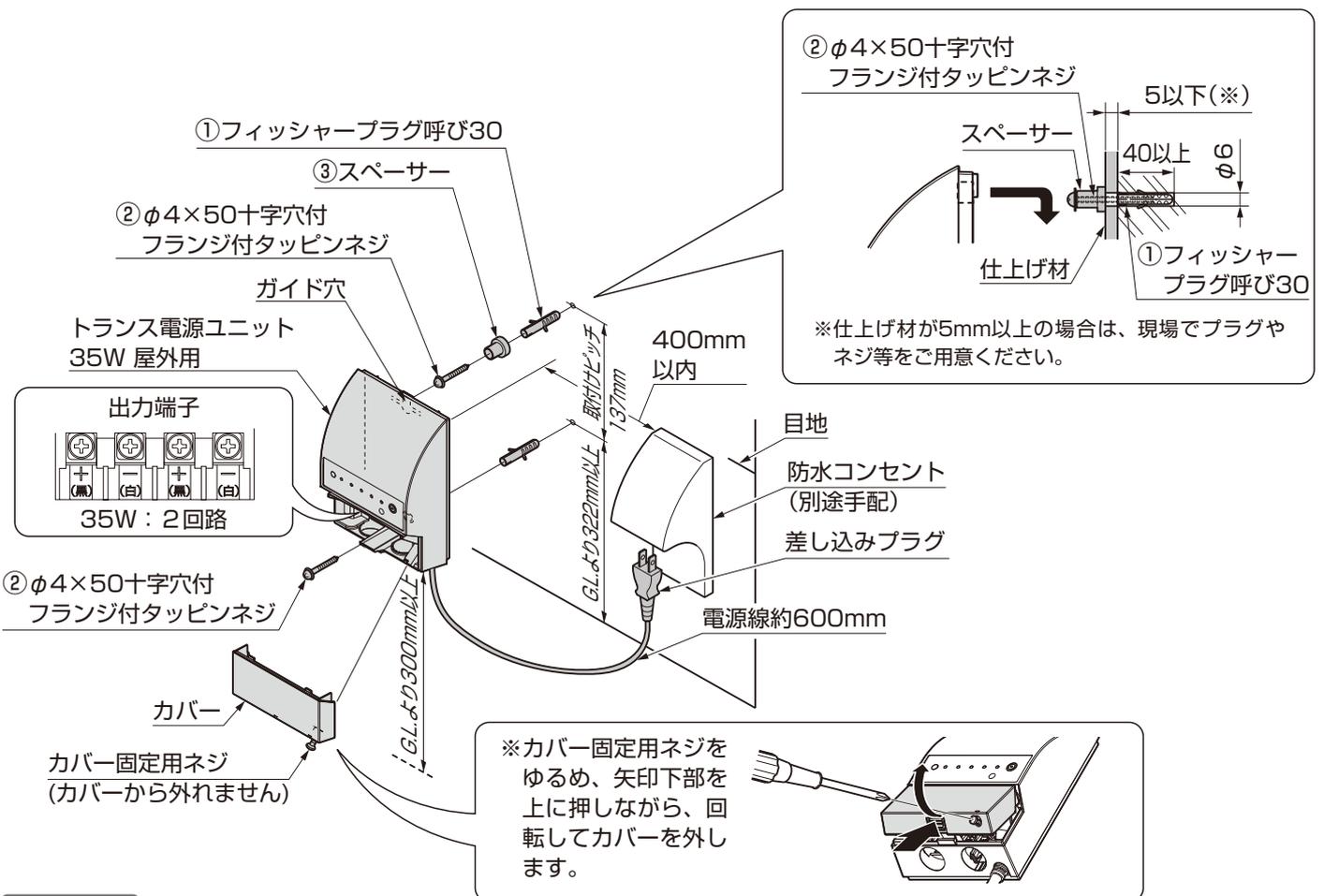
⚠ 注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。

P ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上へ押しながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W/60W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③【①】を下穴に埋め込んでください。
- ④【②】で【③】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W/60W裏面上部のガイド穴に【③】をはめ込み、【②】で壁に固定してください。



⚠ 警告

- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

P ポイント

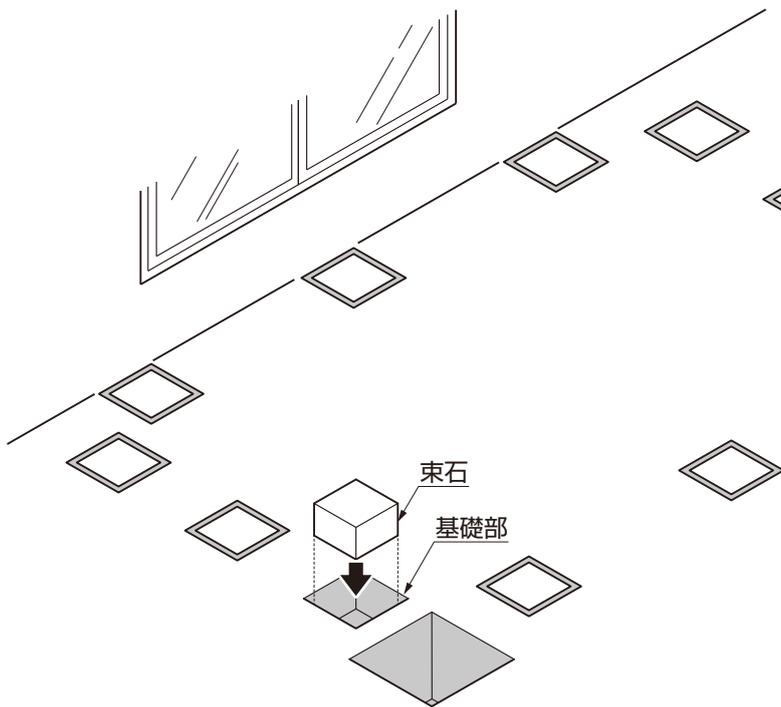
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

9 床ベース材の施工

ルームタイプのみ

9-1 束石の埋設

①束石を束石用の穴に埋設してください。



お願い

●「基礎伏図(P.28)」を参照して束石の位置を確認してください。

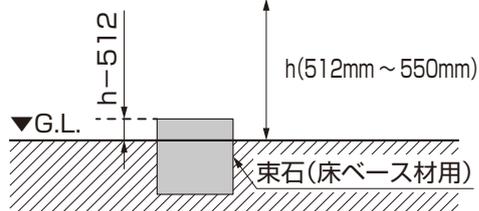
Pポイント

●デッキ施工の場合はここで大引用も同様に埋設してください。

Pポイント

●F.L.下を512mm以上にする場合は、下図を参照して床ベース材用の束石上面をG.L.面より高くしてください。

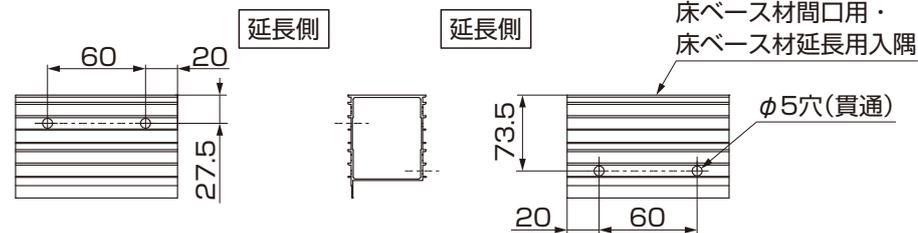
▼F.L.



9-2 間口ベース材の連結

9-2-1 入隅仕様の場合

- ①床ベース材間口用と床ベース材延長用入隅にφ5の穴加工をしてください。
- ②床ベース材連結スリーブ延長用を床ベース材延長用入隅に差込み【ネジ】で取付けてください。
- ③②で組立てたものを床ベース材間口用に差込み【ネジ】で取付けてください。



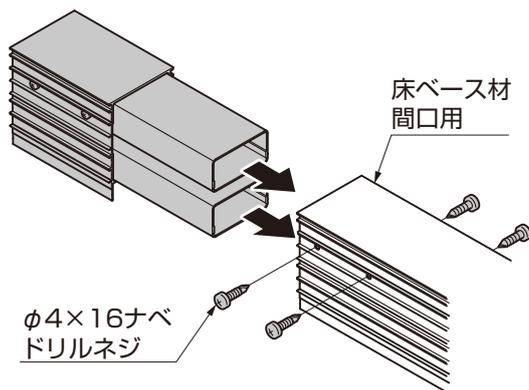
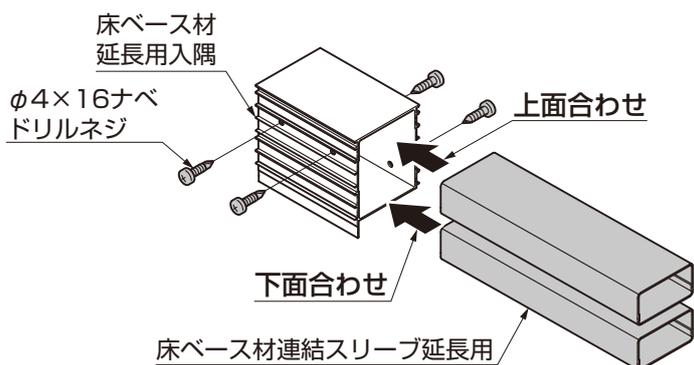
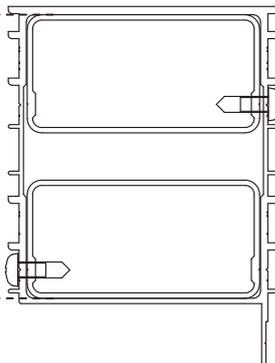
Pポイント

- 2本のスリーブの内、上側は床ベース材の内側の上面合わせ、下側は下面合わせで取付けてください。
- φ5穴の中心とスリーブのV溝は一致しません。
- スリーブには上下があります。

上面合わせ



下面合わせ

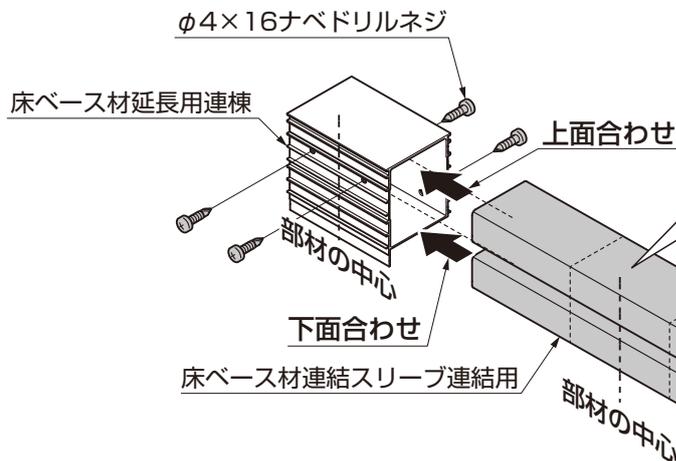


9-2-2 連棟仕様の場合

- ①床ベース材間口用と床ベース材延長用連棟にφ5の穴加工をしてください。
- ②床ベース材連結スリーブ連結用を床ベース材延長用連棟に差込み【ネジ】で取付けてください。
- ③②で組立てたものを床ベース材間口用に差込み【ネジ】で取付けてください。

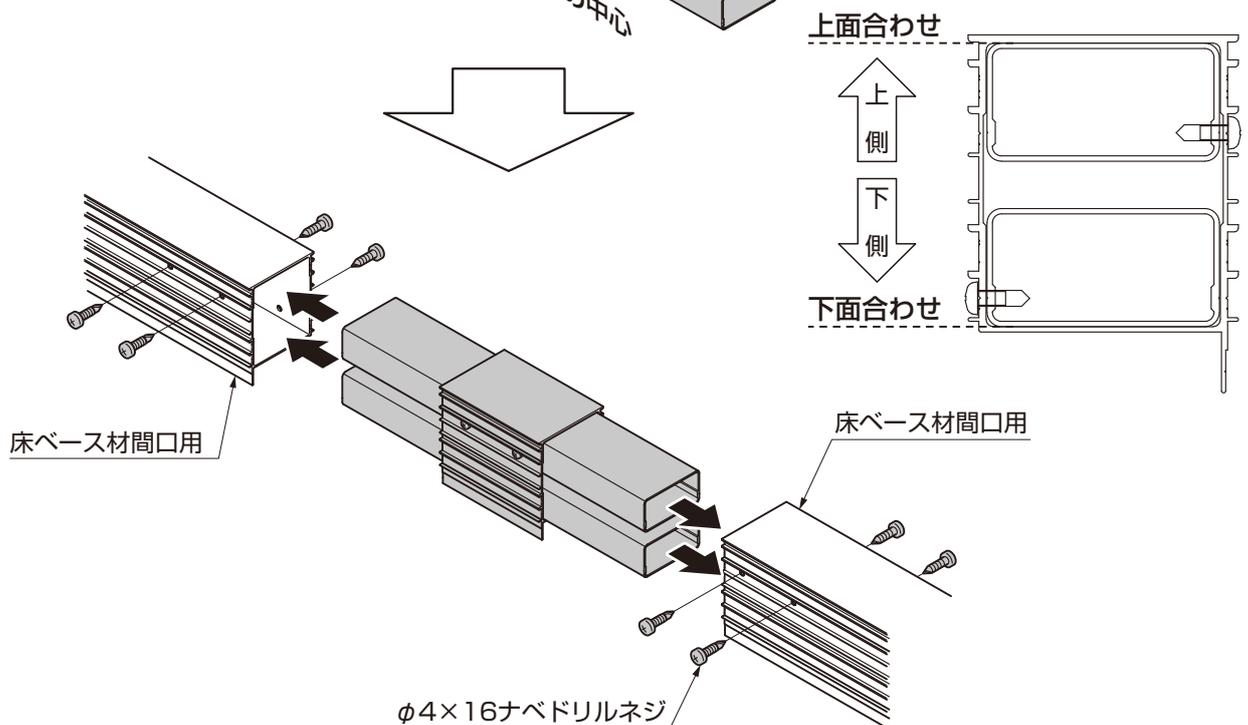
Pポイント

- 2本のスリーブの内、上側は床ベース材の内側の上面合わせ、下側は下面合わせで取付けてください。
- φ5穴の中心とスリーブのV溝は一致しません。
- スリーブには上下があります。



Pポイント

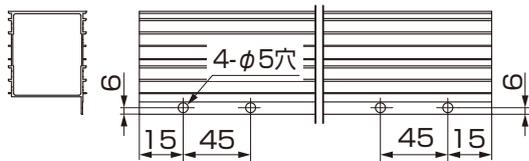
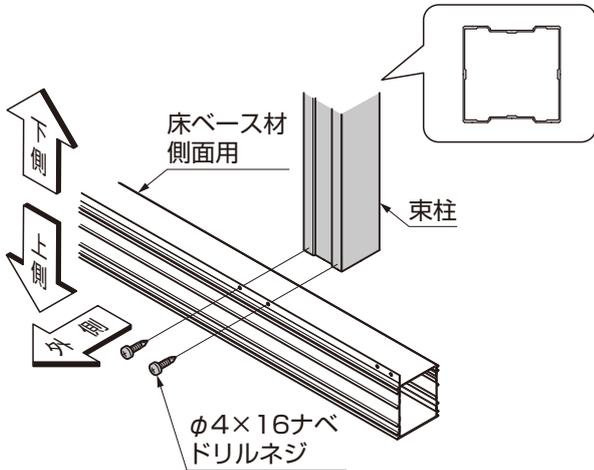
- 床ベース材延長用連棟を部材の中心に取付けて、床ベース材連結スリーブ連結用の左右の出幅が同じになるようにしてください。



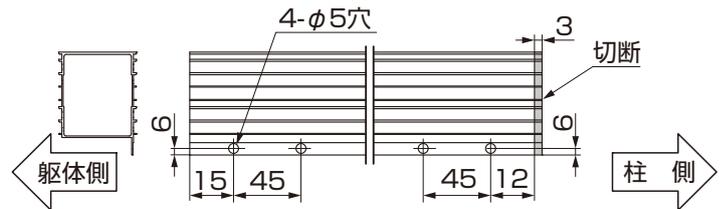
9-3 床ベース材の組立て

9-3-1 床ベース材側面用の組立て

- ①床ベース材側面用の両端部にφ5の穴加工をしてください。
- ②束柱を床ベース材に【ネジ】で取付けてください。



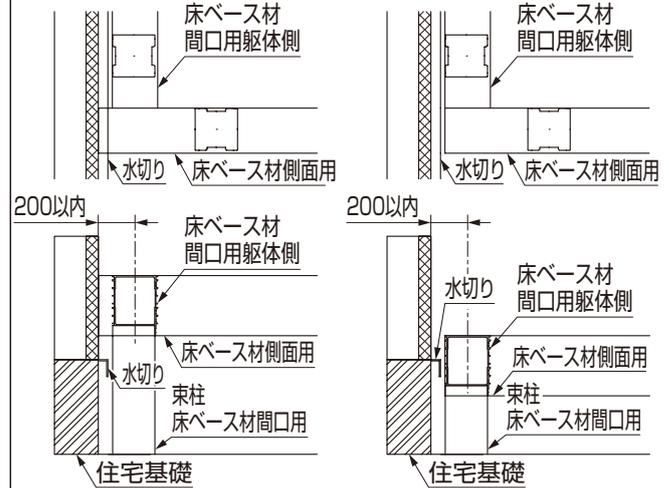
外デッキ見切り材を使用しない場合
(インナーデッキ、土間納まりなど)



外デッキ見切り材を使用する場合

Pポイント

- 束柱の本数は、サイズによって異なります。
- 床ベース材は、躯体の倒れ、ねじれや水切り等の障害物が無い場合には切断不要な長さになっています。必要に応じて長さや穴位置を調整してください。
- 床ベース材間口用躯体側の芯から躯体までは200mmまで移動可能です。

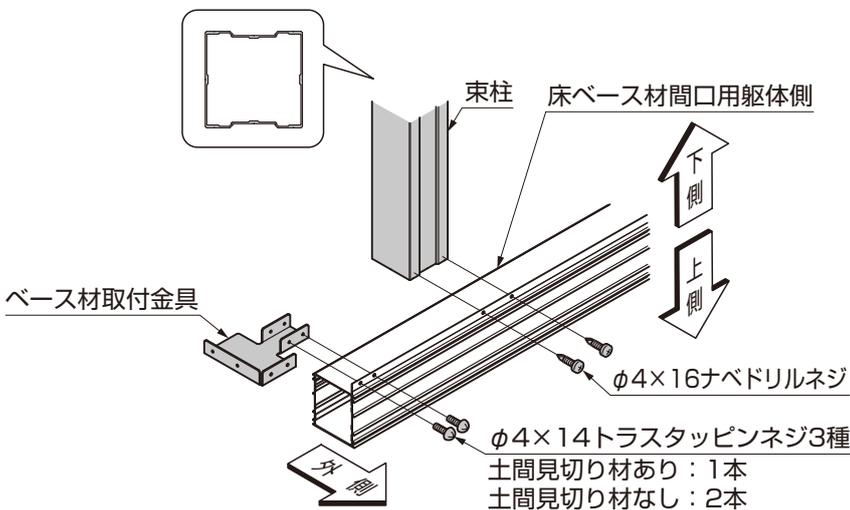


9-3-2 床ベース材間口用躯体側の組立て

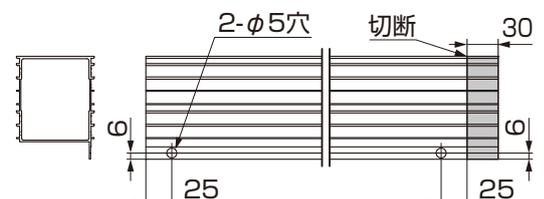
- ①床ベース材間口用躯体側の両端部にφ5の穴加工をしてください。
- ②ベース材取付金具をベース材に【ネジ】で取付けてください。
- ③束柱を床ベース材に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

- 束柱の本数は、サイズによって異なります。
- ベース材取付金具を取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



土間見切り材を使用しない場合



土間見切り材を使用する場合

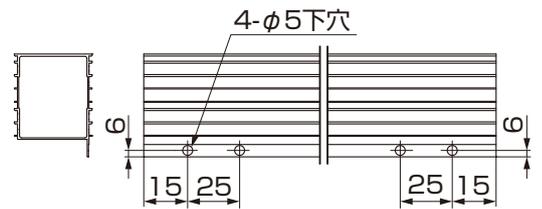
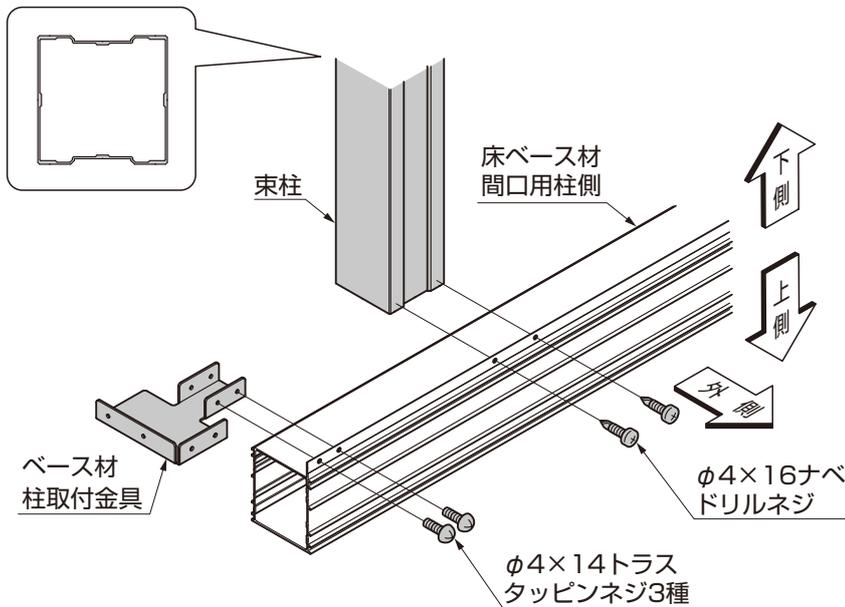
E430_201705B

9-3-3 床ベース材間口用柱側の組立て

- ①床ベース材間口用柱側の両端部にφ5の穴加工をしてください。
- ②ベース材柱取付金具をベース材に【ネジ】で取付けてください。
- ③束柱をベース材に【ネジ】で取付けてください。

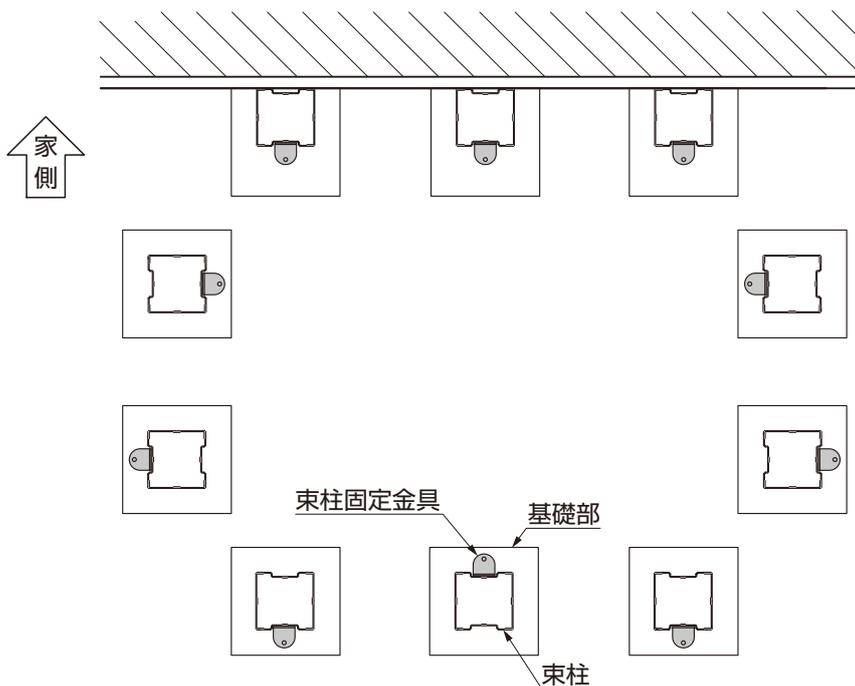
Pポイント

- 束柱の本数は、サイズによって異なります。
- ベース材柱取付金具は両端のみに取付けてください。
- ベース材柱取付金具を取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



9-4 床ベース材設置の際の確認事項

9-4-1 束柱固定金具の向き



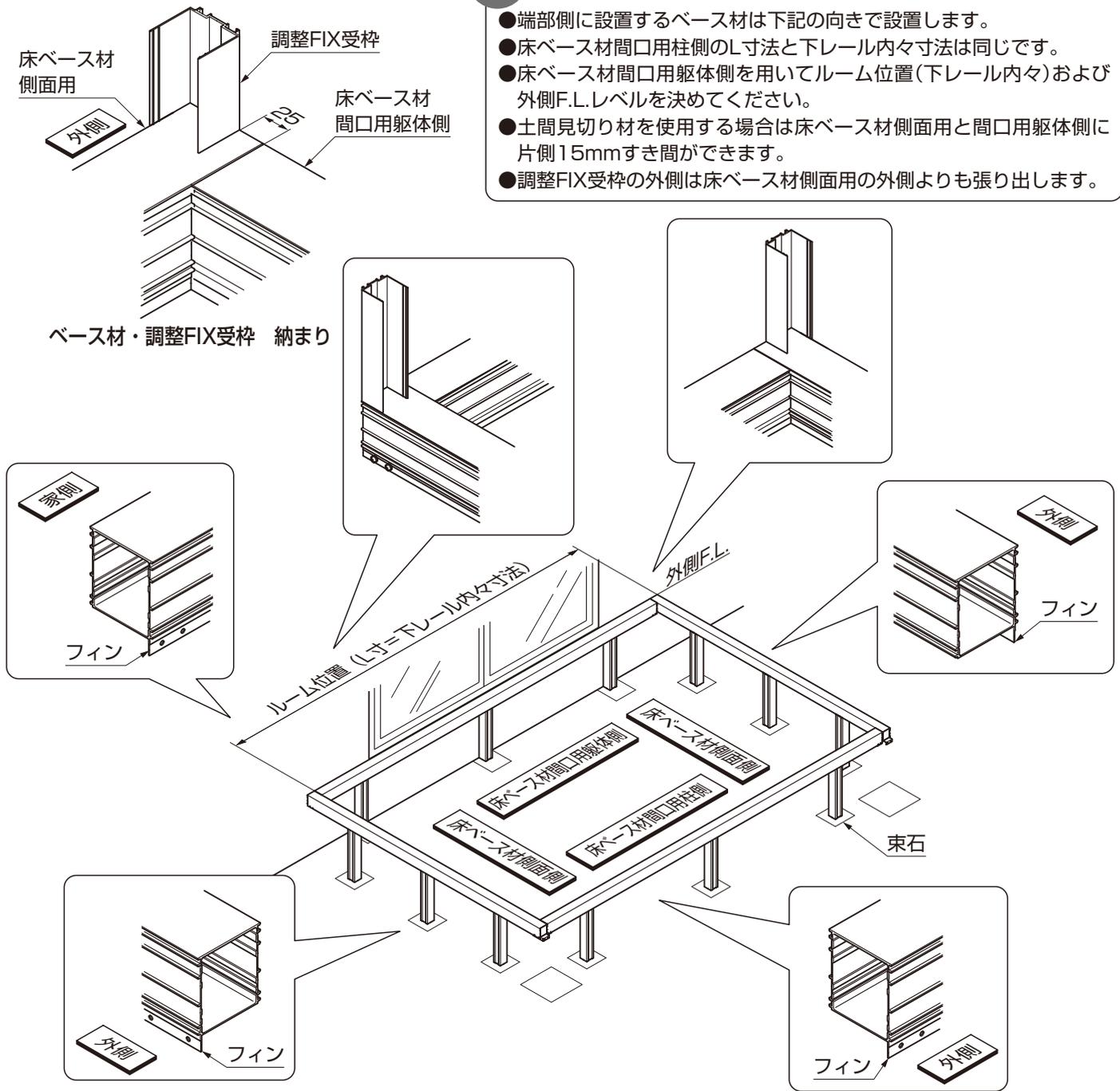
Pポイント

- 束柱固定金具は、躯体側以外はそれぞれの束柱に交互に取付けてください。
- 束柱の本数は、サイズによって異なります。

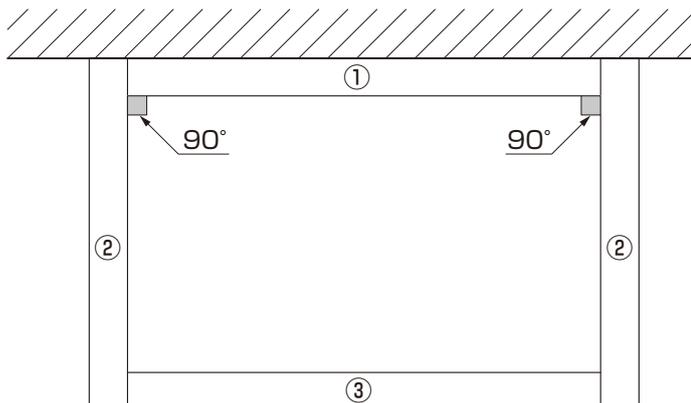
9-4-2 床ベース材について

Pポイント

- 端部側に設置するベース材は下記の向きで設置します。
- 床ベース材間口用柱側の寸法と下レール内々寸法は同じです。
- 床ベース材間口用躯体側を用いてルーム位置(下レール内々)および外側F.L.レベルを決めてください。
- 土間見切り材を使用する場合は床ベース材側面用と間口用躯体側に片側15mmすき間ができます。
- 調整FIX受枠の外側は床ベース材側面用の外側よりも張り出します。



9-4-3 床ベース材の設置順番について

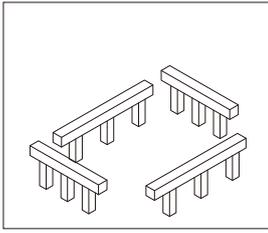


- ① 床ベース材間口用躯体側
- ② 床ベース材側面用
- ③ 床ベース材間口用柱側

Pポイント

- ①の躯体側面が躯体水切りなどの取合いの都合で②の小口面と必ずしも揃わなくても構いません。
- ③床ベース材間口用柱側は、前面から入れるように設置します。

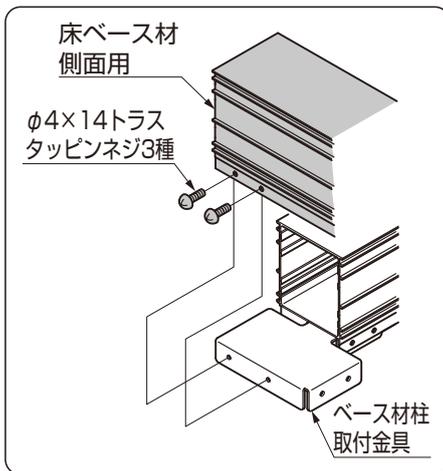
9-5 床ベース材の設置



- ① ルーム位置および外側F.L.位置になるように床ベース材間口用躯体側を設置してください。
- ② 床ベース材側面用を床ベース材間口用躯体側に【ネジ】で取付けてください。
- ③ 床ベース材間口用柱側を設置してください。
- ④ 床ベース材側面用を床ベース材間口用柱側に【ネジ】で取付けてください。
- ⑤ 束柱を基礎に【ネジ】で固定してください。

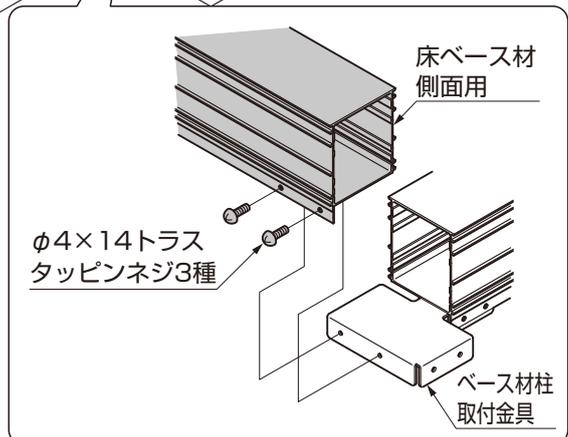
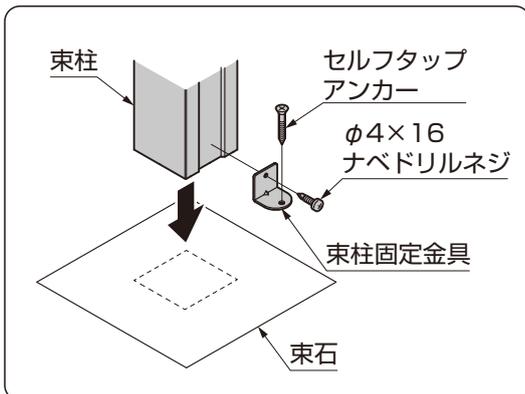
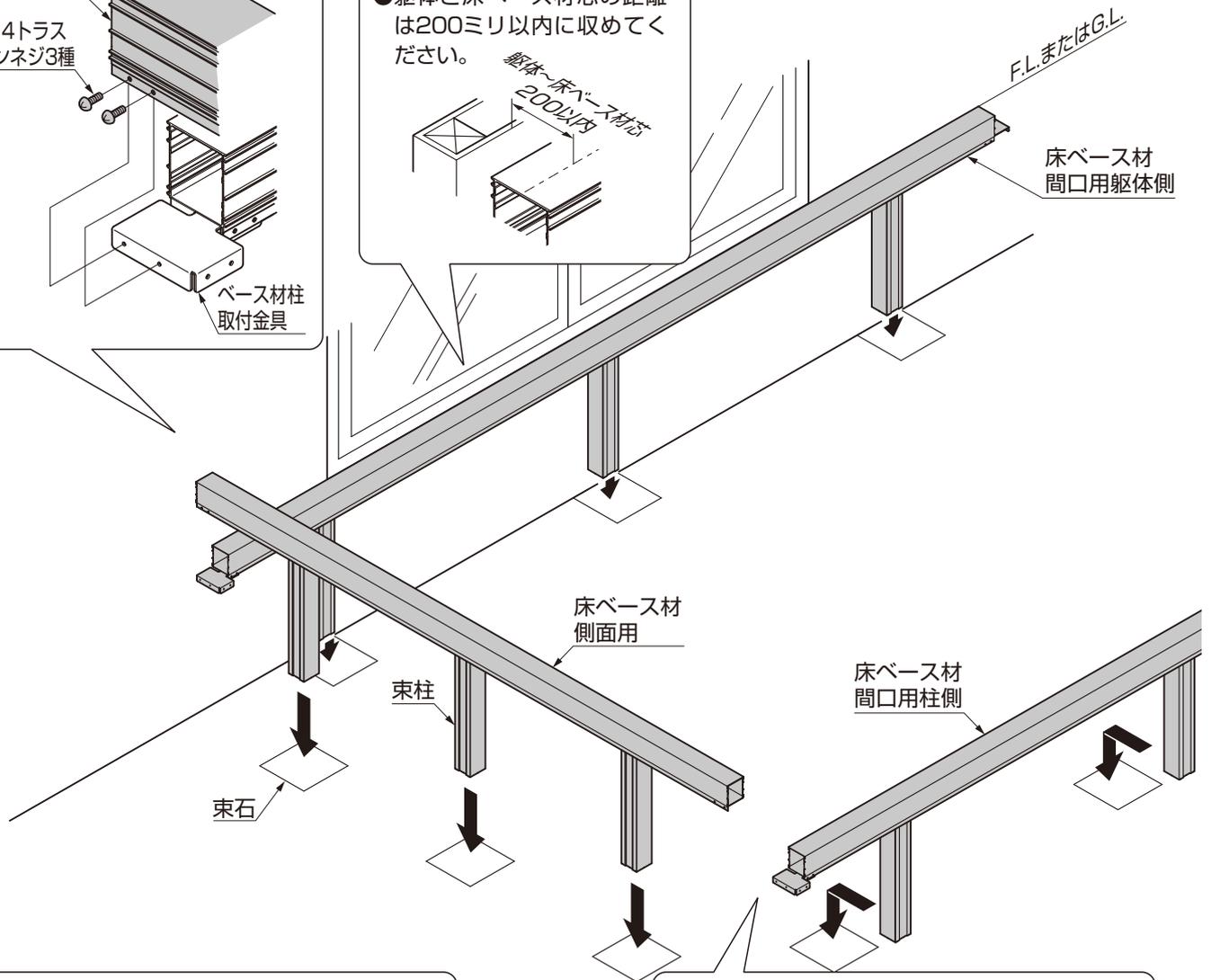
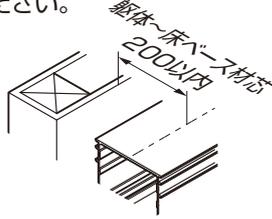
Pポイント

- 取付けの向きと設置順番については「床ベース材設置の際の確認事項(P.52)」を参照してください。
- ベース材どうしは直角になるように設置してください。
- ベース材柱取付金具を取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



Pポイント

- 躯体と床ベース材芯の距離は200ミリ以内に収めてください。

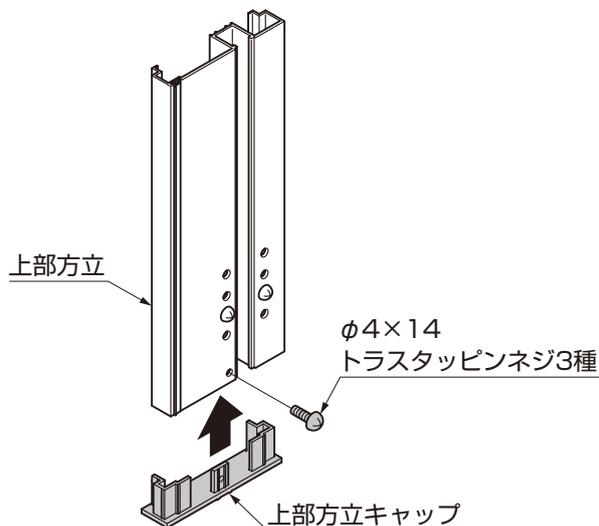


10 テラス部の施工

10-1 部材の組立て

10-1-1 上部方立の組立て

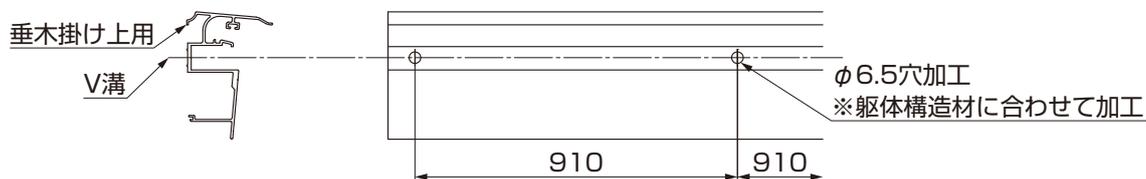
①上部方立キャップを上部方立に【ネジ】で取付けてください。



10-1-2 垂木掛けの加工

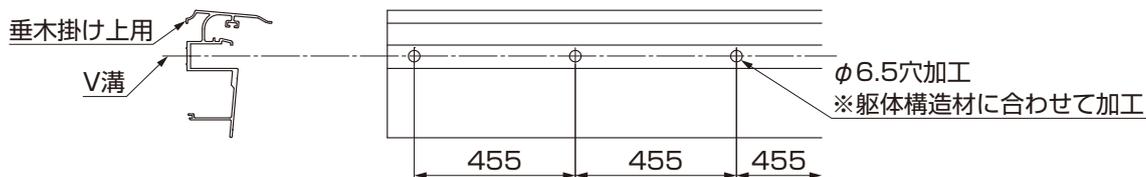
(1) 一般地域用(6,8尺)の場合

①垂木掛け上用に穴加工をしてください。



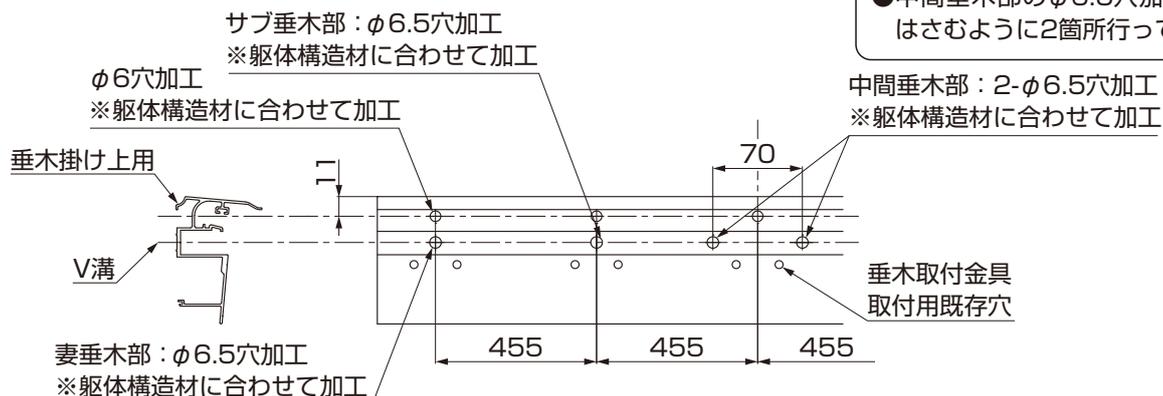
(2) 一般地域用(10尺)の場合 積雪1500Nの場合

①垂木掛け上用に穴加工をしてください。



(3) 積雪3000Nの場合

①垂木掛け上用に穴加工をしてください。

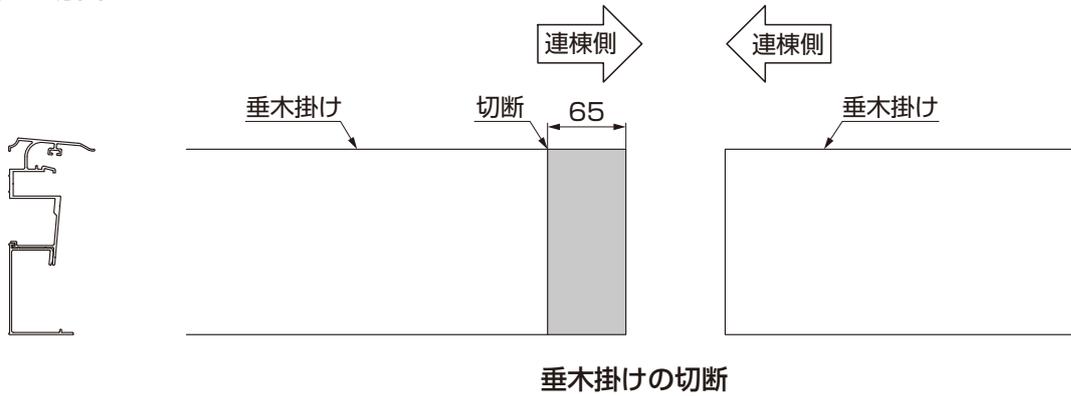


Pポイント

●中間垂木部のφ6.5穴加工は垂木をはさむように2箇所行ってください。

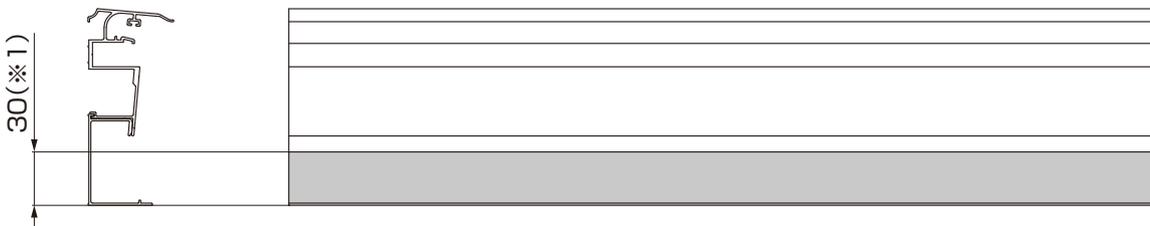
10-1-2 垂木掛けの加工(つづき)

(4) 連棟の場合



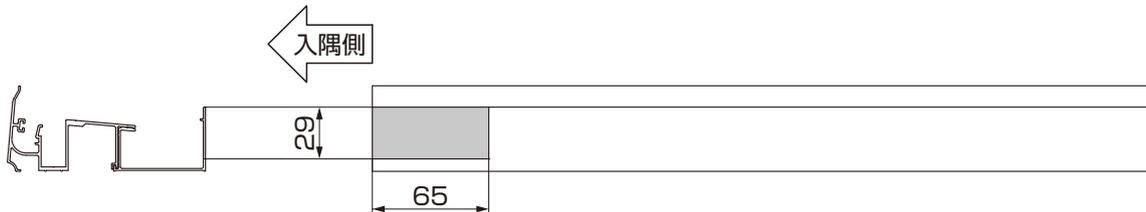
(5) 垂木にLED照明を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける場合の作業です。

① 垂木掛け下用の色付き部分の範囲(※1)に配線用の穴加工をしてください。



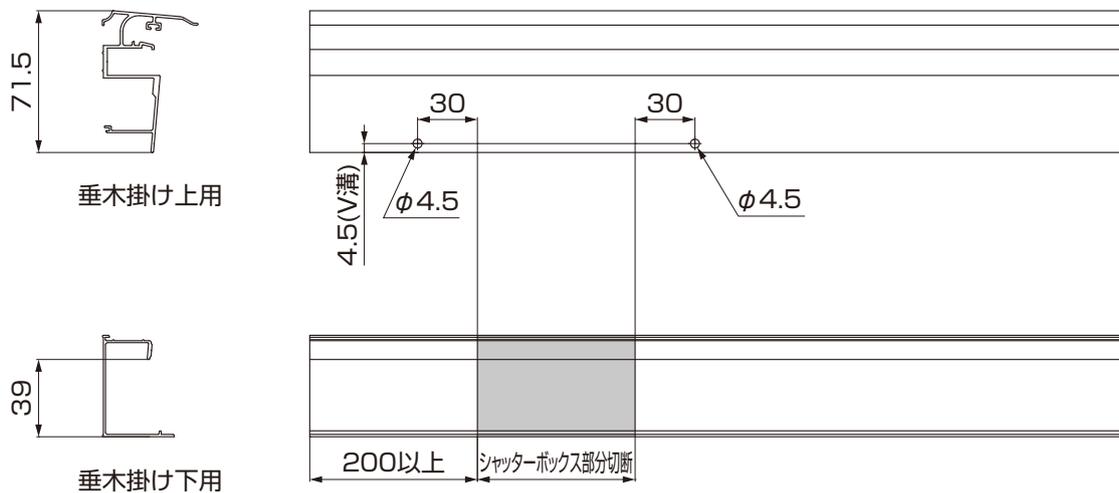
(6) 入隅の場合

① (1)～(5)とは別に下記の切欠き加工をしてください。



(7) シャッターボックスを避けて施工する場合

① (1)～(6)とは別に下記の加工をしてください。

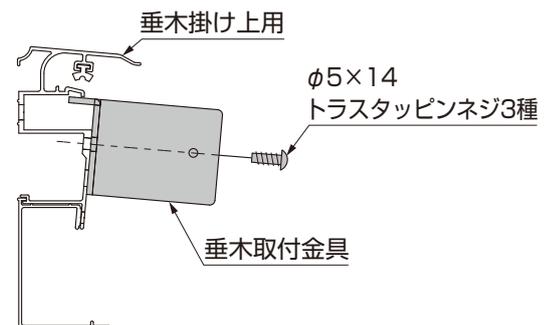
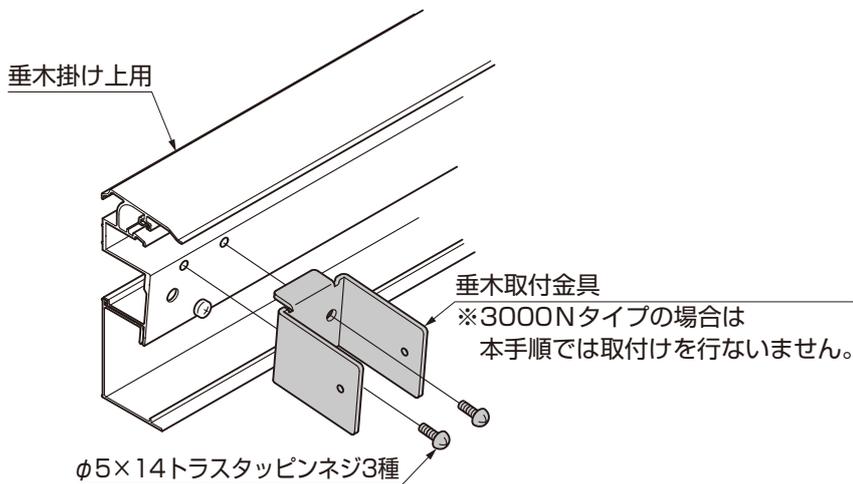
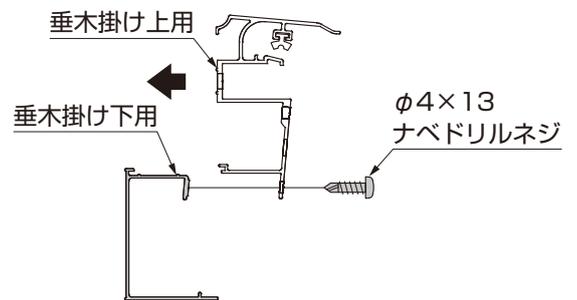
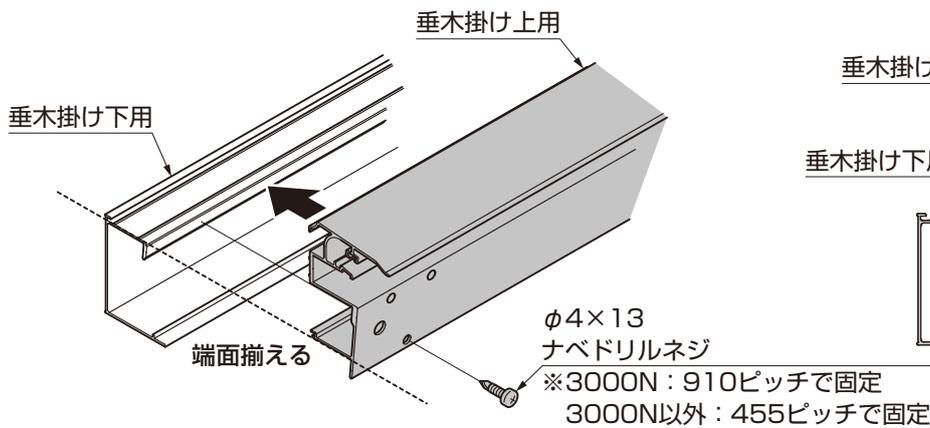


10-1-3 垂木掛けの組立て

- ①垂木掛け上用を垂木掛け下用に【ネジ】で取付けてください。
- ②垂木取付金具を垂木掛け上用に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

- 3000Nタイプの場合は、垂木取付金具はここでは取付けません。
- 3000Nタイプの場合は、垂木掛けの上用と下用を固定するネジは端部から910mmピッチで取付けてください。(サブ垂木取付部は不要です。)
- 3000Nタイプ以外は455mmピッチで取付けてください。



10-2 柱の加工

10-2-1 主柱、連棟柱の場合

【土間施工】：柱をF.L.で埋込み固定する場合
※標準柱を使用

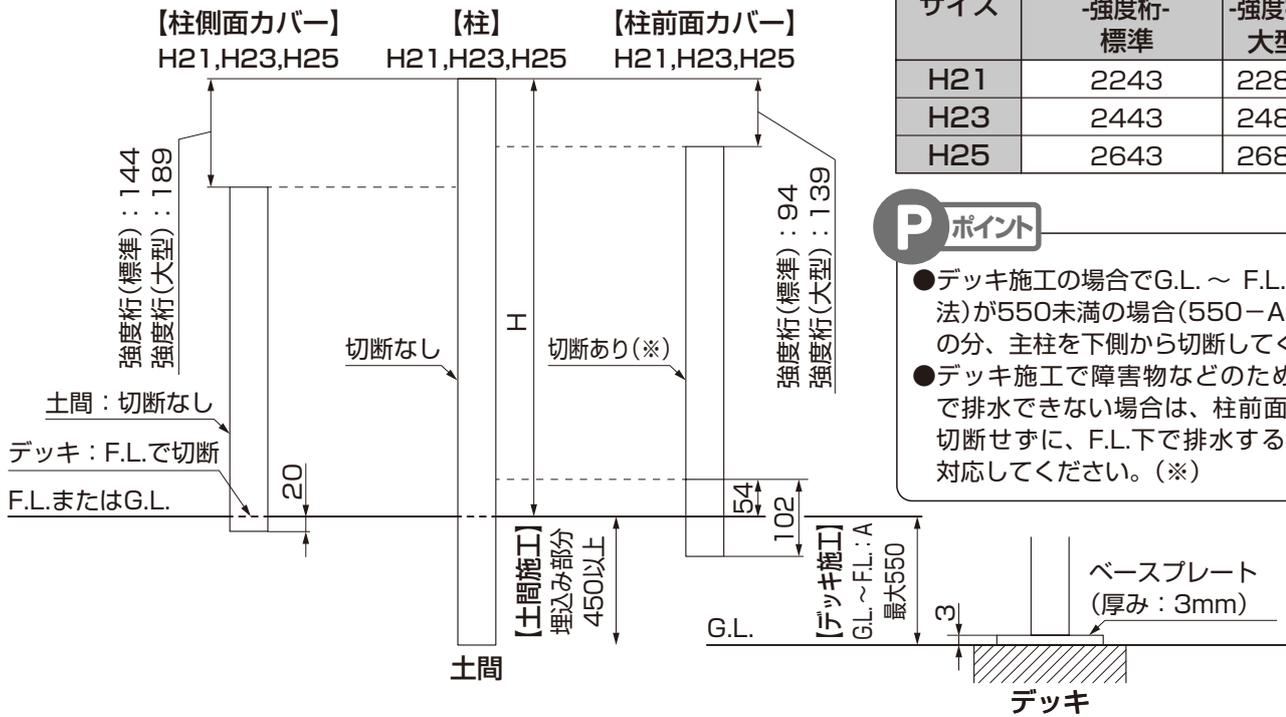
【デッキ施工】：柱をG.L.でベースプレート固定する場合

(参考)F.L.から上部分のH寸法

| サイズ | H | |
|-----|---------|---------|
| | -強度桁-標準 | -強度桁-大型 |
| H21 | 2243 | 2288 |
| H23 | 2443 | 2488 |
| H25 | 2643 | 2688 |

Pポイント

- デッキ施工の場合でG.L.～F.L.寸法(A寸法)が550未満の場合(550-A+3)寸法のみ、主柱を下側から切断してください。
- デッキ施工で障害物などのためにF.L.上で排水できない場合は、柱前面カバーは切断せずに、F.L.下で排水するなど現場対応してください。(※)



【土間施工】：柱をF.L.でベースプレート固定する場合
※標準柱を使用

柱のL寸法

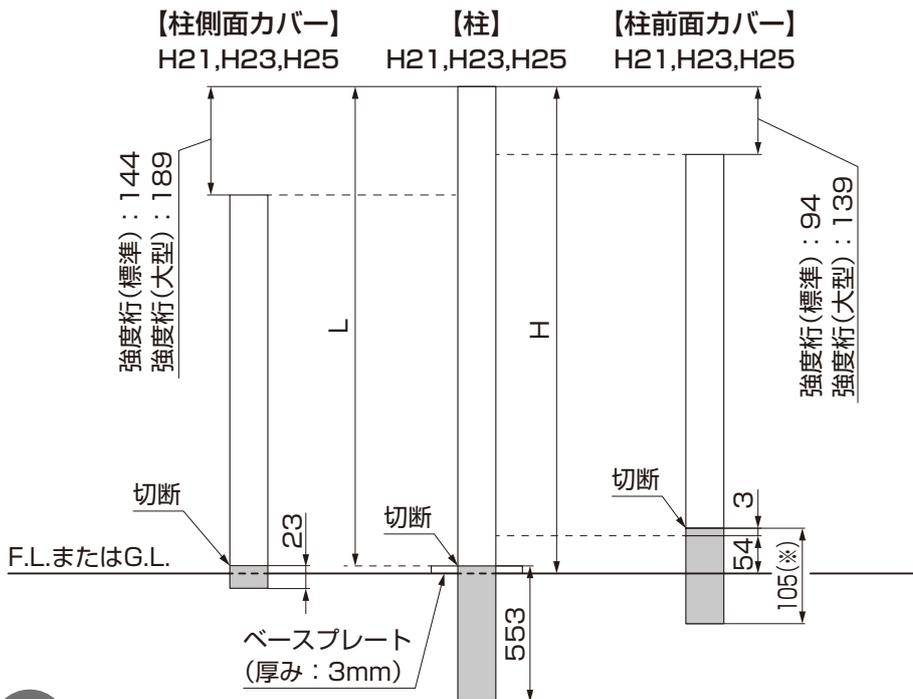
| サイズ | L | |
|-----|---------|---------|
| | -強度桁-標準 | -強度桁-大型 |
| H21 | 2240 | 2285 |
| H23 | 2440 | 2485 |
| H25 | 2640 | 2685 |

(参考)F.L.から上部分のH寸法

| サイズ | H | |
|-----|---------|---------|
| | -強度桁-標準 | -強度桁-大型 |
| H21 | 2243 | 2288 |
| H23 | 2443 | 2488 |
| H25 | 2643 | 2688 |

※ベースプレートの厚みを含む
切断寸法

| | 切断寸法 |
|--------|------|
| 柱本体 | 553 |
| 柱前面カバー | 3 |
| 柱側面カバー | 23 |

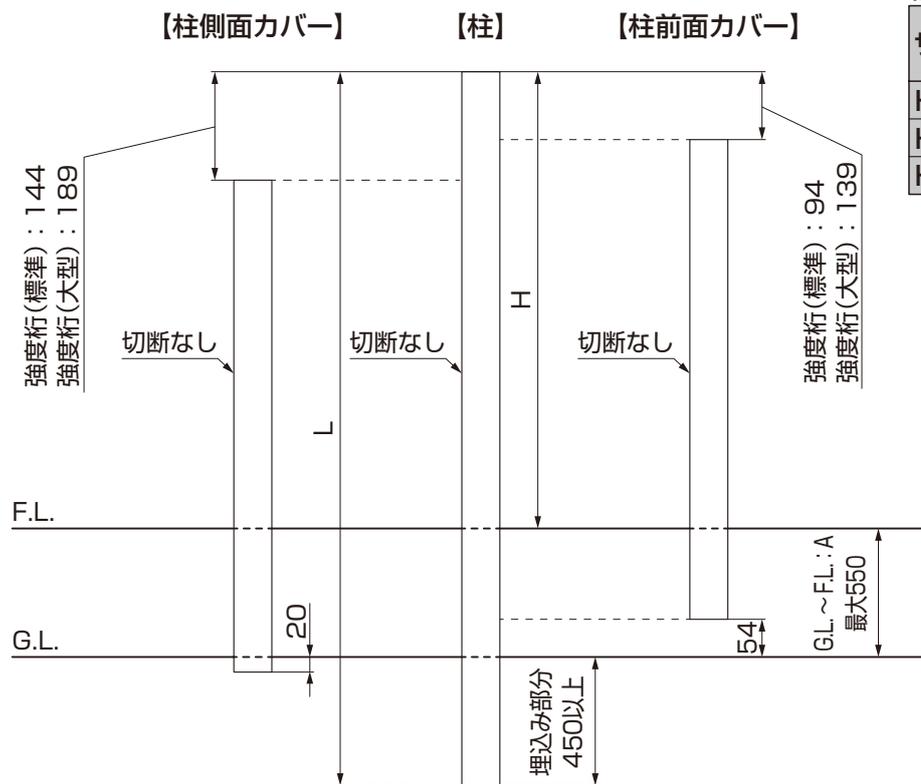


Pポイント

- 柱の切断は下側から行ってください。
- ・主柱：切欠きのない側
- ・柱前面カバー：切欠きのない側
- ・柱側面カバー：穴加工のない側

【デッキ施工(おもにインナーデッキ施工)】：柱をG.L.で埋込み固定する場合

※ロング柱を使用



柱のL寸法

| サイズ | L | |
|-----|-------------|-------------|
| | -強度桁- 標準 | -強度桁- 大型 |
| H21 | 2243+A+埋込寸法 | 2288+A+埋込寸法 |
| H23 | 2443+A+埋込寸法 | 2488+A+埋込寸法 |
| H25 | 2643+A+埋込寸法 | 2688+A+埋込寸法 |

(参考)F.L.から上部分のH寸法

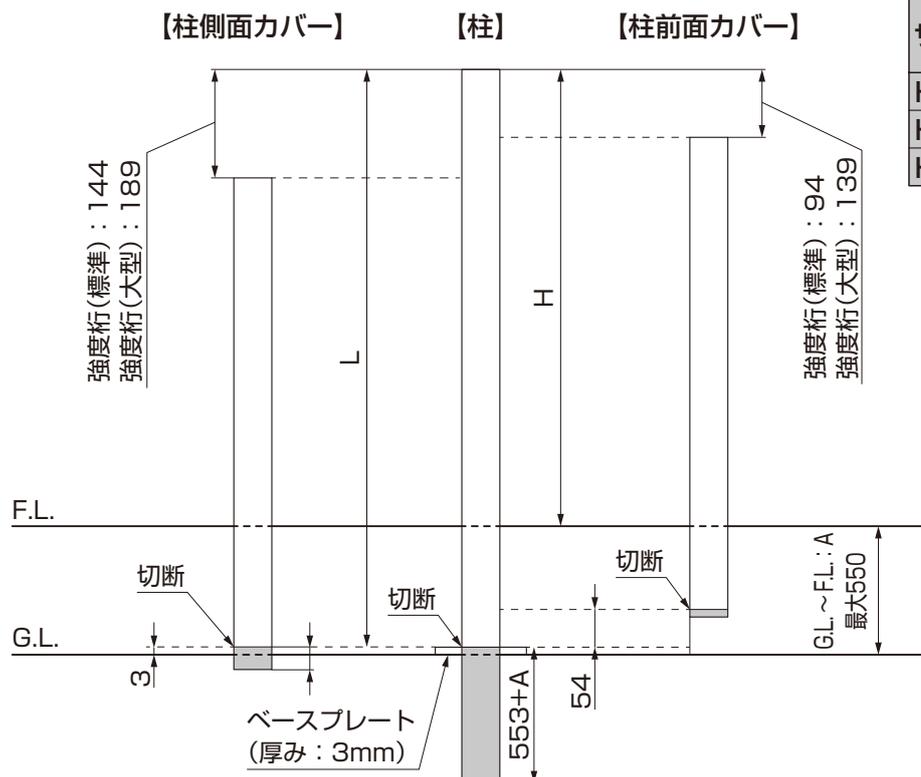
| サイズ | H | |
|-----|----------|----------|
| | -強度桁- 標準 | -強度桁- 大型 |
| H21 | 2243 | 2288 |
| H23 | 2443 | 2488 |
| H25 | 2643 | 2688 |

Pポイント

- G.L. ~ F.L.寸法(A寸法)が550未満の場合(550-A)寸法の分、主柱、柱側面カバー、柱前面カバーをそれぞれ下側から切断してください。

【デッキ施工(おもにインナーデッキ施工)】：柱をG.L.で束石にベースプレート固定する場合

※ロング柱を使用



L寸法

| サイズ | L | |
|-----|----------|----------|
| | -強度桁- 標準 | -強度桁- 大型 |
| H21 | 2243+A-3 | 2288+A-3 |
| H23 | 2443+A-3 | 2488+A-3 |
| H25 | 2643+A-3 | 2688+A-3 |

(参考)F.L.から上部分のH寸法

| サイズ | H | |
|-----|----------|----------|
| | -強度桁- 標準 | -強度桁- 大型 |
| H21 | 2243 | 2288 |
| H23 | 2443 | 2488 |
| H25 | 2643 | 2688 |

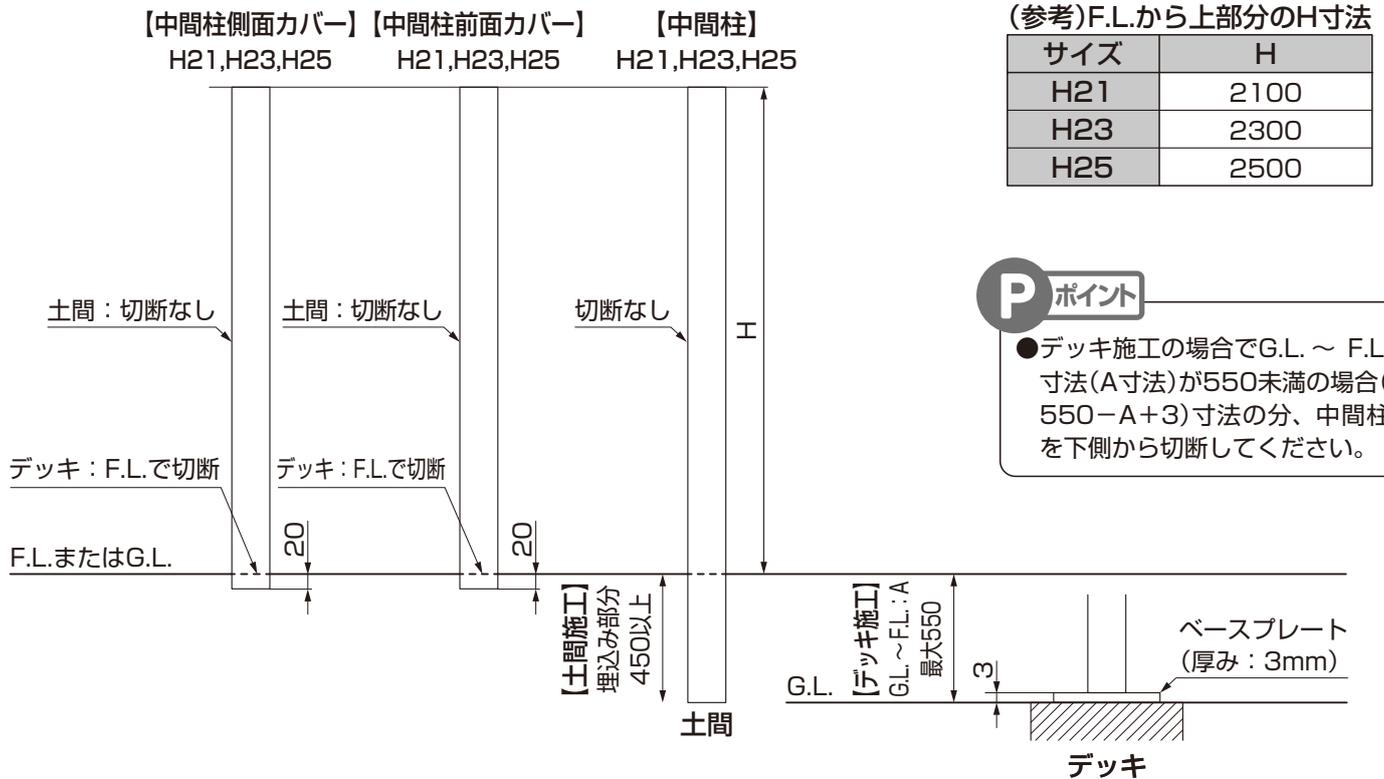
Pポイント

- 柱の切断は下側から行なってください。
- ・主柱：切欠きのない側
- ・柱前面カバー：切欠きのない側
- ・柱側面カバー：穴加工のない側

10-2-2 中間柱の場合

【土間施工】：柱をF.L.で埋込み固定する場合
※標準柱を使用

【デッキ施工】：柱をG.L.で束石にベースプレート固定する場合



【土間施工、デッキ施工(テラスタイプのみ)】：柱をF.L.でベースプレート固定する場合
※標準柱を使用

柱のL寸法

| サイズ | L |
|-----|------|
| H21 | 2097 |
| H23 | 2297 |
| H25 | 2497 |

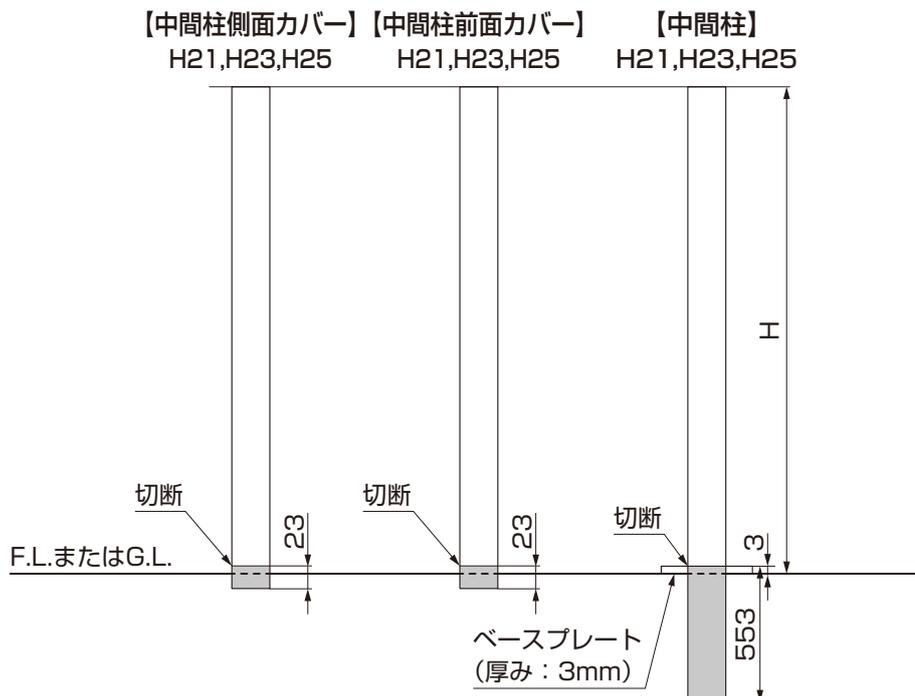
(参考)F.L.から上部分のH寸法

| サイズ | H |
|-----|------|
| H21 | 2100 |
| H23 | 2300 |
| H25 | 2500 |

※ベースプレートの厚みを含む

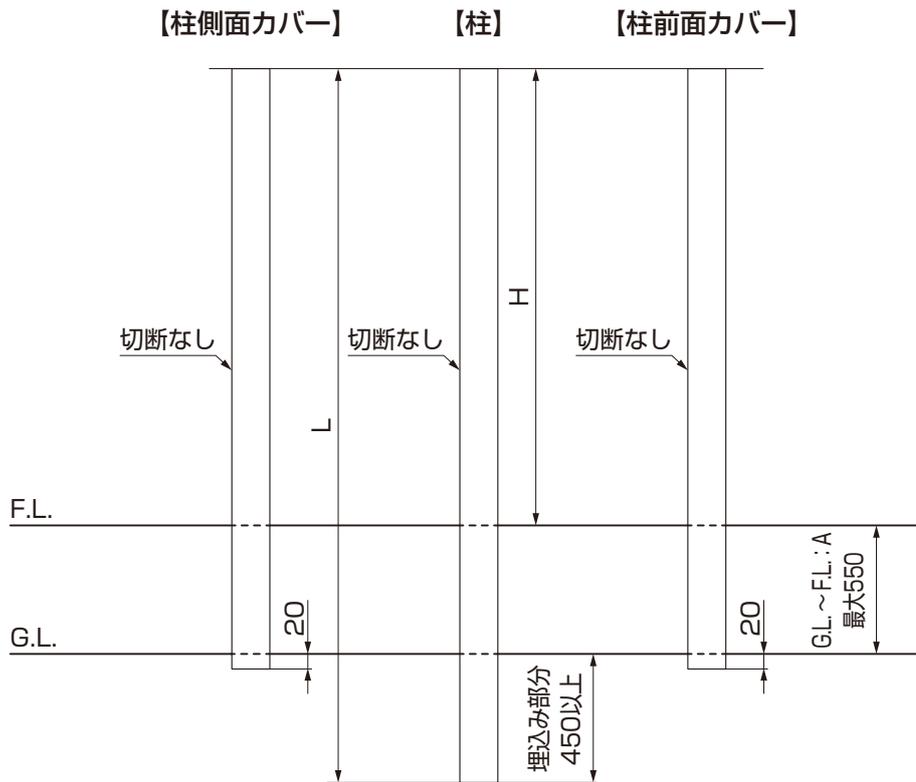
切断寸法

| | 切断寸法 |
|--------|------|
| 柱本体 | 553 |
| 柱前面カバー | 23 |
| 柱側面カバー | |



【デッキ施工(おもにインナーデッキ施工)】：柱をG.L.で埋込み固定する場合

※テラス用ロング柱を使用



L寸法

| サイズ | L |
|-----|-------------|
| H21 | 2100+A+埋込寸法 |
| H23 | 2300+A+埋込寸法 |
| H25 | 2500+A+埋込寸法 |

(参考)F.L.から上部分のH寸法

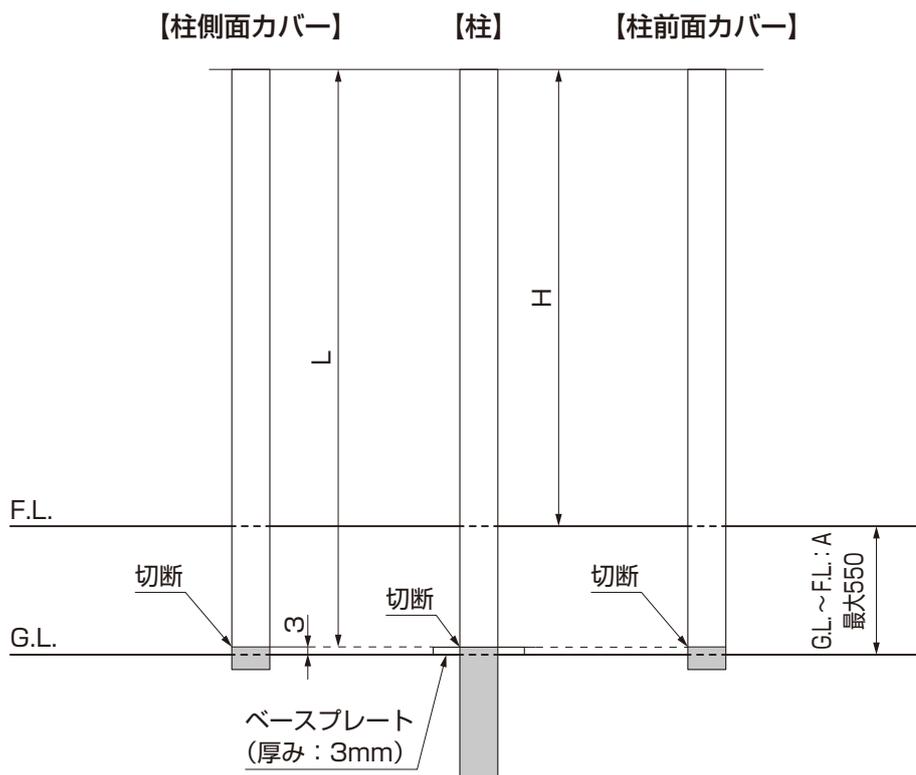
| サイズ | H |
|-----|------|
| H21 | 2100 |
| H23 | 2300 |
| H25 | 2500 |

Pポイント

- G.L. ~ F.L寸法(A寸法)が550未満の場合(550-A)寸法の分、主柱、柱側面カバー、柱前面カバーをそれぞれ下側から切断してください。

【デッキ施工(おもにインナーデッキ施工)】：柱をG.L.で束石にベースプレート固定する場合

※テラス用ロング柱を使用



L寸法

| サイズ | L |
|-----|----------|
| H21 | 2100+A-3 |
| H23 | 2300+A-3 |
| H25 | 2500+A-3 |

(参考)F.L.から上部分のH寸法

| サイズ | H |
|-----|------|
| H21 | 2100 |
| H23 | 2300 |
| H25 | 2500 |

※ベースプレートの厚みを含む

Pポイント

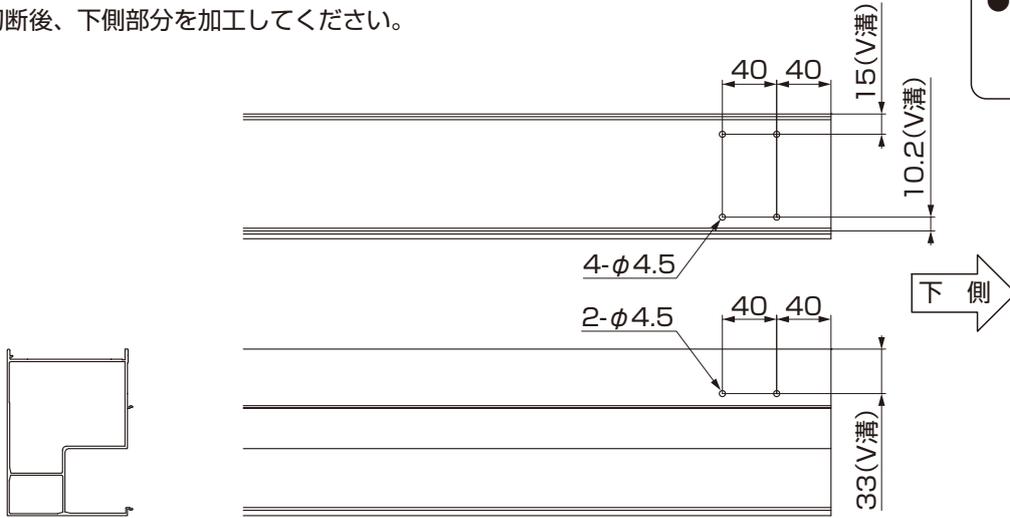
- 柱の切断は下側から行なってください。
- ・主柱：切欠きのない側
- ・柱前面カバー：切欠きのない側
- ・柱側面カバー：穴加工のない側

10-3 主柱の組立て

10-3-1 主柱の加工

(1) ベースプレートを使用する場合

① 主柱切断後、下側部分を加工してください。

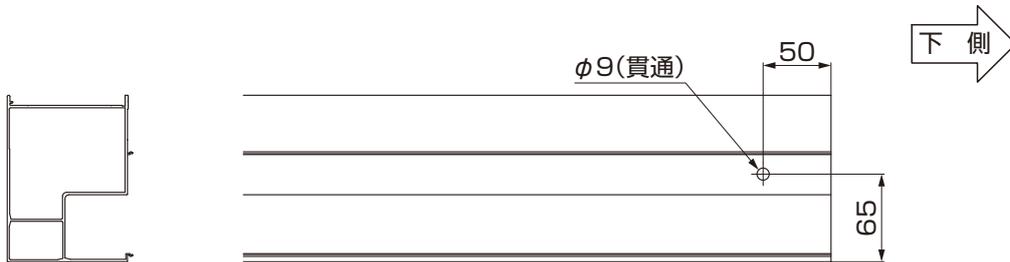


Pポイント

● 図は外観左用を示します。
外観右用は上図と対称となります。

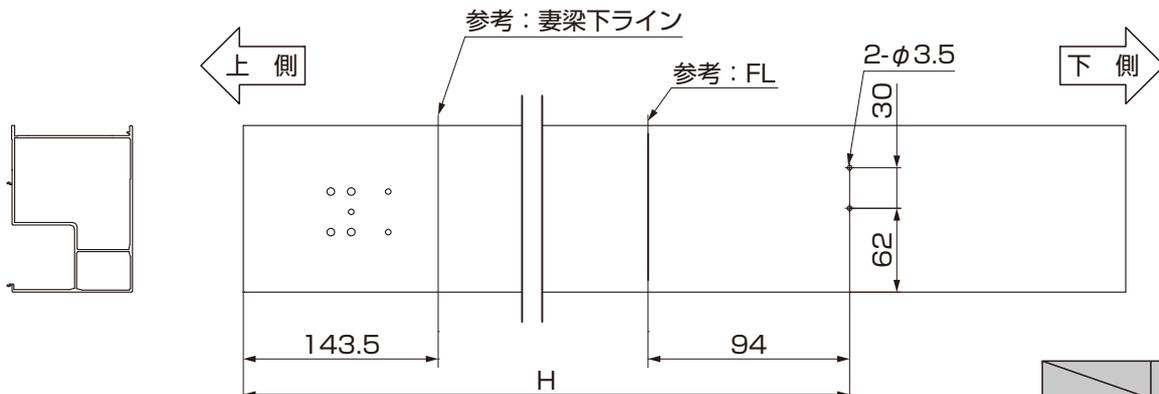
(2) 埋込みの場合

① 主柱切断後、下側部分にφ9(貫通)の穴加工をしてください。



(3) ロング柱で床ベース材使用時の加工

① ロング柱で床ベース材を使用する場合は、上記加工も合わせて行ってください。



Pポイント

● 図は外観右用を示します。
外観左用は上図と対称となります。

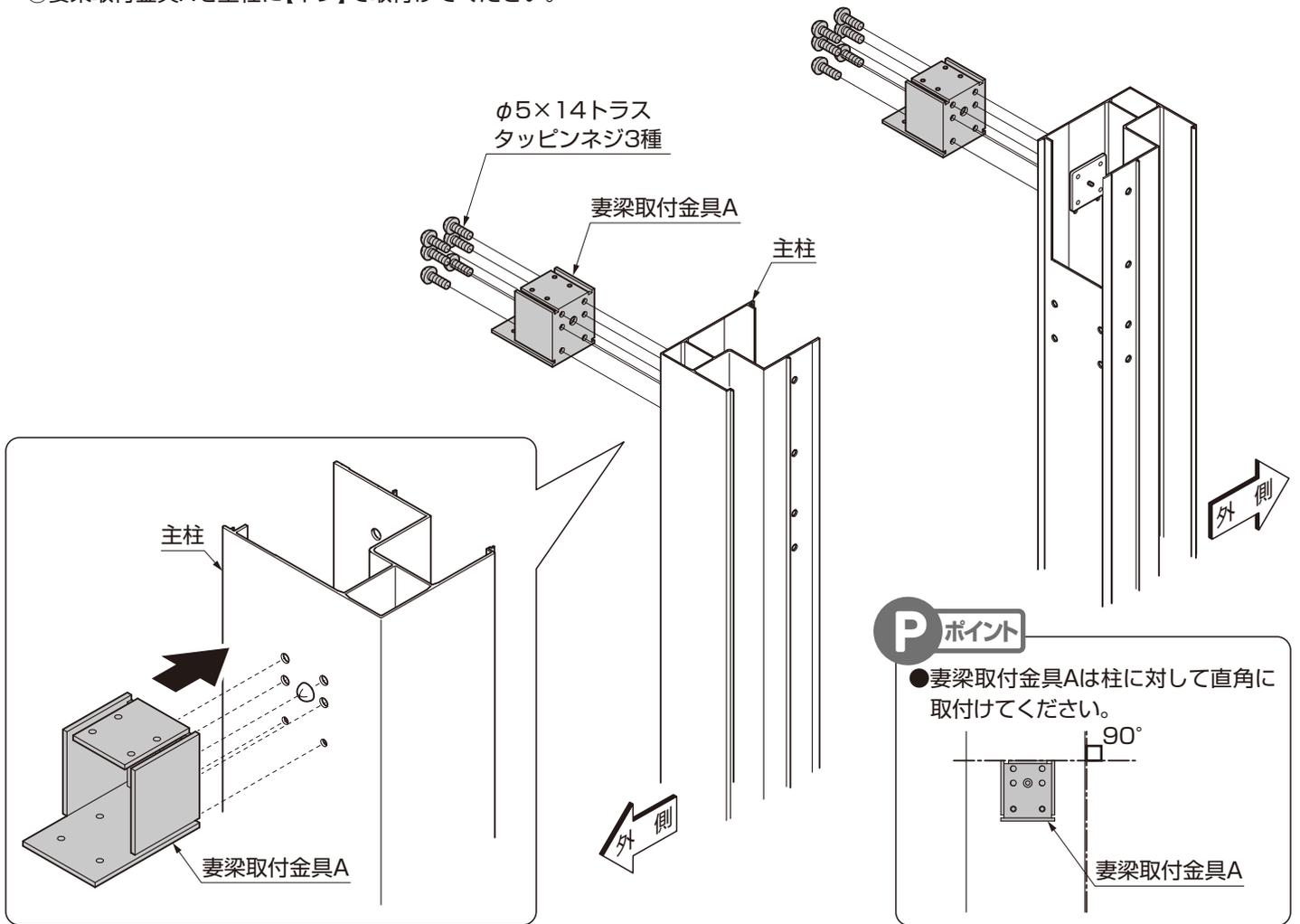
| | H |
|-----|--------|
| H21 | 2337.5 |
| H23 | 2537.5 |
| H25 | 2737.5 |

E430_201705B

10-3-2 主柱の組立て

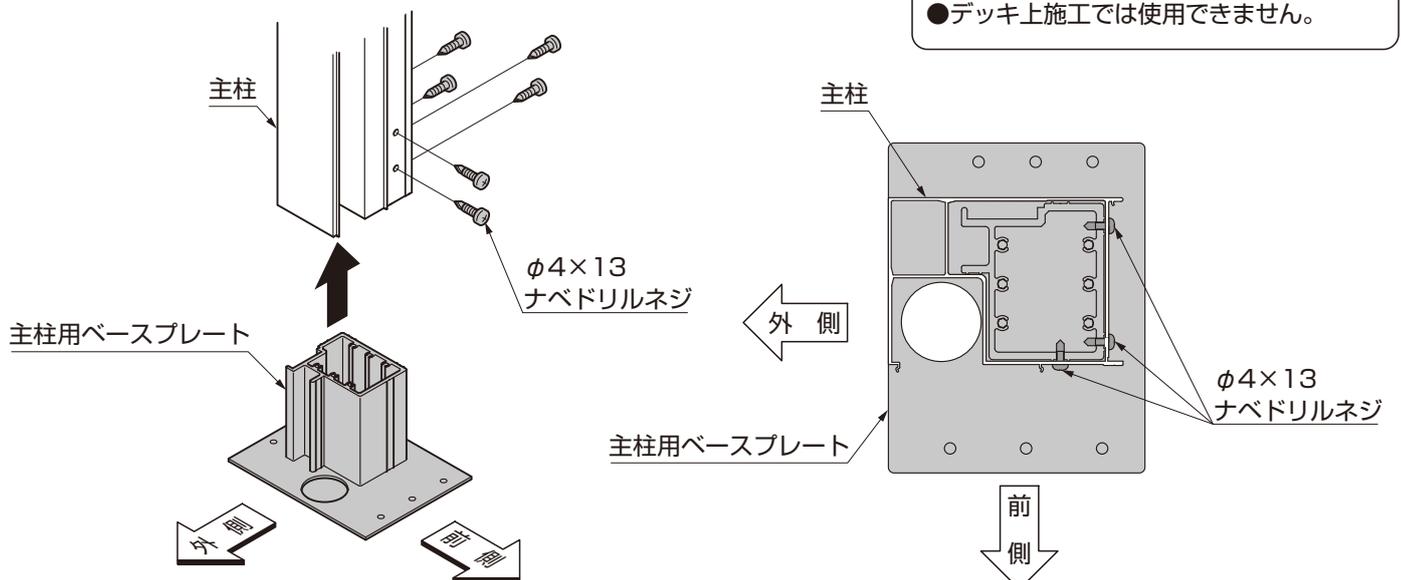
(1) 妻梁取付金具Aの取付け

① 妻梁取付金具Aを主柱に【ネジ】で取付けてください。



(2) ベースプレートの取付け

① 主柱用ベースプレートを主柱に【ネジ】で取付けてください。

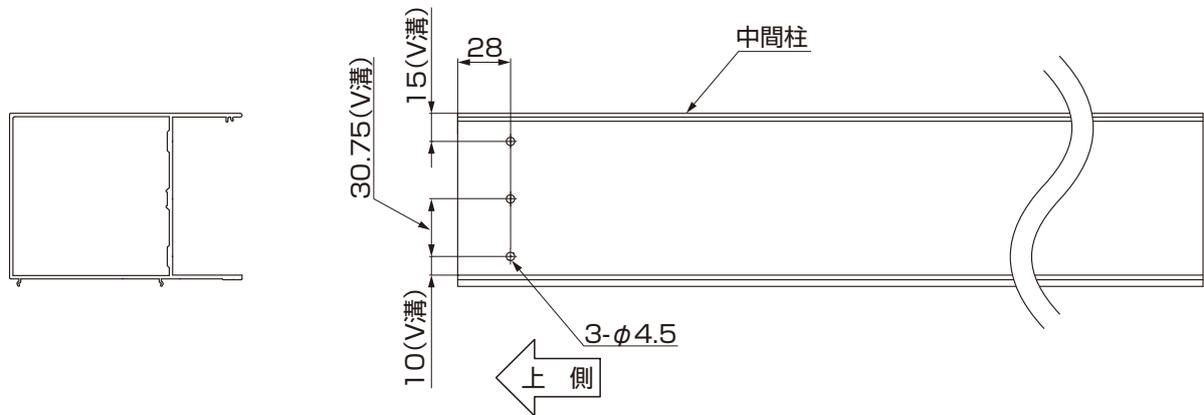


10-4 中間柱の組立て

10-4-1 中間柱の加工

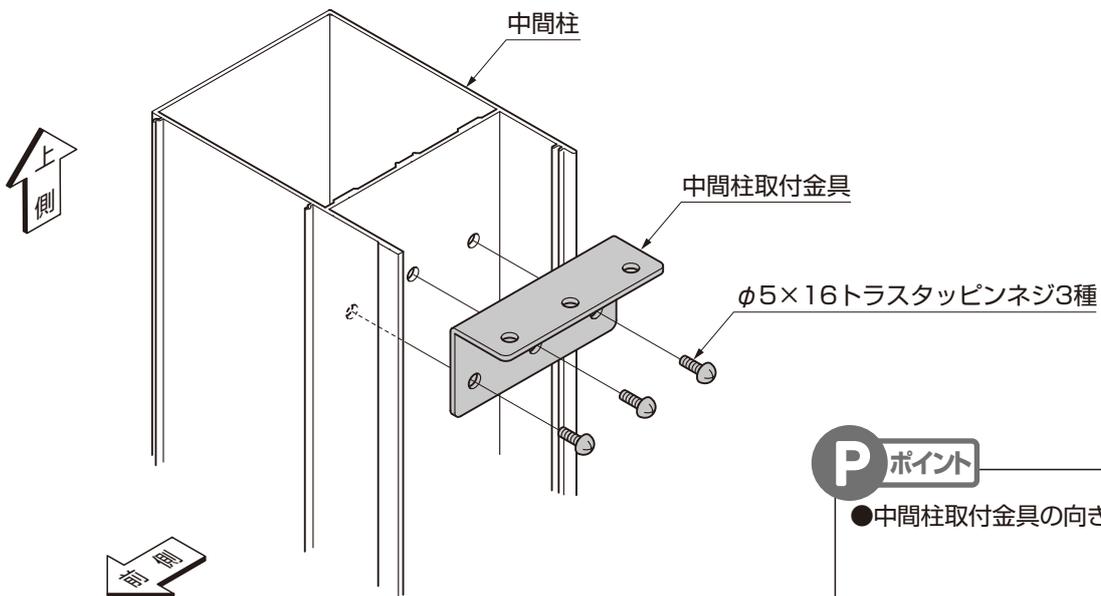
(1) 中間柱の加工

① 中間柱を切断後、下記の穴加工を行ってください。



(2) 中間柱取付金具の取付け

① 中間柱取付金具を中間柱に【ネジ】で取付けてください。



P ポイント

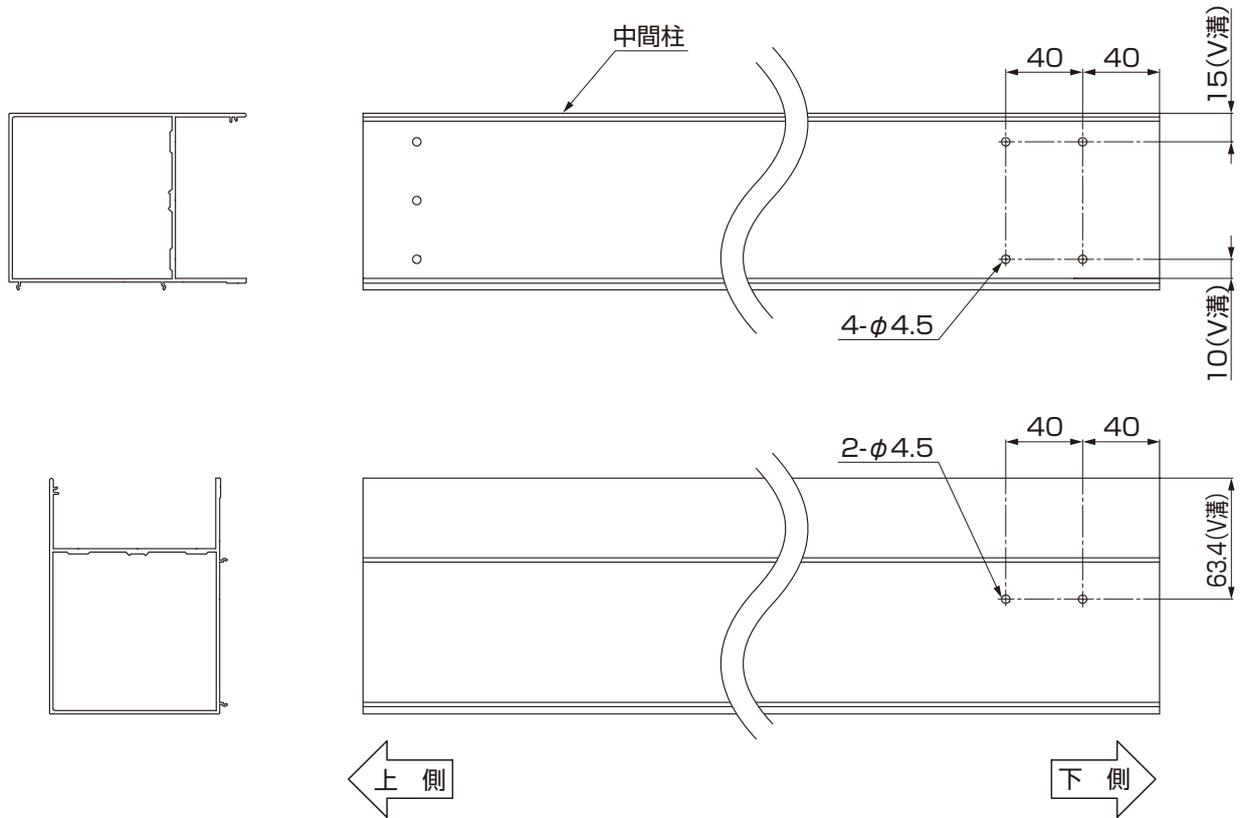
- 中間柱取付金具の向きに注意してください。

上側
中間柱取付金具

10-4-2 中間柱のベースプレート用加工(ベースプレート仕様の場合)

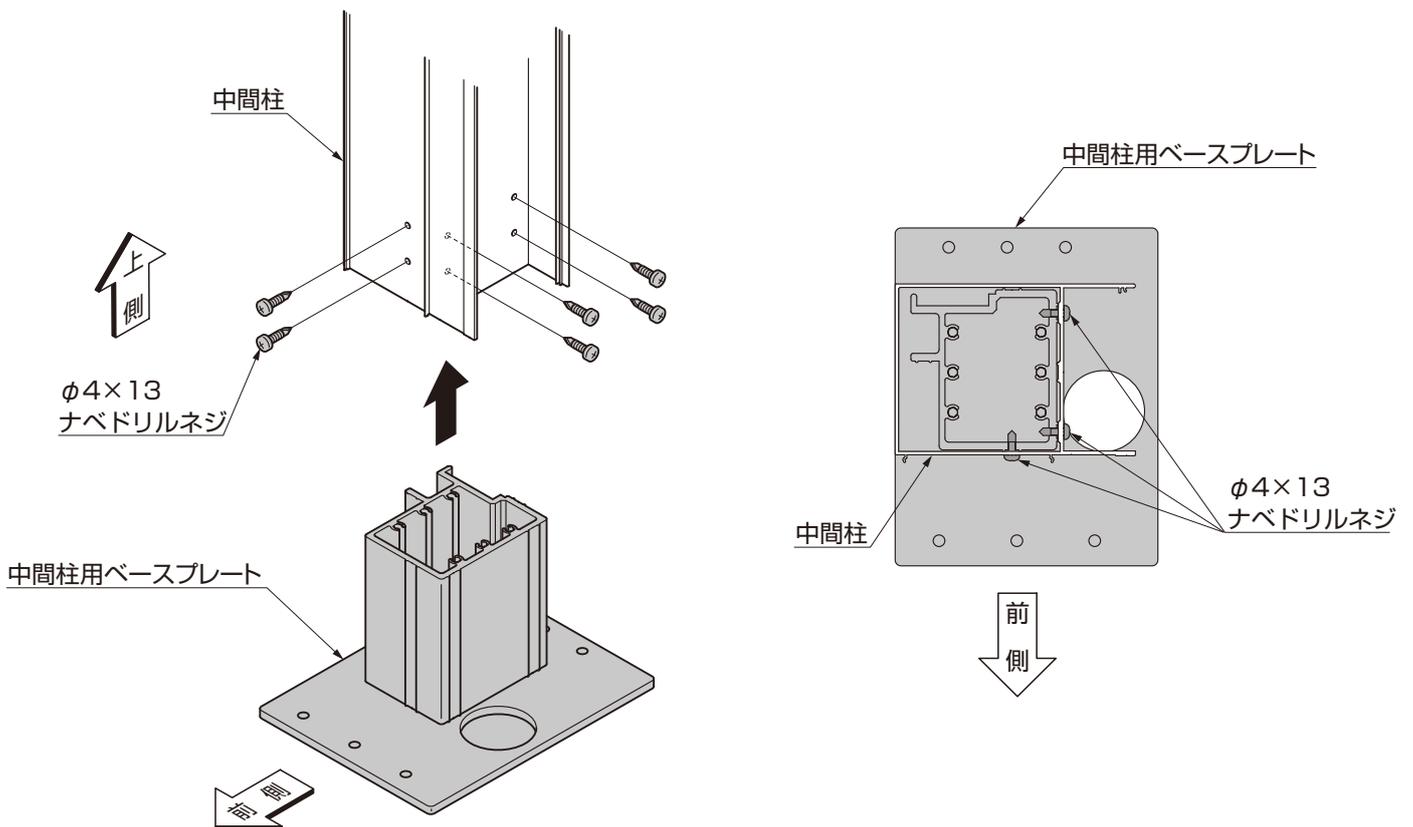
(1) 中間柱の加工

① 中間柱を切断後、下記の穴加工を行ってください。



(2) 中間柱用ベースプレートの取付け

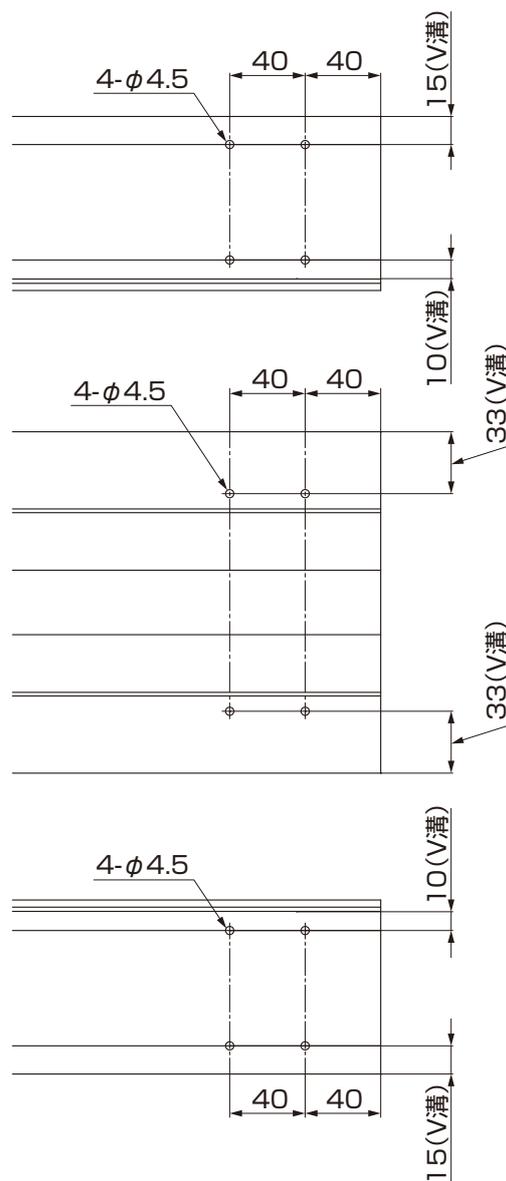
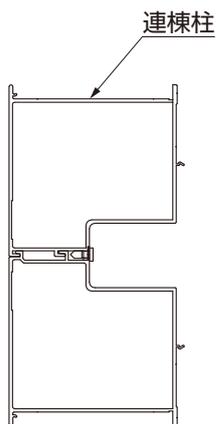
① 中間柱用ベースプレートを中間柱に【ネジ】で取付けてください。



10-5 連棟柱の組立て(ベースプレート仕様の場合)

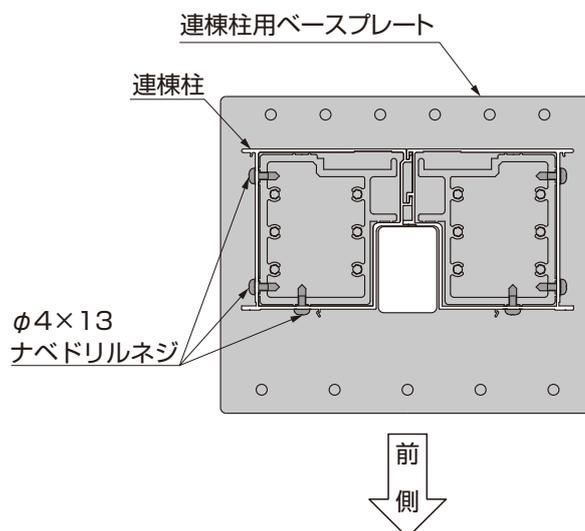
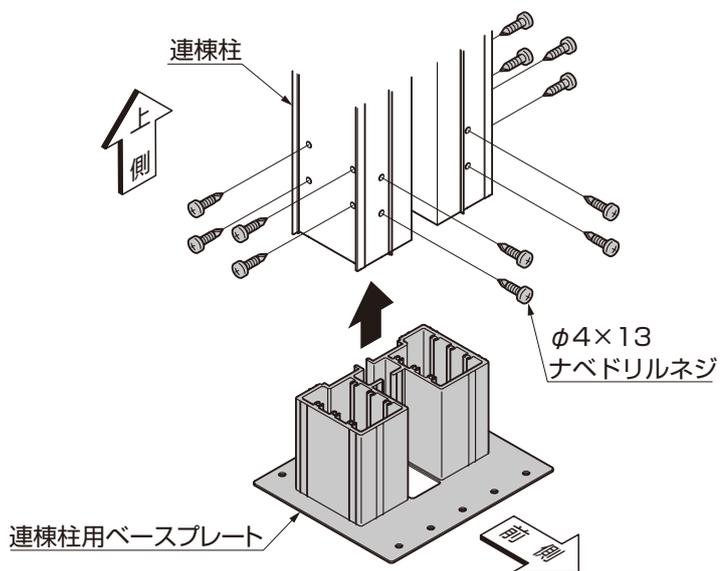
10-5-1 連棟柱の加工

①連棟柱を切断後、下記の穴加工を行ってください。



10-5-2 ベースプレートの取付け

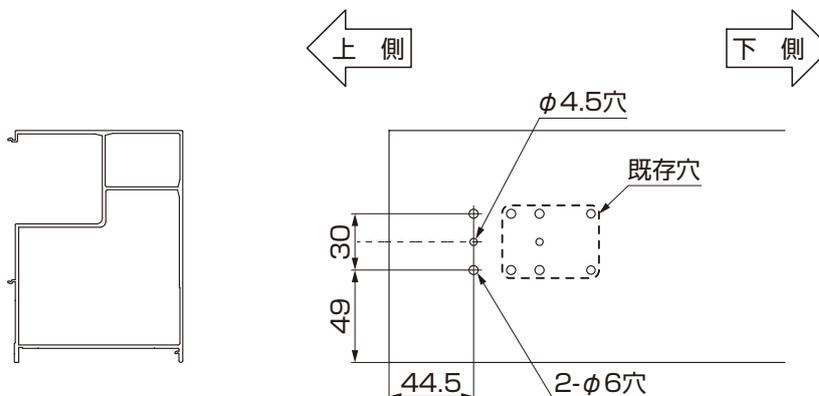
①連棟柱用ベースプレートを連棟柱に【ネジ】で取付けてください。



10-6 入隅納まり内天井施工の場合

10-6-1 入隅側主柱の加工

①入隅側の主柱に穴加工をしてください。

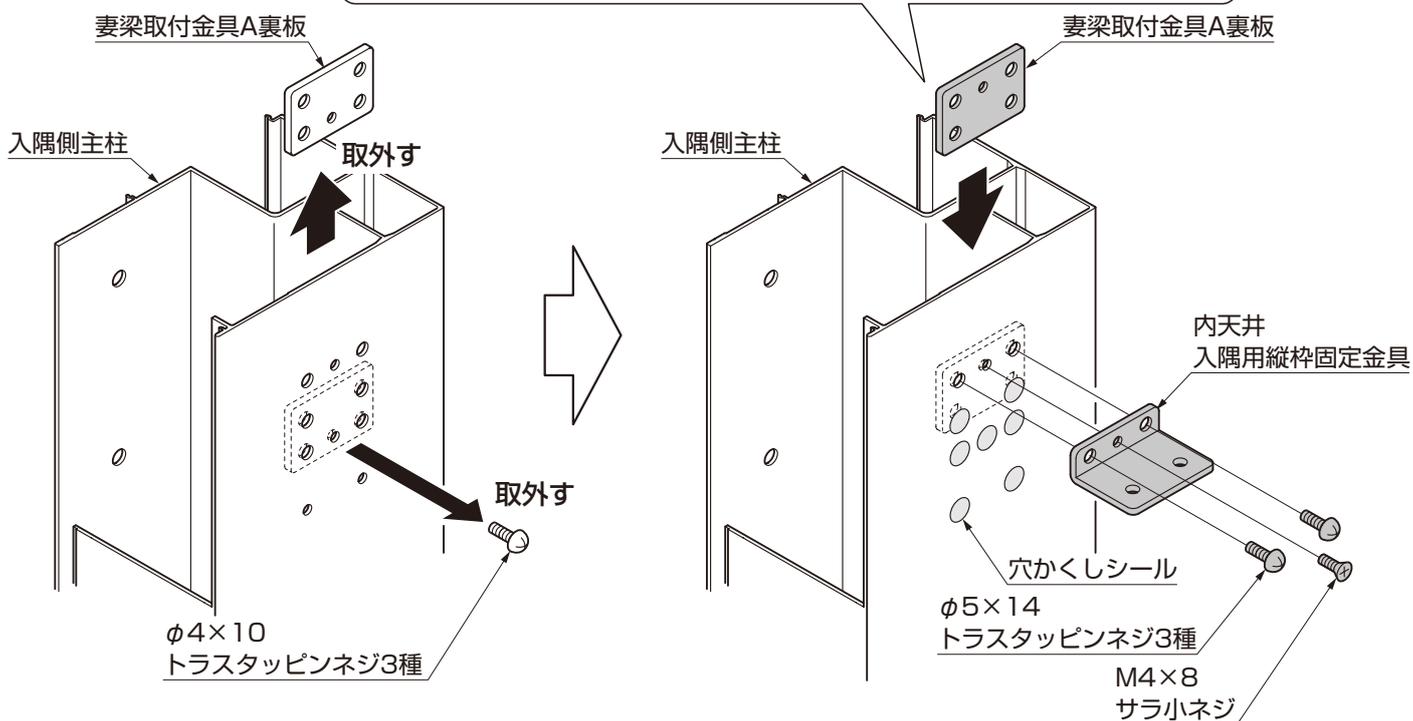
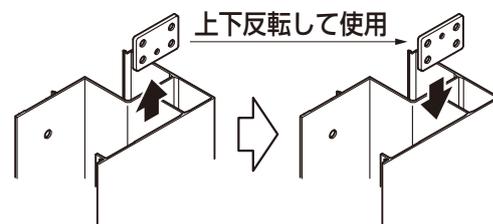


10-6-2 入隅側主柱の部品組替え

- ①あらかじめ主柱についている妻梁取付金具A裏板を外してください。
- ②妻梁取付金具取付用の既存穴には、穴かくしシールを貼り付けてください。
- ③内天井入隅用縦枠セット内の入隅用縦枠固定金具と妻梁取付金具A裏板を固定してください。

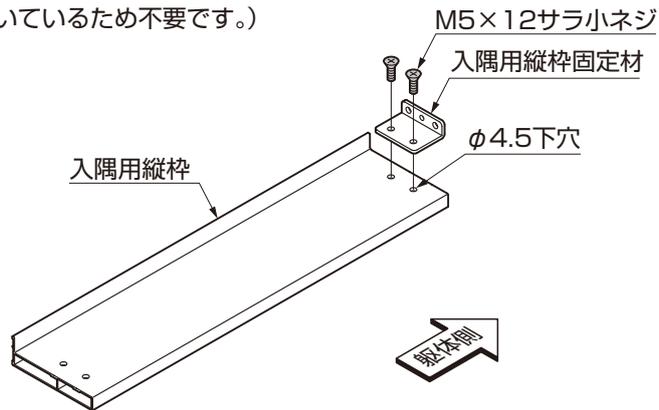
Pポイント

- 妻梁取付金具A裏板は、一度、主柱から取外して上下を反転させてください。
- 取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



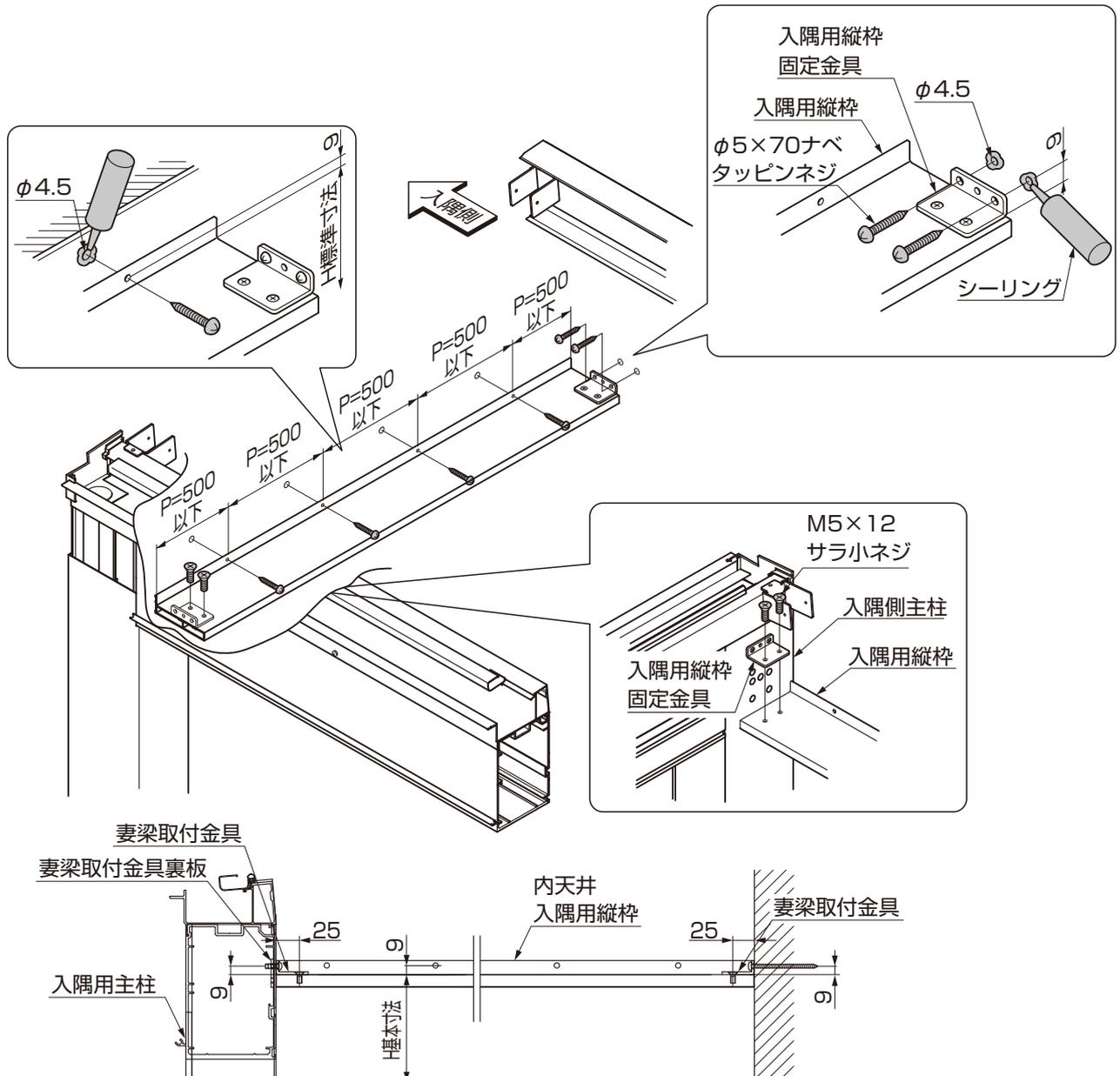
10-6-3 内天井入隅用縦枠の組立て

- ①内天井入隅用縦枠の両端にあいている穴箇所にφ4.5の下穴をあけ、躯体側に入隅用縦枠固定金具を内天井入隅用縦枠に【ネジ】で固定してください。（桁側は柱に取り付いているため不要です。）



10-6-4 内天井入隅用縦枠の取付け

- ①現場を実測して内天井入隅用縦枠を躯体に【ネジ】で水平になるように取付けてください。
 ②内天井入隅用縦枠と柱に取り付いている入隅用縦枠固定金具を【ネジ】で取付けてください。
 ③躯体側の入隅用縦枠固定金具の穴をガイドにして躯体にφ4.5の下穴をあけ入隅用縦枠固定金具を躯体に取付けてください。



10-7 調整FIX受枠・上部方立の取付け

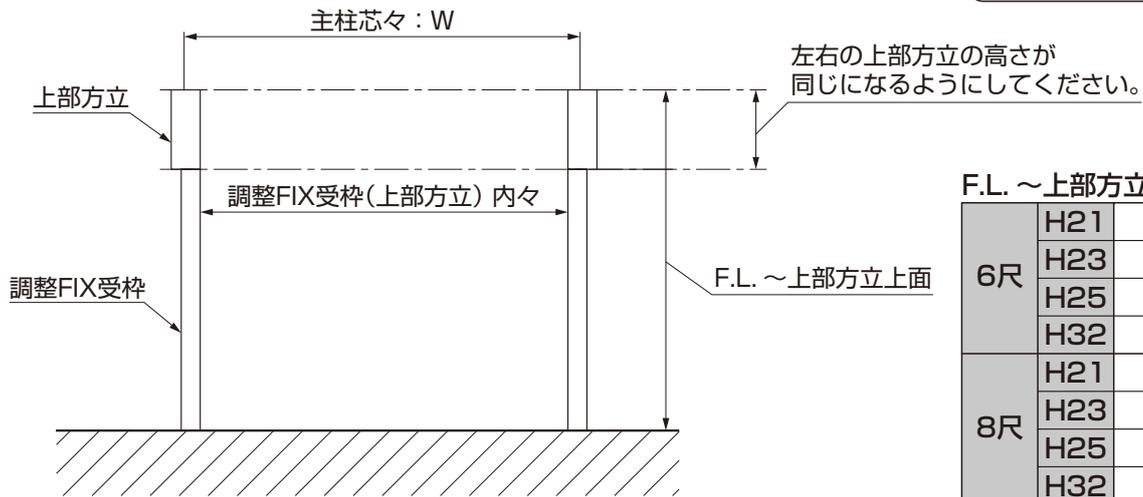
Pポイント

- 調整FIX受枠の取付け位置については「基本寸法(P.8)」を参照してください。
- 左右の上部方立および調整FIX受枠の上面は、レーザー水準器などを使用して水平に揃えてください。
- 調整FIX受枠と上部方立は室内側の面をそろえてください。

10-7-1 取付け位置の確認

(1) 床ベース材を使用しない場合

① 下図を参照して、調整FIX受枠の取付け位置を算出してください。



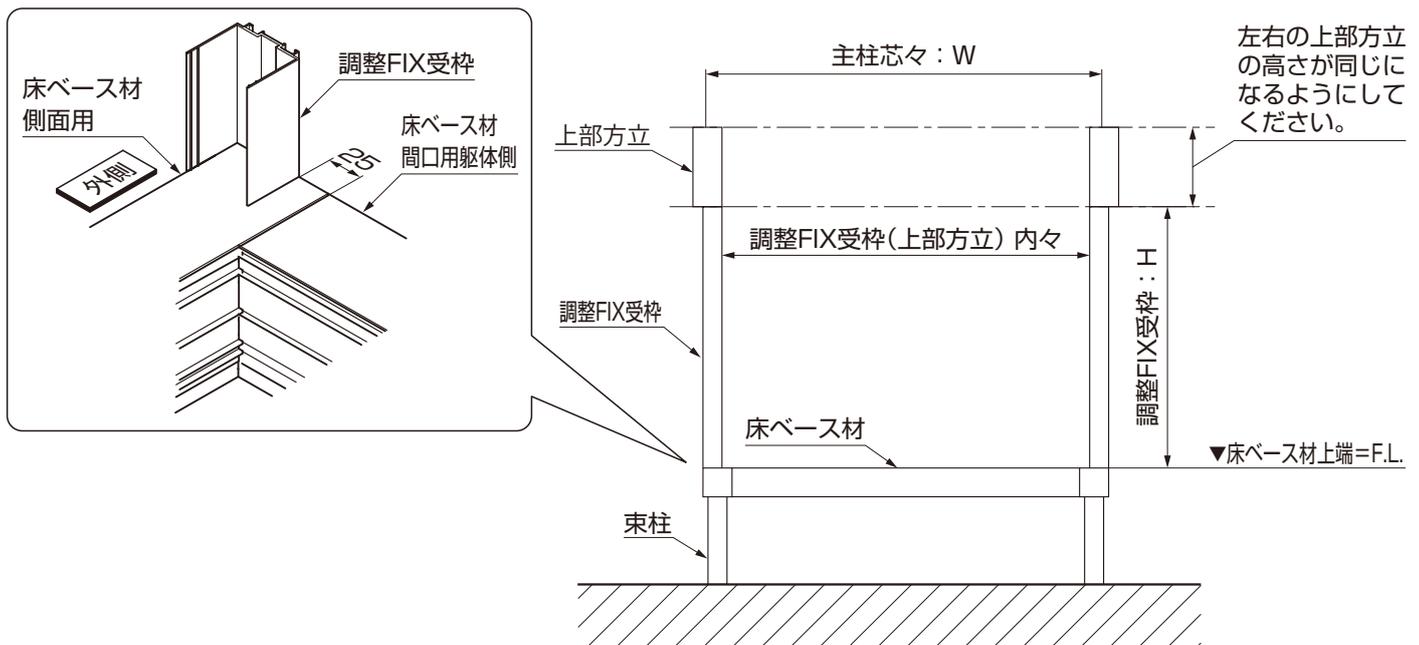
F.L.～上部方立上面寸法表

| | | |
|-----|-----|----------------|
| 6尺 | H21 | 2360(2405) |
| | H23 | 2560(2605) |
| | H25 | 2760(2805) |
| | H32 | 3460(3505) |
| 8尺 | H21 | 2412.9(2457.9) |
| | H23 | 2612.9(2657.9) |
| | H25 | 2812.9(2857.9) |
| | H32 | 3512.9(3557.9) |
| 10尺 | H21 | 2465.8(2510.8) |
| | H23 | 2665.8(2710.8) |
| | H25 | 2865.8(2910.8) |
| | H32 | 3565.8(3610.8) |

※()内寸法は強度桁(大型)を示します。

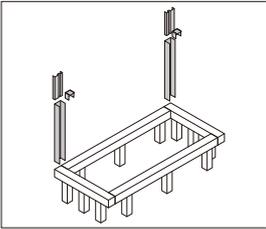
(2) 床ベース材を使用する場合

① 下図を参照して、調整FIX受枠の取付け位置を算出してください。



10-7-2 方立の取付け

(1) ルームタイプの場合



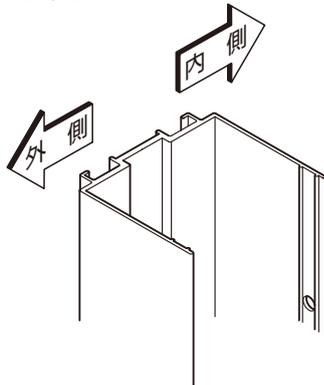
- ① 躯体に調整FIX受枠、上部方立取付け用の穴をけがいて、 $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた下穴にシーリングを充填してください。
- ③ 調整FIX縦枠、上部方立を【ネジ】で取付けてください。
- ④ 妻梁取付金具Bを上部方立に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

- 方立の取付け位置については「基本寸法(P.8)」を参照してください。

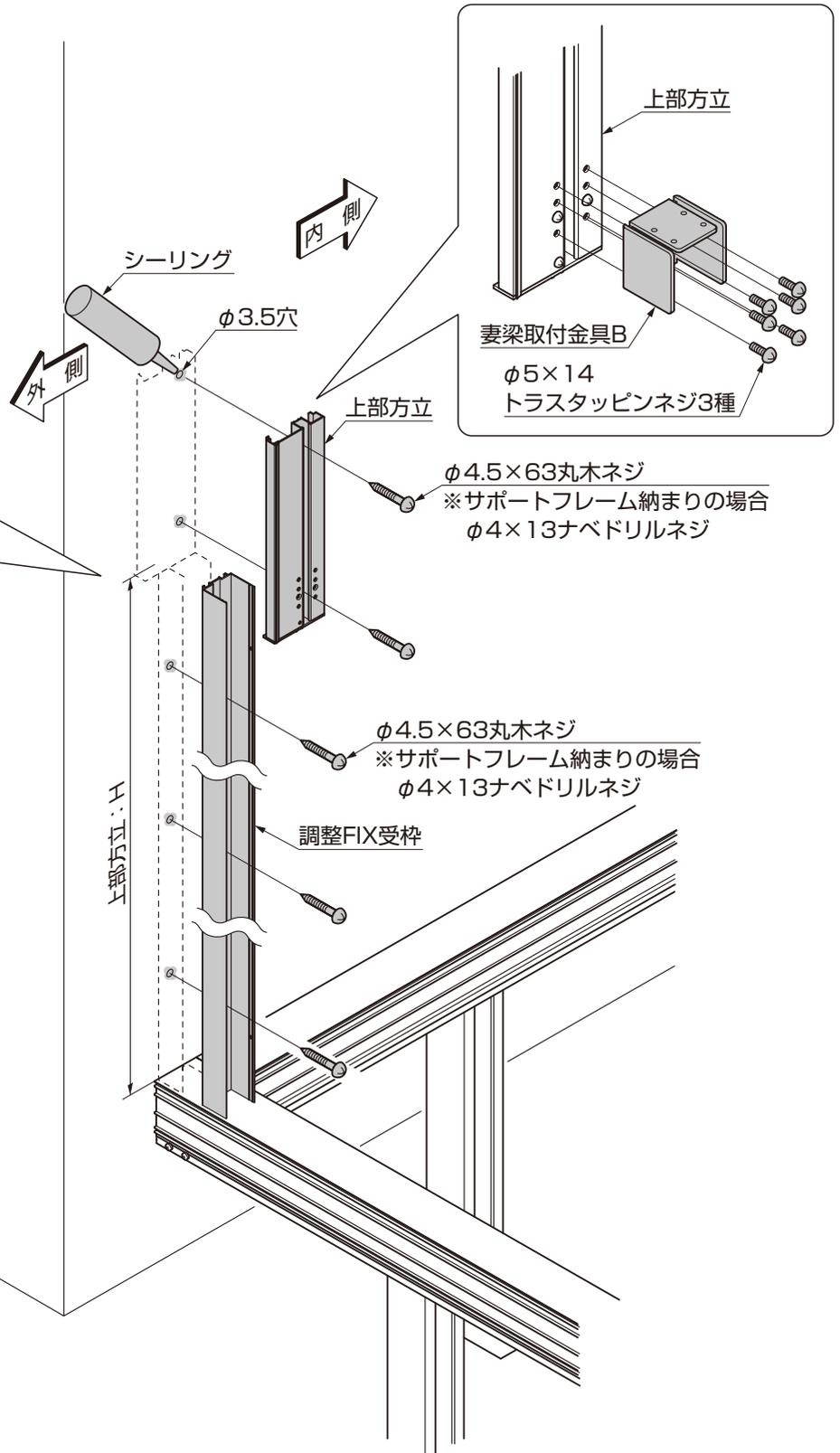
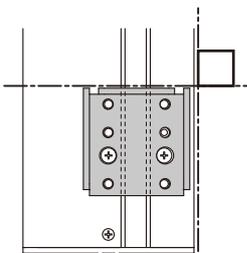
Pポイント

- 調整FIX受枠には向きがあります。

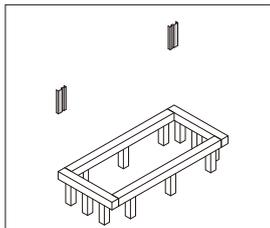


Pポイント

- 妻梁取付金具Bは上部方立に対して直角に取付けてください。
- 妻梁取付金具Bを取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



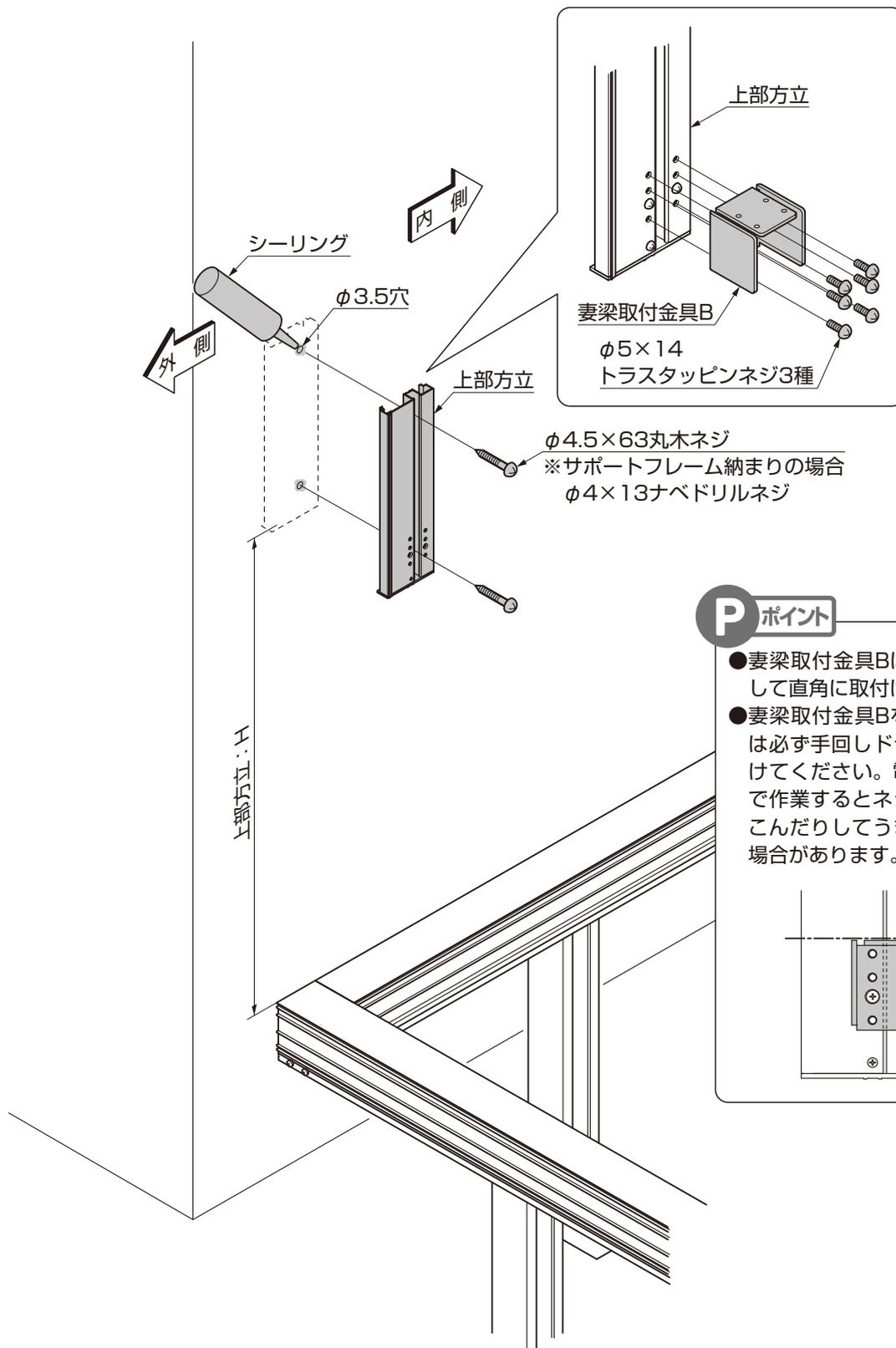
(2)テラスタイプの場合



- ①妻梁取付金具Bを上部方立に【ネジ】で取付けてください。
- ①躯体に上部方立取付け用の下穴をけがいて、 $\phi 3.5$ の下穴をあけてください。
- ②躯体にあけた下穴にシーリングを充填してください。
- ③上部方立を【ネジ】で取付けてください。

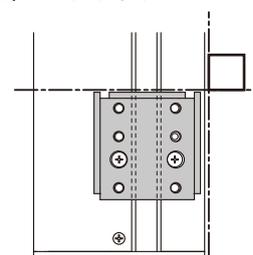
Pポイント

- 方立の取付け位置については「基本寸法(P.8)」を参照してください。



Pポイント

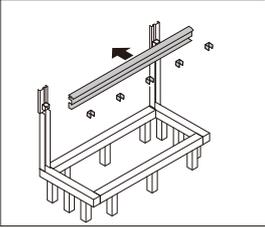
- 妻梁取付金具Bは上部方立に対して直角に取付けてください。
- 妻梁取付金具Bを取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



10-8 垂木掛けの取付け

10-8-1 標準の場合

(1) 600N・1500Nの場合



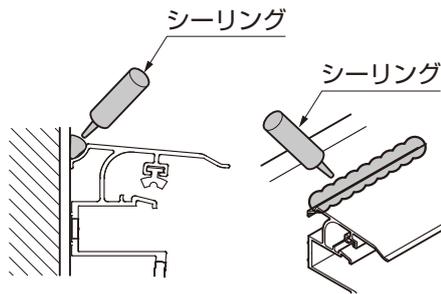
- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の下穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた下穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛を躯体の構造材に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

Pポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

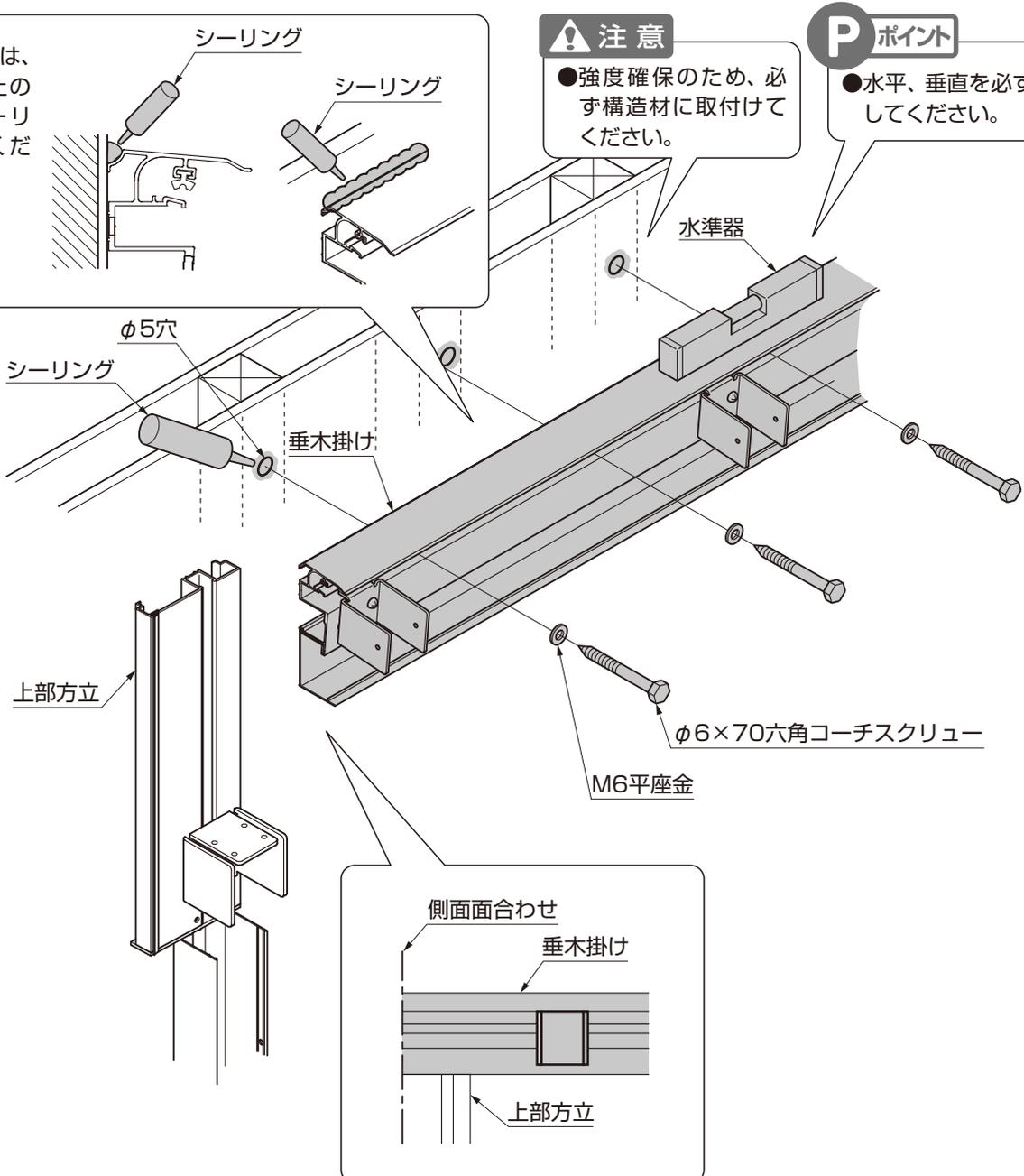


⚠ 注意

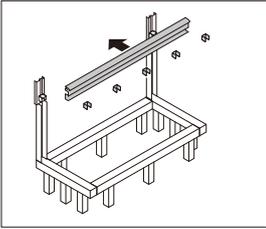
- 強度確保のため、必ず構造材に取付けてください。

Pポイント

- 水平、垂直を必ず確認してください。



(2) 3000Nの場合



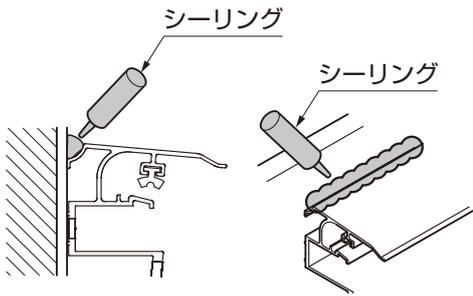
- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ3.5およびφ5の下穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた下穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【ネジ】で取付けてください。
- ④ 垂木取付金具を垂木掛けに【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

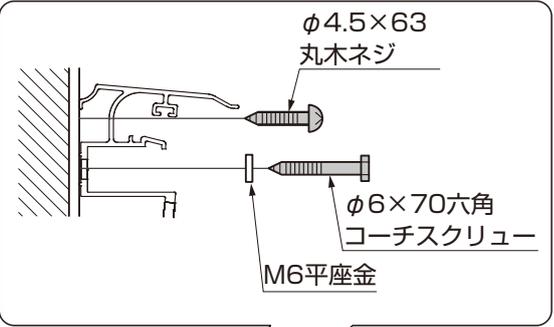
Pポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



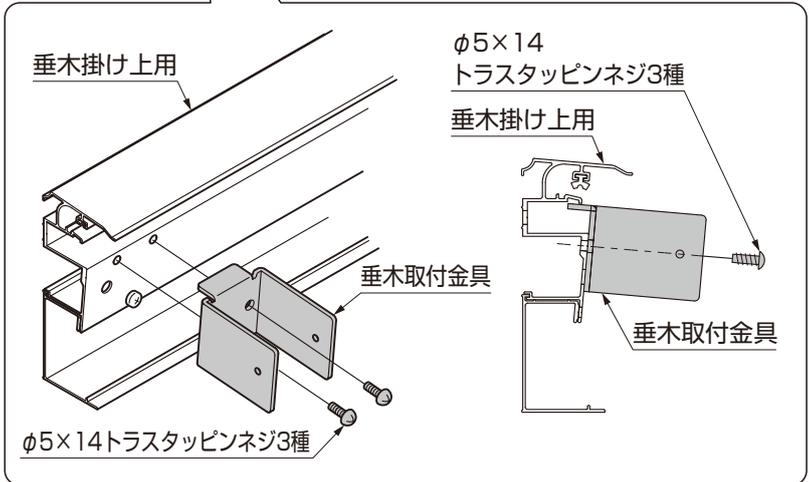
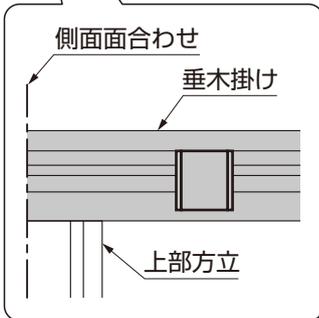
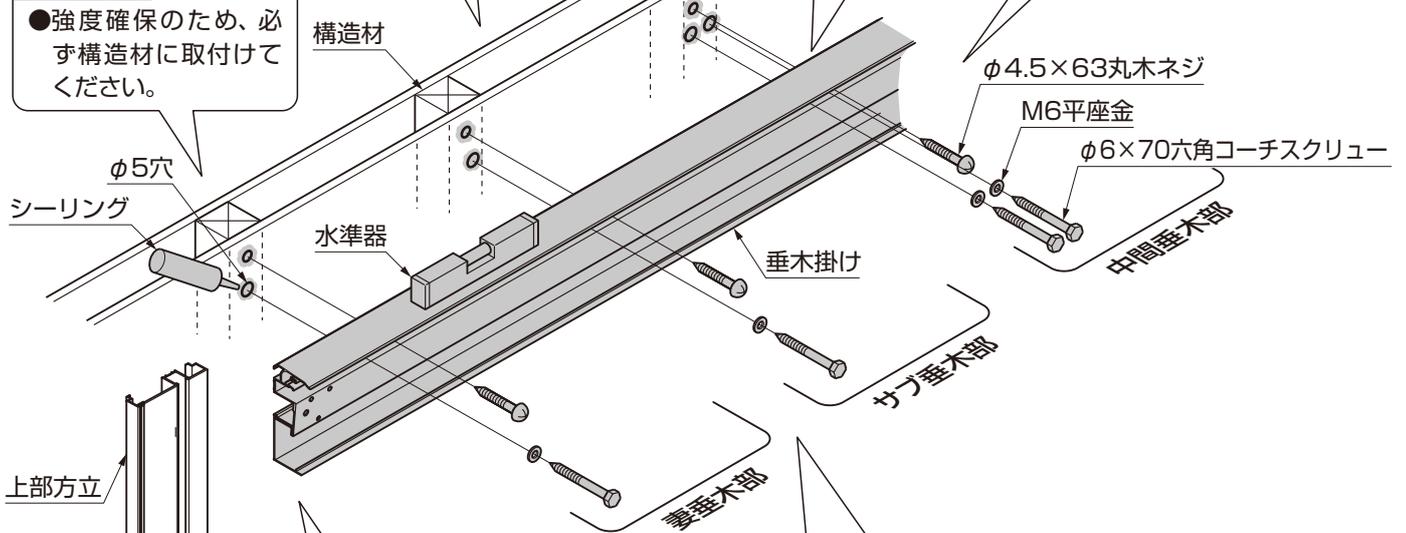
Pポイント

- 水平、垂直を必ず確認してください。



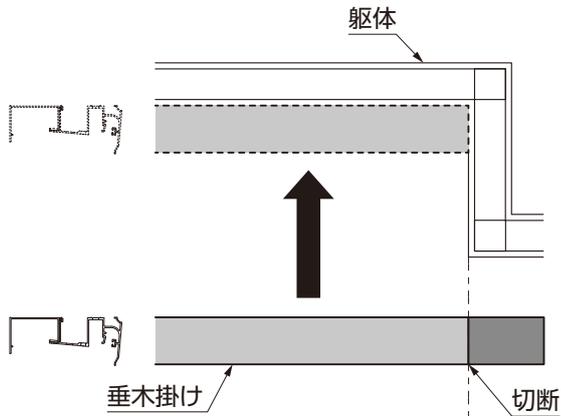
注意

- 強度確保のため、必ず構造材に取付けてください。

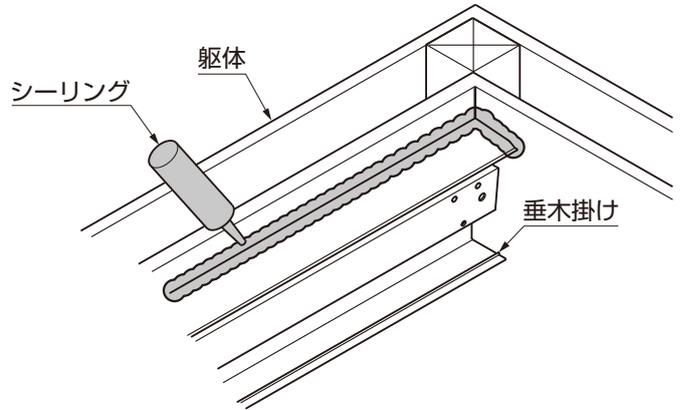


10-8-2 入隅躯体側出幅違い仕様の場合

- ① 躯体側出幅違いの場合、垂木掛けを図を参照して切断してください。
- ② 垂木掛けの入隅箇所にシーリングをしてください。



躯体側出幅違いの場合の垂木掛けの切断

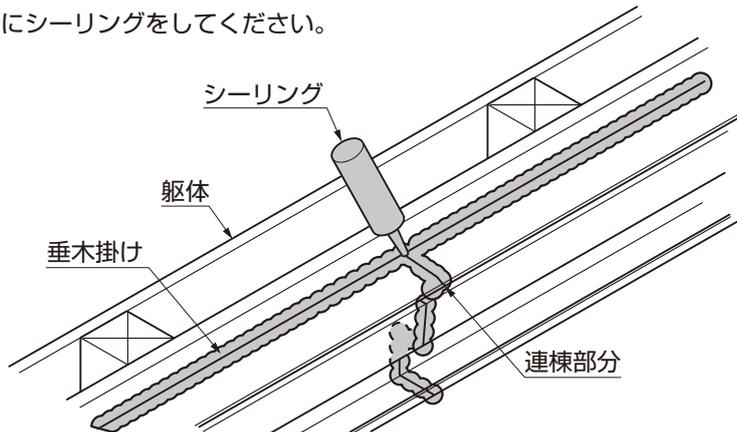


Pポイント

- 入隅部分以外の取付けについては「標準の場合(P.72)」を参照してください。

10-8-3 連棟仕様の場合

- ① 垂木掛けの連棟部分にシーリングをしてください。



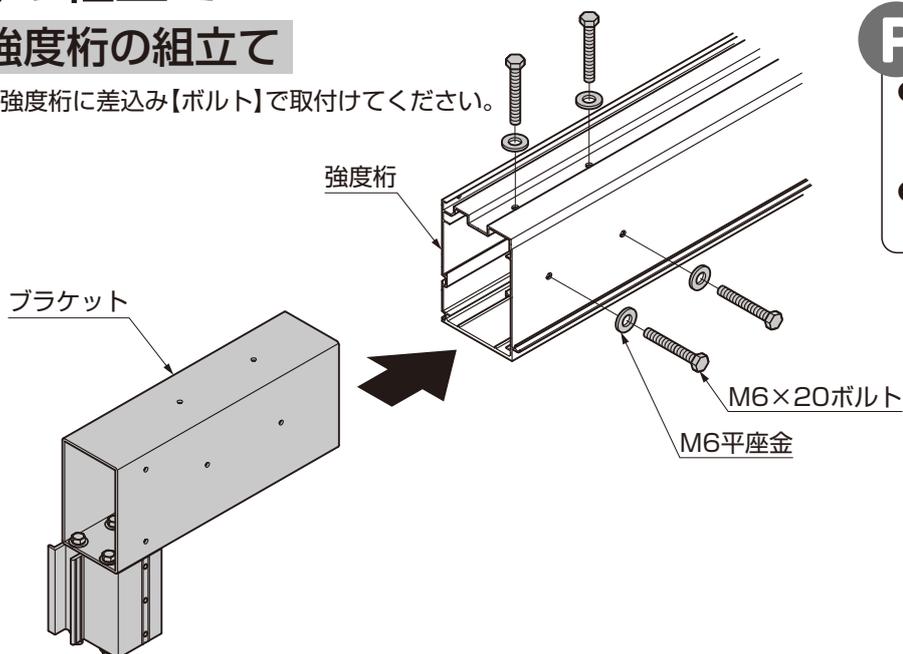
Pポイント

- 連棟部分以外の取付けについては「標準の場合(P.72)」を参照してください。

10-9 桁の組立て

10-9-1 強度桁の組立て

- ① ブラケットを強度桁に差込み【ボルト】で取付けてください。



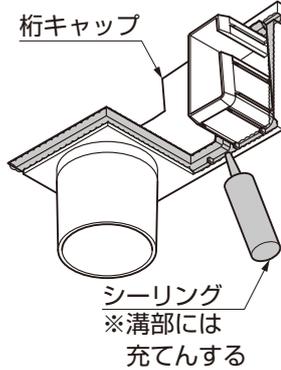
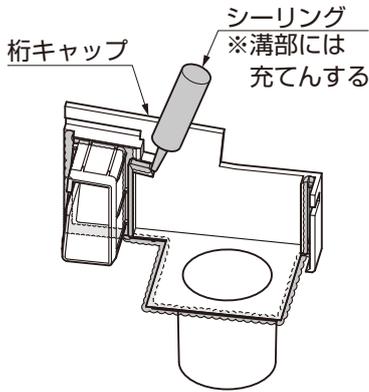
Pポイント

- 図は左用を示します。左用も同様に組み立ててください。
- M6ボルトは仮固定としてください。

10-9-2 雨樋桁の組立て

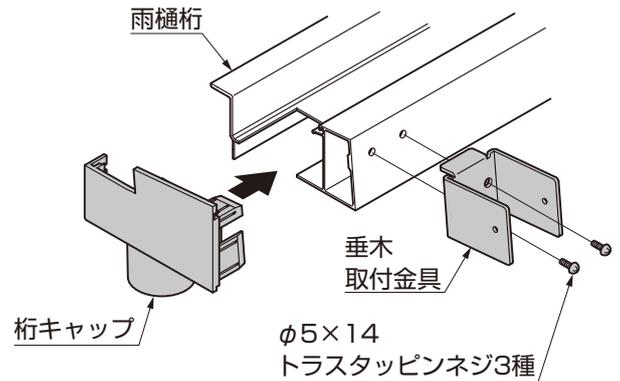
(1) 桁キャップ、垂木取付け金具の取付け

- ① 桁キャップにシーリングをして雨樋桁にはめこんでください。
- ② 垂木取付け金具を雨樋桁に【ネジ】で取付けてください。



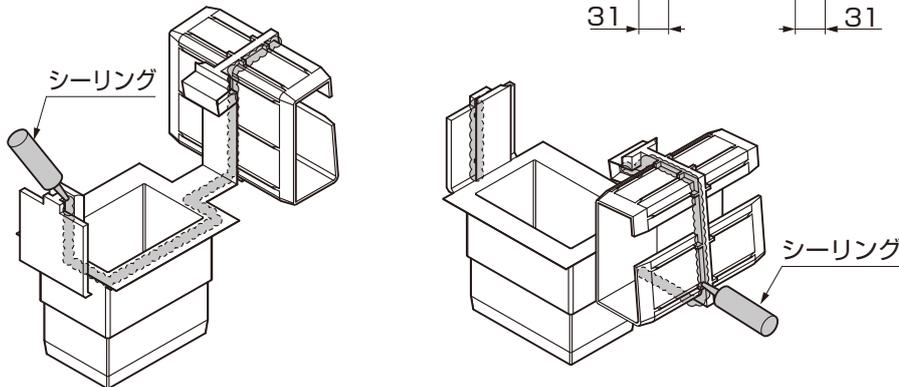
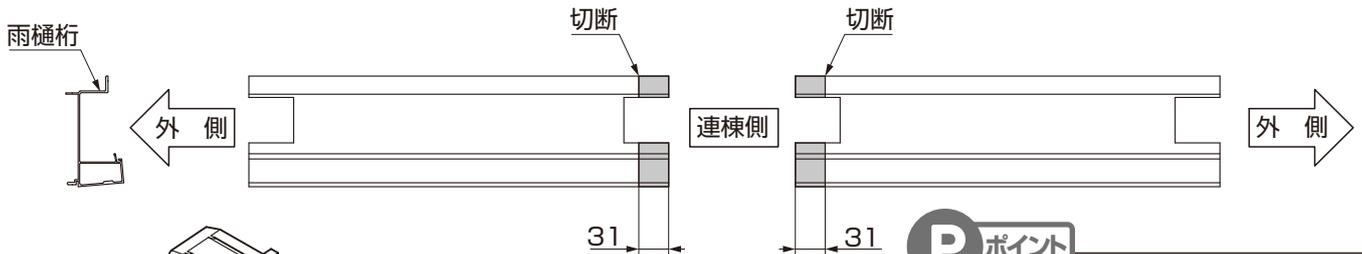
P ポイント

- 図は右用を示します。左用も同様に組み立ててください。
- 組付け後はシーリングが雨樋桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。シーリングが組付けによって切れるなどで不十分な場合は追加塗布してください。



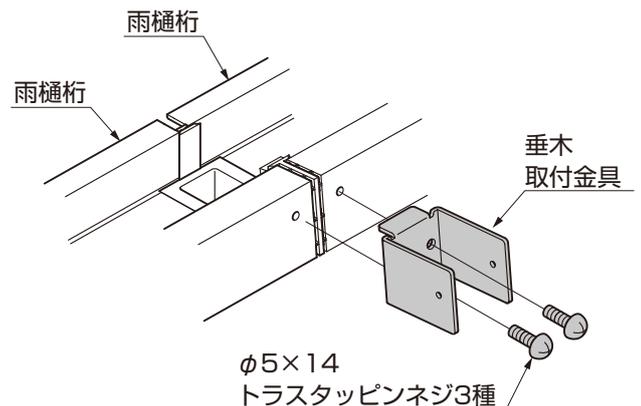
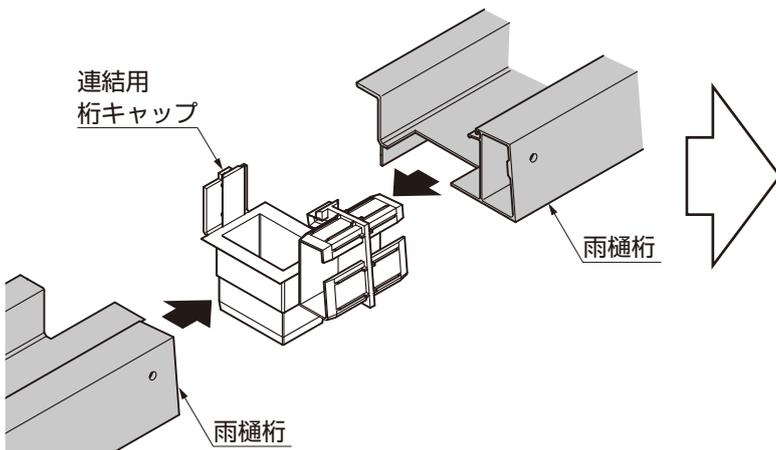
(2) 連棟の場合

- ① 左右の雨樋桁の連棟側をそれぞれ31mm切断してください。
- ② 連棟用桁キャップにシーリングをして左右の雨樋桁の連結側にはめ込んでください。
- ③ 垂木取付け金具を連結した雨樋桁に【ネジ】で取付けてください。

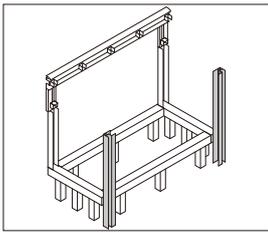


P ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



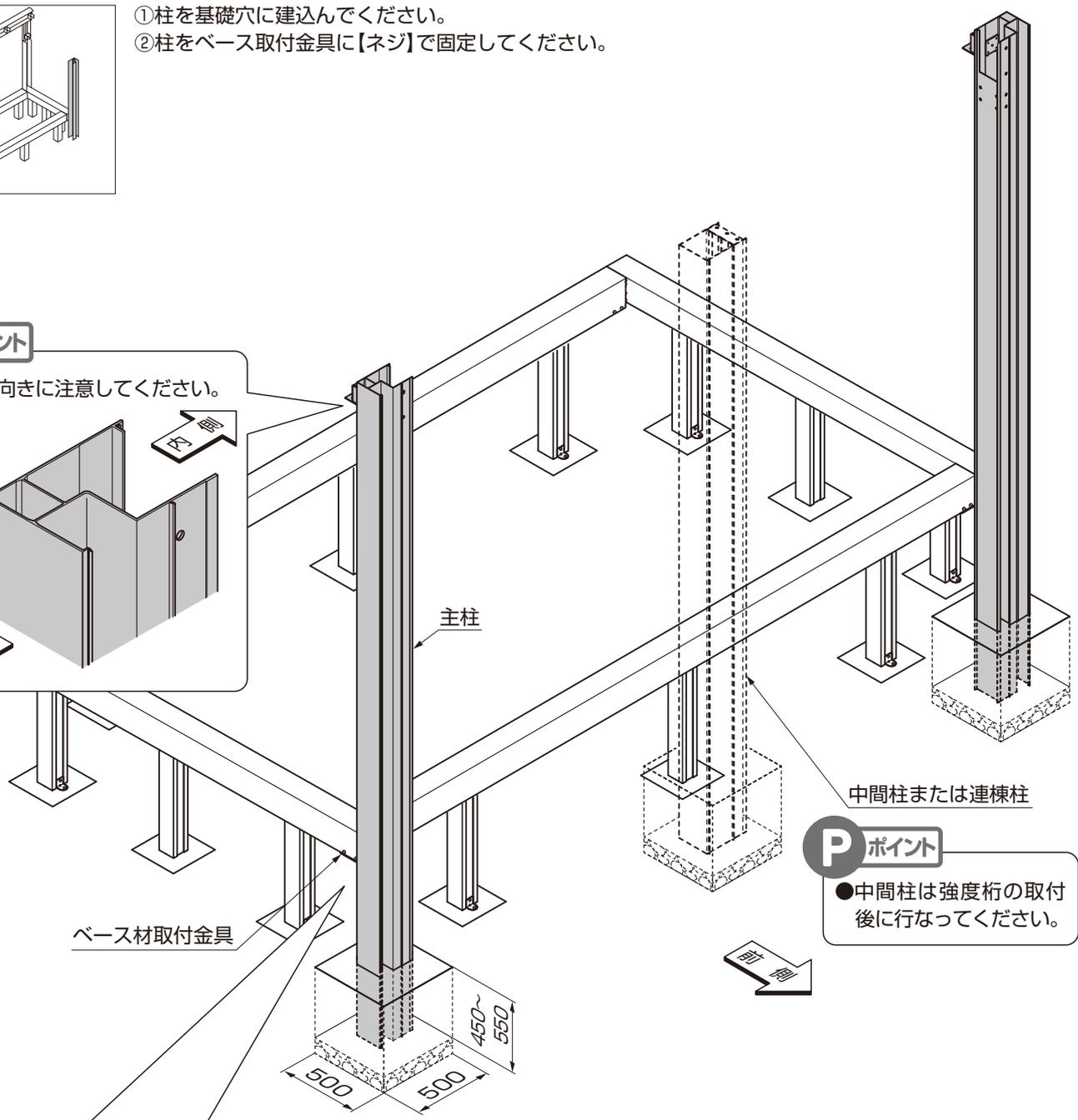
10-10 柱の建込み



- ① 柱を基礎穴に建込んでください。
- ② 柱をベース取付金具に【ネジ】で固定してください。

Pポイント

● 柱の向きに注意してください。



Pポイント

● 中間柱は強度桁の取付後に行なってください。

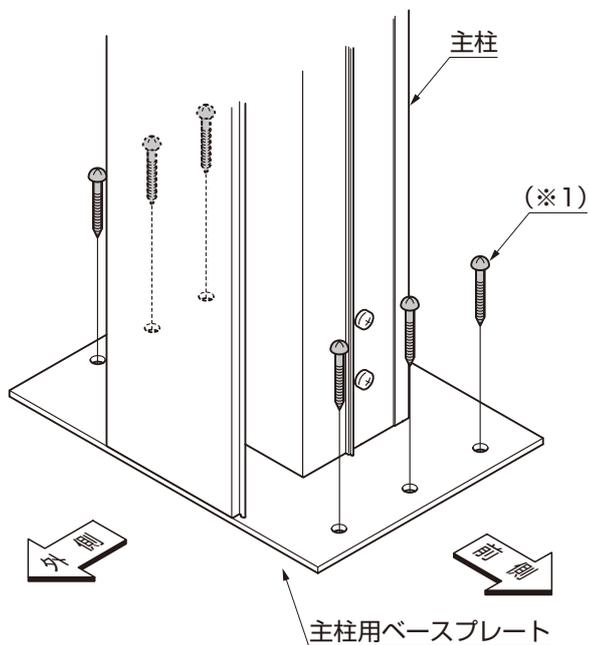
Pポイント

● ベース材とのすき間については下記を参照して柱を設置してください。

10-11 ベースプレート仕様の場合

10-11-1 主柱の場合

①主柱用ベースプレートを打ち込んでください。



Pポイント

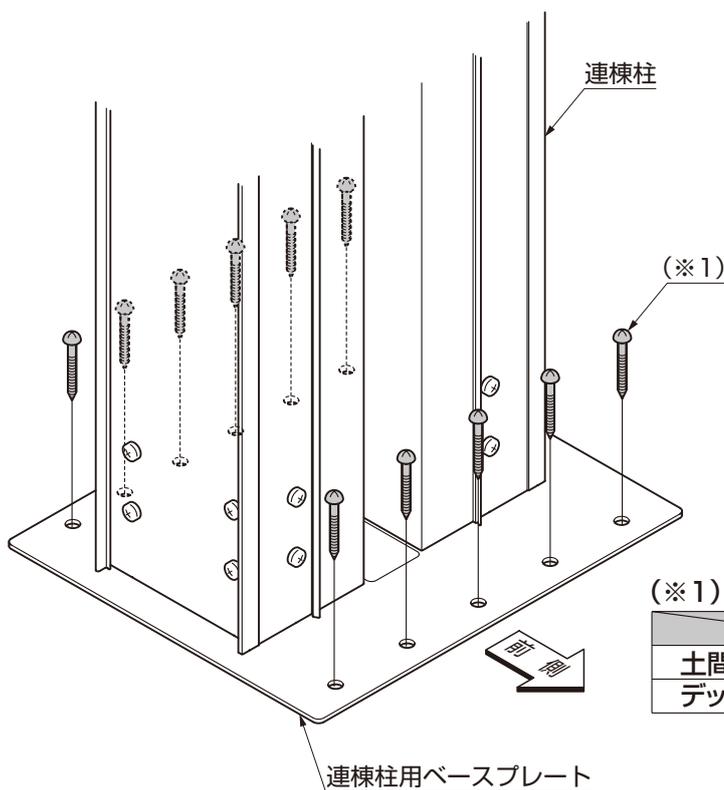
- 主柱用ベースプレートには、左右があります。
(図は左側の場合です。)

(※1)

| | 使用ネジ | 本数 |
|----------|--------------------|----|
| 土間仕様の場合 | φ5×35セルフタップアンカー | 6 |
| デッキ仕様の場合 | φ5×70ナベドリルネジ D=9.5 | 6 |

10-11-2 連棟柱の場合

①連棟柱用ベースプレートを打ち込んでください。

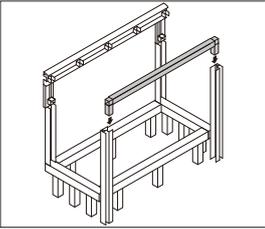


(※1)

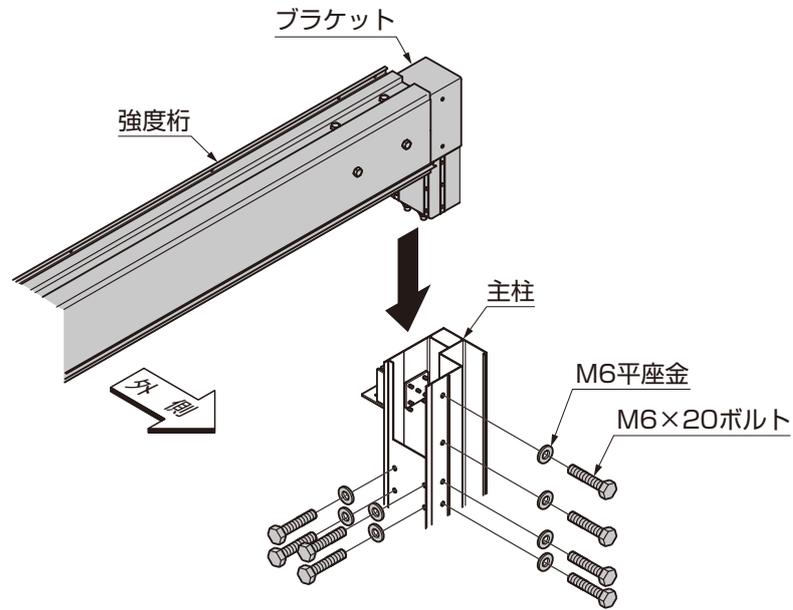
| | 使用ネジ | 本数 |
|----------|--------------------|----|
| 土間仕様の場合 | φ5×35セルフタップアンカー | 11 |
| デッキ仕様の場合 | φ5×70ナベドリルネジ D=9.5 | 11 |

10-12 強度桁の仮固定

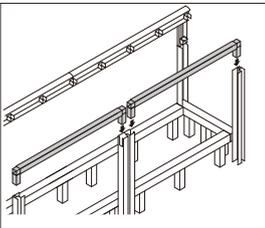
10-12-1 基本、中間柱の場合



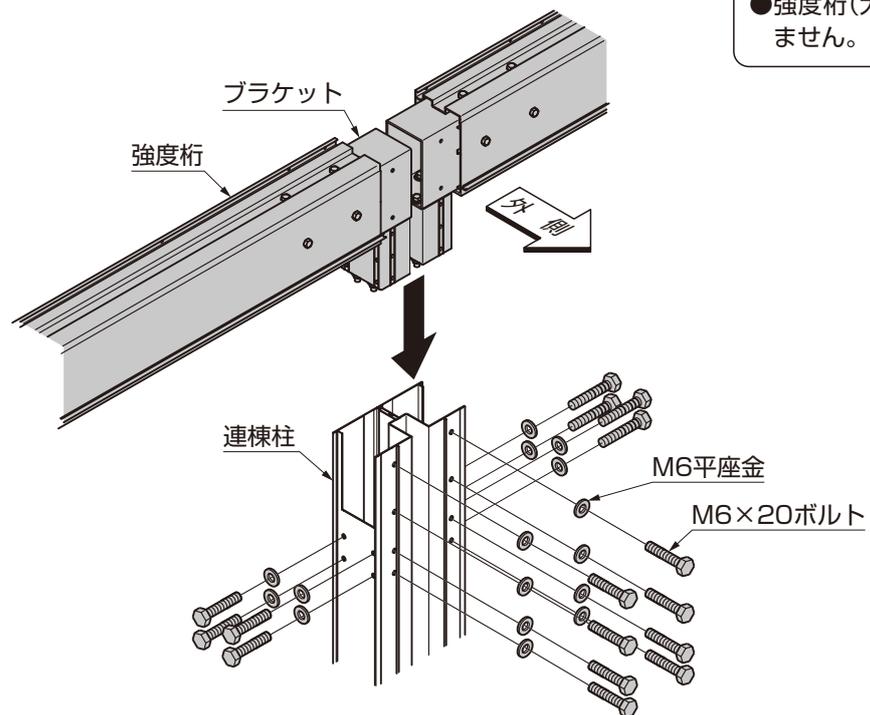
①強度桁のブラケット部分を主柱に差込み【ボルト】で仮固定してください。



10-12-2 連棟仕様の場合



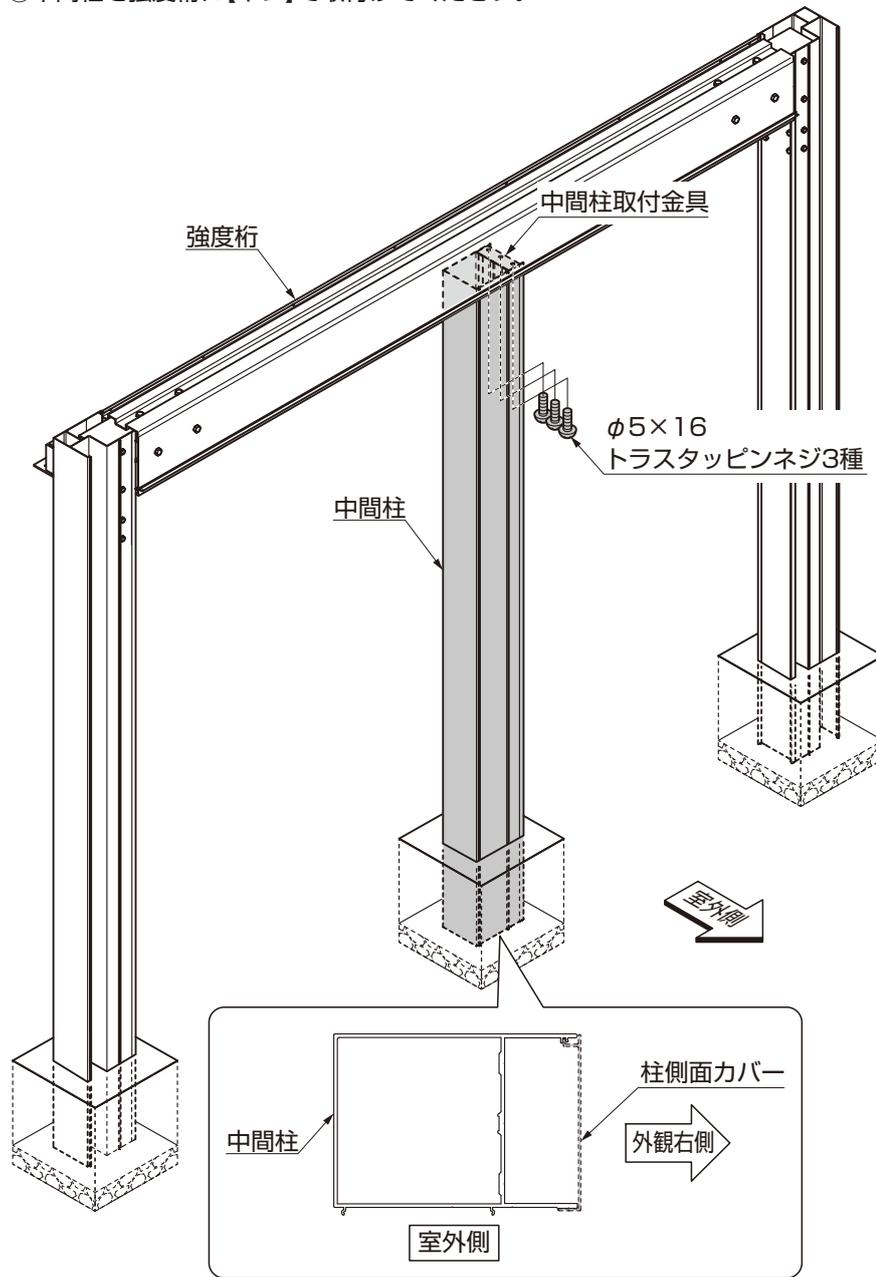
①強度桁のブラケット部分を主柱、連棟柱に差込み【ボルト】で仮固定してください。



Pポイント
●強度桁(大型)は連棟できません。

10-12-3 中間柱の場合 ※ベースプレート仕様の場合は「ベースプレート仕様の場合」も参照してください。

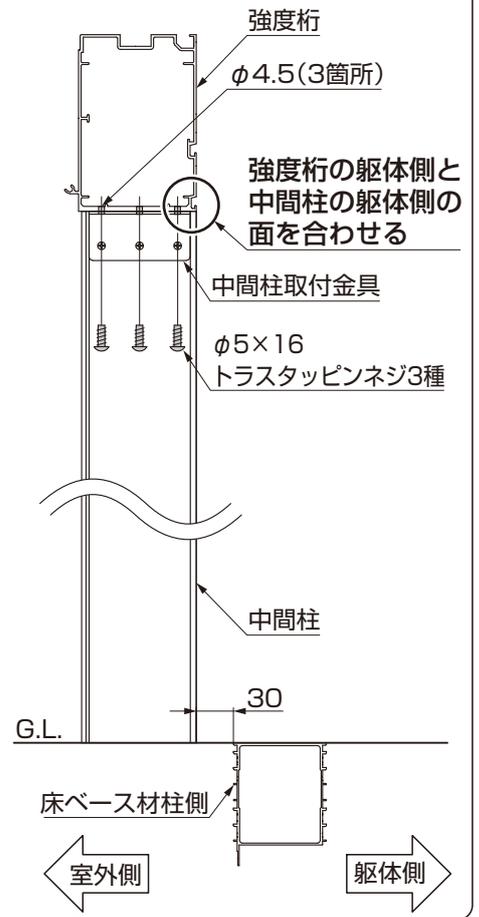
- ① 中間柱を基礎穴に建込んでください。
- ② 中間柱に取付けた中間柱取付金具の穴をガイドとして、強度桁にφ4.5の穴加工をしてください。
- ③ 中間柱を強度桁に【ネジ】で取付けてください。



P ポイント

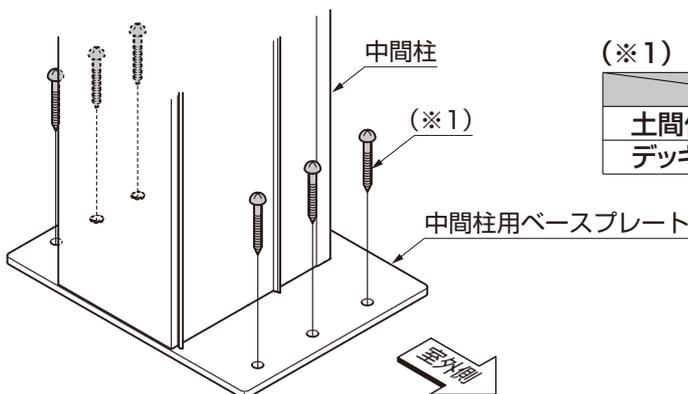
- 中間柱の位置については「基本寸法と各部の名称(P.8)」を参照してください。
- 中間柱は、どの位置に設置する場合でも外観右側に柱側面カバーがくる向きで取付けてください。

【中間柱の建込み】



10-12-4 ベースプレート仕様の場合

- ① ベースプレートを基礎に打ち込んでください。

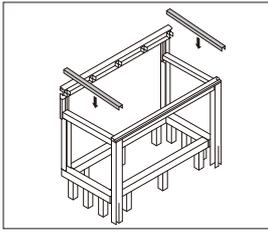


(※1)

| | 使用ネジ | 本数 |
|----------|--------------------|----|
| 土間仕様の場合 | φ5×35セルフタップアンカー | 6 |
| デッキ仕様の場合 | φ5×70ナベドリルネジ D=9.5 | 6 |

※部分入隅、戸袋逃げ納まりの場合は、「移動方立 取付説明書(E427)」を参照してください。
納まりにより手順が変わることがあります。

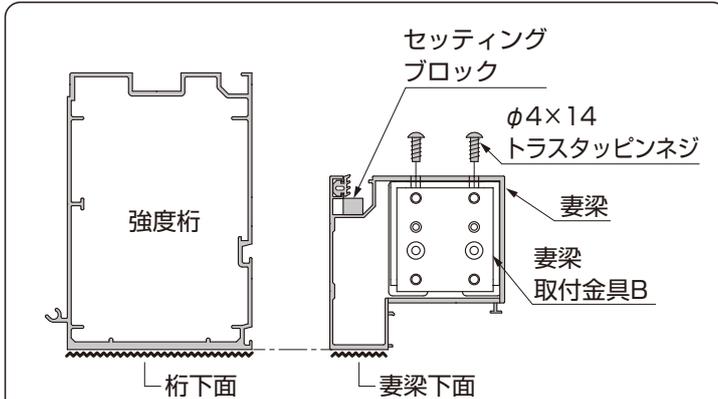
10-13 妻梁の取付け



- ①セッティングブロックを妻梁に貼りつけてください。
- ②妻梁を妻梁取付金具に【ネジ】で取付けてください。

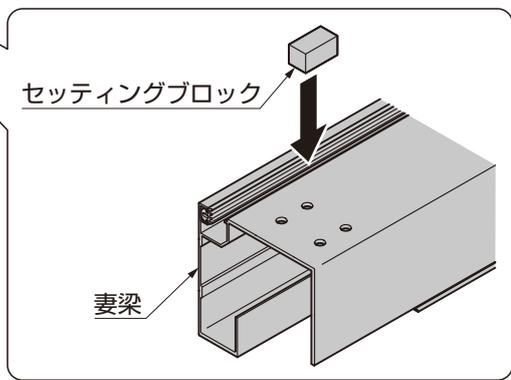
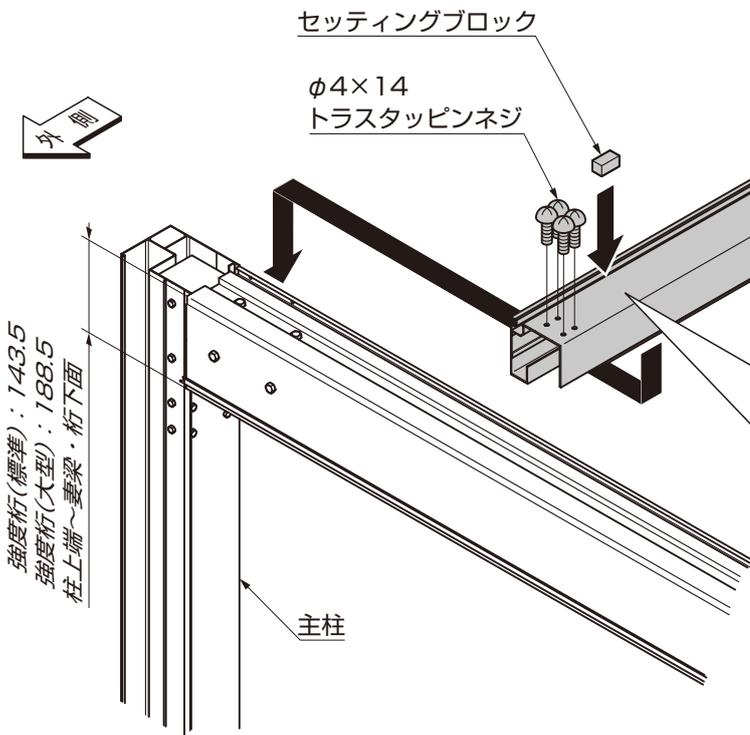
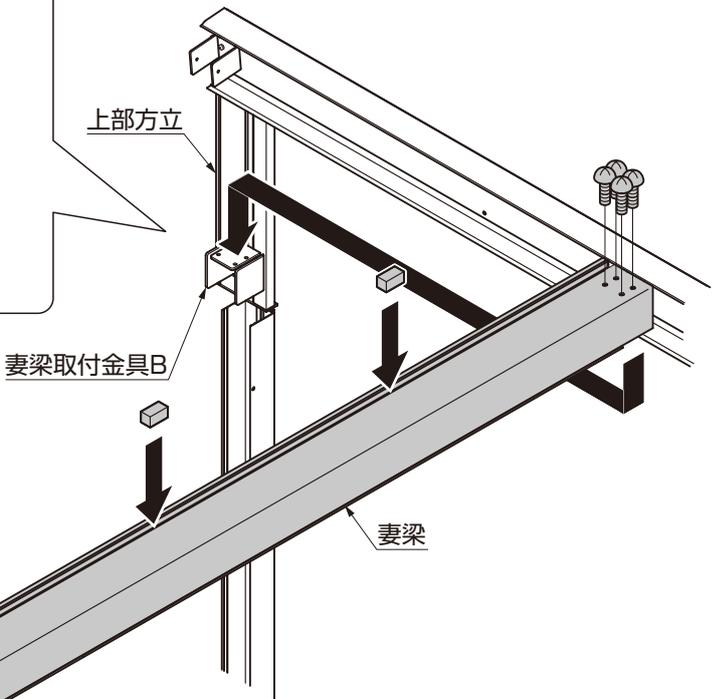
Pポイント

- 妻梁は柱・上部方立とすき間があかないように取付けてください。
- 取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けてください。電動ドライバーで作業するとネジが金具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があります。



Pポイント

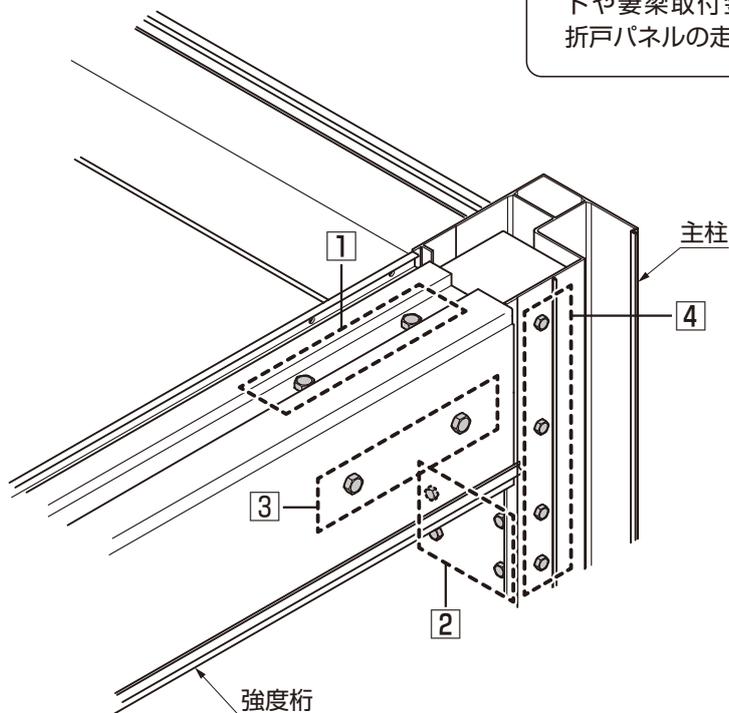
- 妻梁の下面と強度桁の下面が揃っている事を確認してください。
- 図は強度桁(標準)を示します。強度桁(大型)の場合も同様に行なってください。



10-14 強度桁の固定

10-14-1 基本、中間柱の場合

①【ボルト】を下図の①→②→③→④の順番で本締めしてください。

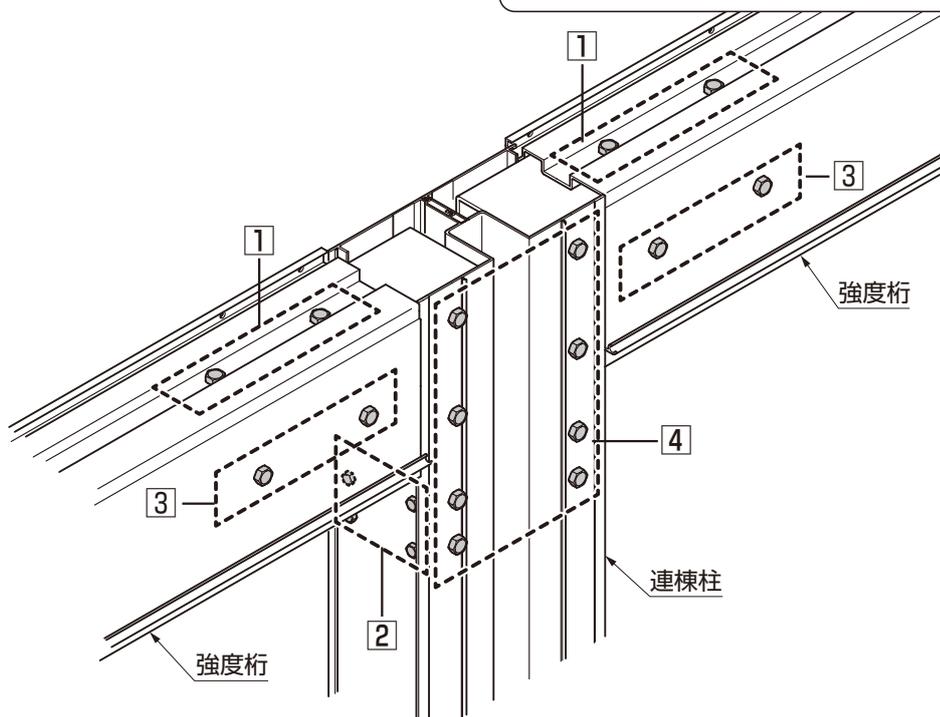


Pポイント

- 妻梁と強度桁の下面が揃っているか確認してください。揃っていない場合は、強度桁と柱を固定しているボルトや妻梁取付金具で高さ位置を調整してください。折戸パネルの走行に支障をきたす場合があります。

10-14-2 連棟仕様の場合

①【ボルト】を下図の①→②→③→④の順番で本締めしてください。

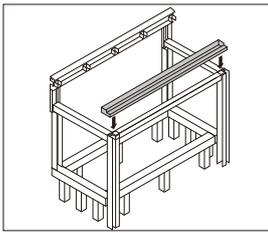


Pポイント

- 強度桁(大型)は連棟できません。
- 妻梁と強度桁の下面が揃っているか確認してください。揃っていない場合は、強度桁と柱を固定しているボルトや妻梁取付金具で高さ位置を調整してください。折戸パネルの走行に支障をきたす場合があります。

10-15 雨樋桁の取付け

①雨樋桁を強度桁に【ネジ】で取付けてください。



Pポイント

●内側固定用のネジは、 $\phi 4 \times 16$ サラドリルネジ D=6 を使用してください。

$\phi 4 \times 16$
サラドリルネジ D=6

$\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

雨樋桁

強度桁

妻梁

支柱

【連棟仕様の場合】

雨樋桁

強度桁

連棟用
桁キャップ

連棟柱

$\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

雨樋桁

内側

外側

$\phi 4 \times 16$
サラドリルネジ
D=6

妻梁

強度桁

内側

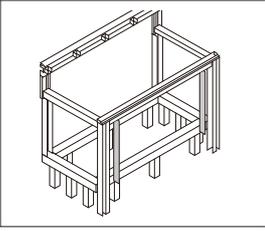
外側

雨樋桁

$\phi 4 \times 16$
サラドリルネジ
D=6

強度桁

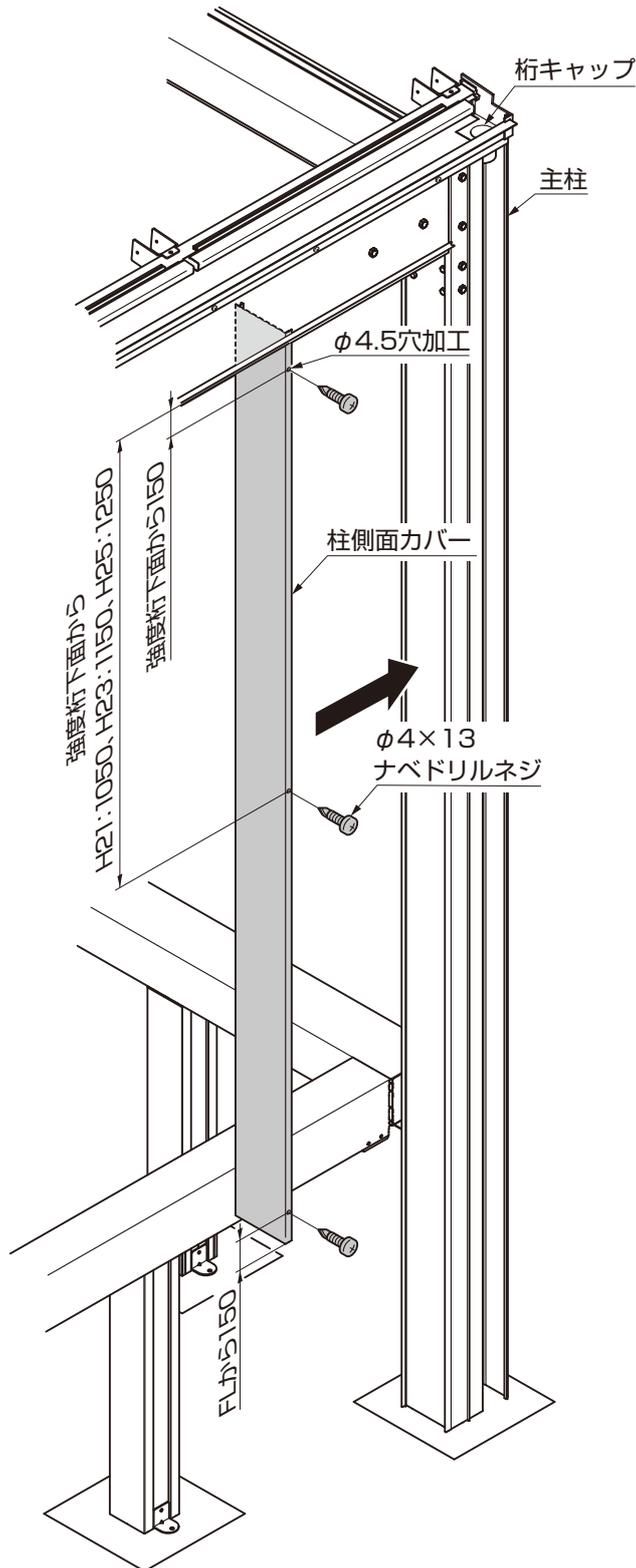
10-16 柱側面カバーの取付け



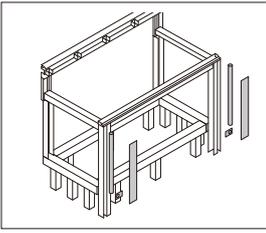
- ① 柱側面材にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ② 柱側面カバーを柱に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

● 中間柱、連棟柱も同様に取付けてください。



10-17 たて樋、柱前面カバーの取付け



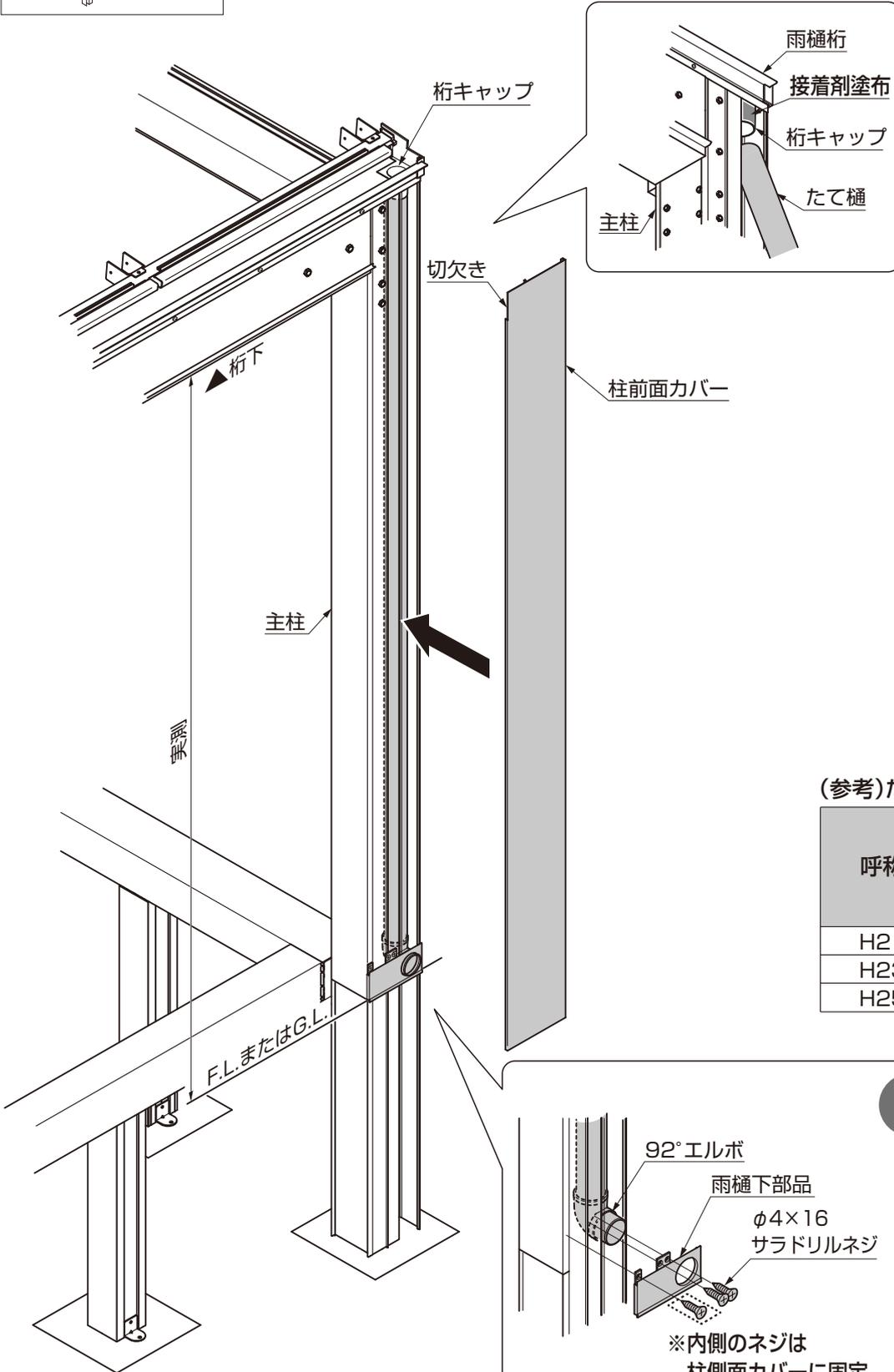
- ① たて樋を(F.L.またはG.L. ~ 桁下寸法実測値) + 90mm(強度桁(大型)は + 135mm)で切断してください。
- ② たて樋を桁キャップに接着剤を塗布して、はめ込んでください。
- ③ 92°エルボをたて樋に取付けてください。
- ④ 雨樋下部品を主柱に【ネジ】で取付けてください。
- ⑤ 柱前面カバーを柱にはめ込んでください。

Pポイント

- 柱前面カバーは中間柱、連棟柱も同様に取付けてください。

Pポイント

- たて樋は実測値を取って、切断加工を行なってください。

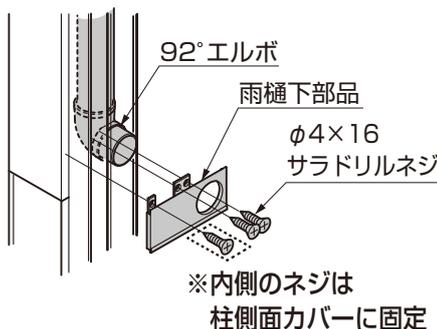
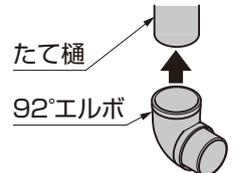


(参考)たて樋寸法

| 呼称 | L | |
|-----|---------|---------|
| | -強度桁-標準 | -強度桁-大型 |
| H21 | 2190 | 2235 |
| H23 | 2390 | 2435 |
| H25 | 2590 | 2635 |

Pポイント

- 雨樋下部品を取付ける前に、92°エルボをたて樋にはめ込んでください。



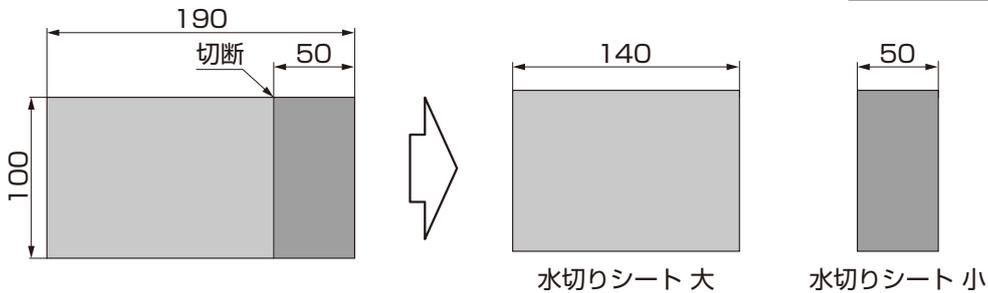
10-18 水切りシートの貼付け(強度桁(標準)の場合)

10-18-1 水切りシートの切断

①水切りシートを切断してください。

P ポイント

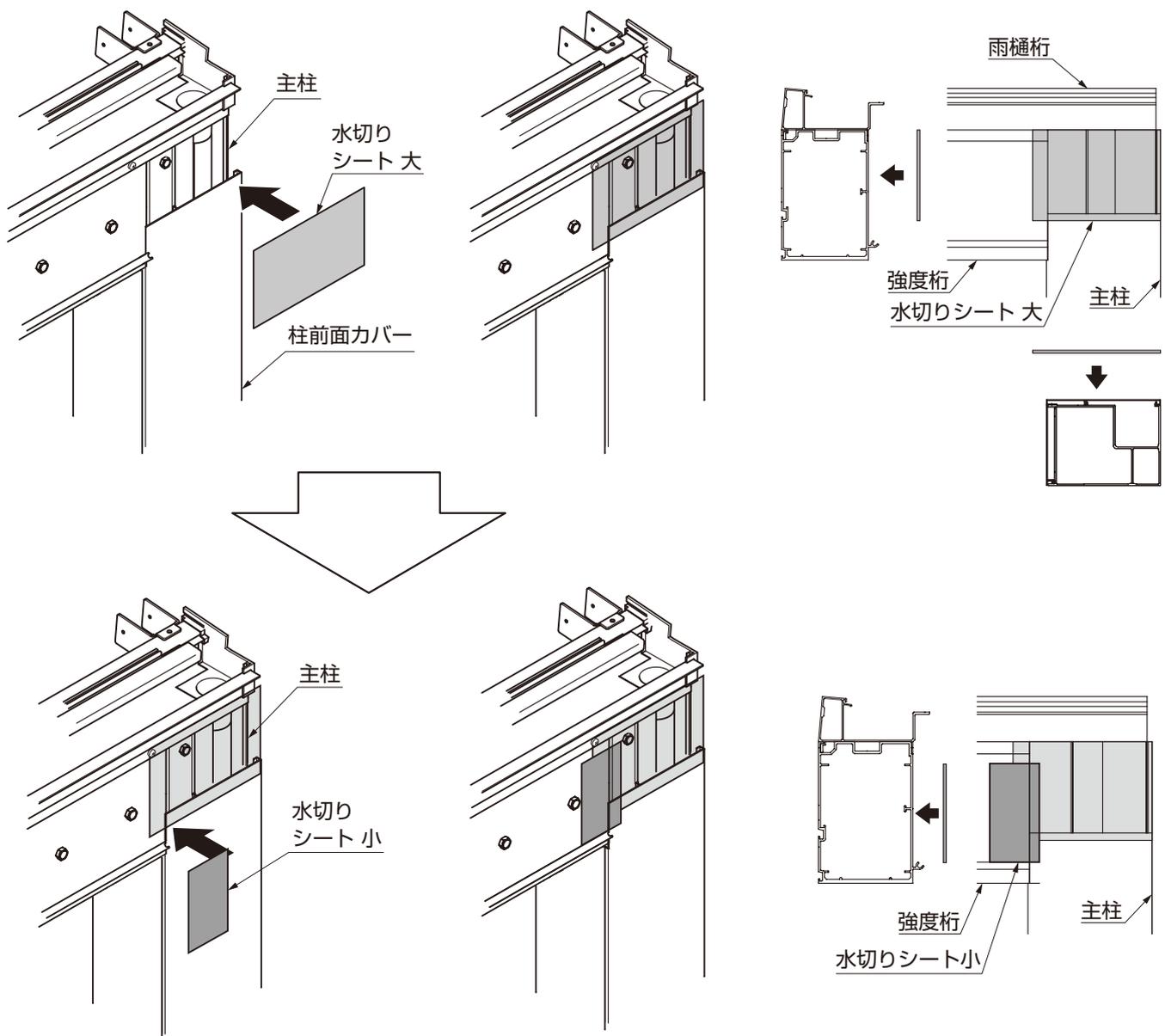
●図は外観右用です。外観左用は対称となります。



10-18-2 水切りシートの貼付け

(1)主柱への貼付け

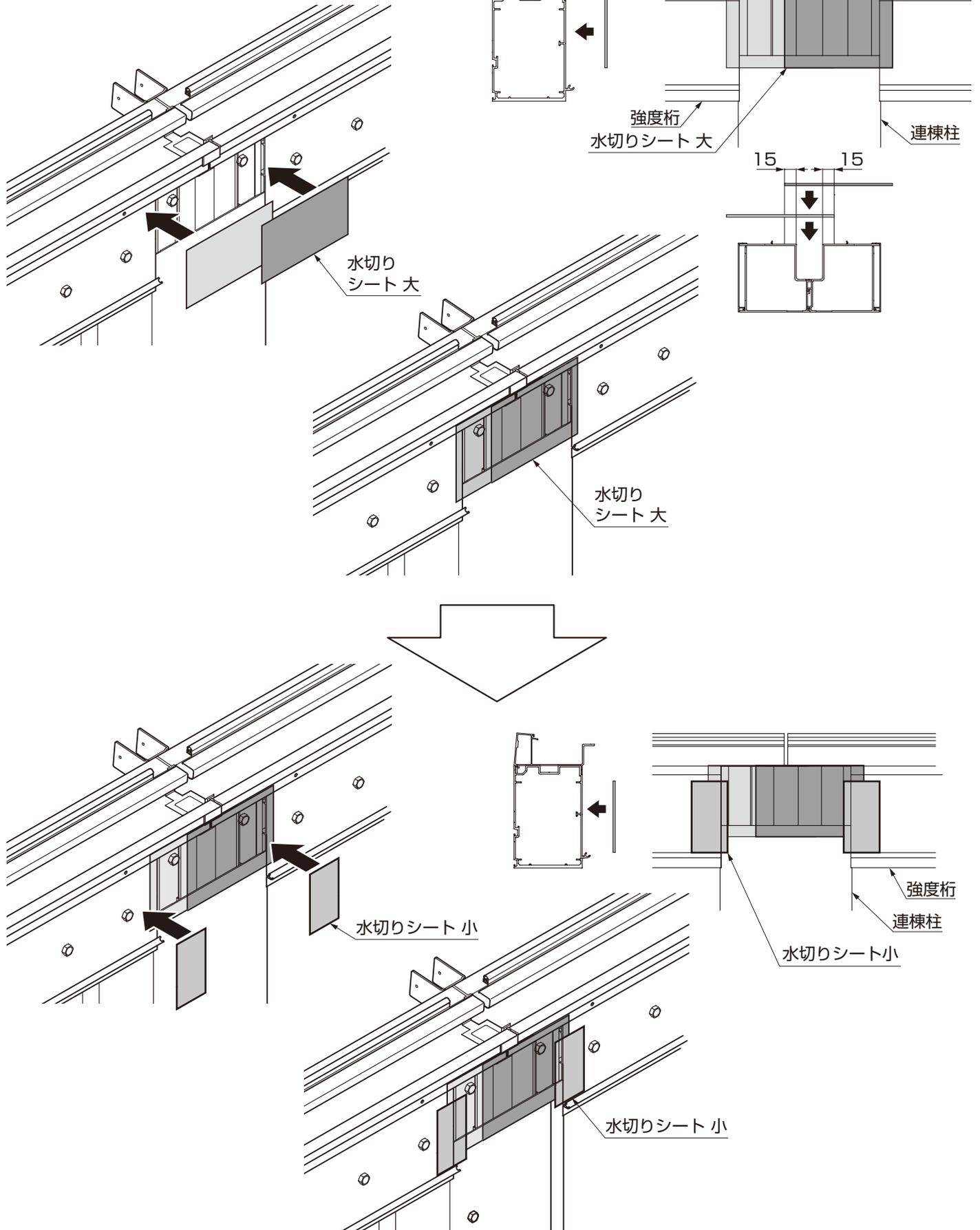
①水切りシートを主柱に貼付けてください。



10-18-2 水切りシートの貼付け(つづき)

(2) 連棟柱への貼付け

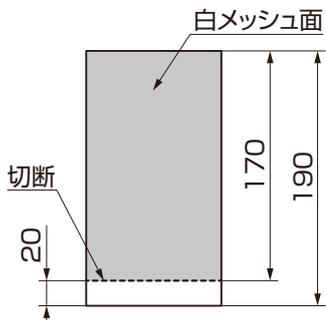
① 水切りシートを柱に貼付けてください。



10-19 水切りシートの貼付け(強度桁(大型)の場合)

10-19-1 水切りシートの切断

①水切りシートを切断してください。

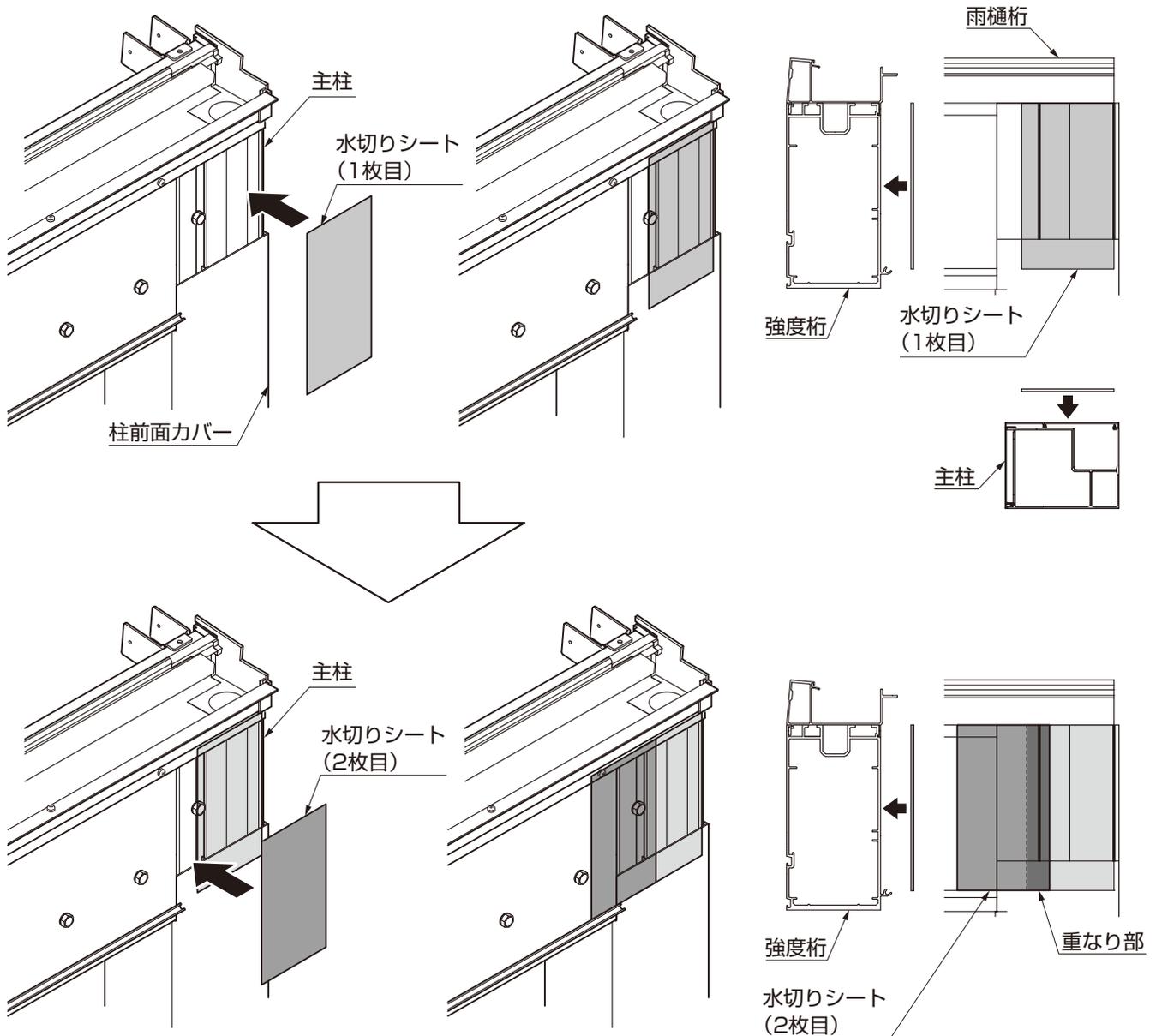


Pポイント

●図は外観右用です。外観左用は対称となります。

10-19-2 水切りシートの貼付け

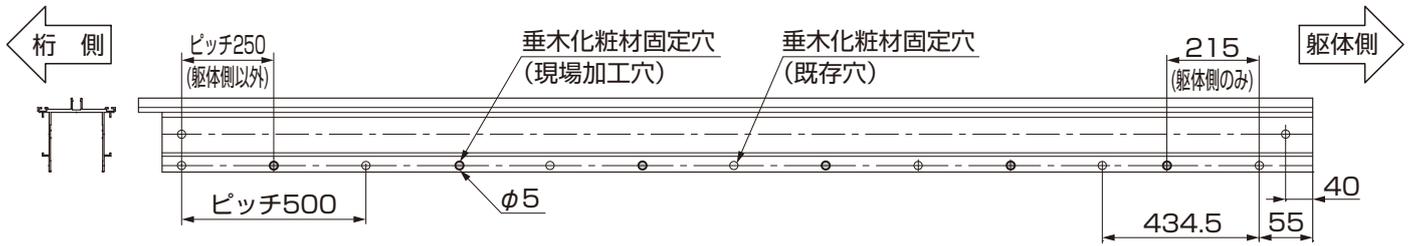
①水切りシートを主柱に貼付けてください。



10-20 垂木、妻垂木の取付け

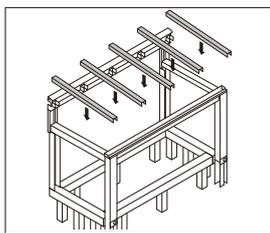
10-20-1 10尺の場合の部材の加工

①10尺の場合は垂木・妻垂木に図のとおり穴加工をしてください。



10-20-2 垂木、妻垂木の取付け

①垂木、妻垂木を垂木組付金具に【ネジ】で取付けてください。

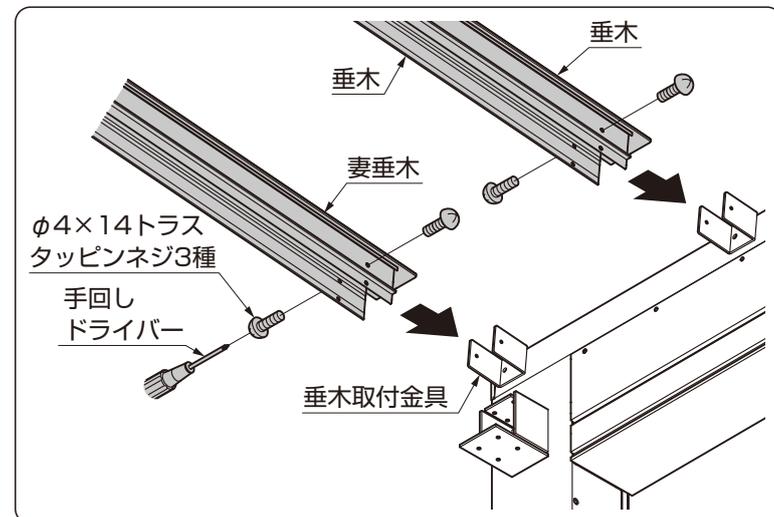
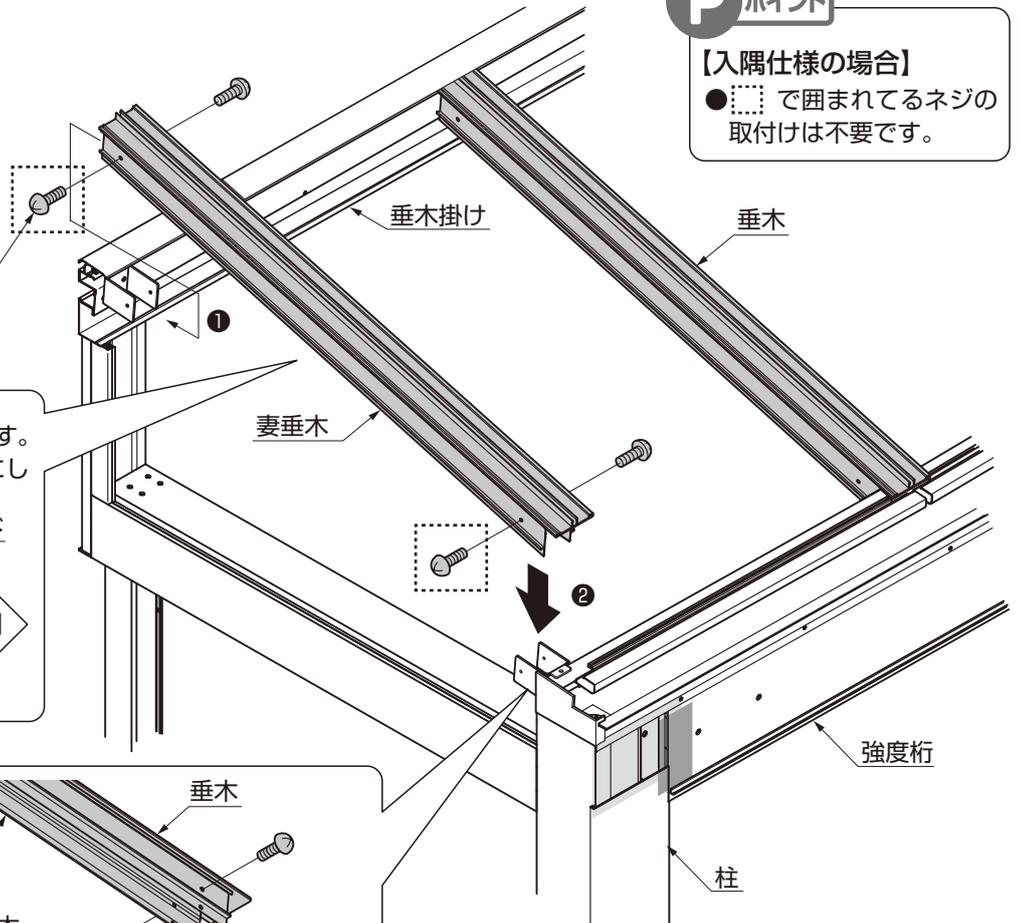


$\phi 4 \times 14$
トラスタッピンネジ3種

Pポイント
【入隅仕様の場合】
● \square で囲まれてるネジの
取付けは不要です。

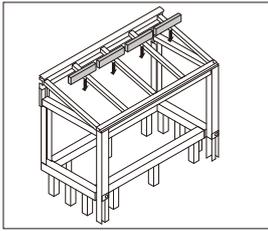
Pポイント
●妻垂木には左右の向きがあります。
ビードが付いている側を内側にし
て取付けてください。

Diagram showing the orientation of the batten with '外側' (Outer side) and '内側' (Inner side) labels. A 'ビード' (Bead) is shown on the inner side.

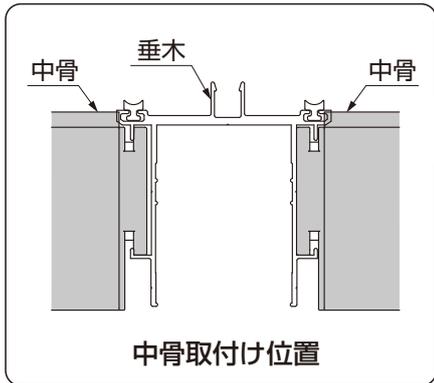
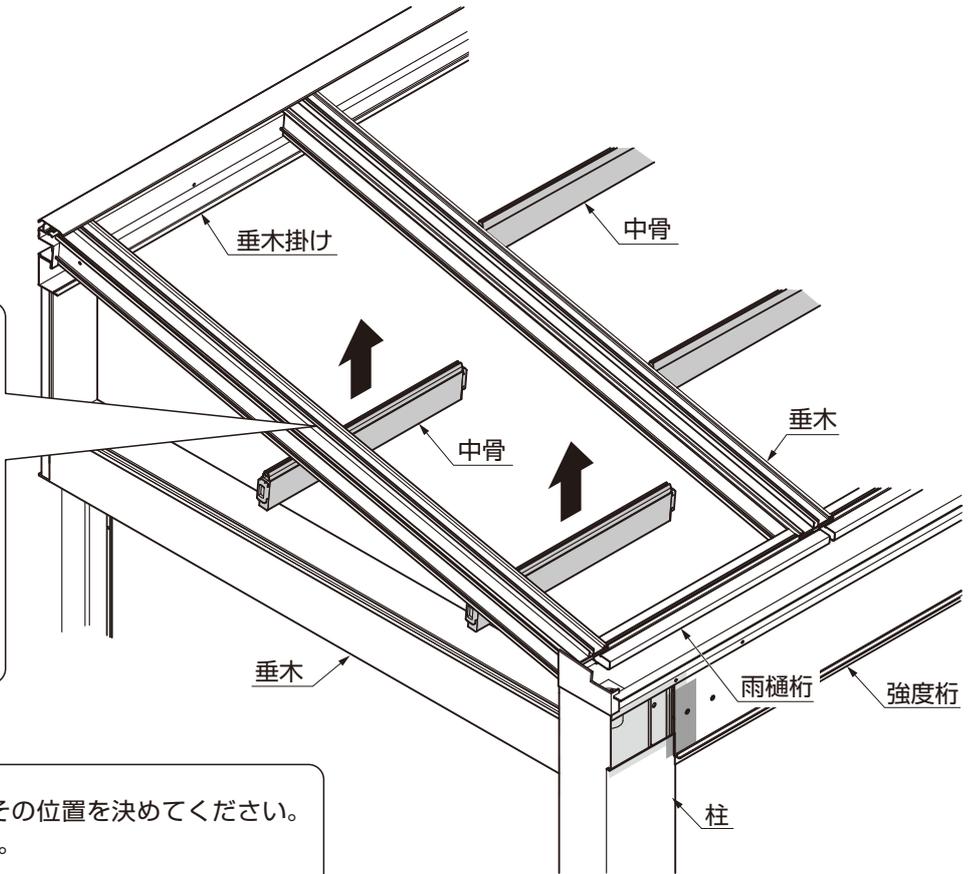


Pポイント
●取付ける場合は必ず手回しドライバーで取付けて
ください。電動ドライバーで作業するとネジが金
具とかみこんだりしてうまく取付かない場合があ
ります。
●垂木掛け側に差し込んでから桁側に取付けてくだ
さい

10-21 中骨の取付け



①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。



Pポイント

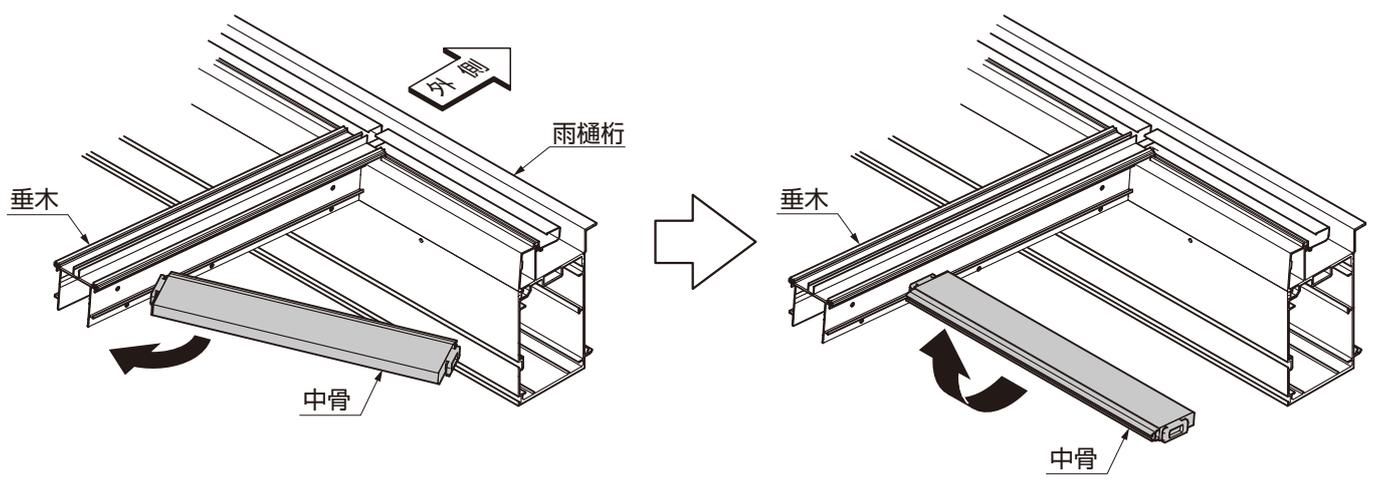
- 垂木フタの長さを目安におおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。

Pポイント

- 仕様によって中骨の本数が異なります。

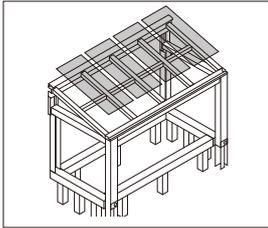
1スパン当りの中骨本数

| | 6R | 8R | 10R |
|-------|----|----|-----|
| 600N | 1本 | 2本 | 2本 |
| 1500N | 2本 | 3本 | |
| 3000N | | | |



10-22 屋根材の取付け

10-22-1 屋根材の取付け



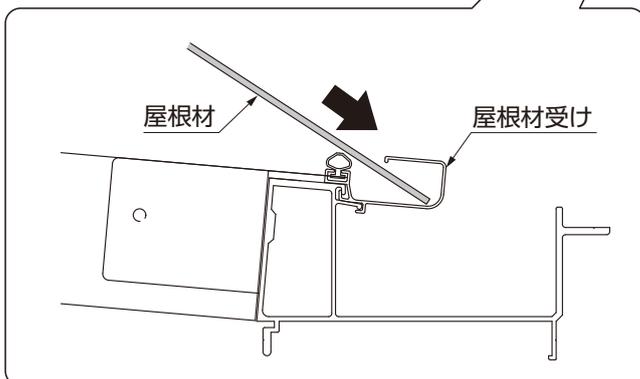
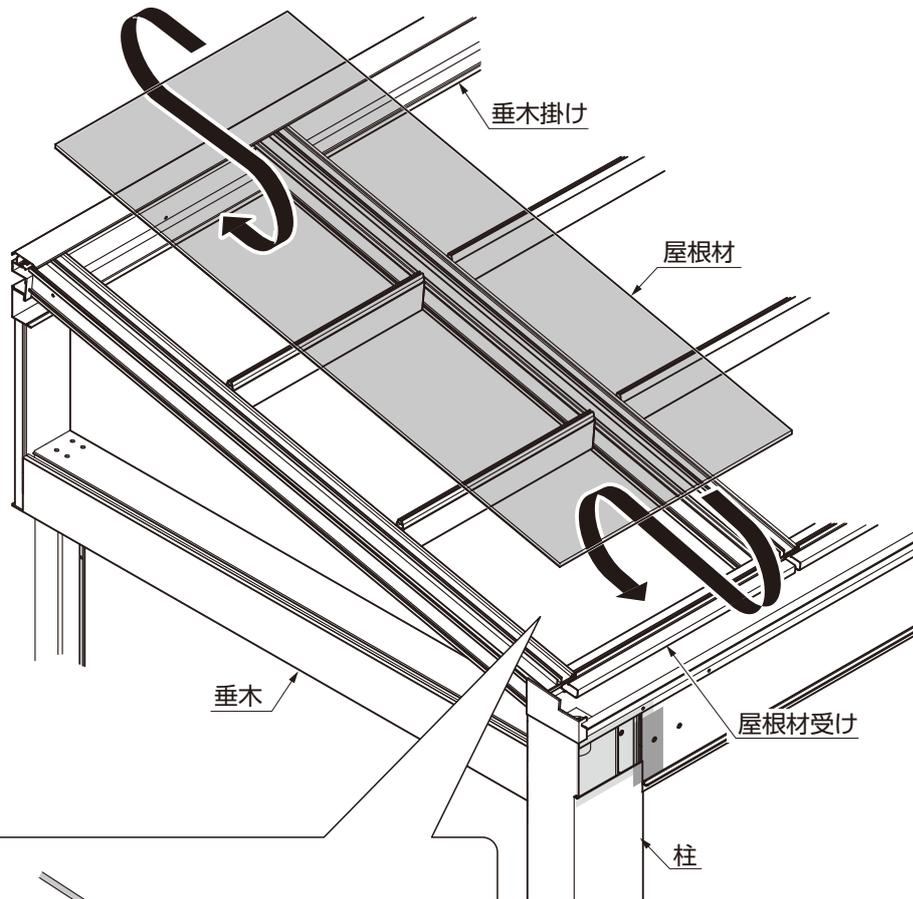
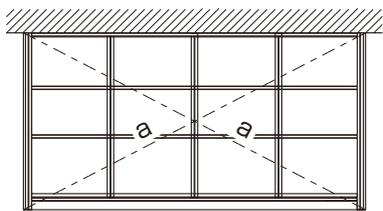
- ①屋根材受けを垂木と垂木の間に位置をあわせてください。
- ②屋根材を垂木掛けに差込んでください。
- ③屋根材を屋根材受けに差込んでください。

Pポイント

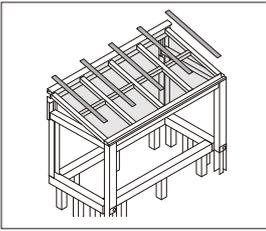
- 屋根材の取付けは、垂木への、のみ込みが左右均等になるようにしてください。
- 屋根材受けを垂木間の均等な位置に合わせて、屋根材を取付けてください。
- 屋根材は屋根材受けにつきあててください。
- 屋根材に付いている表面ラベルを確認してから取付けてください。
- 屋根材に保護シートが貼付いています。必ずはがしてから取付けてください。

Pポイント

- 屋根材の取付けを行なう前に屋根の対角を出してください。



10-22-2 垂木カバーの取付け



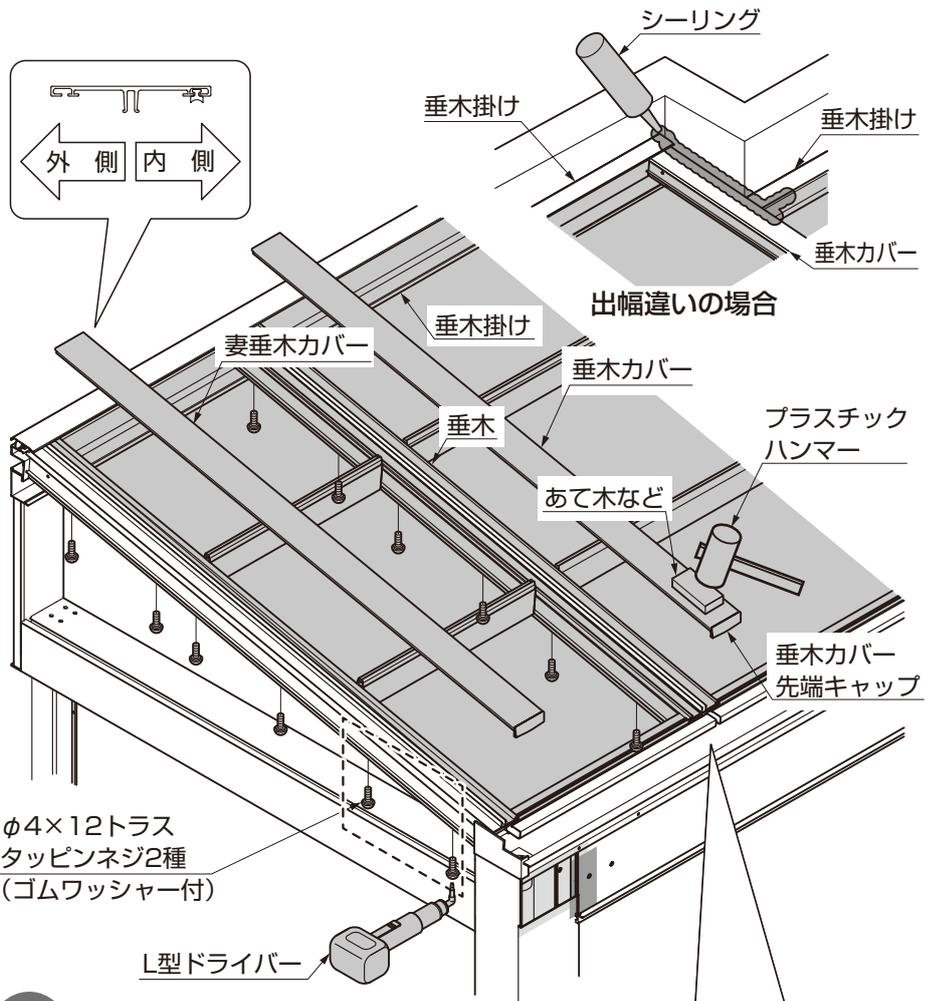
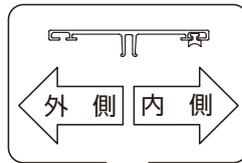
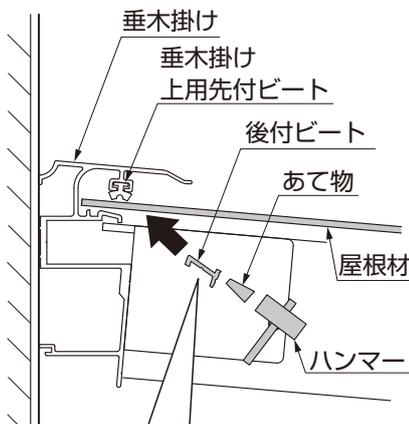
- ①垂木カバー先端キャップを垂木カバーにはめ込んで【ネジ】で取付けてください。
- ②垂木カバーを垂木にはめこみ、垂木掛けにつきあて【ネジ】で取付けてください。
- ③後付けビートをあて物をあてて、垂木掛けに叩き込んでください。

Pポイント

- 垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、あて木などを当ててプラスチックハンマー等で押し込んでください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

Pポイント

- 後付けビートは、あて物をして奥まで叩き込んでください。奥まで入っていないと、外れてしまう場合があります。

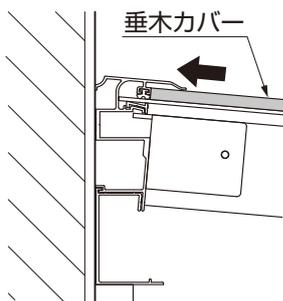


φ4×12トラス
タッピンネジ2種
(ゴムワッシャー付)

L型ドライバー

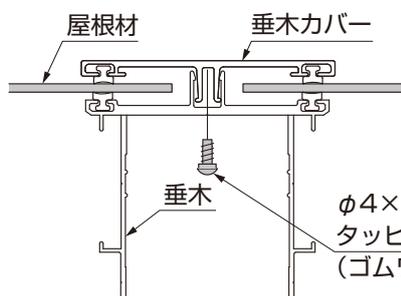
Pポイント

- 垂木カバーは垂木掛けに確実に突き当てて、取付けてください。

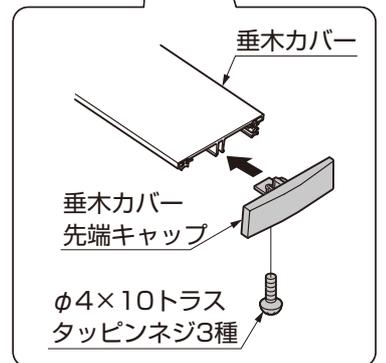


Pポイント

- 妻垂木カバーを取付ける際は、柱側はL型ドライバーおよび65mmドライバービットを使用してください。



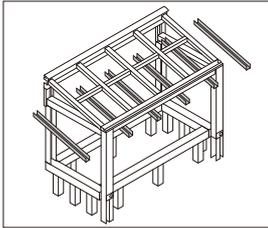
φ4×12トラス
タッピンネジ2種
(ゴムワッシャー付)



φ4×10トラス
タッピンネジ3種

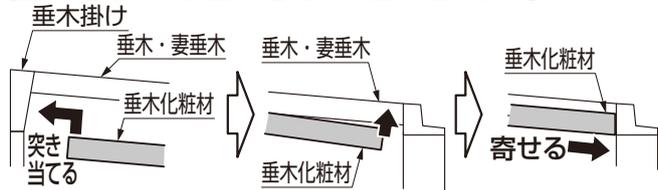
10-23 垂木、妻垂木化粧材の取付け

10-23-1 垂木、妻垂木化粧材の取付け



- ① 垂木化粧材を垂木に【ネジ】で取付けてください。
- ② 妻垂木化粧材を妻垂木に【ネジ】で取付けてください。
- ③ 柱の見やすい位置に雪下ろし指示シールを貼付けてください。

【垂木化粧材・妻垂木化粧材の差し込み手順】

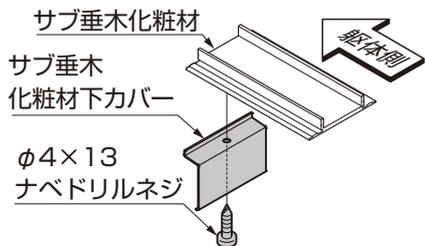


- ① 垂木掛け側から差し込んで垂木掛けに突き当てる。
- ② 桁側を差し込む。
- ③ 桁側に寄せる。

Pポイント

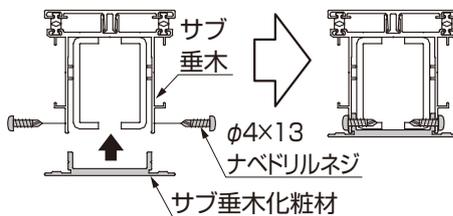
【3000Nタイプの場合】

- サブ垂木化粧材下カバーをサブ垂木化粧材に【ネジ】で取付けてください。



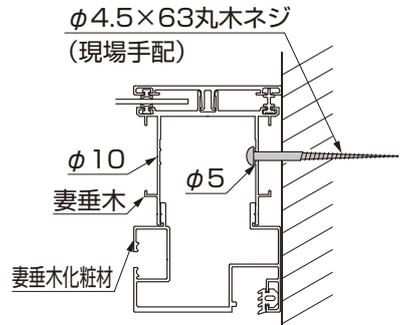
Pポイント

- 3000Nタイプはサブ垂木化粧材も同様に取付けてください。



Pポイント

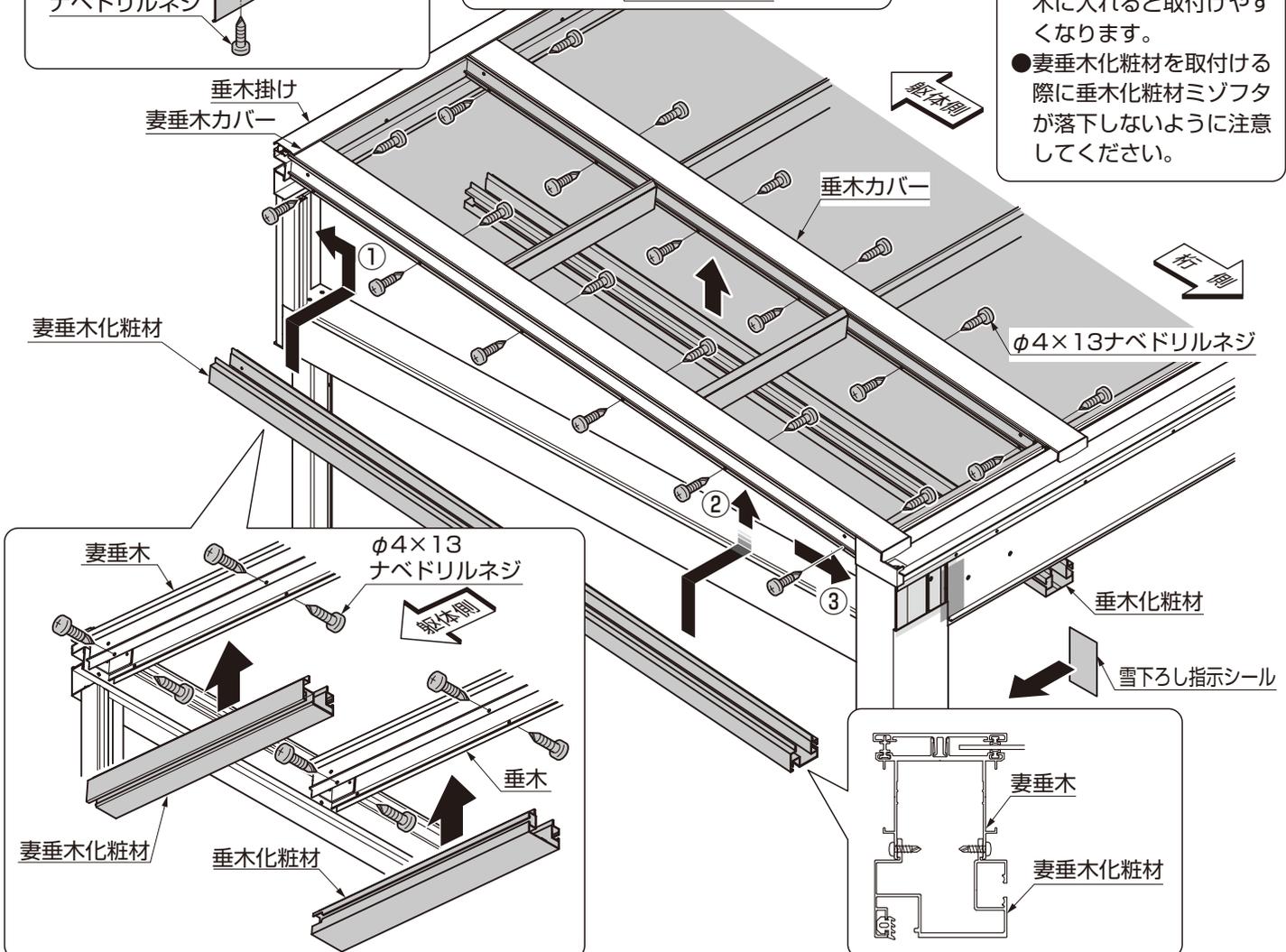
- 入隅、出幅違いの躯体隣接部分は、妻垂木にφ10、φ5の穴をあけ、躯体にはφ3.5の下穴をあけて【φ4.5×63丸木ネジ】で取付けてください。



- 【ネジ】は強く締めすぎないでください。

Pポイント

- 妻垂木化粧材を取付ける際は、先に垂木掛け側を手ですばませながら妻垂木に入ると取付けやすくなります。
- 妻垂木化粧材を取付ける際に垂木化粧材ミゾフタが落下しないように注意してください。



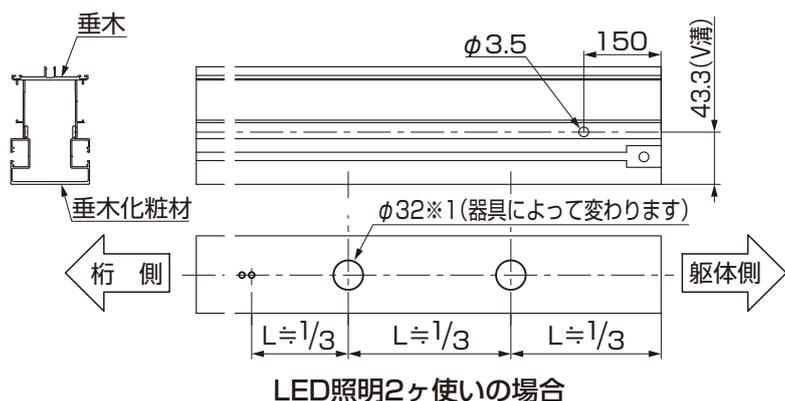
10-23-2 垂木LED照明を取付ける場合

- ①垂木化粧材に照明器具取付用の穴加工(※1)を行ってください。
- ②垂木に $\phi 3.5$ 穴加工を行なってください。
- ③渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプタと渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【ネジ】で取付けてください。
- ⑤渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑥LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

※垂木LED照明(スクエアライト)を取付ける場合の作業です。

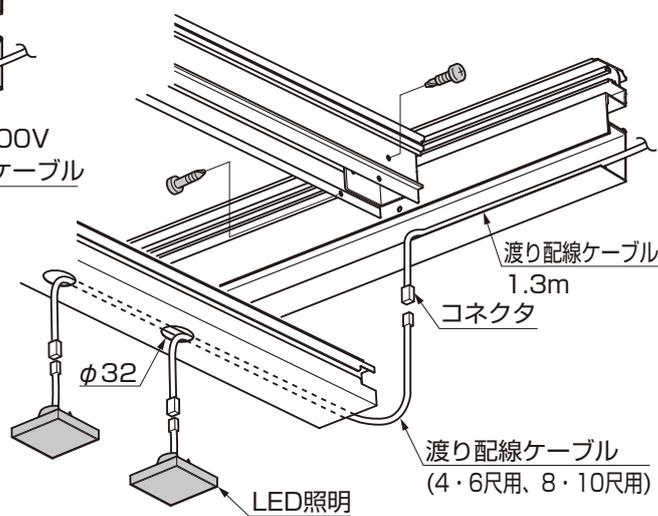
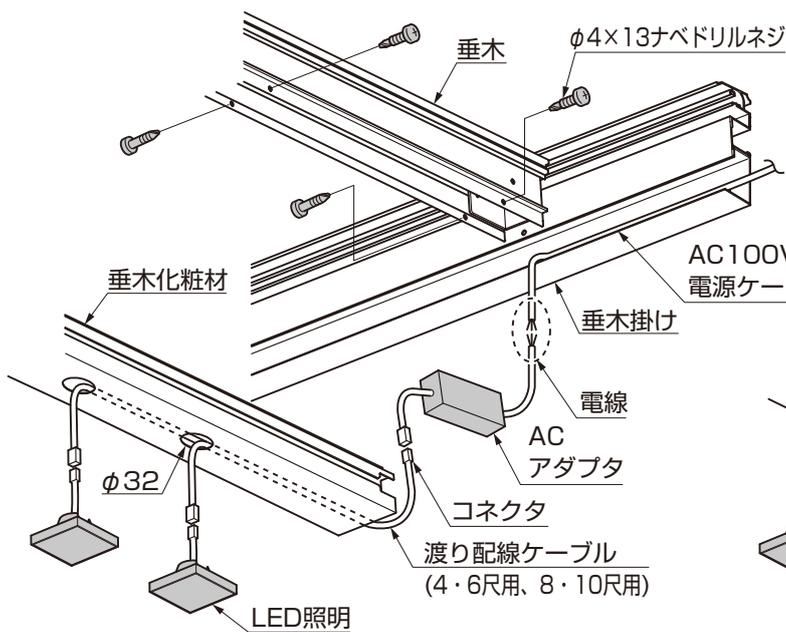
※以下の(※)印は、スクエアライトを「ACアダプタ」を使用して取付ける場合にのみおこなってください。トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。

※ダウンライト(DL-G1型)、ダウンスポットライト(DNSP-G2型/G3型)の取付けはそれぞれの取付説明書(Z582、Z583)を参照してください。



注意

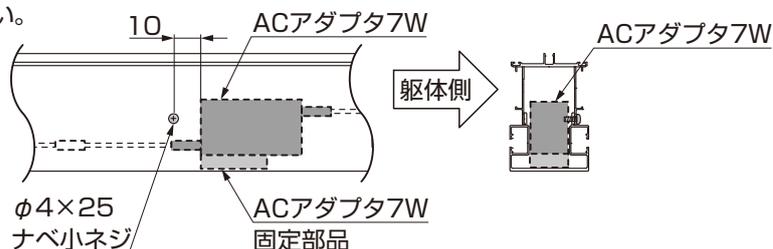
- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。(コネクタ配線を除く)
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行くと感電の原因になります。
- 電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。(内線規定1335-7~9に準ずる)不備があると火災・感電の原因になります。
- 垂木化粧材を垂木に取付ける際は、ネジ先端により電源ケーブルを傷つけないように気を付けてください。火災、感電の原因になります。
- 強度確保のため、LED照明は垂木1本当たり2箇所以下にしてください。



Pポイント

【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に固定してください。
- ACアダプター固定部品はACアダプターのズレを防止するため必ず取付けてください。



Pポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

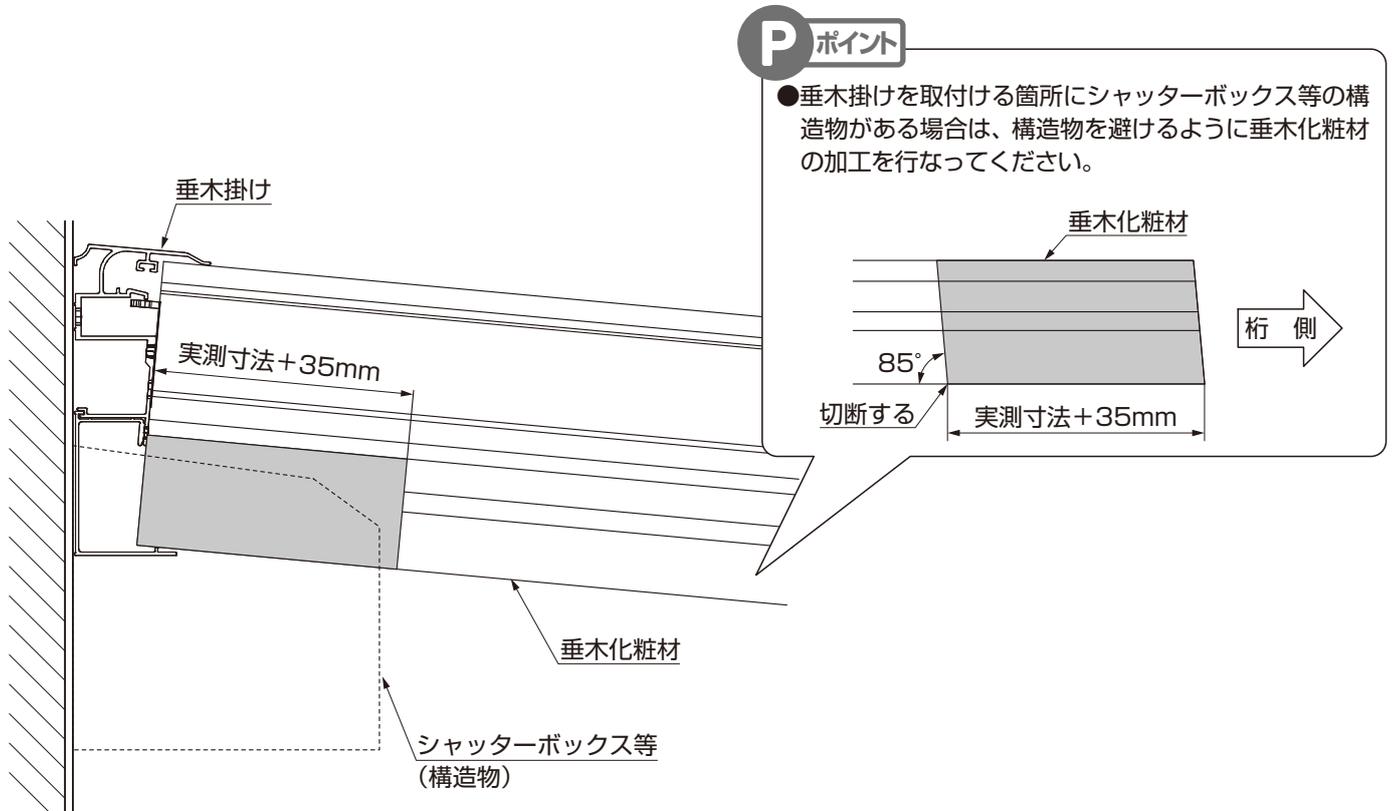


10-23-3 シャッターボックスを避けて施工する場合

(1)部材の加工

①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、桁側を切断加工してください。

※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。
 ※本作業は垂木のみ可能です。(妻垂木へは対応できません。)

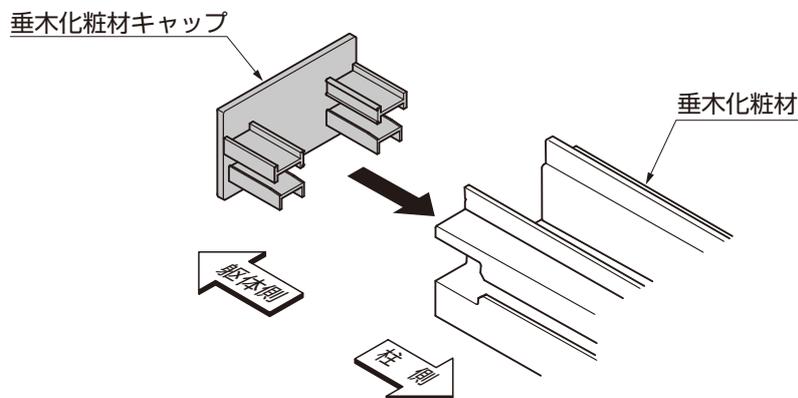


(2)キャップの取付け

①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

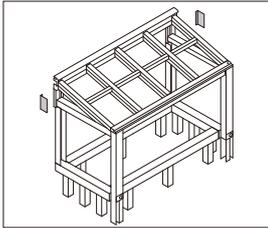
Pポイント

- 垂木LED照明を取付ける場合は、キャップに穴加工をしてください。
- 内部日除けを取付ける場合は、内部日除け取付け後に垂木化粧材キャップを取付けてください。

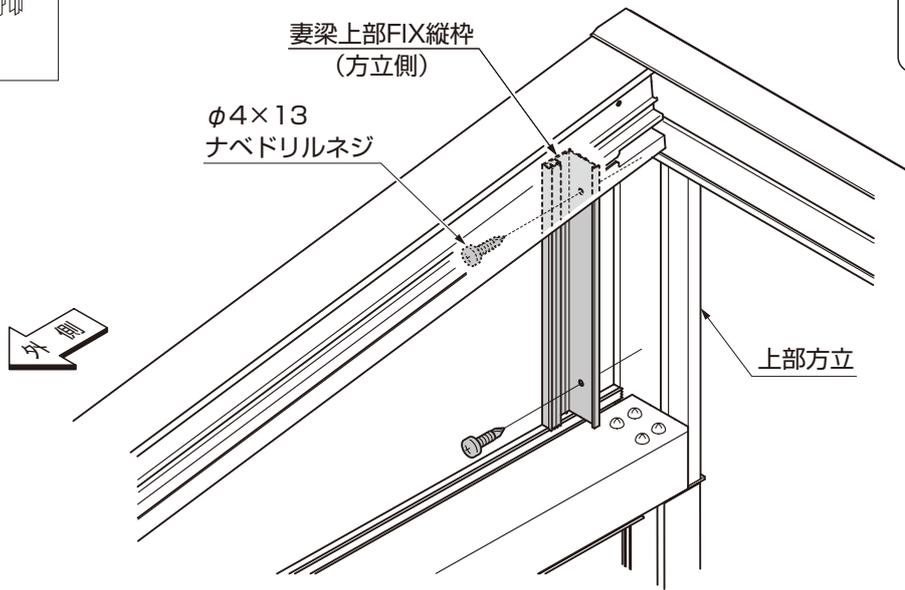


10-24 妻梁上部FIXパネルの取付け

10-24-1 妻梁上部FIX縦枠(方立側)の取付け



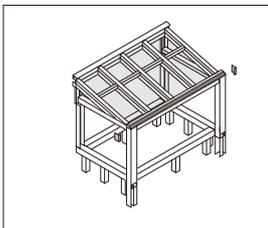
①妻梁上部FIX縦枠(方立側)を上部方立に【ネジ】で取付けてください。



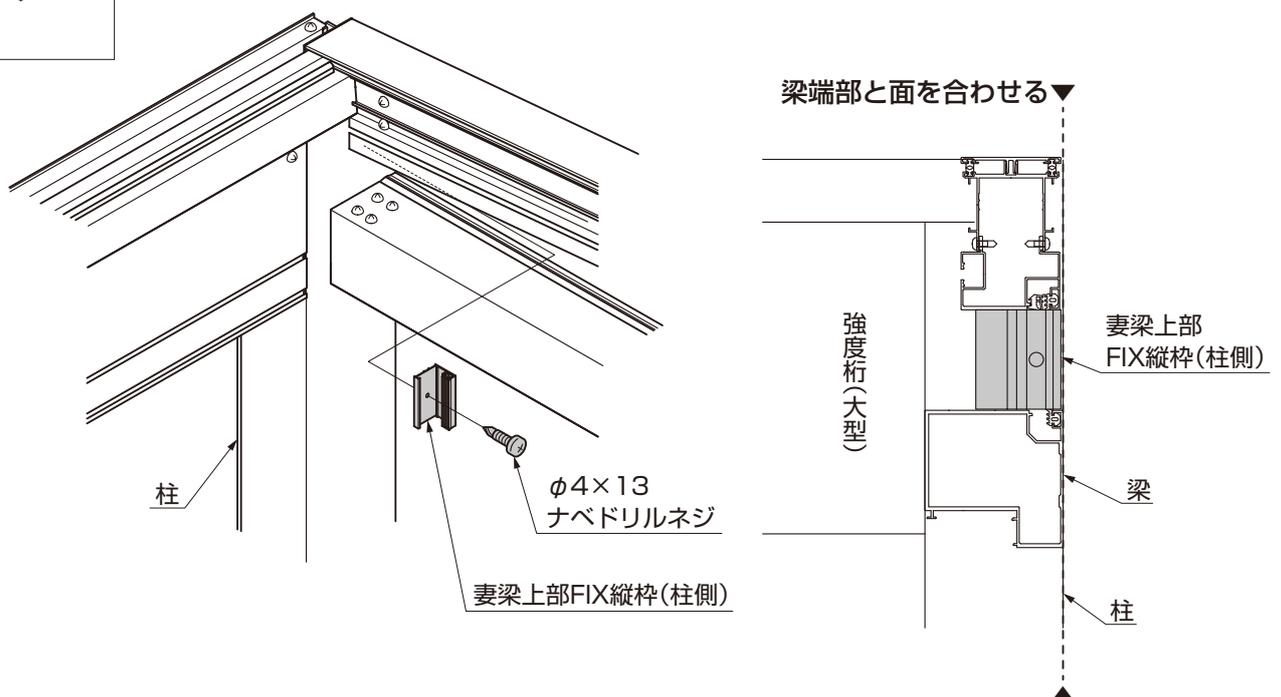
Pポイント

●妻梁上部FIX縦枠(方立側)と妻梁の外面をそろえて取付けてください。

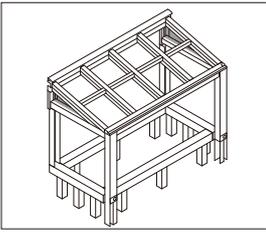
10-24-2 妻梁上部FIX縦枠(柱側)の取付け ※強度桁(大型)使用の場合の作業です。



①妻梁上部FIX縦枠(柱側)を柱に【ネジ】で取付けてください。



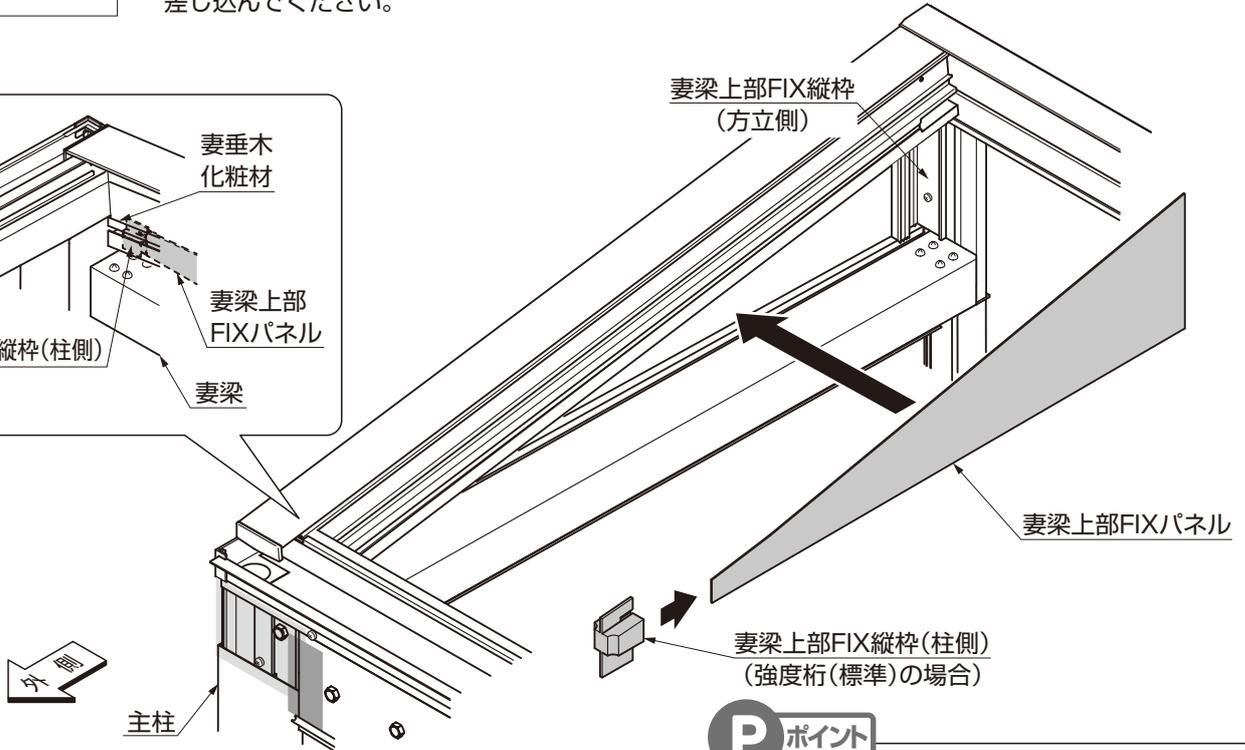
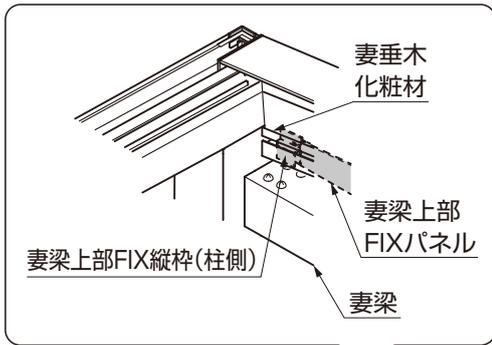
10-24-3 パネルの取付け



- ① 妻梁上部FIX縦柵(柱側)を、妻梁と妻垂木化粧材の溝に差し込み、柱側に寄せてください。(強度桁(大型)の場合は取付け不要です。)
- ② 妻梁上部FIXパネルを妻垂木化粧材の溝に差し込み、けんどんで妻梁の溝に差し込んでください。
- ③ 妻梁上部FIXパネルを妻梁上部FIX縦柵(柱側)に差し込んでください。

Pポイント

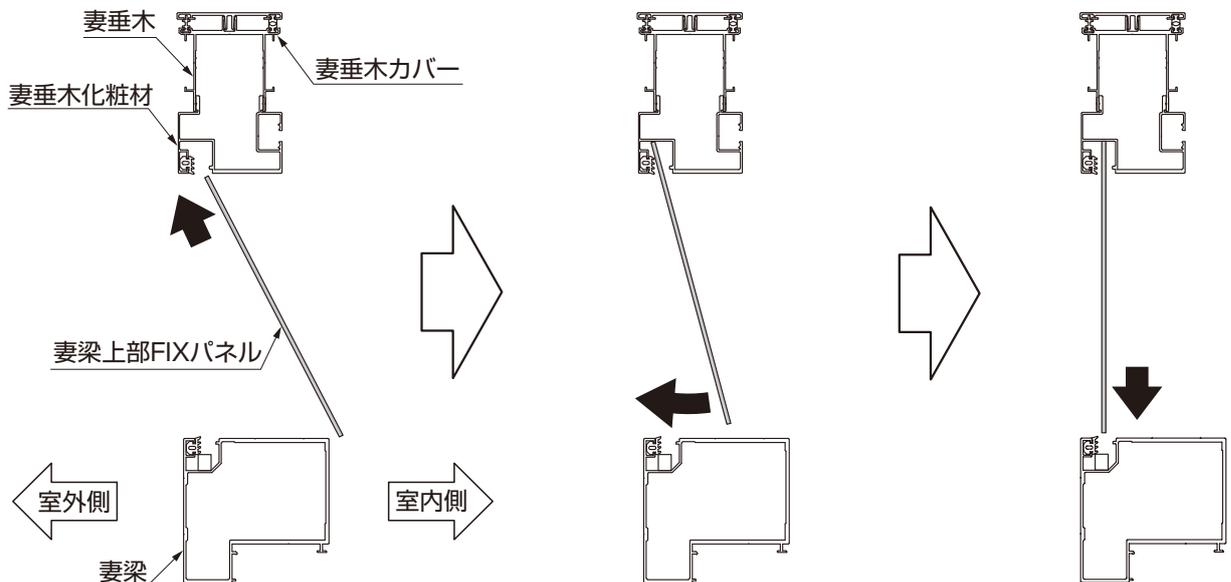
- FIXパネルの表裏を確認してから取付けてください。
- FIXパネルの表面に保護シートが貼付いています。必ずはがしてから取付けてください。



Pポイント

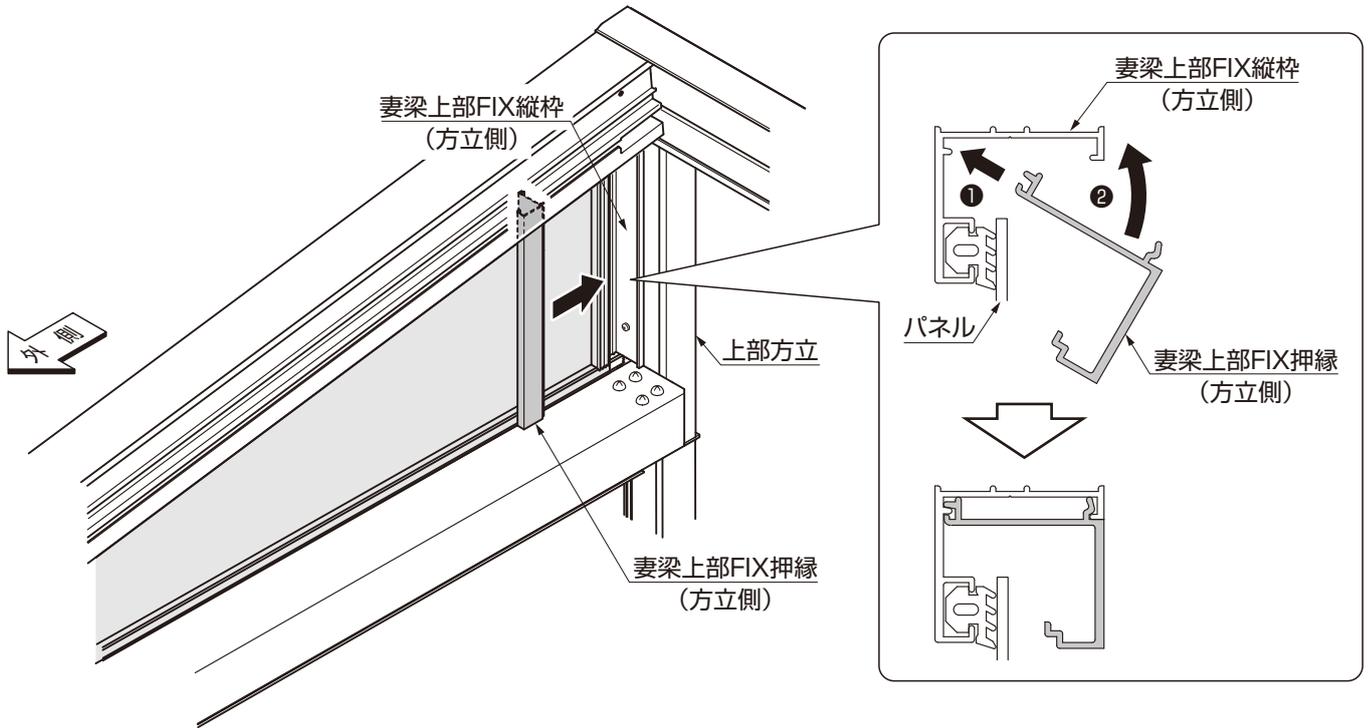
【強度桁(大型)の場合】

- 妻梁上部FIX縦柵(柱側)の取付けは不要です。



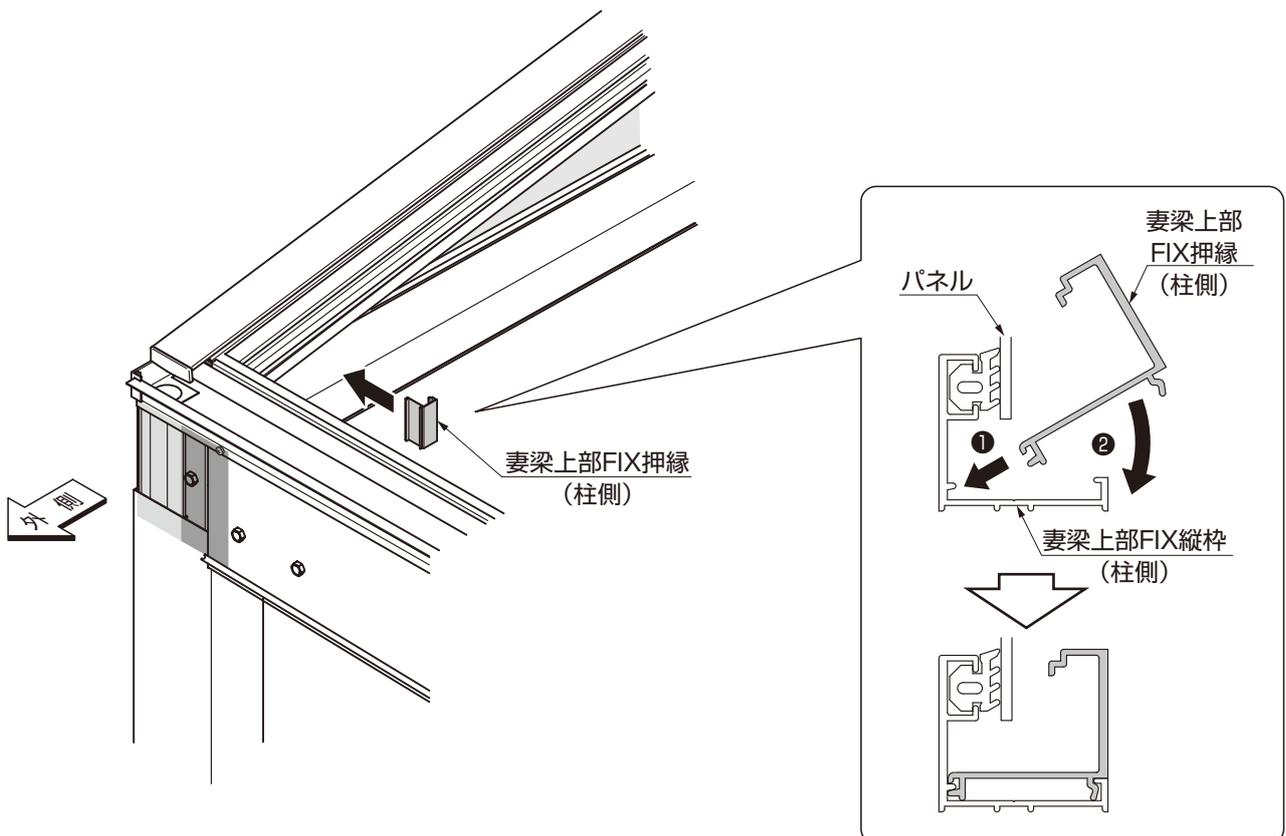
10-24-4 妻梁上部FIX押縁(方立側)の取付け

①妻梁上部FIX押縁(方立側)を妻梁上部FIX縦枠(方立側)にはめ込んでください。



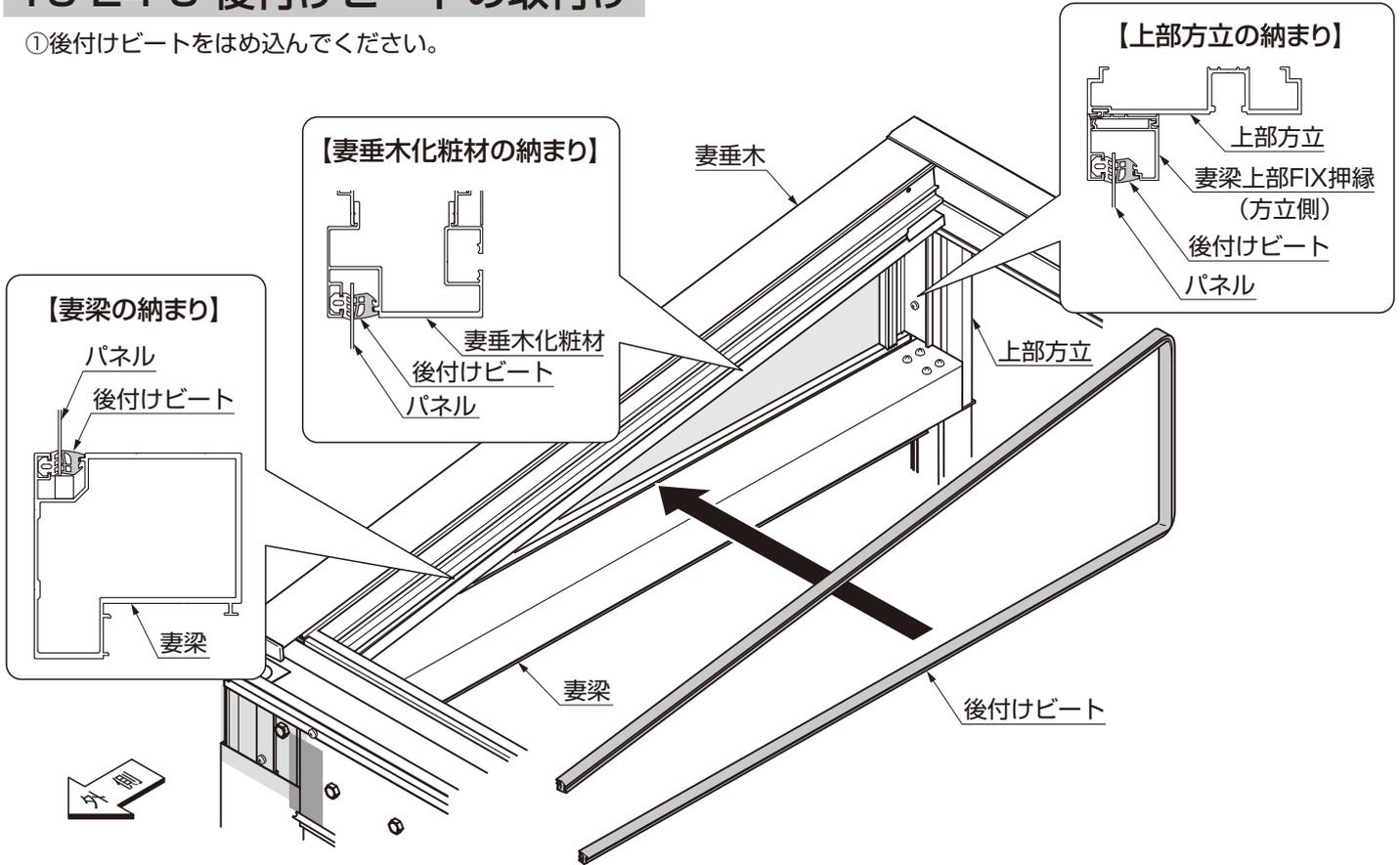
10-24-5 妻梁上部FIX押縁(柱側)の取付け ※強度桁(大型)使用の場合の作業です。

①妻梁上部FIX押縁(柱側)を妻梁上部FIX縦枠(柱側)にはめ込んでください。



10-24-6 後付けビートの取付け

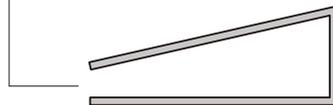
①後付けビートをはめ込んでください。



Pポイント

- 後付けビートの切欠き位置は強度桁(標準)と強度桁(大型)で異なります。

切欠き位置



【強度桁(標準)の場合】

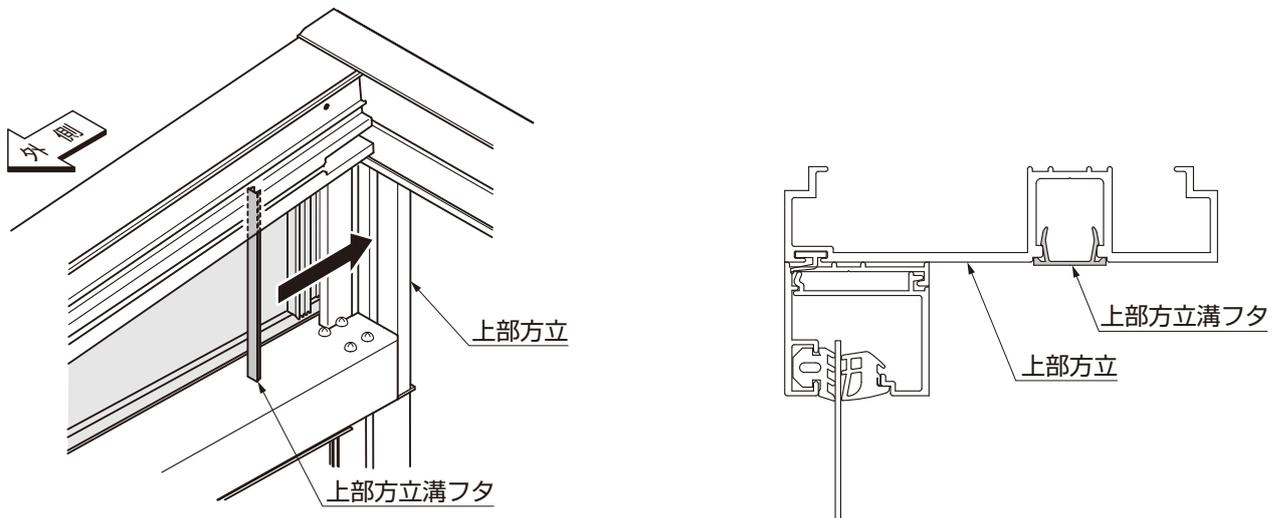
切欠き位置



【強度桁(大型)の場合】

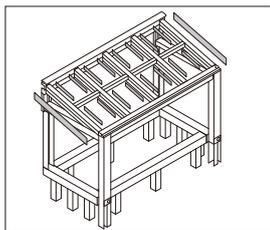
10-24-7 上部方立溝フタの取付け

①上部方立溝フタを上部方立に取付けてください。



11 仕上げ

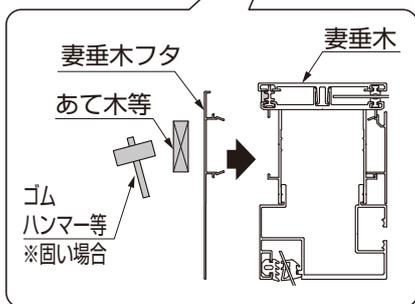
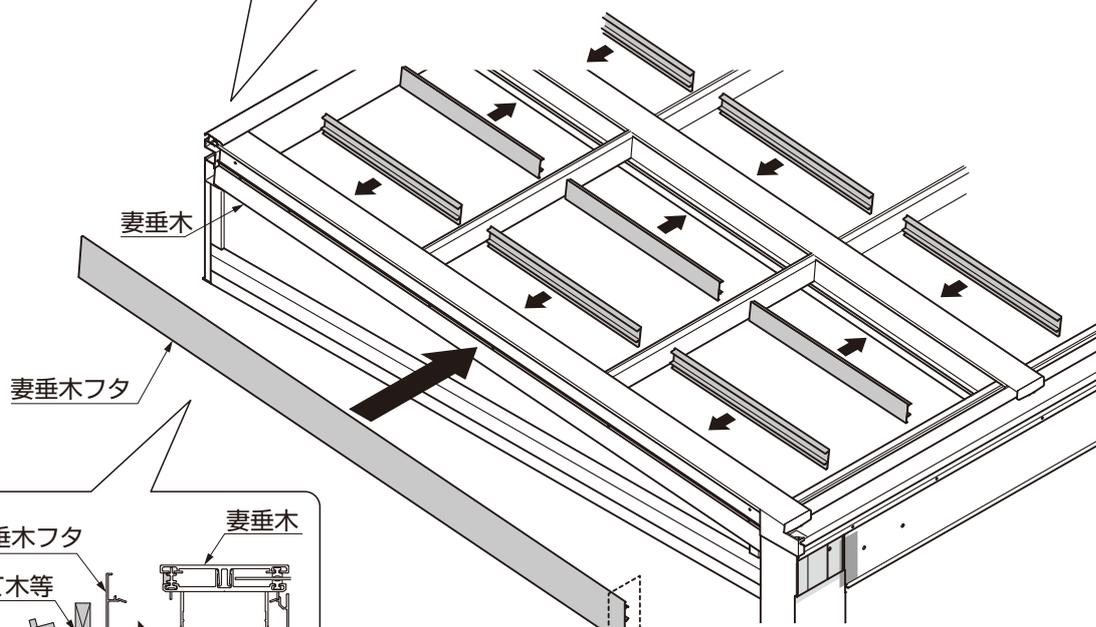
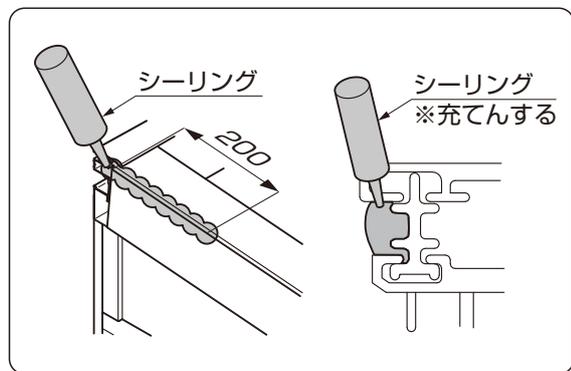
11-1 垂木フタ、妻垂木フタの取付け



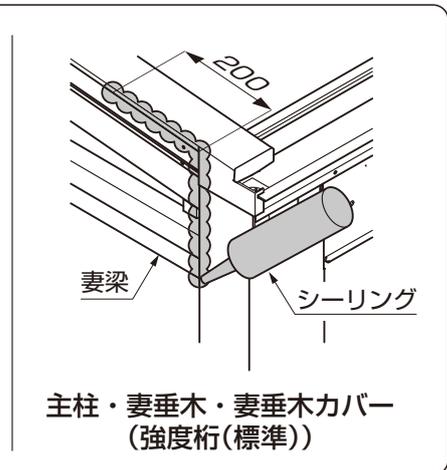
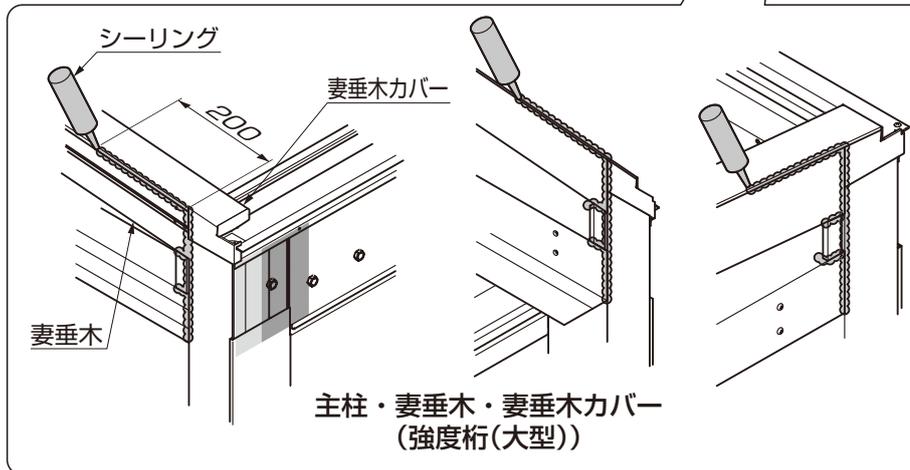
- ① 妻垂木フタを妻垂木にはめ込んでください。
- ② シーリングをしてください。

Pポイント

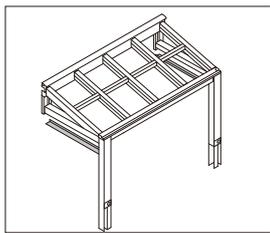
- 妻垂木フタはシーリングが硬化しないうちに取付けてください。
- 妻垂木フタには左右があります。85°の角度切り側を柱側にして取付けてください。
- 垂木フタは桁側に寄せて取付けてください。
- はめ込みは端部から行ってください。
- はめ込みが固い場合はあて木等をあててゴムハンマー等で押し込んでください。



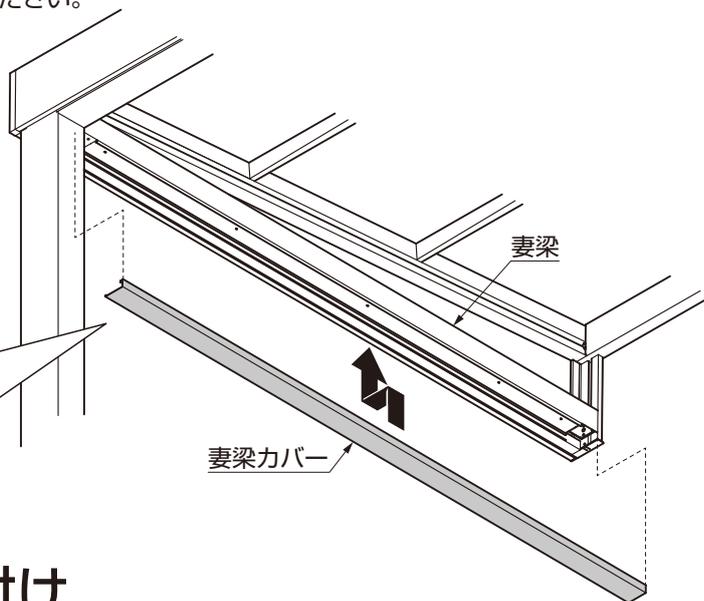
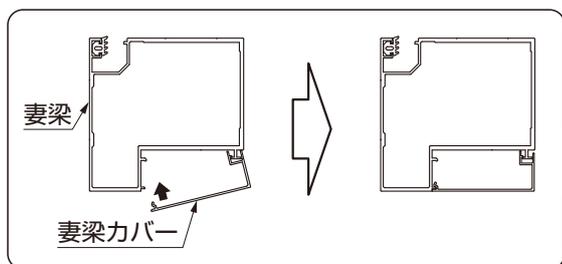
85°
角度切り側



11-2 妻梁カバーの取付け ※テラスタイプの場合の作業です。



- ①妻梁カバーを妻梁のフィンに差し込んでください。
- ②妻梁カバーの下面を叩き入れてください。

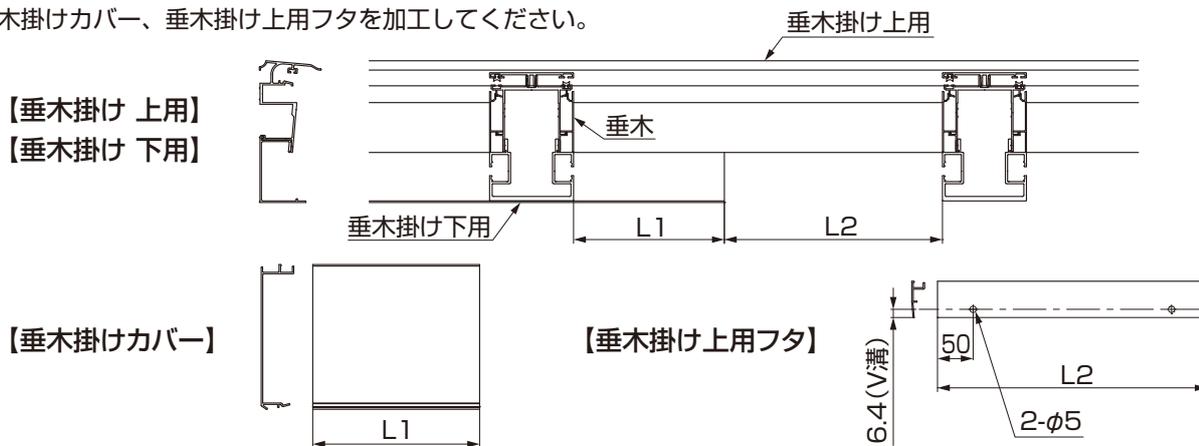


11-3 垂木掛けカバーの取付け

11-3-1 シャッターボックスを回避して施工する場合

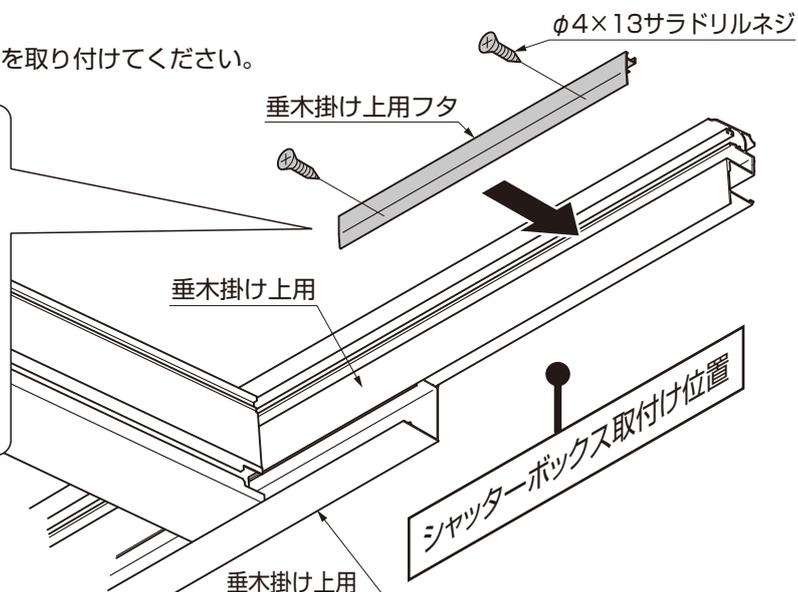
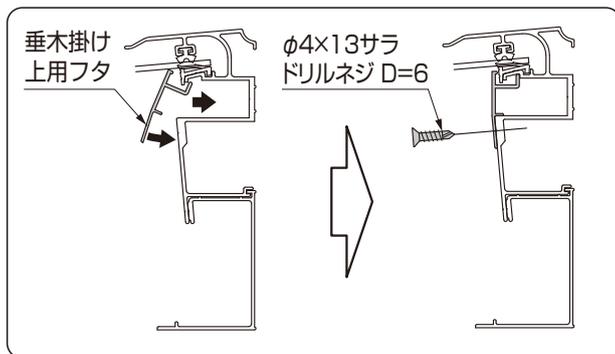
(1) 垂木フタの加工

- ①L1、L2を実測してください。
- ②垂木掛けカバー、垂木掛け上用フタを加工してください。

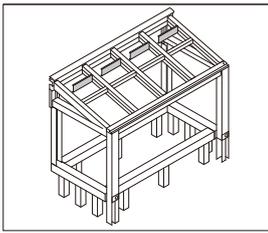


(2) 垂木掛け上用フタの取付け

- ①垂木掛け上用フタを【ネジ】で取付け、垂木掛けカバーを取り付けてください。



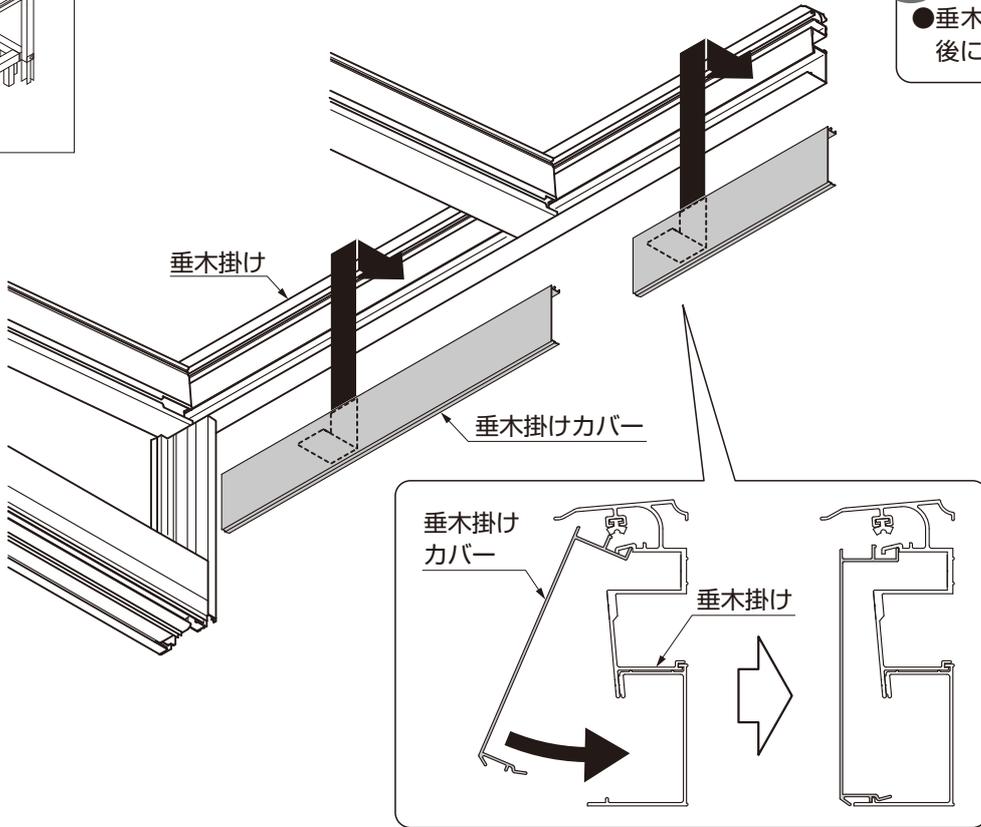
11-3-2 垂木掛けカバーの取付け



①垂木掛けカバーを垂木掛けにはめ込んでください。

P ポイント

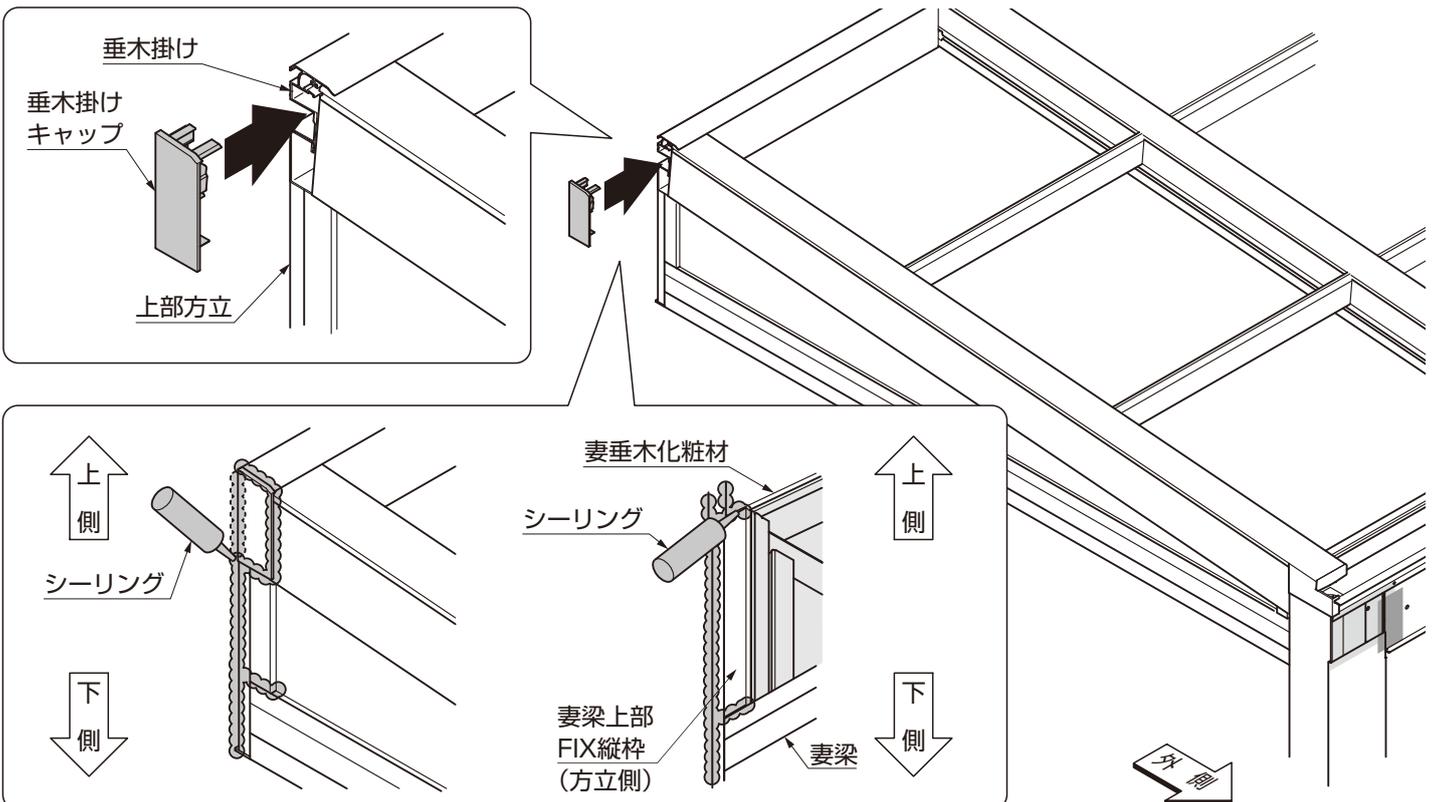
●垂木掛けカバーは取付け後に面が垂直になります。



11-4 垂木掛けキャップの取付け

①垂木掛けキャップを垂木掛けに取付けてください。

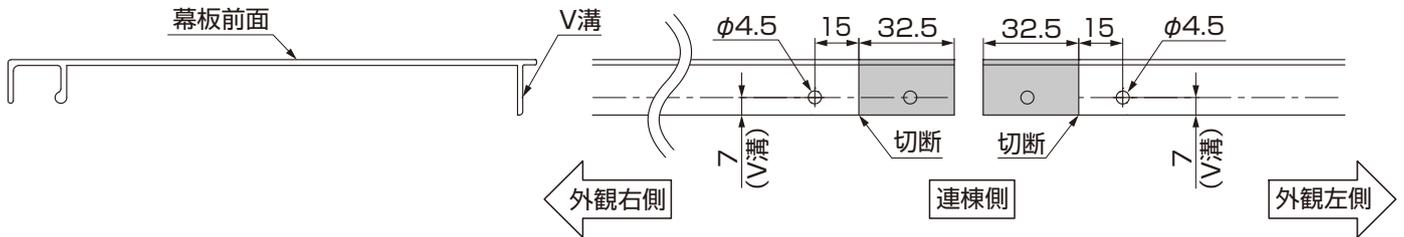
②シーリングをしてください。



11-5 幕板の取付け

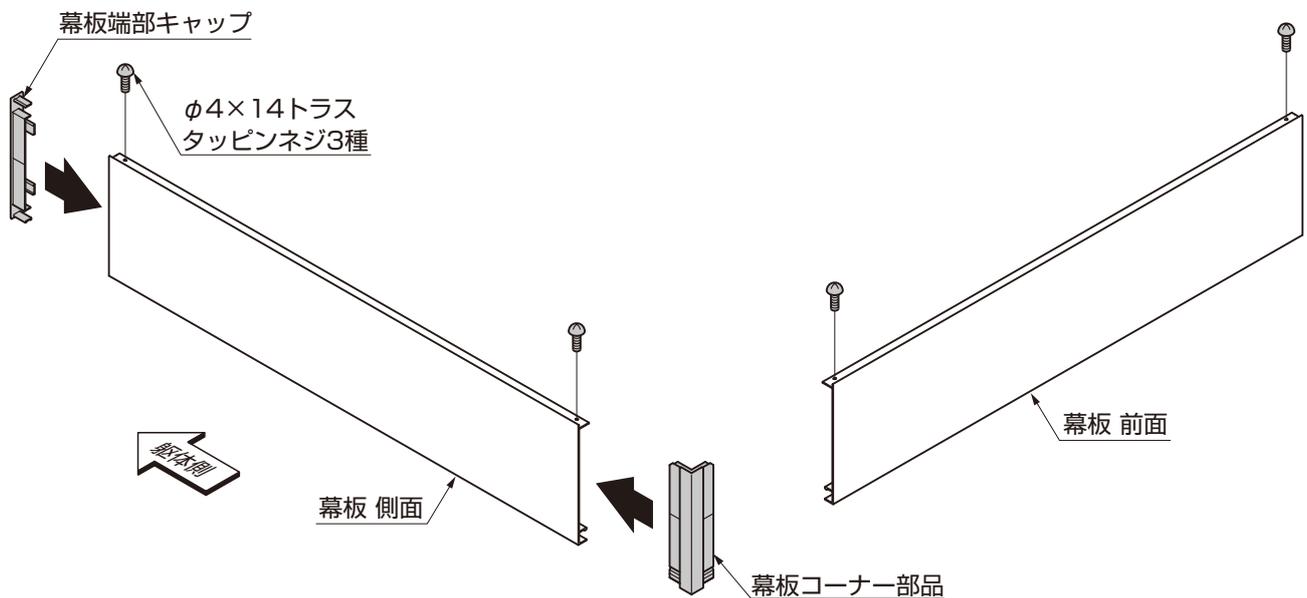
11-5-1 連棟仕様の場合の幕板の切断

①幕板前面を切断し、穴加工をしてください。



11-5-2 幕板の組立て

- ①幕板端部キャップを幕板 側面にはめ込んでください。
- ②幕板コーナー部品を幕板 側面に【ネジ】で取付けてください。

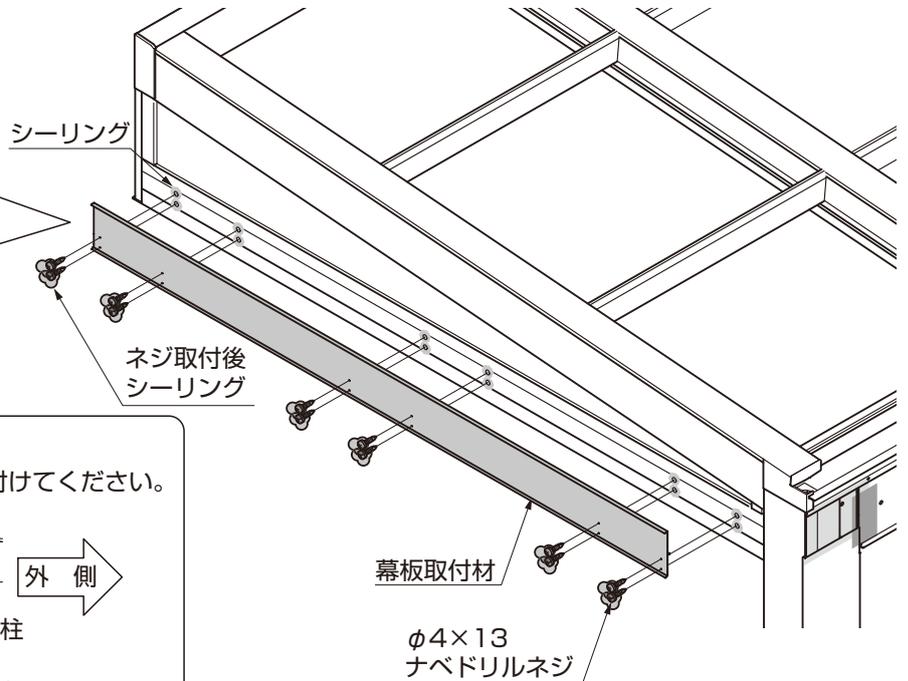
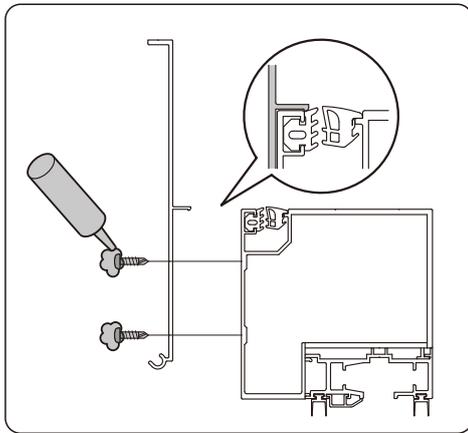


11-5-3 幕板取付材の取付け

- ①幕板取付材を妻梁にあてて、φ3.5の下穴をあけてください。
- ②幕板取付材を妻梁に【ネジ】で取付けてください。
- ③ネジ頭を覆うようにシーリングを塗布してください。

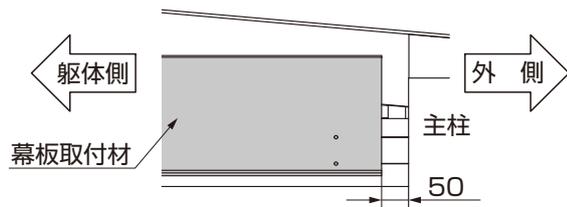
Pポイント

- ネジ固定時に下穴にシーリングを塗布しながら固定してください。



Pポイント

- 幕板取付材を主柱から50mm離して取付けてください。

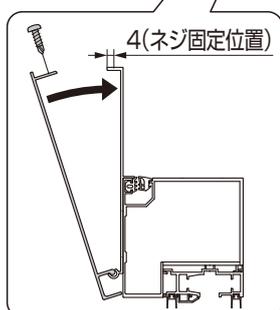
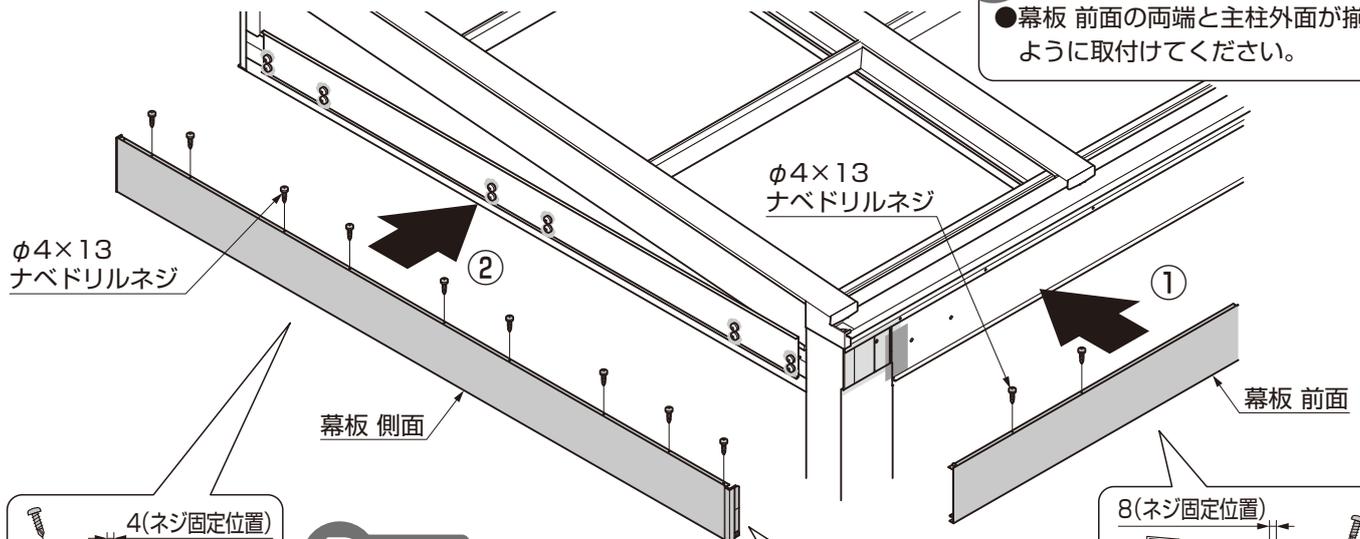


11-5-4 幕板の取付け

- ①幕板 前面を幕板取付材に【ネジ】で取付けてください。
- ②幕板 側面を幕板取付材に【ネジ】で取付けてください。

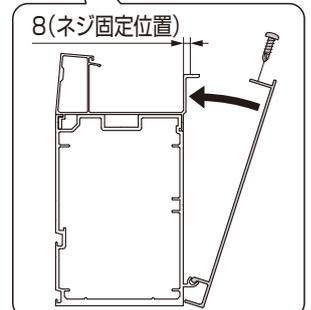
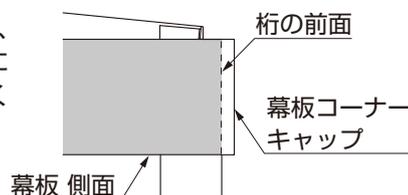
Pポイント

- 幕板 前面の両端と主柱外面が揃うように取付けてください。



Pポイント

- 幕板を取付けるときは、幕板の端が桁の前面に合うように取付けてください。



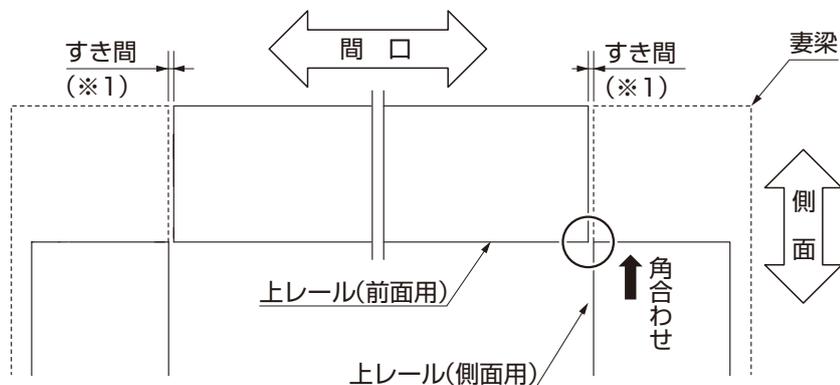
12 パネル部の施工

12-1 上レールの取付け

12-1-1 上レールの取付け位置について

①上レールの取付け位置を確認してください。

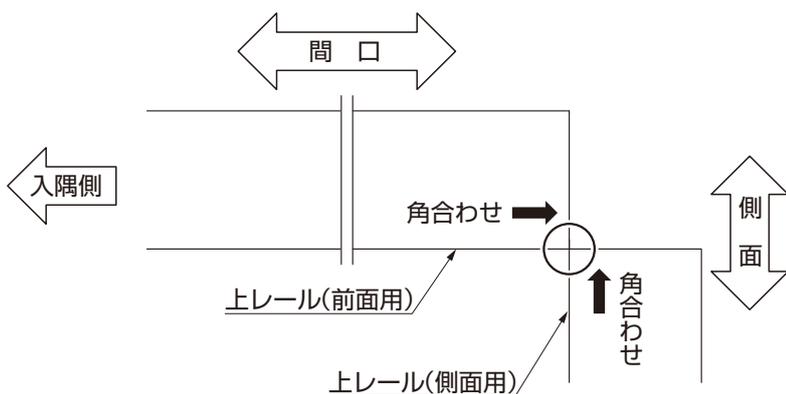
(1) 標準納まりの場合



Pポイント

- 上レール(前面用)は、妻梁とのすき間(※1)が左右均等になる位置に合わせてください。
- 上レール(側面用)は、上レール(前面用)の角と位置を合わせてください。

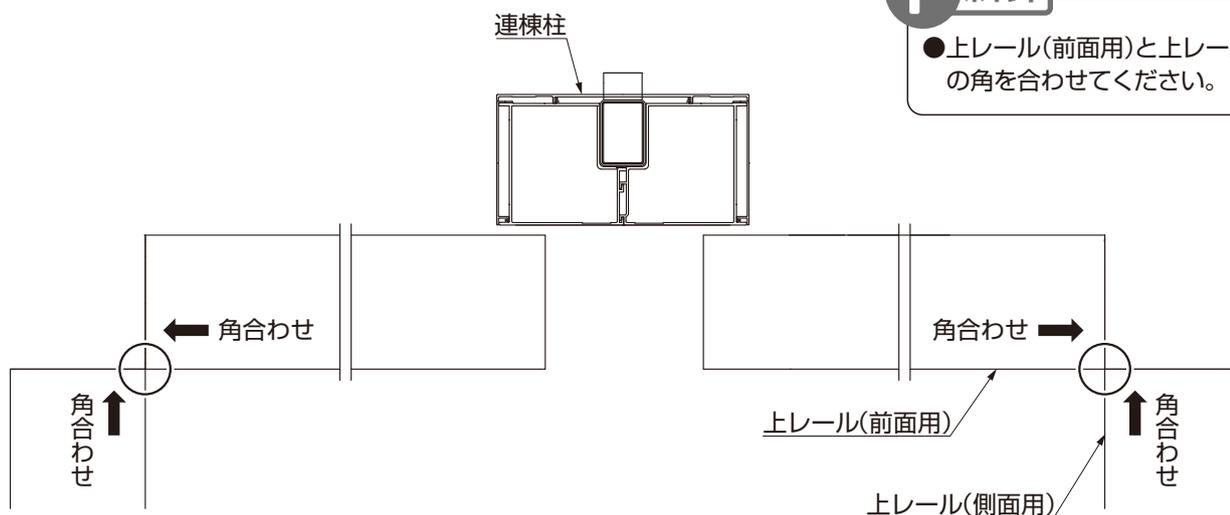
(2) 片側入隅納まりの場合



Pポイント

- 上レール(前面用)と上レール(側面用)の角を合わせてください。

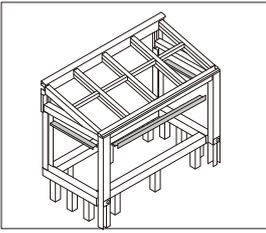
(3) 連棟納まりの場合



Pポイント

- 上レール(前面用)と上レール(側面用)の角を合わせてください。

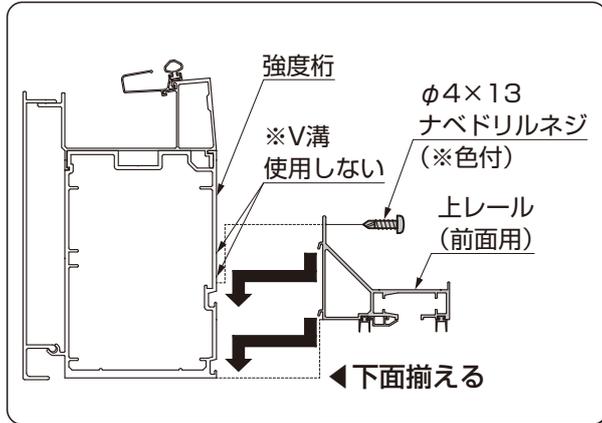
12-1-2 上レールの取付け



- ①上レール(側面用)を妻梁に【ネジ】で取付けてください。
- ②上レール(前面用)を強度桁に【ネジ】で取付けてください。

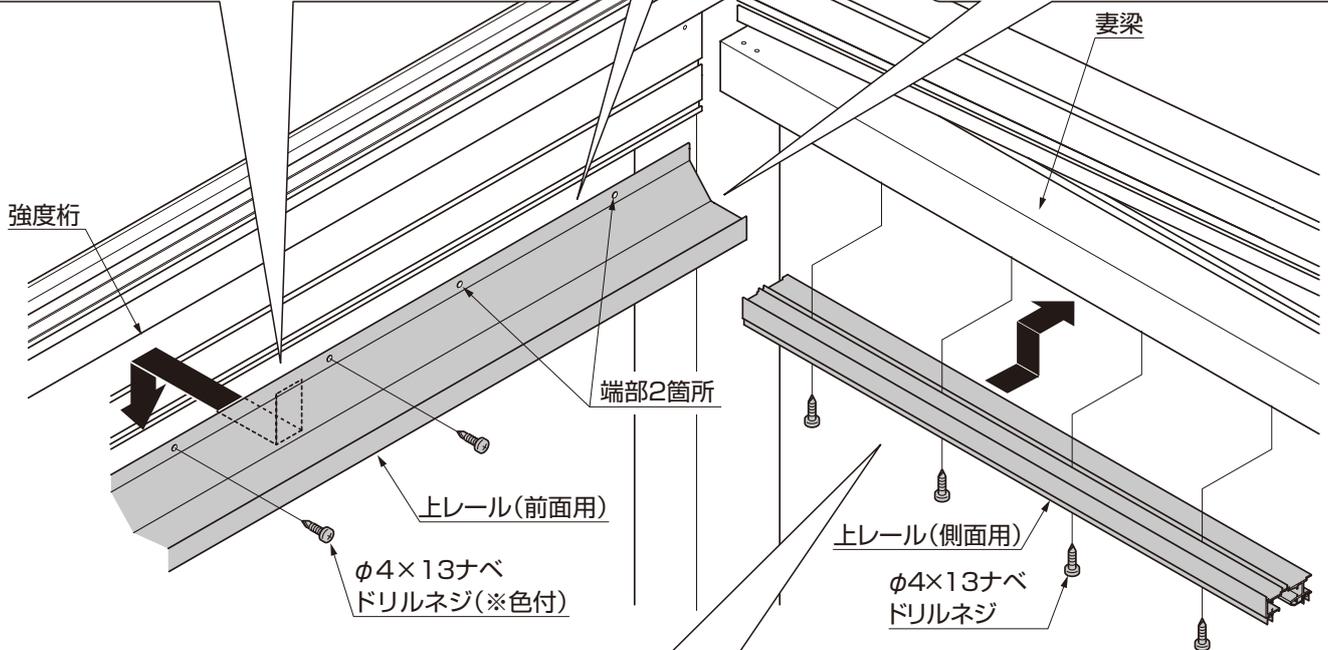
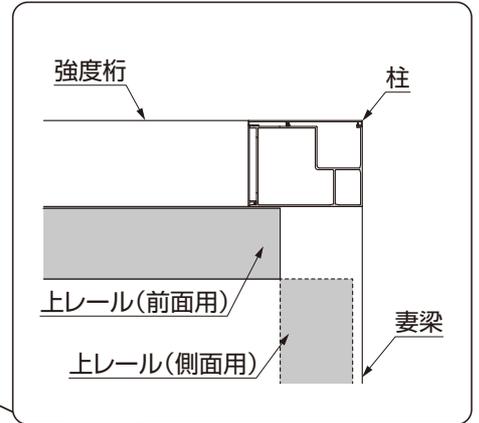
Pポイント

- 「上レールの取付け位置について」(P.104)の取付け位置に注意して取付けてください。



Pポイント

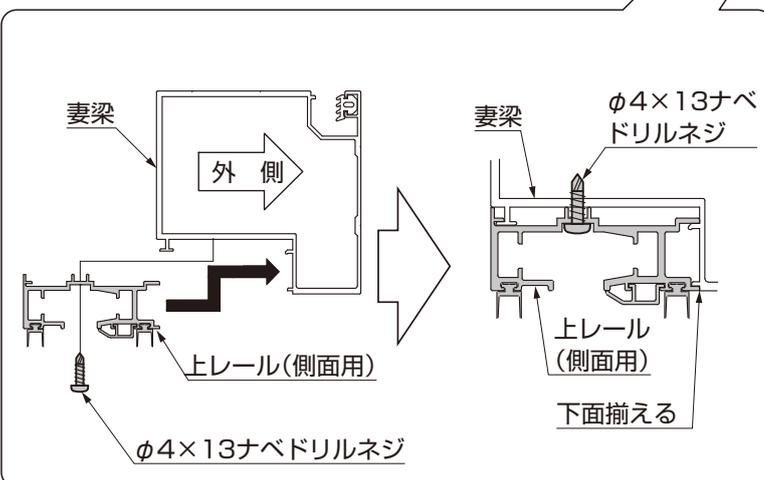
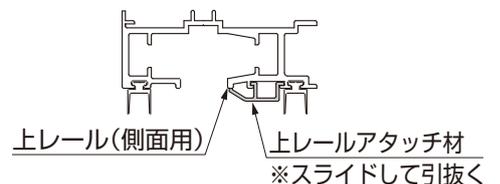
- 本工程では上レールの端部2箇所はネジで固定しないでください。後の工程で固定します。



Pポイント

【側面がすべてガラスフィックスになる場合】

- 側面がすべてガラスフィックスになる場合、対象となる側面側の上レールアタッチ材および上レールアタッチ材端部キャップを引抜いてから妻梁に取付けてください。



12-2 上レール(前面用)の加工

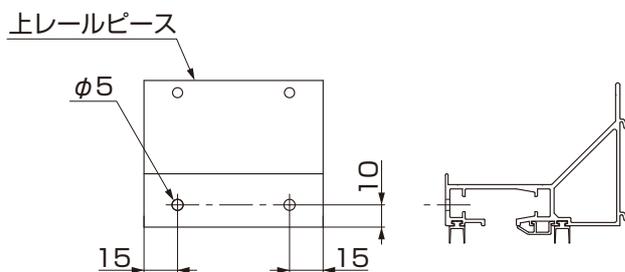
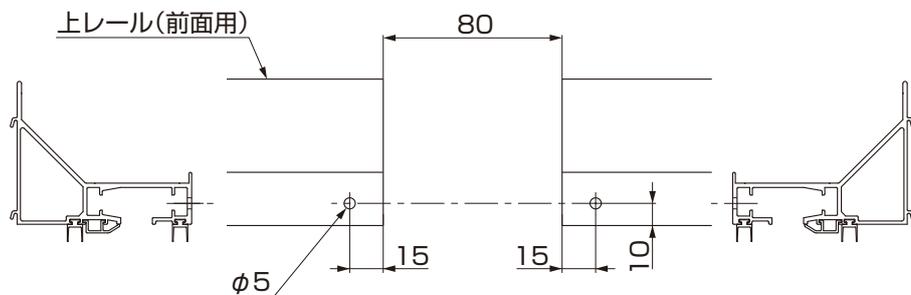
※両入隅の正面、3連棟以上の中間部、ガラスフィックス部での作業です。

12-2-1 上レール(前面用)の加工

- ①上レール(前面用)を80mm切断する位置を決め、上レールを2分割にしてください。
- ②分割した上レール(前面用)の切断側端部にφ5の穴加工をしてください。
- ③上レールピースの両端部にφ5の穴加工をしてください。

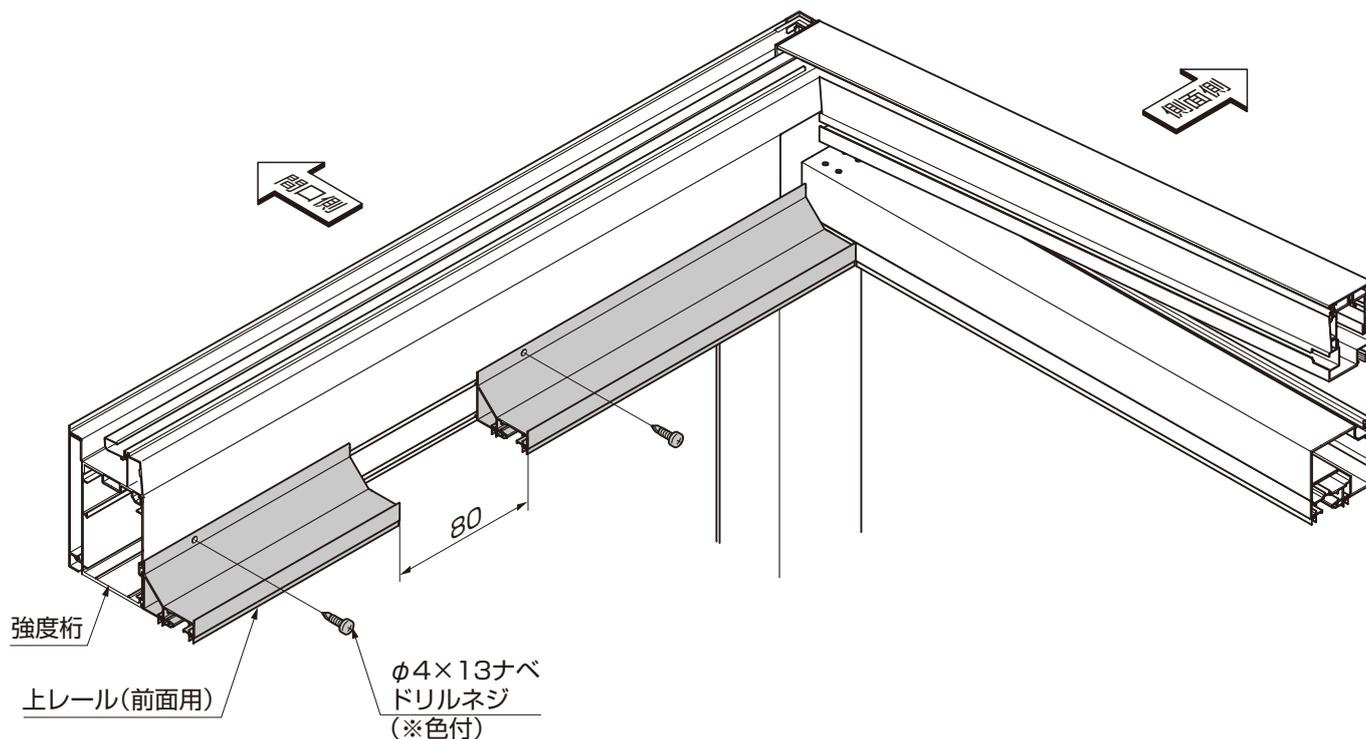
P ポイント

- 両入隅仕様で折戸パネルを取外すことができるようにするために必要な手順です。
- 後の手順で下レールも同様の作業を行います。
- 分割する位置は、折戸を閉めた際にパネルのローラーの位置にならないようにしてください。



12-2-2 上レール(前面用)の取付け

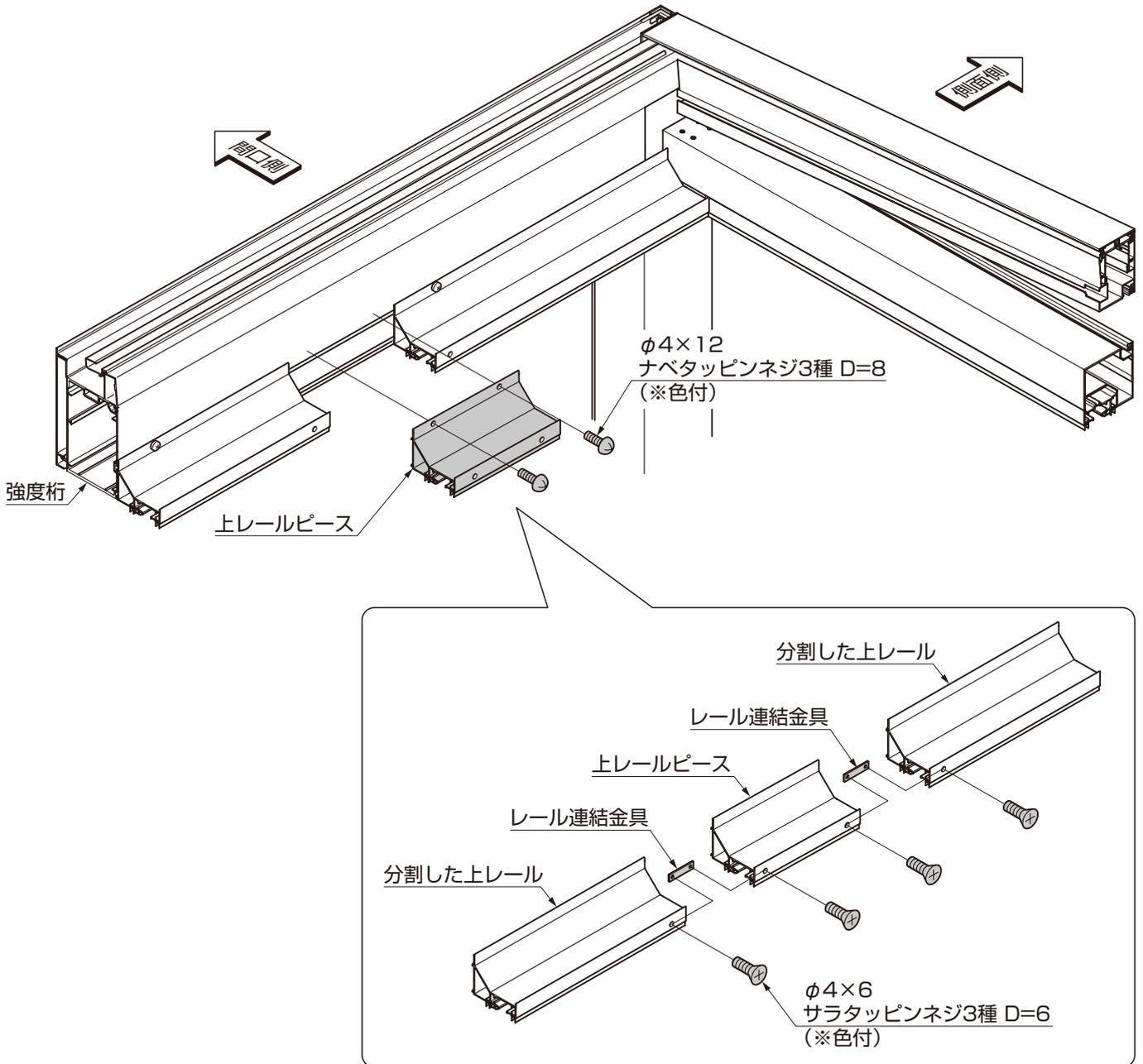
- ①分割した上レール(前面用)を強度桁に【ネジ】で取付けてください。



- ②80mmカットして空いた所に上レールピースを当て、上レールの穴をガイドにして強度桁にφ3.5の下穴をあけてください。
- ③上レール連結金具を上レールピースと上レール(前面用)に【ネジ】で取付けてください。
- ④上レールピースを強度桁に【ネジ】で取付けてください。

Pポイント

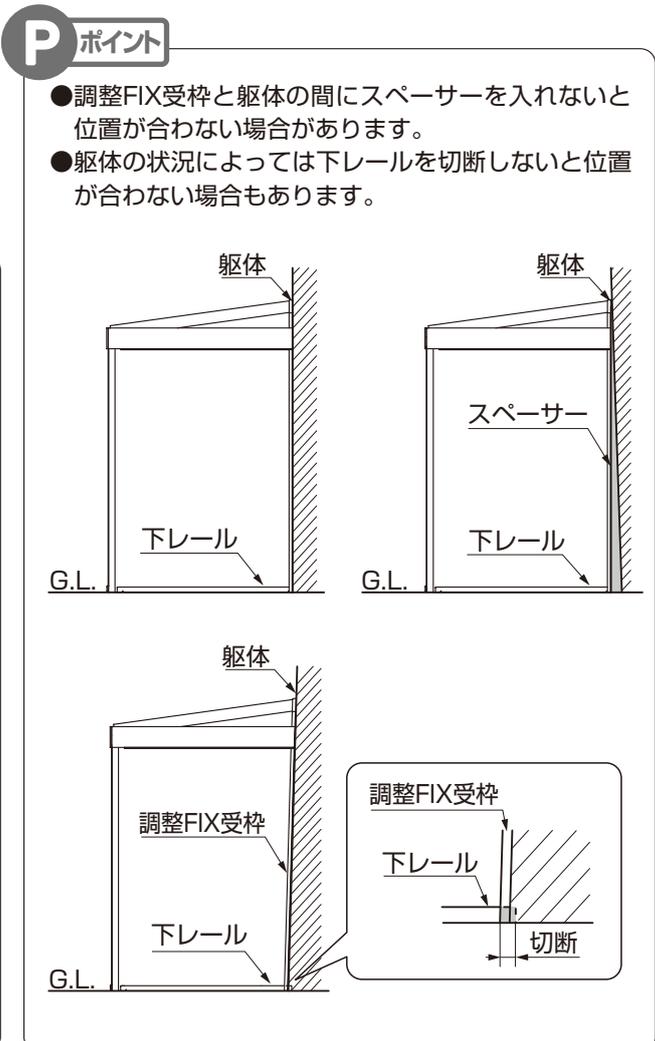
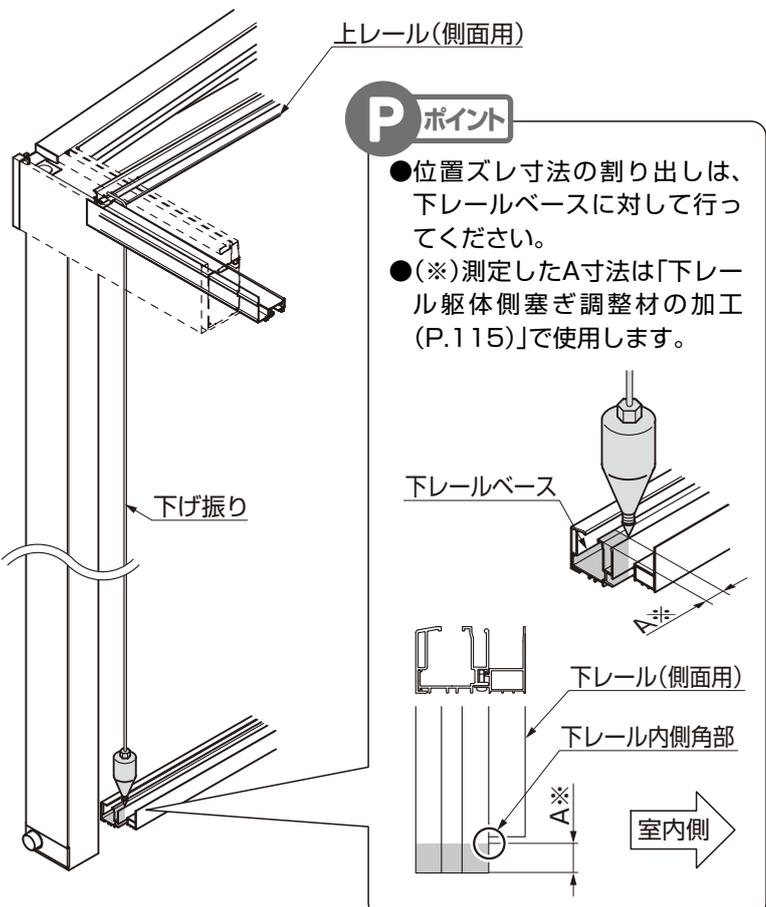
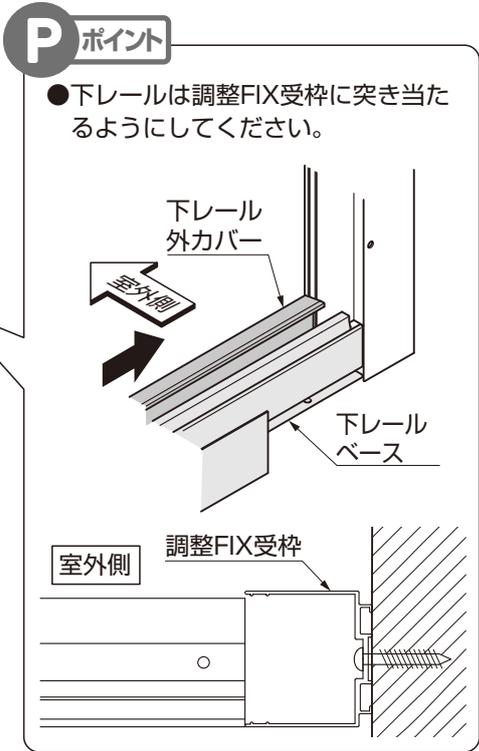
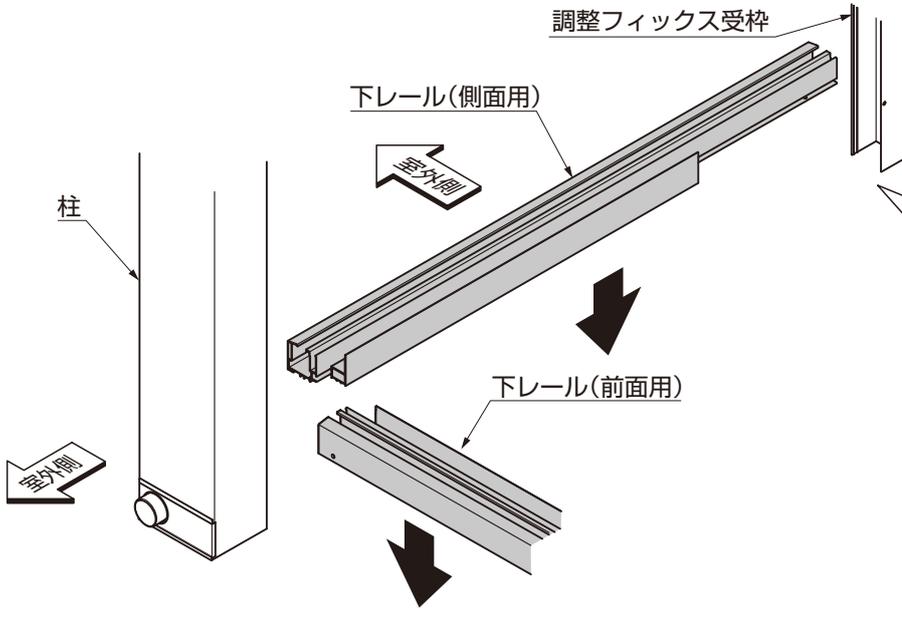
●上レールピースの取付けは折戸パネルを吊り込んだ後の作業です。



12-3 下レールの取付け

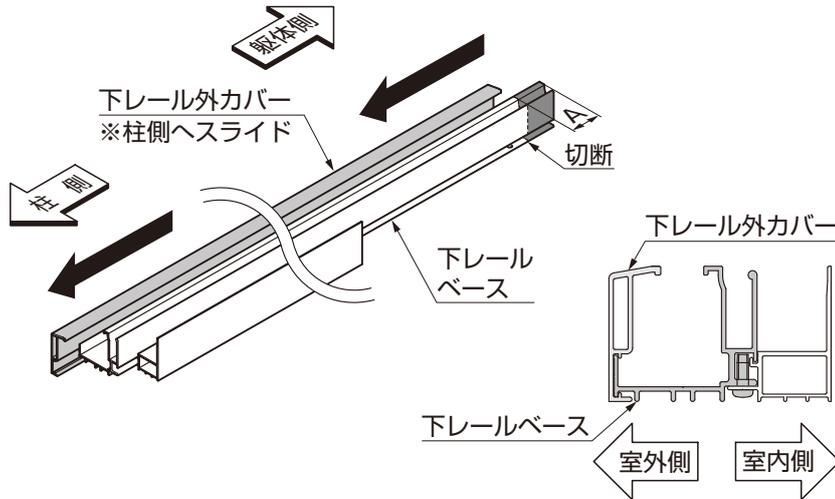
12-3-1 下レールの仮置き

- ①下レールを仮置きしてください。
- ②下レール(側面用)と調整FIX受枠の位置を合わせた上で、下げ振りを使用して上レール(側面用)内側角部と下レール(側面用)内側角部との位置ズレ寸法(A寸法)を確認してください。



12-3-2 下レール(側面用)の切断

①位置ズレ寸法分(A寸法分)下レールベースを躯体側から切断してください。



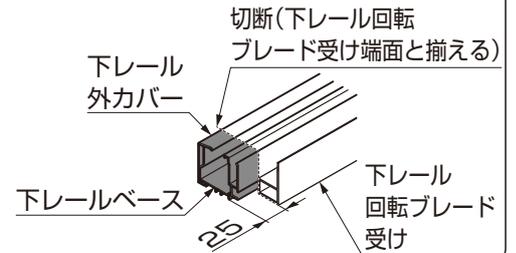
Pポイント

- 下レール外カバーをスライドさせて、下レールベースのみ切断してください。

Pポイント

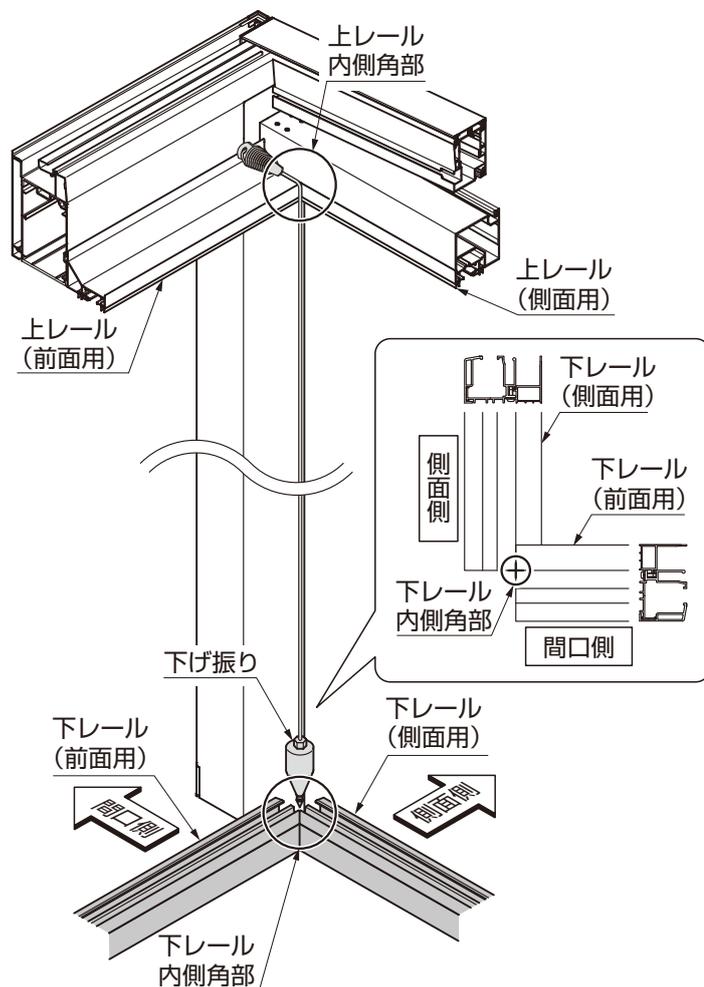
【入隅・連棟用縦枠を使用する場合】

- 左記の手順①に加えて下レール外カバーおよび、下レールベースの柱側を25mm切断してください。



12-3-3 下レールの位置決め

- ①切断した下レール(側面用)を仮置き時と同様に配置してください。
- ②下げ振りを使って、上レール(側面用)内側角部と下レール(側面用)の内側角部が同じ位置になるか確認してください。



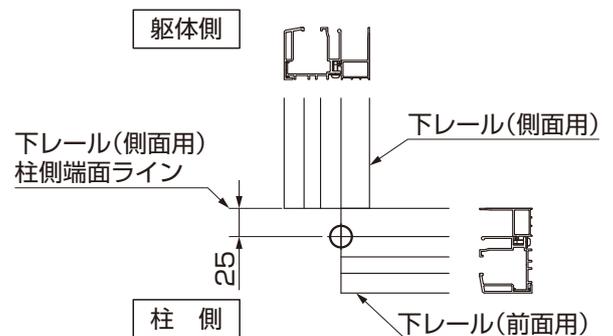
Pポイント

- 上レールと下レールの位置関係がずれてしまうと、折戸パネルの動きが悪くなってしまいます。

Pポイント

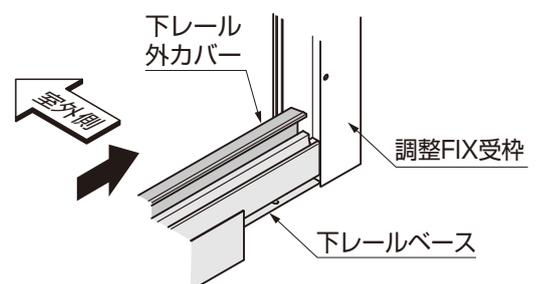
【側面をすべてガラスフィックスにする場合】

- 下レール(側面用)の位置は下図を参照してください。
- 下げ振りから躯体側に25mmの位置に下レール(側面用)の柱側端面を合わせてください。



Pポイント

- 下レール外カバーは調整FIX受枠に差込むように、下レールベースは調整FIX受枠に突き当たるようにしてください。



12-4 下レール(前面用)の加工

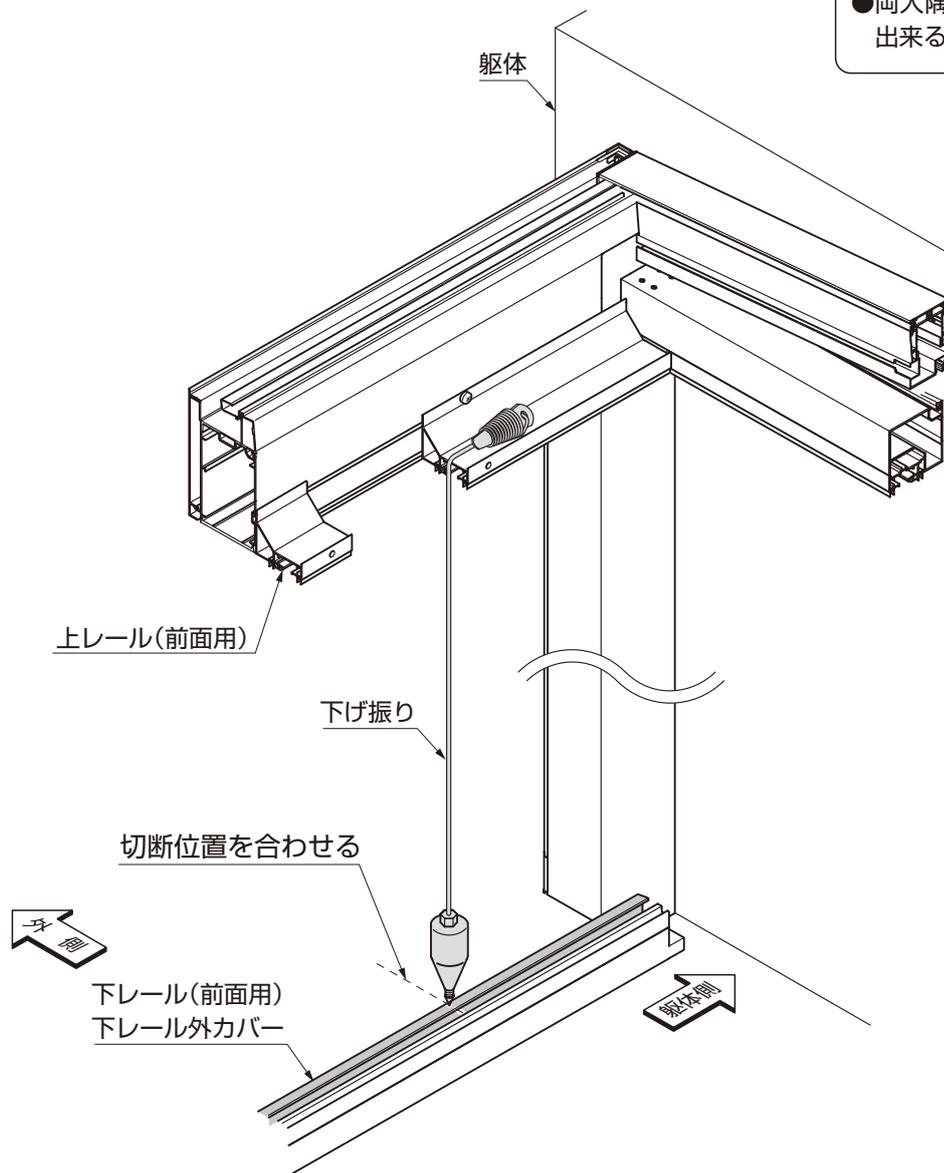
12-4-1 両入隅の場合

(1) 下レール外カバーの切断位置決め

- ① 下げ振りを使って上レール(前面用)の切断位置と、下レール(前面用)の下レール外カバーを切断する位置を合わせてください。

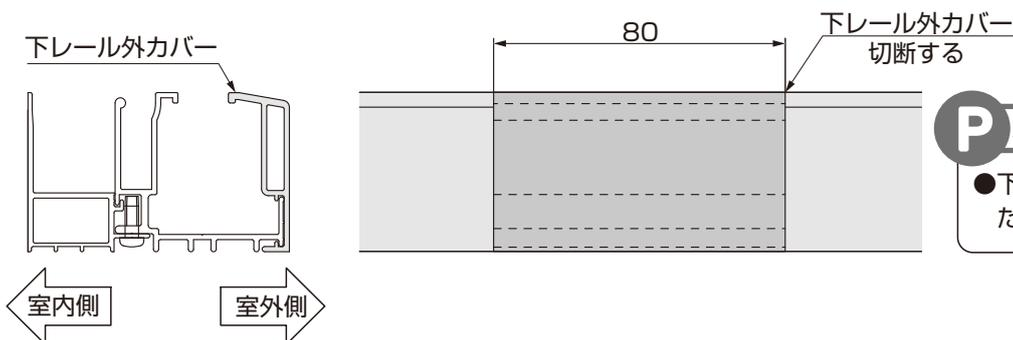
P ポイント

- 両入隅仕様で折戸パネルを取外すことが出来るようにするために必要な手順です。



(2) 下レール外カバーの切断

- ① 下レール外カバーを切断してください。

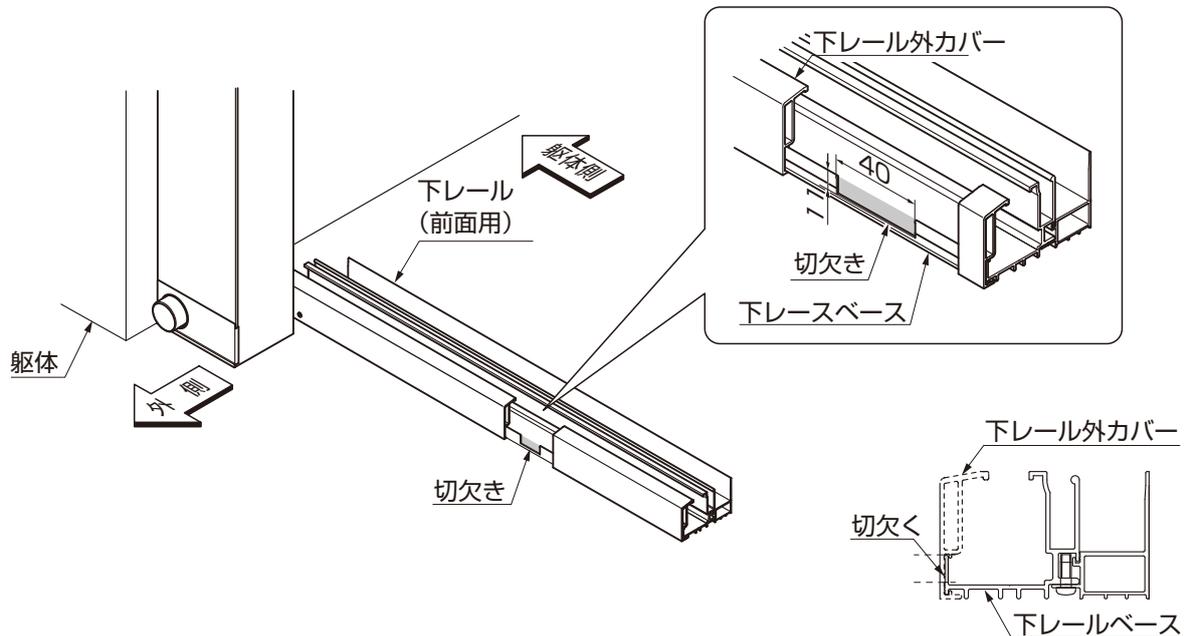


P ポイント

- 下レール外カバーのみを切断してください。

(3) 下レールベースの切欠き加工

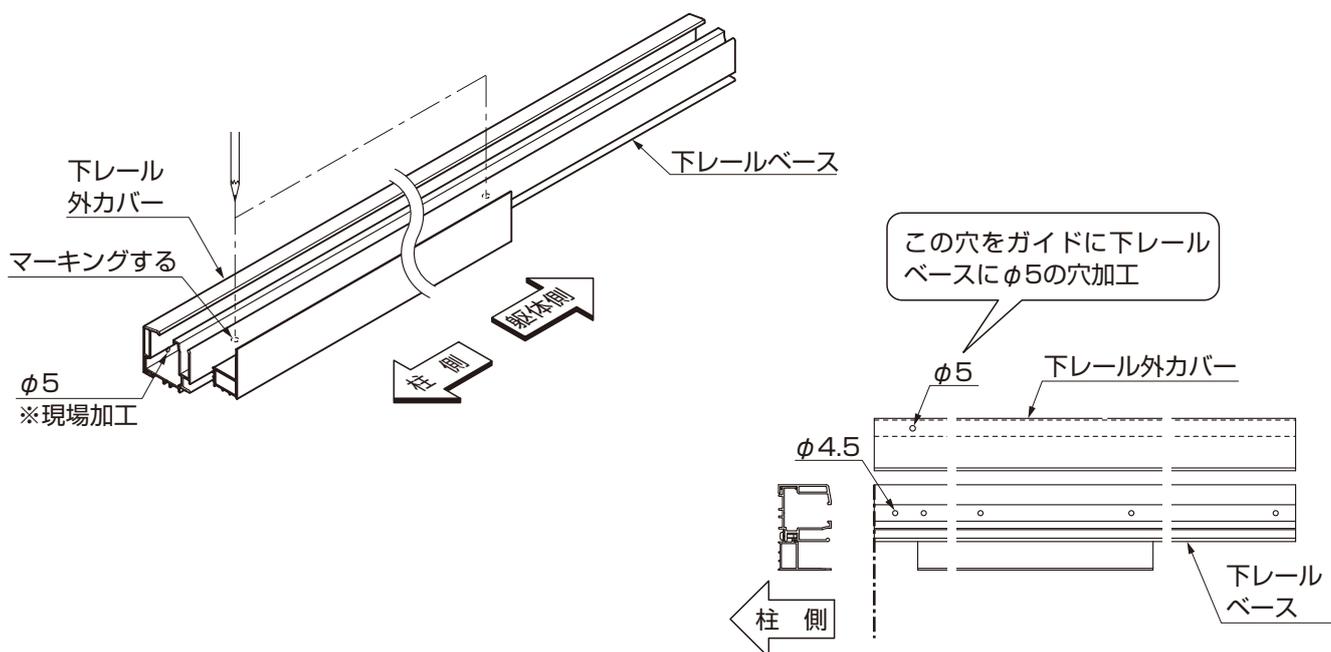
① 下レールベースの外側立上がり部を切欠いてください。



12-5 下レールの固定

12-5-1 下レールの穴加工

- ① 下レールベースの加工穴をガイドにして、ネジ固定位置を床面にマーキングしてください。
- ② 下レール外カバーと下レールベースの柱側の端面を合わせ、下レール外カバーの加工穴をガイドにし、下レールベースの柱側に $\phi 5$ の穴加工をしてください。
- ③ ①でマーキングした床面に穴加工をしてください。

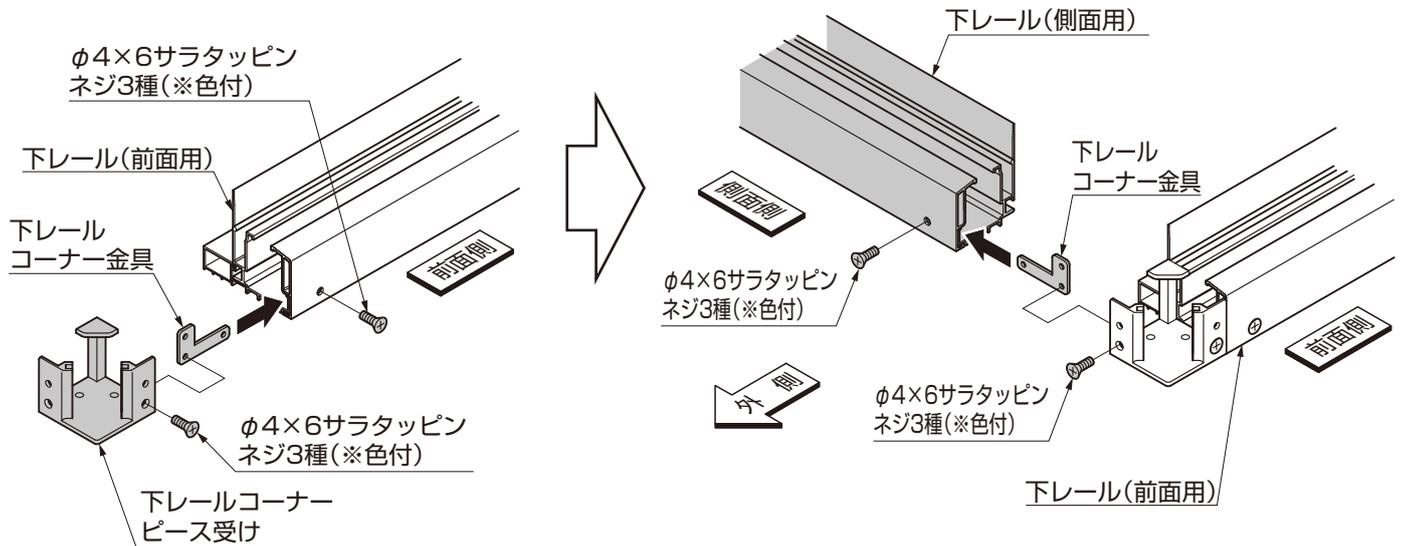


12-5-2 下レールコーナーピース受けの取付け

- ①下レール(前面用)に下レールコーナー金具と下レールコーナーピース受けを取付けてください。
- ②下レール(側面用)に下レールコーナー金具と下レールコーナーピース受けを取付けてください。

Pポイント

- コーナーピースを取付ける【ネジ】は手回しドライバーで固定してください。

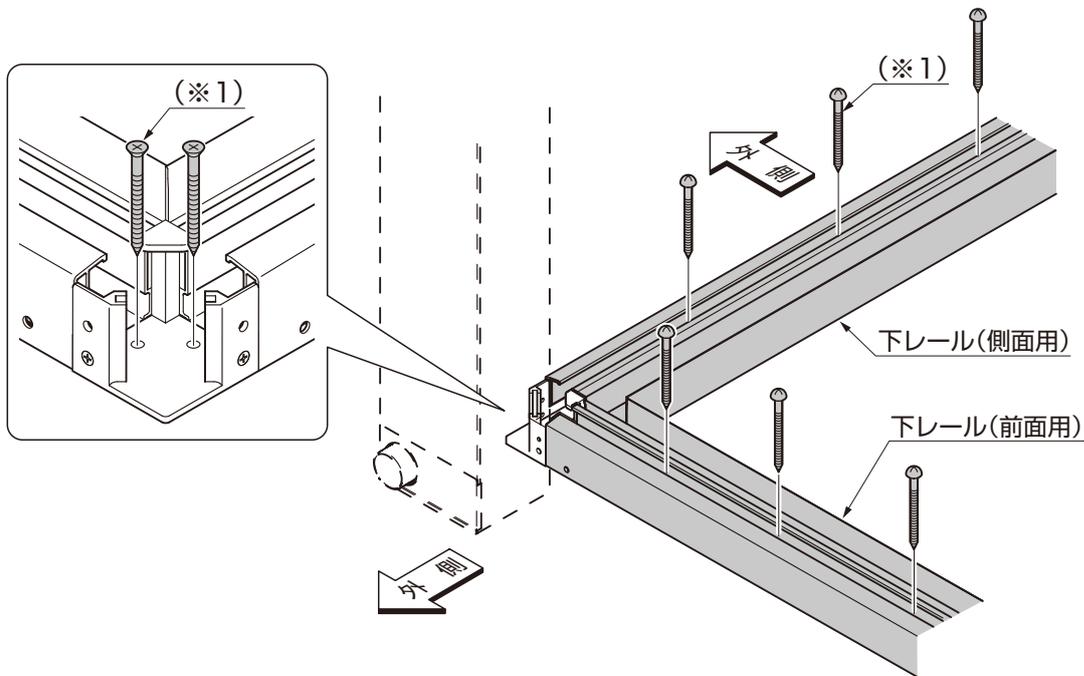


12-5-3 下レールの固定

- ①下レールと下レールコーナーピース受けを【ネジ】で固定してください。(※1)

Pポイント

- 下レール固定用ネジは、土間用は【フィッシャープラグ 下穴φ6】と【φ4.1×32丸木ネジ】を使用してください。
- 下レールコーナーピース固定用ネジは、土間用は【フィッシャープラグ】と【φ4.1×32サラ木ネジ】を使用してください。



下レール固定用ネジ一覧 (※1)

| | | 下レール固定用ネジ | 下レールコーナーピース固定用ネジ | フィッシャープラグ |
|---------|-----|--------------|------------------|-------------|
| 土間用 | 前面側 | φ4.1×32丸木ネジ | φ4.1×32サラ木ネジ | フィッシャープラグS6 |
| | 側面側 | φ4.1×32丸木ネジ | φ4.1×32サラ木ネジ | フィッシャープラグS6 |
| ベース材仕様用 | 前面側 | φ4×13ナベドリルネジ | φ4×16サラドリルネジ D=6 | 不要 |
| | 側面側 | φ4×13ナベドリルネジ | φ4×16サラドリルネジ D=6 | 不要 |

12-6 施工寸法の計測と下レールの水平確認

①図12-1にしたがって①～④を計測し、各部の測定値が表12-1の範囲内であることを確認してください。
 プラス側に外れている場合は、下レールの下にスペーサーを入れるなどして調整してください。

上レール下面～下レール上面(図12-4参照)

正面(①②)および側面(③④)

- ①: 外観右端柱部
- ②: 外観左端柱部
- ③: 外観右調整FIX受枠付近
- ④: 外観左調整FIX受枠付近

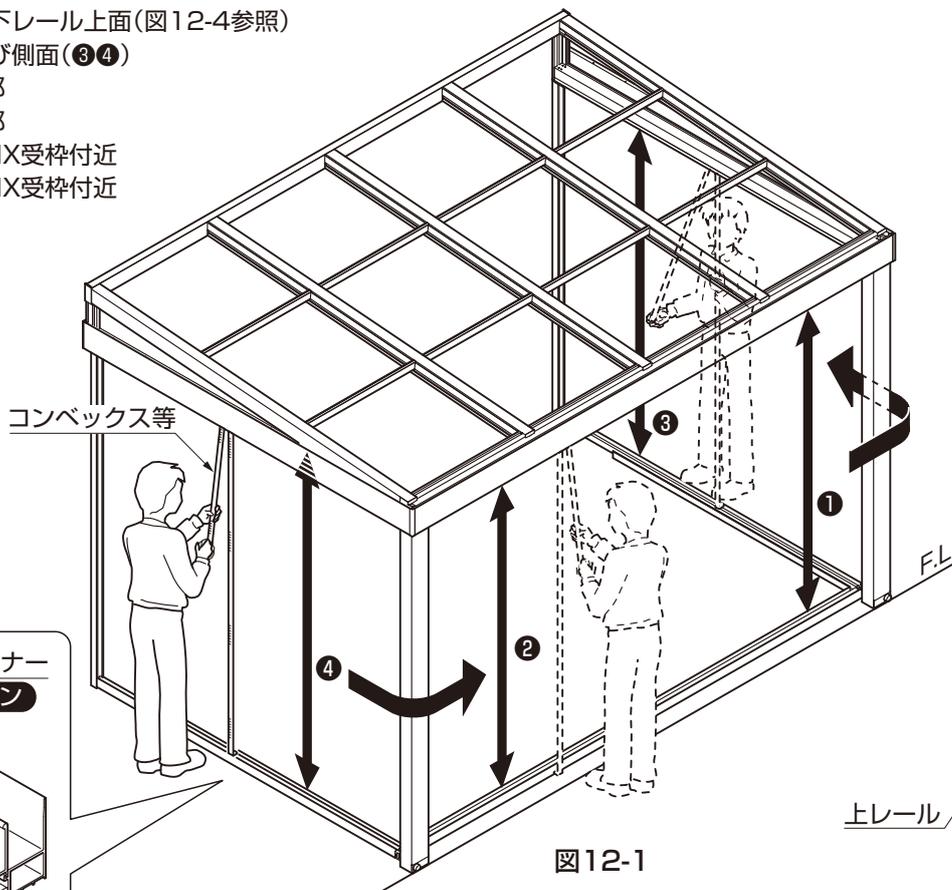


図12-1

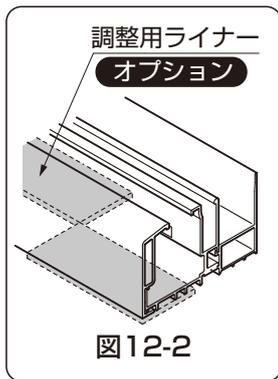


図12-2

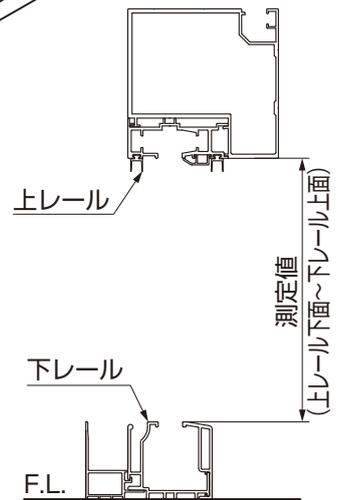


図12-4

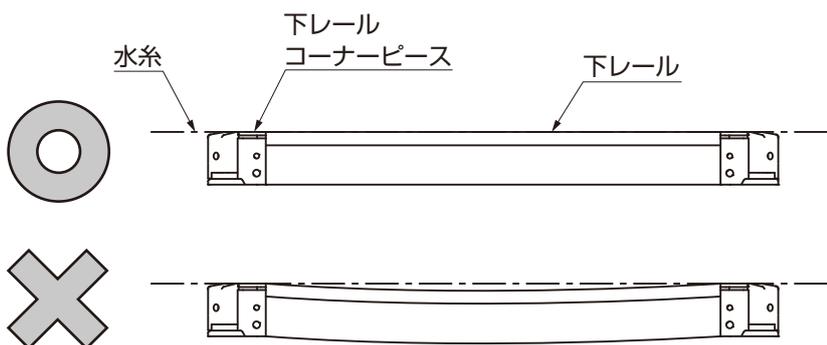


図12-3

表12-1

| | 測定値 | 基準値 |
|-----|-----------|------|
| H21 | 2050～2055 | 2054 |
| H23 | 2250～2255 | 2254 |
| H25 | 2450～2455 | 2454 |

Pポイント

- 下レールは水糸などを使用して水平になるように調整してください。床の状態に合わせて、下レールの下にスペーサーを入れるなどの調整をしてください。(図12-3参照)
- プラスの寸法分下レールの下に下レール調整用ライナー **オプション** を入れないと下レール回転ブレードがパネルに届かず、十分な止水性能が得られないおそれがあります。(図12-2参照)

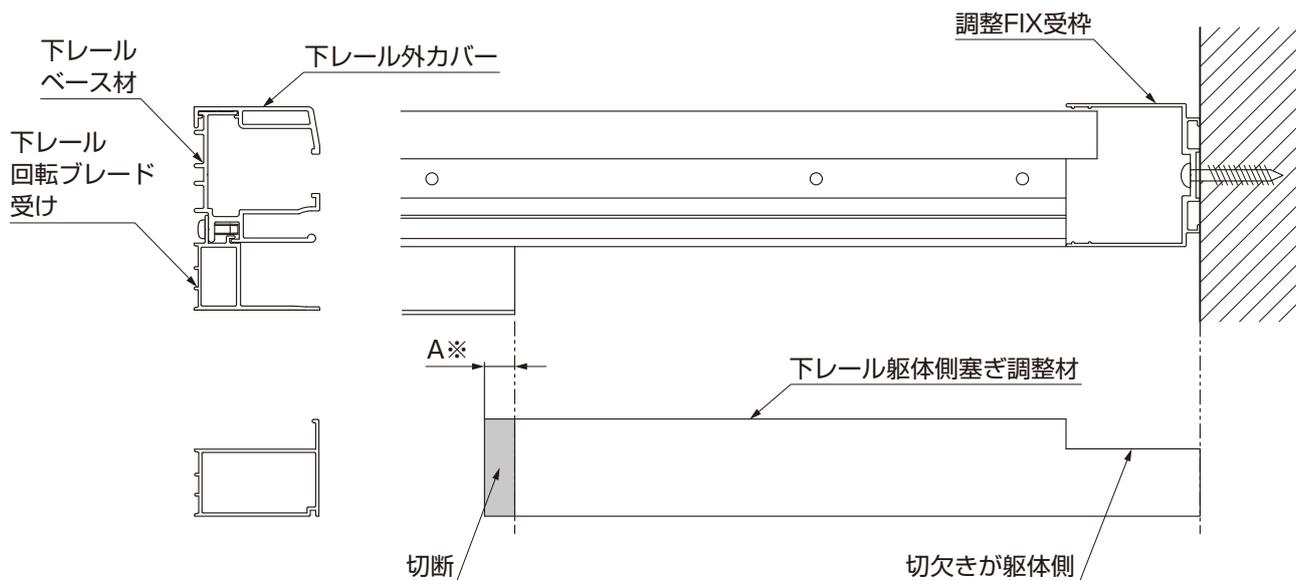
12-7 下レール躯体側塞ぎ調整材の取付け

12-7-1 下レール躯体側塞ぎ調整材の加工

①下レール回転ブレード受けと躯体の隙間寸法に合わせ、下レール躯体側塞ぎ調整材を切断してください。

P ポイント

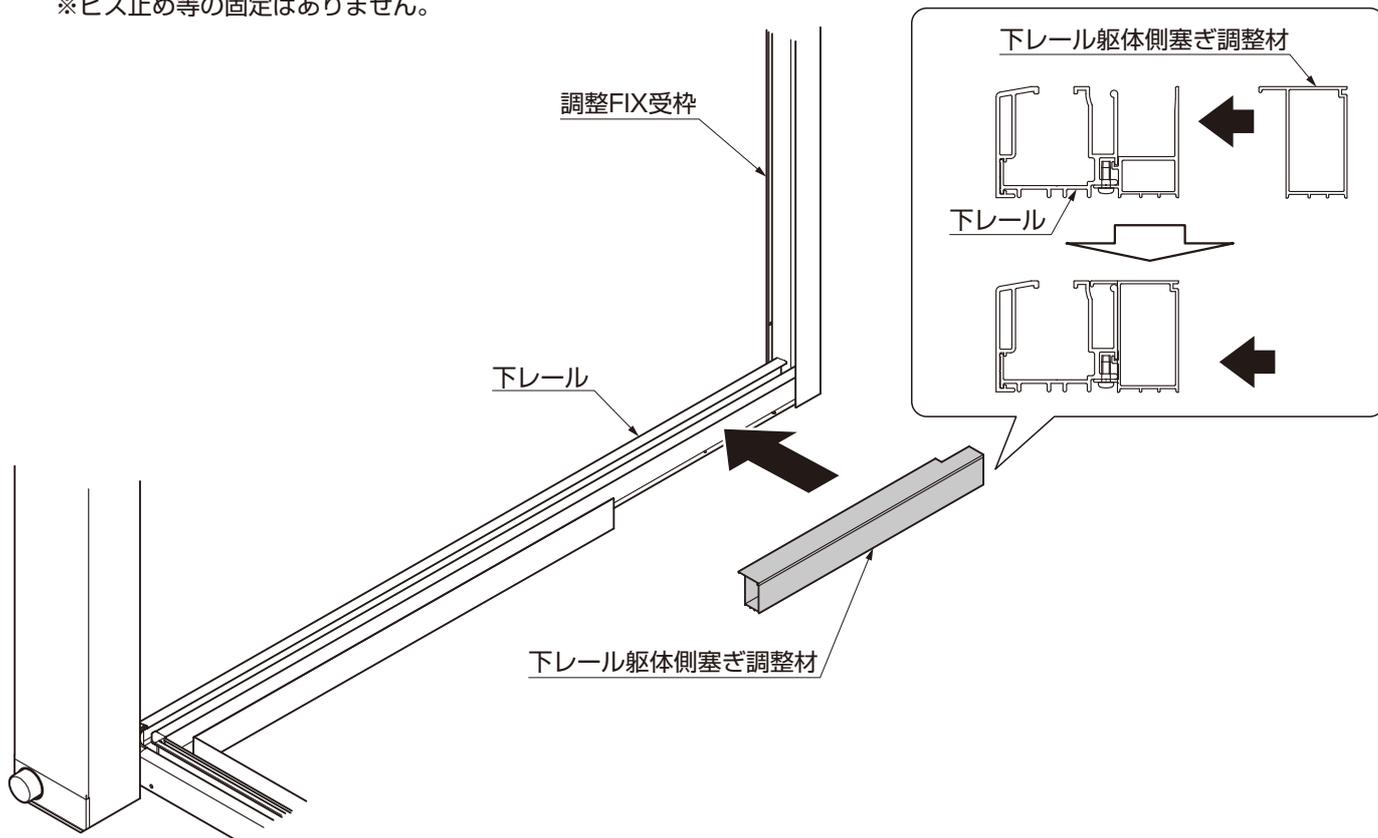
- 切断面にバリが残った場合には、やすり等でバリを落としてください。下レール回転ブレードの作動に影響を及ぼす場合があります。
- (※)A寸法は「下レールの仮置き(P.109)」で測定したものを使用します。



12-7-2 下レール躯体側塞ぎ調整材の取付け

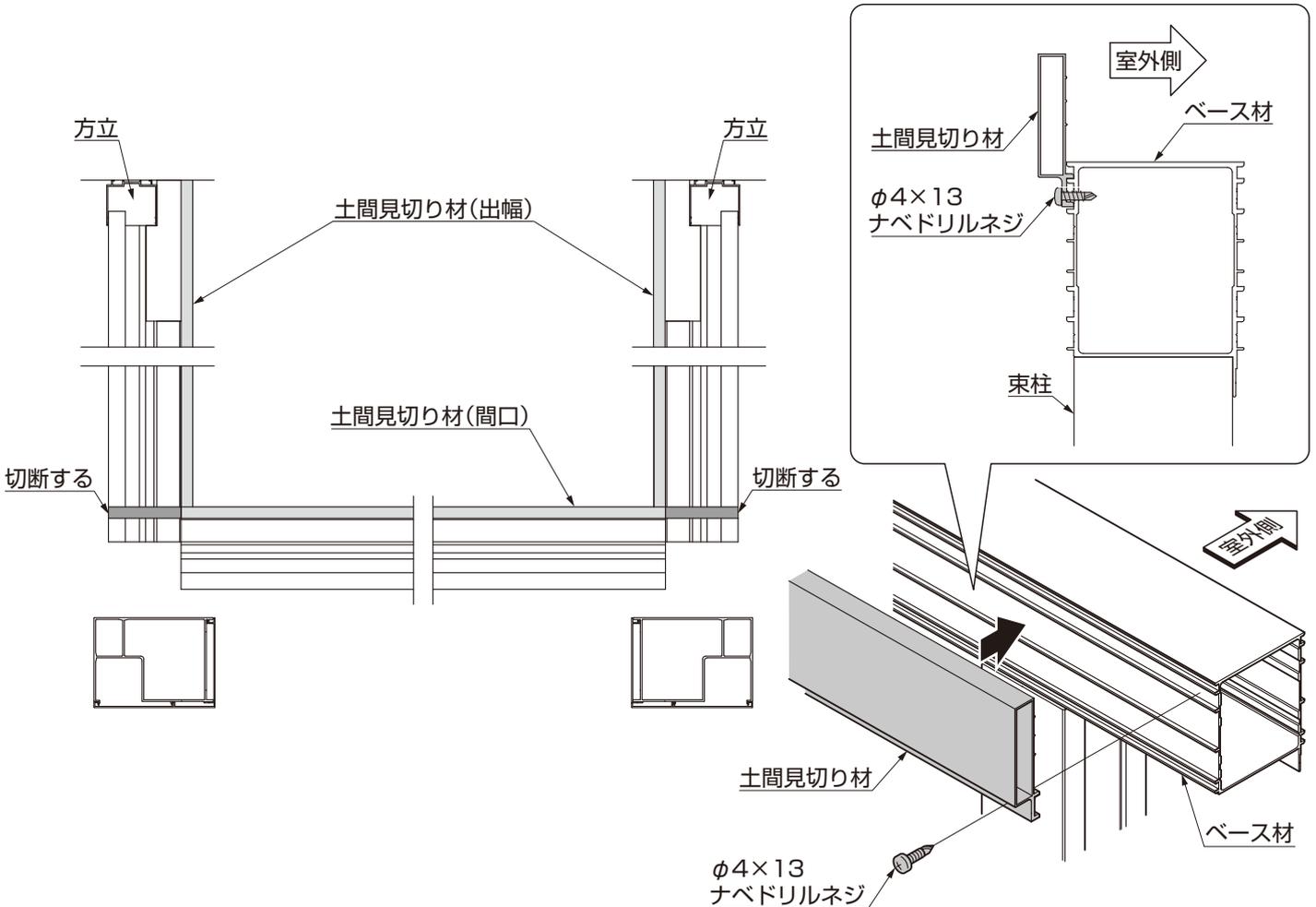
①下レール回転ブレード受けと躯体の間に、下レール躯体側塞ぎ調整材を配置してください。

※ビス止め等の固定はありません。



12-8 土間見切り材の取付け ※ベース材仕様で土間用の場合での作業です。

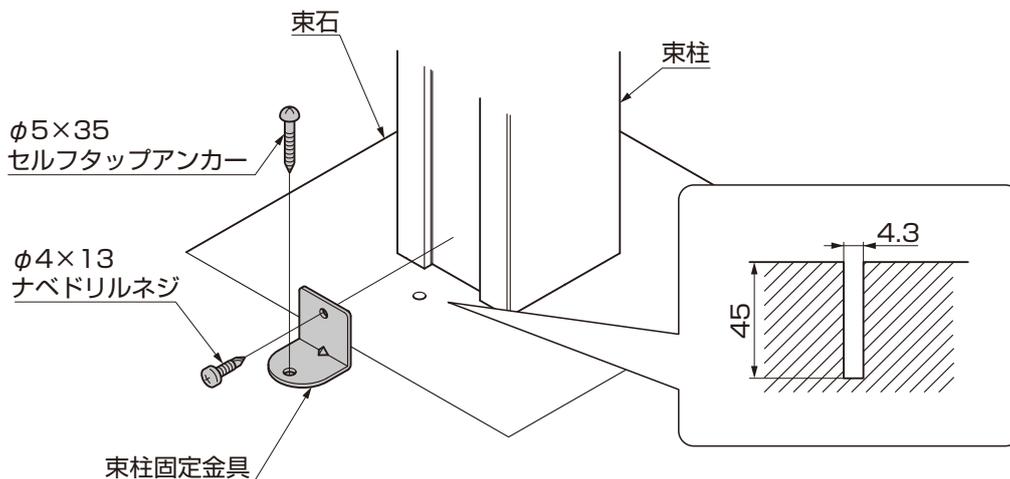
- ①出幅方向のベース材内々寸法で、間口方向の土間見切り材を現場合わせで加工してください。
- ②土間見切り材をベース材に【ネジ】で取付けてください。



12-9 ベース材束柱の取付け

- ①束柱固定金具を束柱に【ネジ】で取付けてください。
- ②束石にφ4.3の穴加工をしてください。
- ③束柱を土間に【ネジ】で取付けてください。

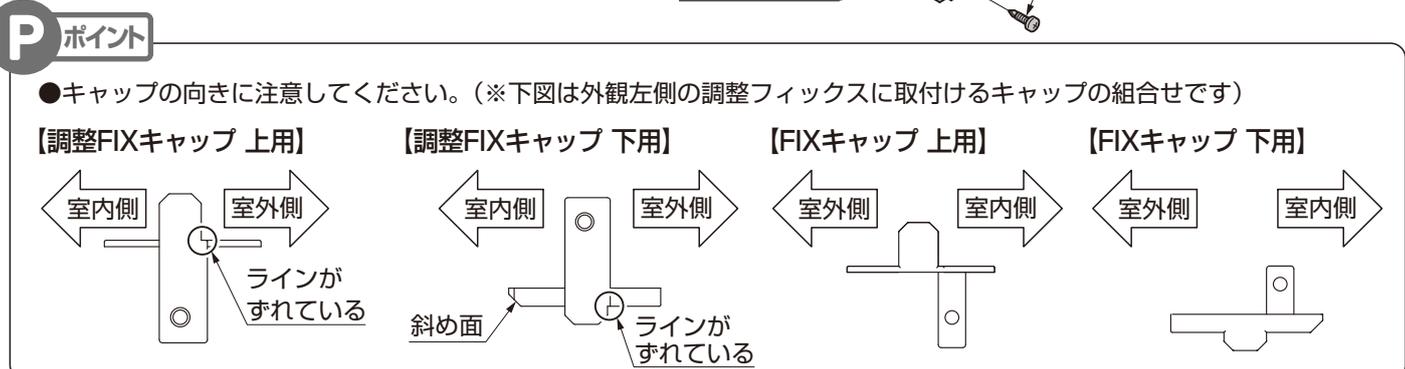
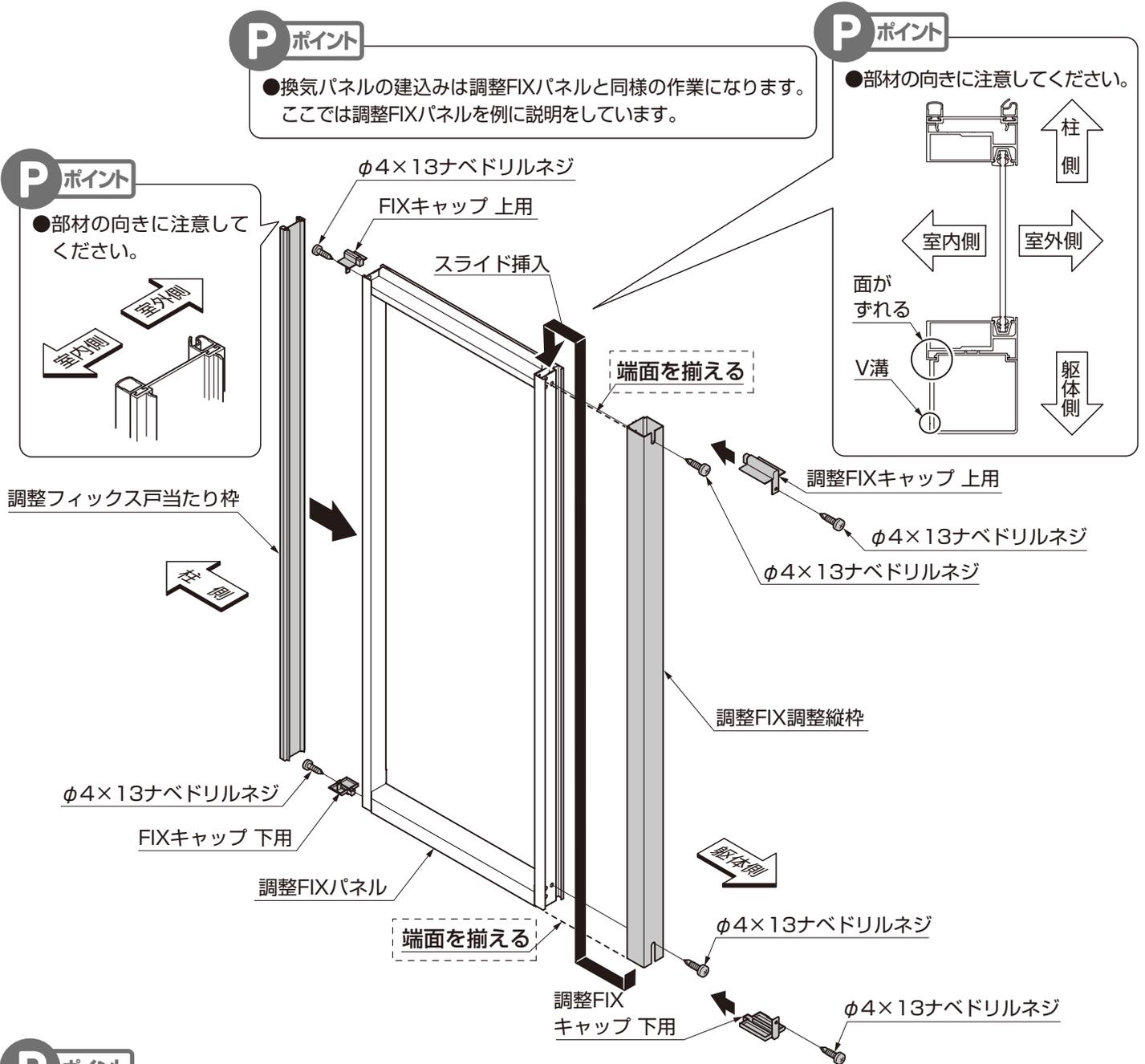
P **ポイント**
 ●束柱取付金具の取付け方向については束柱固定金具の向き(P.52)を参照してください。



12-10 調整FIXパネル・換気パネルの建込み

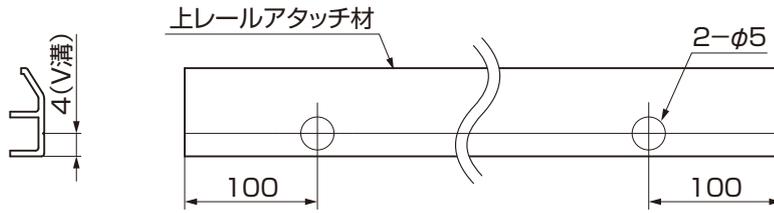
12-10-1 調整FIXパネルの組立て

- ① 調整FIX調整縦枠を調整FIXパネルにスライド挿入し、【ネジ】で取付けてください。
- ② 調整FIXキャップを調整FIXパネルにはめ込み、【ネジ】で取付けてください。
- ③ FIXキャップを調整FIXパネルに【ネジ】で取付けてください。
- ④ 調整FIX戸当たり枠を調整FIXパネルにはめ込んでください。



12-10-2 上レールアタッチ材(躯体側用)の加工

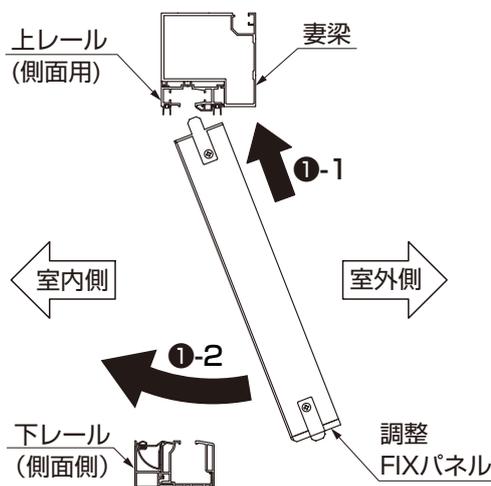
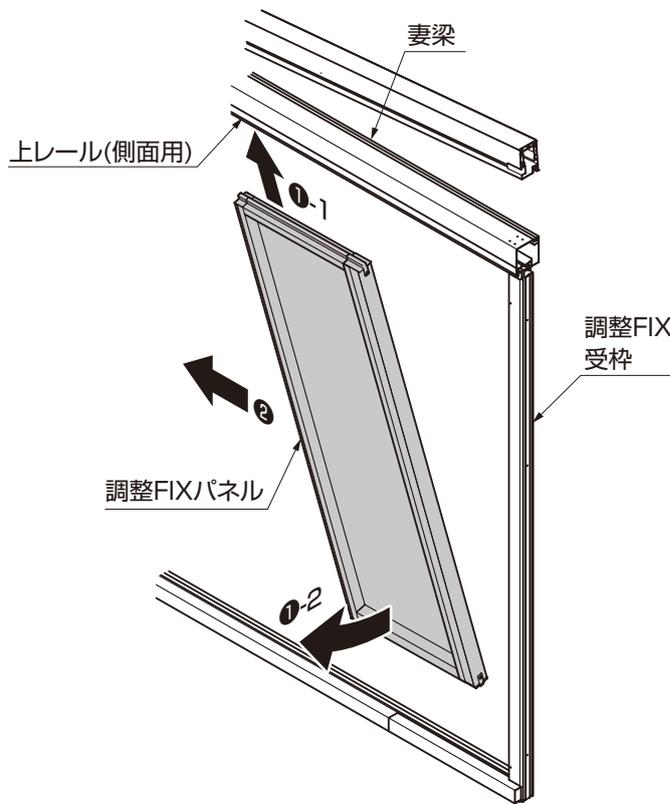
①上レールアタッチ材(躯体側用に)φ5の穴を開けてください。



12-10-3 調整FIXパネルの建込み

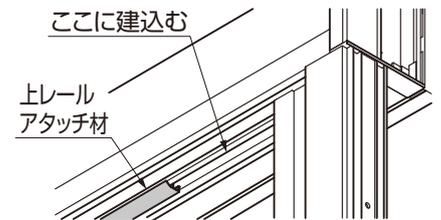
※ガラスフィックスと折戸パネルを同じ開口に取付ける場合、ガラスフィックスの建込みを先に行ってください。

- ①調整FIXパネルを側面に建込んでください。
- ②調整FIXパネルを柱側に移動してください。



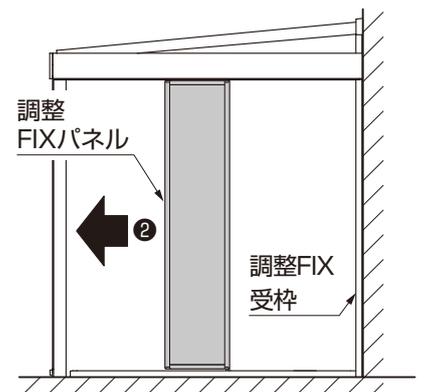
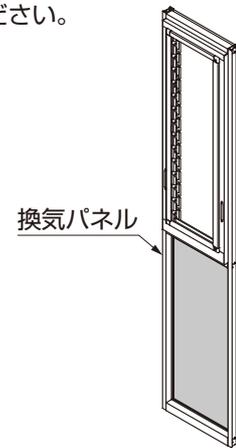
Pポイント

- 調整FIXパネルの建込みは躯体側の
上レールアタッチ材が無い箇所で行
ってください。



【換気パネルを建込む場合】

- 調整FIXパネルと同様に建込んで
ください。



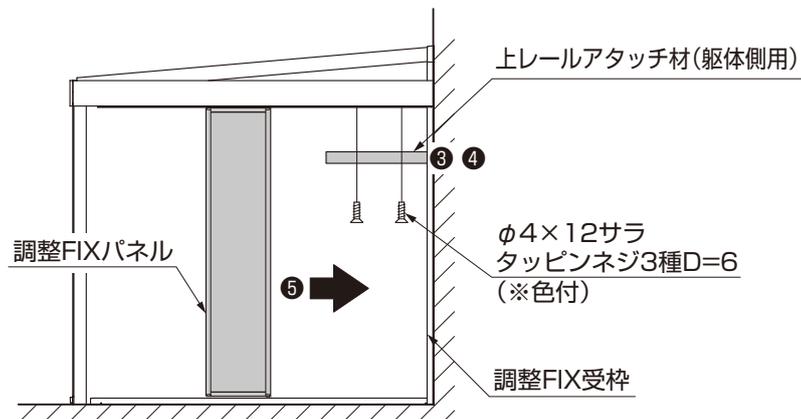
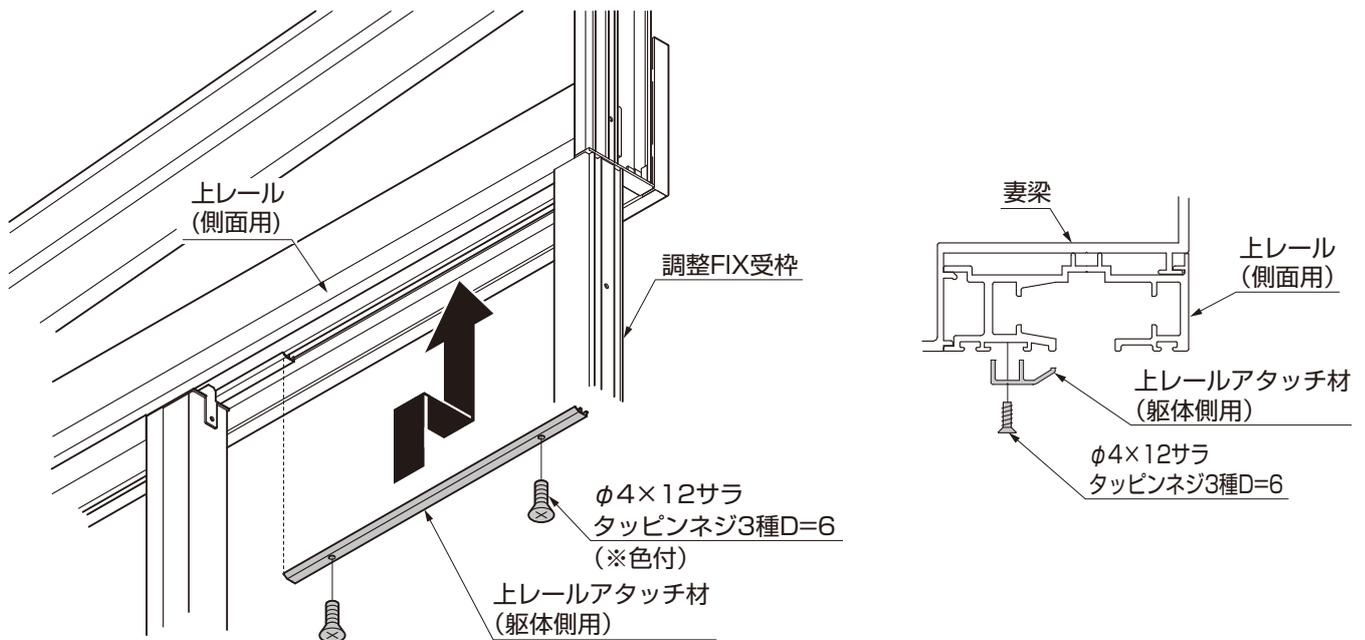
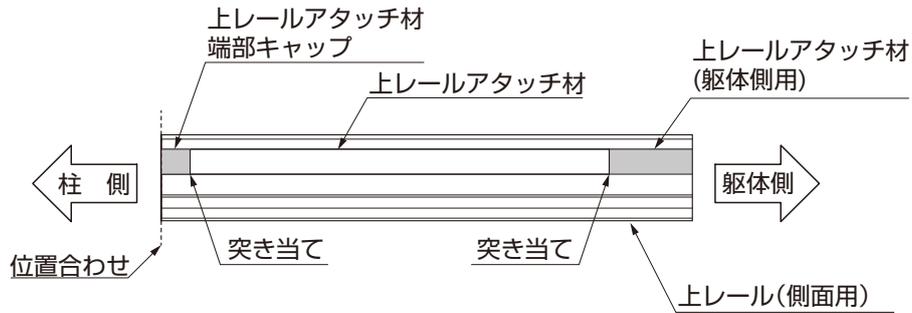
12-10-3 調整FIXパネルの建込み(つづき)

※ガラスフィックスと折戸パネルを同じ開口に取付ける場合、ガラスフィックスの建込みを先に行ってください。

- ③上レールアタッチ材(躯体側用)の穴をガイドにして、上レールにφ3.5の下穴を開けてください。
- ④上レールの躯体側に上レールアタッチ材(躯体側用)を【ネジ】で取付けてください。
- ⑤調整FIXパネルを調整FIX受枠に建て込んでください。

P ポイント

- 上レール(側面用)の柱側端面と、上レールアタッチ材端部キャップの位置を合わせた上で、上レールアタッチ材(躯体側用)の位置を決めてください。



12-11 ガラスフィックスパネルの建込み

12-11-1 ガラスフィックスパネルの組立て

- ①FIXキャップをガラスフィックスパネルに【ネジ】で取付けてください。
- ②調整FIX戸当たり枠をガラスフィックスパネルにはめ込んでください。

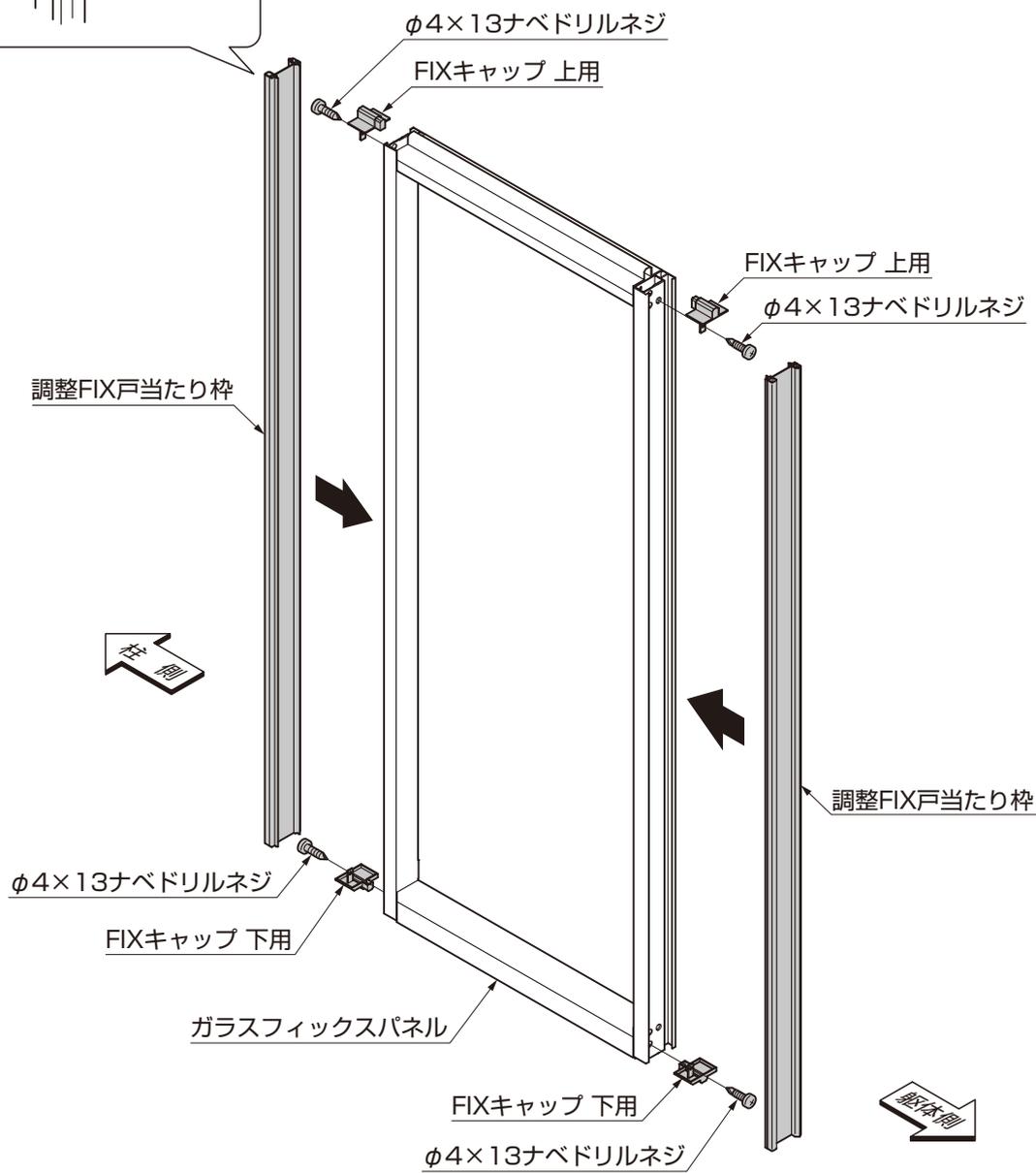
Pポイント

●部材の向きに注意してください。

Pポイント

●キャップの向きに注意してください。
 (※下図はガラスフィックスの外観左側に取付けるキャップの組合せです)

| | |
|---------------------|---------------------|
| 【FIXキャップ 上用】 | 【FIXキャップ 下用】 |
| | |

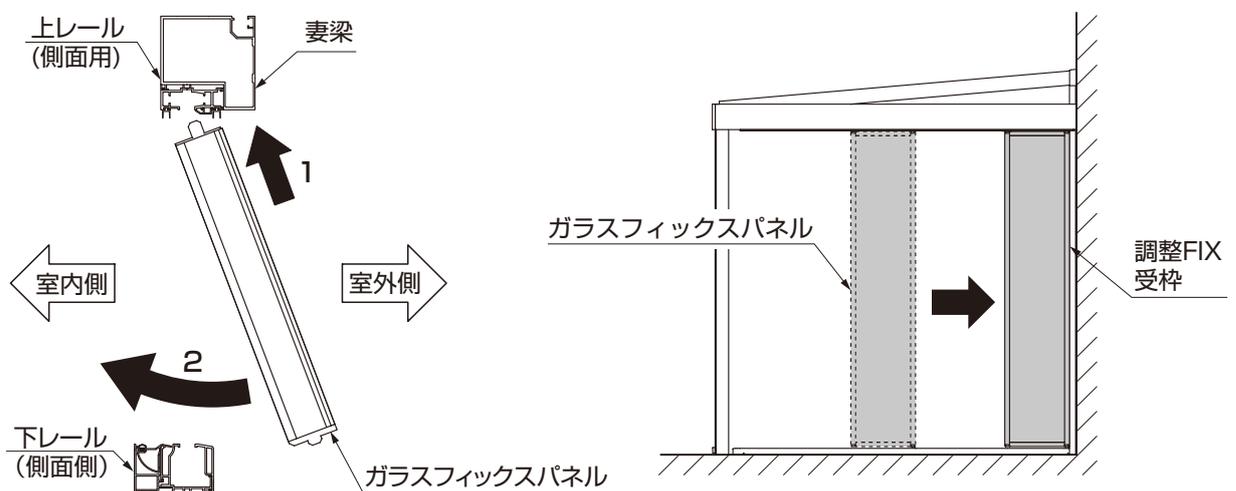
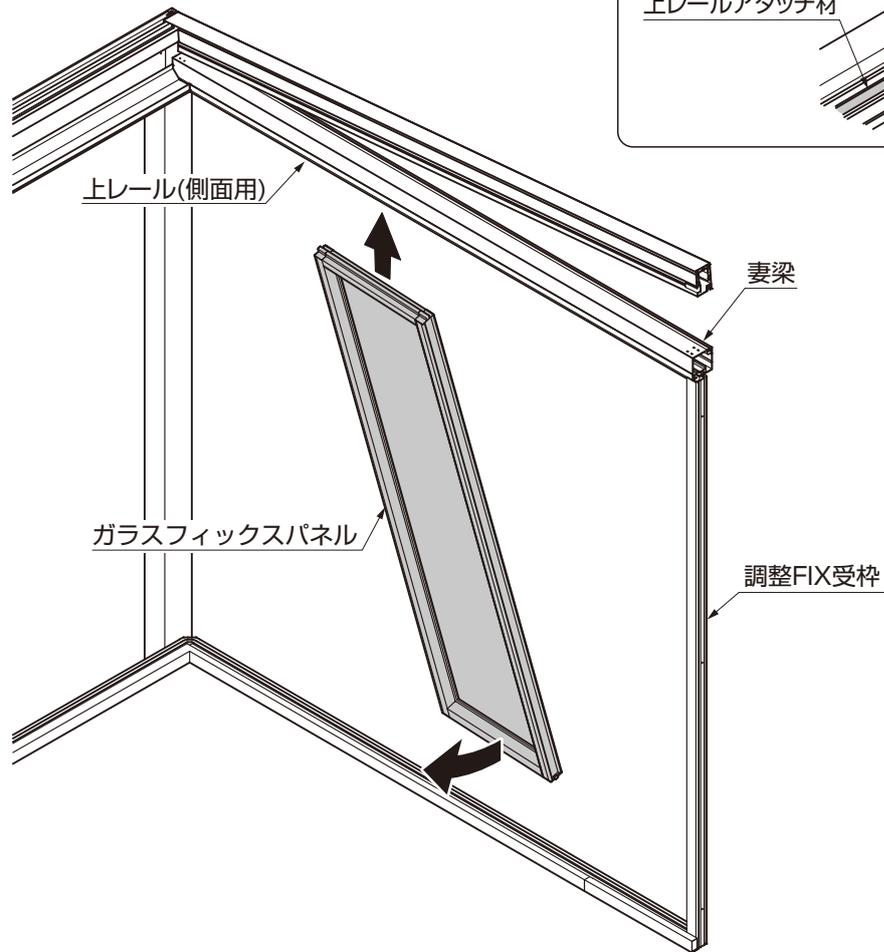
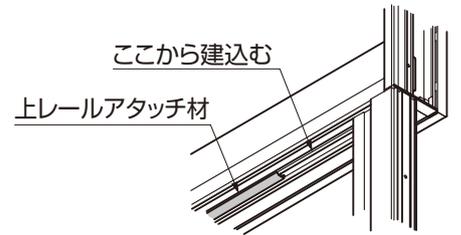


12-11-2 ガラスフィックスパネルの建込み

- ①ガラスフィックスパネルを側面に建込んでください。
- ②ガラスフィックスパネルを所定の位置に移動してください。

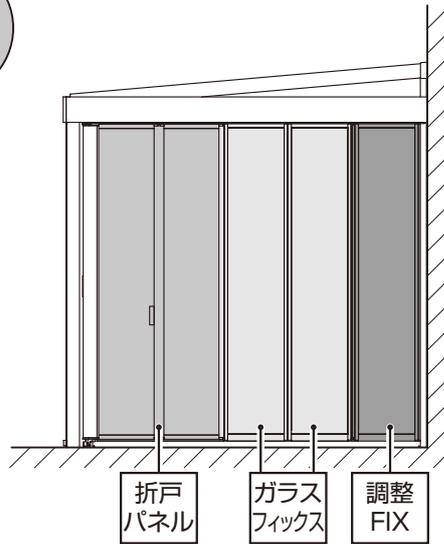
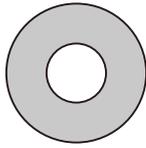
Pポイント

- ガラスフィックスと折戸パネルを同じ開口に取付ける場合、ガラスフィックスの建込みは躯体側の上レールアタッチメントが無い箇所から行ってください。



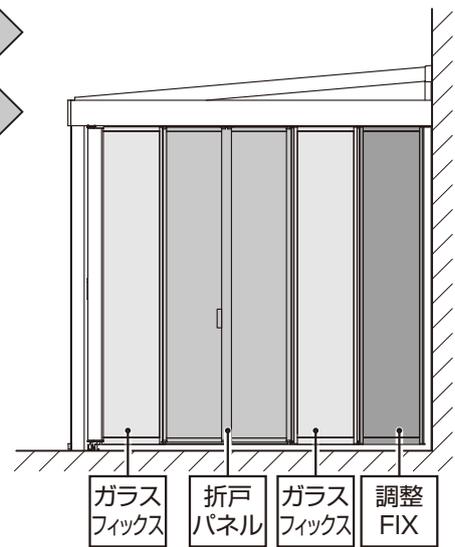
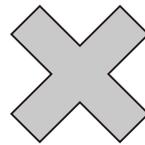
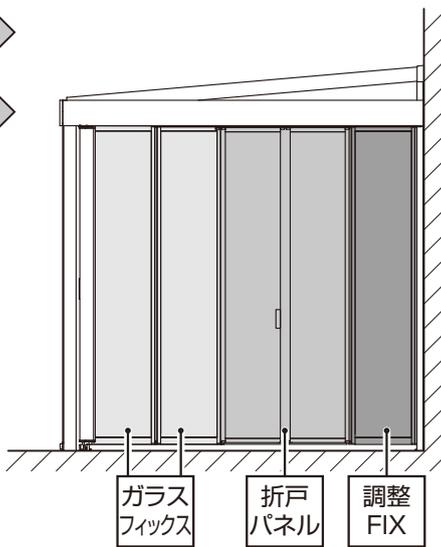
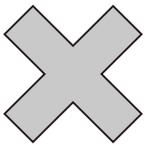
12-11-3 ガラスフィックスと折戸パネルを同じ開口部に取り付ける場合

(1)出幅

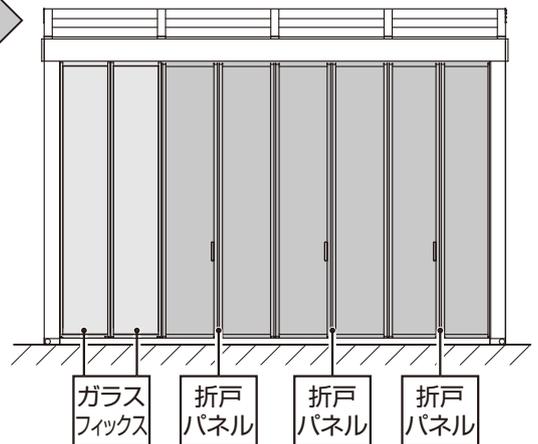
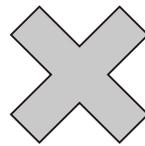
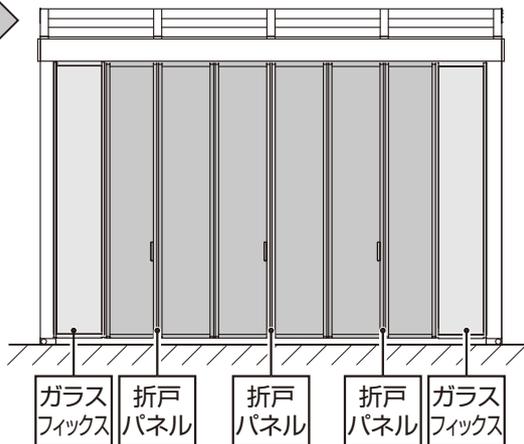
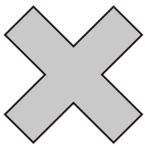


Pポイント

- は部品、部材の組換えでの現場対応が可能です。
- ✕は部品、部材の組換えでの現場対応はできません。



(2)間口



12-12 入隅・連棟用縦枠の取付け

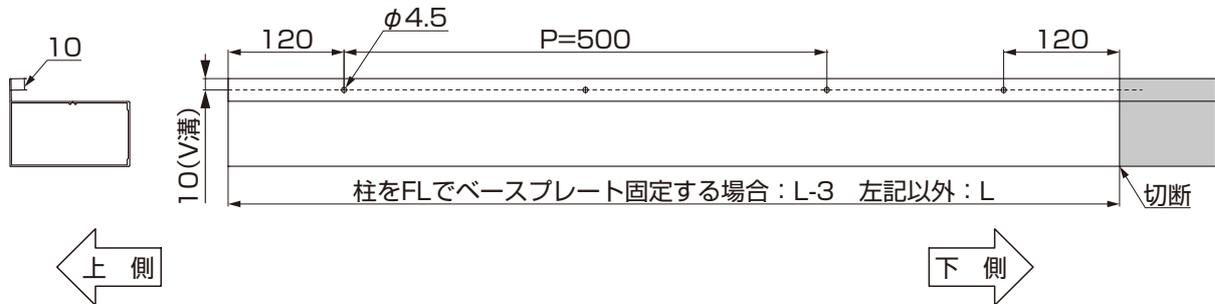
※「片入隅」「両入隅」「側面をすべてガラス
フィックスにする場合」「連棟部」での作業です。

12-12-1 入隅・連棟用縦枠の加工

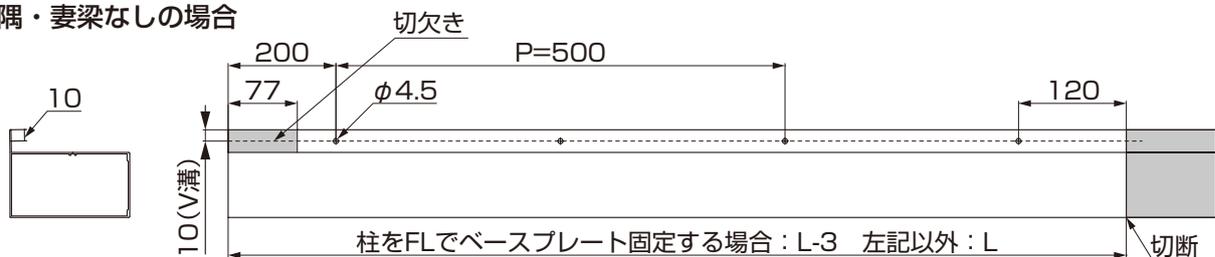
(1) 連棟部以外の加工 ※連棟部に妻梁がある箇所に取付ける場合は本項を参照してください。

① 入隅・連棟用縦枠を図と表を参照し、切断および下穴加工をしてください。

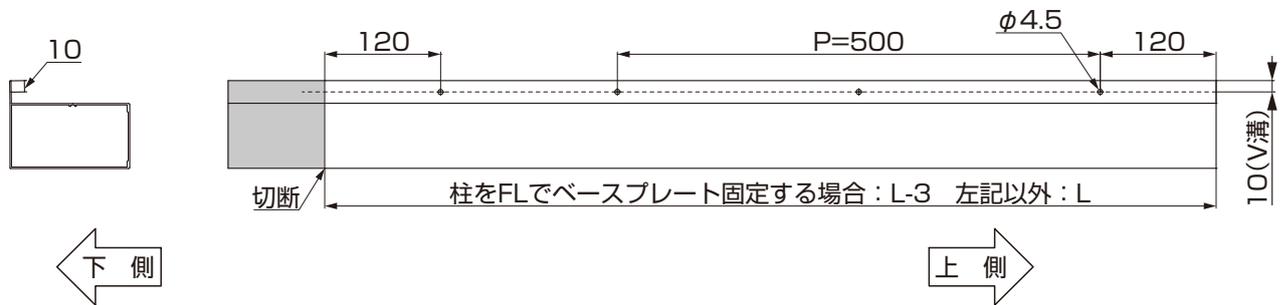
右入隅・妻梁ありの場合



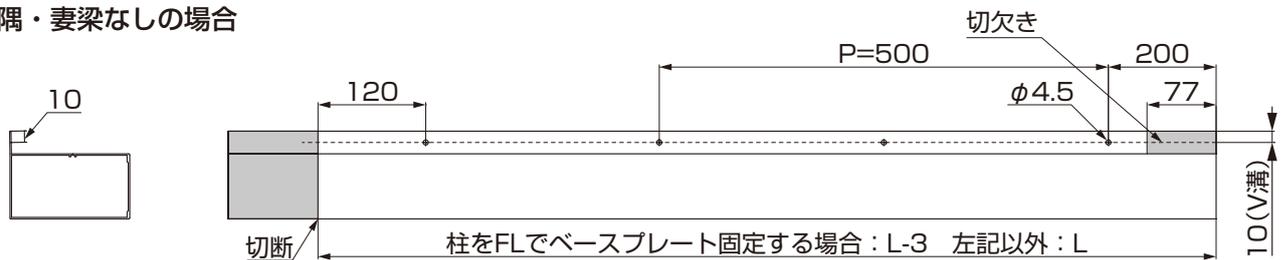
右入隅・妻梁なしの場合



左入隅・妻梁ありの場合



左入隅・妻梁なしの場合



| | | パネル高さ | | |
|-----|---------------------------|-------|-------|-------|
| | | H2100 | H2300 | H2500 |
| L寸法 | 妻梁なしの場合 (例：片入隅、両入隅) | 2177 | 2377 | 2577※ |
| | 妻梁ありの場合 (例：ガラスフィックス仕様) | 2100 | 2300 | 2500 |

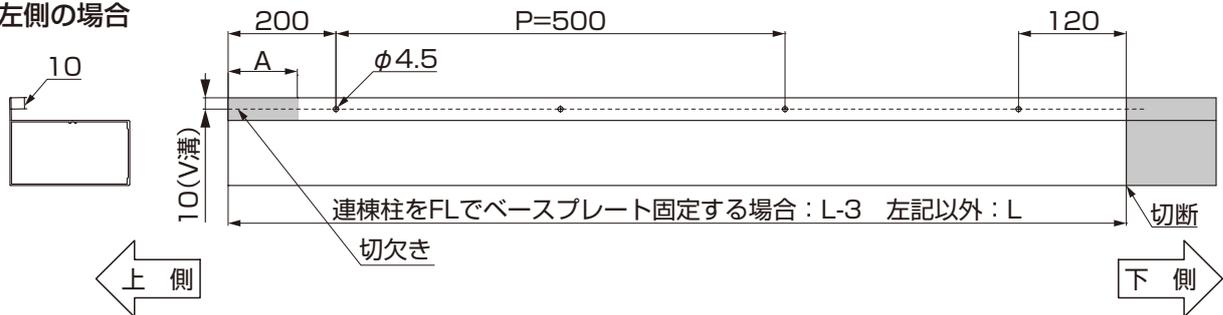
P ポイント

●表内の※印は切断が不要です。

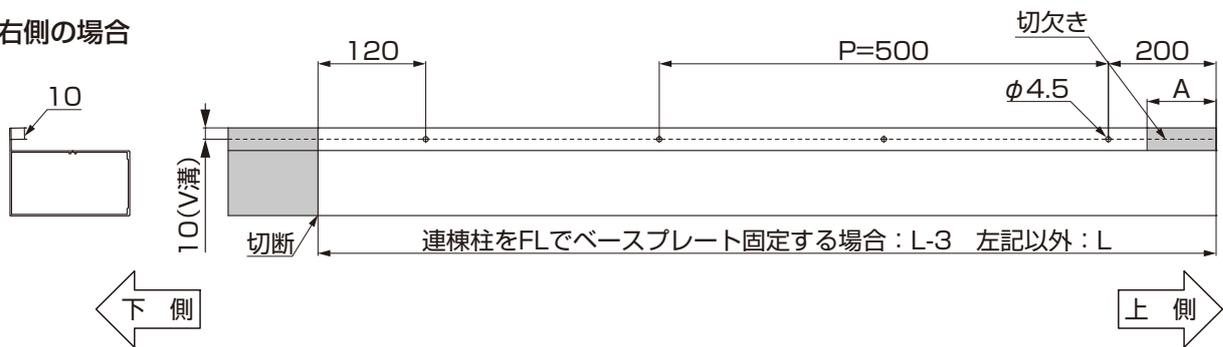
(2) 連棟部の加工 ※連棟部に妻梁がある箇所に取り付ける場合は「連棟部以外の加工(P.123)」を参照してください。

①入隅・連棟用縦枠を図と表を参照し、切断および穴加工をしてください。

外観左側の場合



外観右側の場合



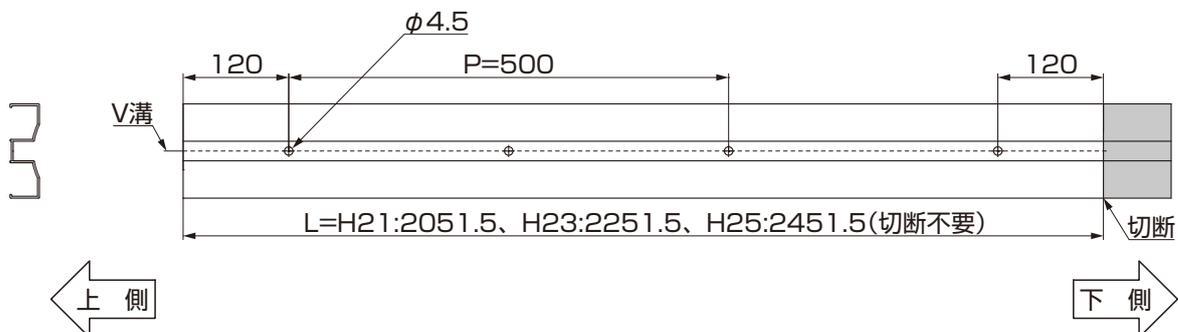
| | | パネル高さ | | | A(切欠) |
|-----|----------|-------|-------|-------|-------|
| | | H2100 | H2300 | H2500 | |
| L寸法 | 内天井なしの場合 | 2177 | 2377 | 2577※ | 77 |
| | 内天井ありの場合 | 2162 | 2362 | 2562 | 62 |

Pポイント
●表内の※印は切断が不要です。

12-12-2 入隅用縦枠戸当りの加工

①入隅用縦枠戸当りを図を参照し、切断および穴加工をしてください。

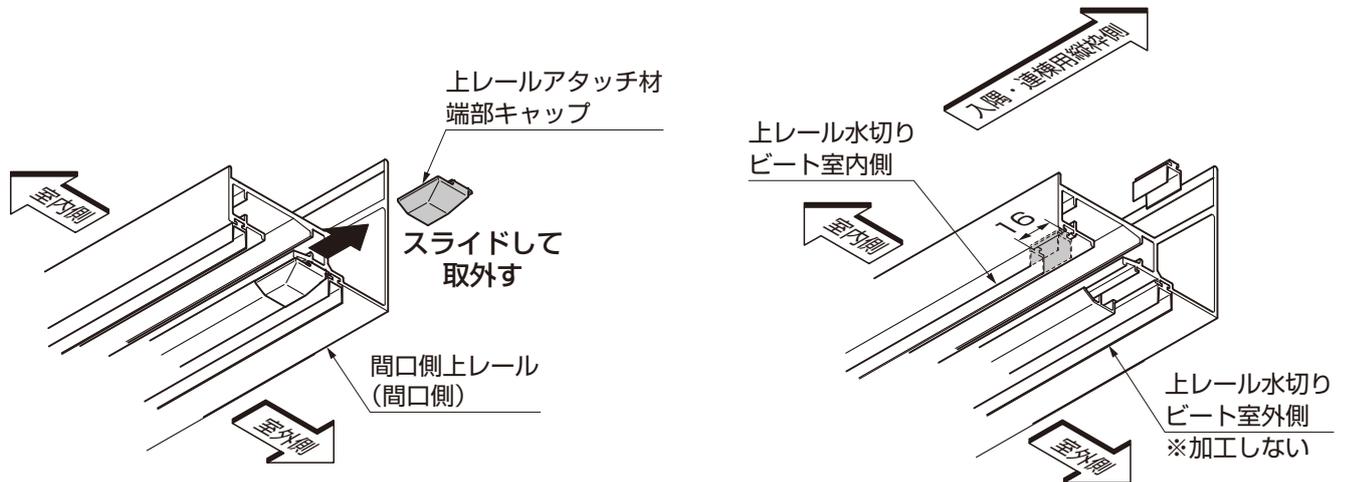
Pポイント
●入隅・連棟用縦枠を使用する全ての仕様共通です。



12-12-3 入隅・連棟用縦枠の取付け

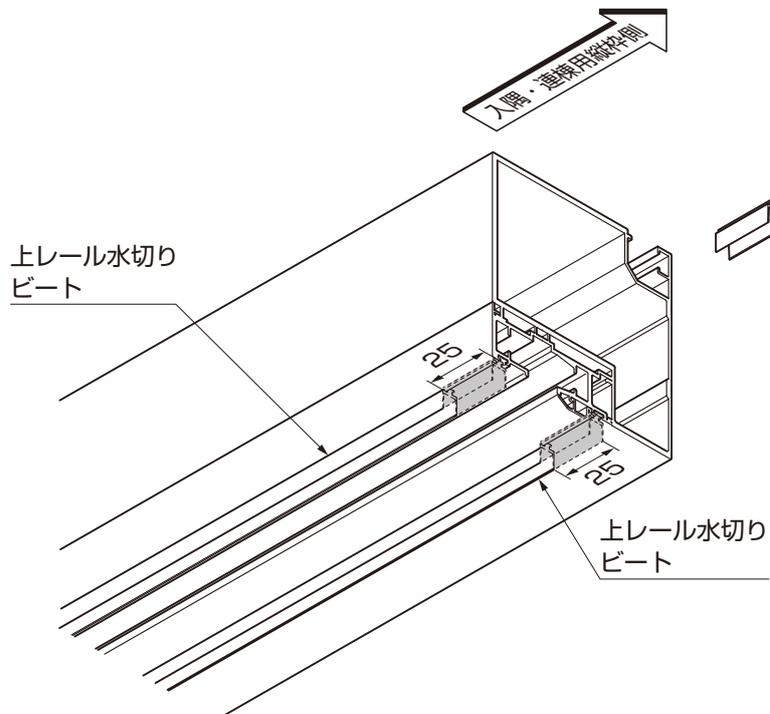
(1) 上レール(間口側)の部品の取外しおよび加工

- ① 入隅・連棟用縦枠を取付ける側の上レールアタッチ材端部キャップを上レール(間口側)から取外してください。
- ② 入隅・連棟用縦枠を取付ける側の室内側の上レール水切りビートを上レール下面から出ている部分のみ端部から16mm切りおとしてください。



(2) 上レール(側面側)の部品の加工 ※妻梁ありの場合のみ

- ① 入隅・連棟用縦枠を取付ける側の上レール水切りビートを上レール下面から出ている部分のみ端部から25mm切りおとしてください。



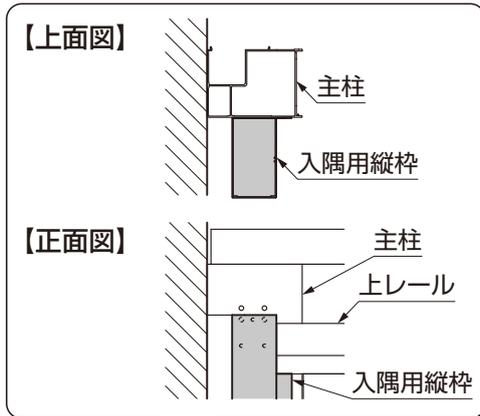
(3) 連棟部以外の場合 ※連棟部に妻梁がある箇所に取付ける場合は本項を参照してください。

①入隅・連棟用縦枠を下レールの内側面にそろえ、下レール端面に突き当てて垂直になるように柱に取付けてください。

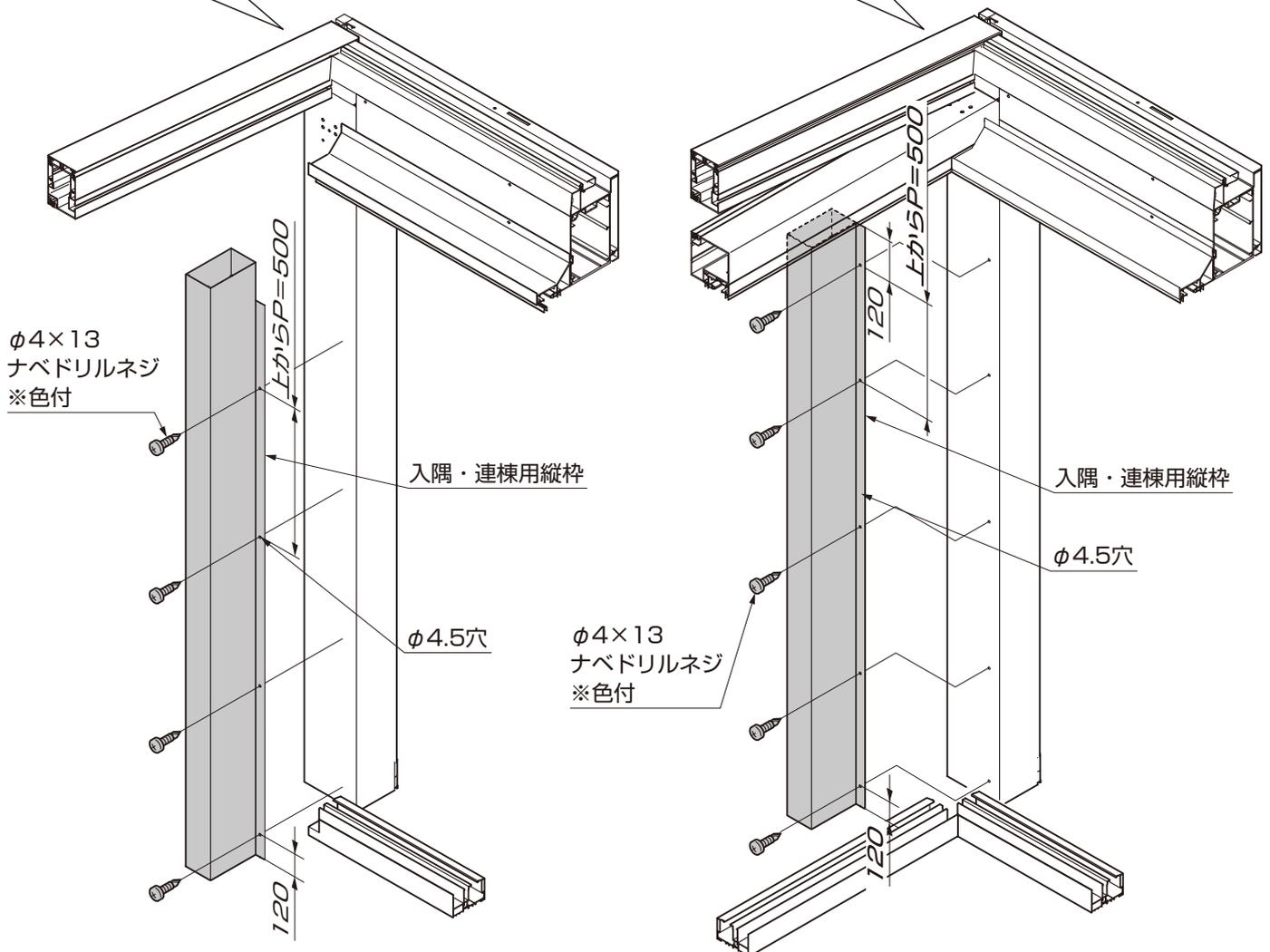
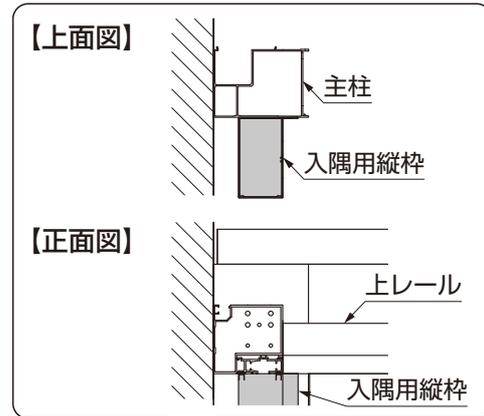
P **ポイント**

- 妻梁がある仕様の場合は、F.L.～妻梁下に納まるよう取り付けてください。
- 柱をF.L.でベースプレート固定している場合は、ベースプレートの上に乗せた状態で取付けてください。

【妻梁なしの場合】



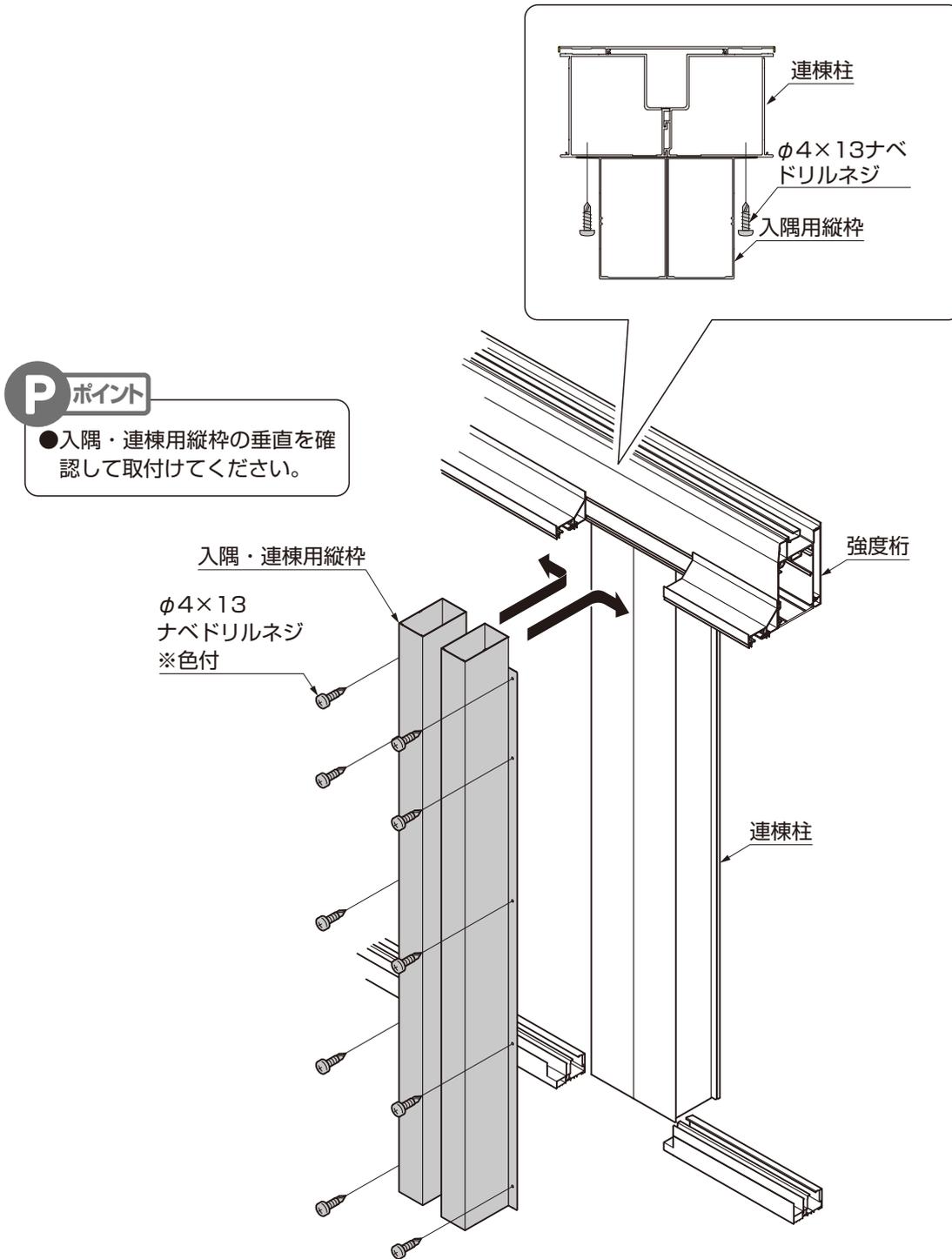
【妻梁ありの場合】



12-12-3 入隅・連棟用縦枠の取付け(つづき)

(4)連棟部の場合 ※連棟部に妻梁がある箇所を取付ける場合は「連棟部以外の場合(P.126)」を参照してください。

①入隅・連棟用縦枠を下レールの内側面にそろえ、入隅・連棟用縦枠同士をすき間のないよう合わせ、垂直になるように連棟柱に取付けてください。

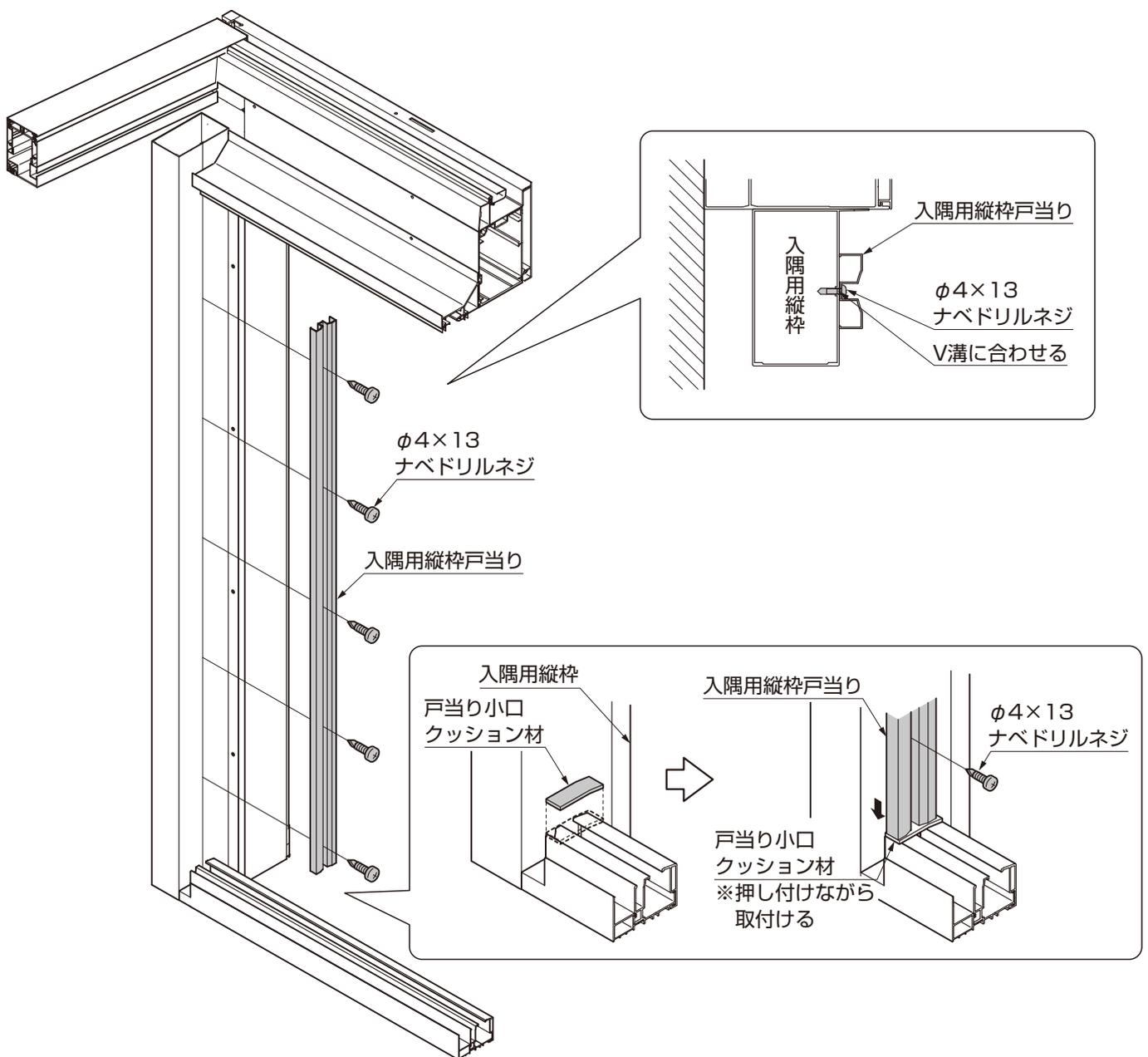


12-12-4 入隅用縦枠戸当りの取付け

- ①入隅・連棟用縦枠に接している間口側の下レール上面に戸当り小口クッション材を貼付けてください。
- ②入隅用縦枠戸当りを戸当り小口クッション材に押しつけながら入隅・連棟用縦枠に取付けてください。

Pポイント

- 入隅用縦枠戸当りを下レール(戸当り小口クッション材)と上レールの内々に入れづらい場合には、一度上レールを固定しているネジを端部から1～2箇所外し、上レールを上を持ち上げながら入れてください。上レールを再度取付ける際は、元の穴位置に合うように下に押し込みながらネジ固定してください。

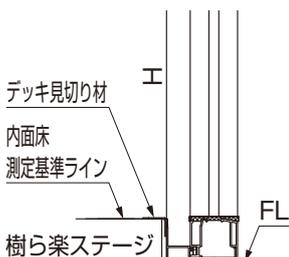
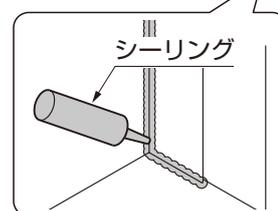
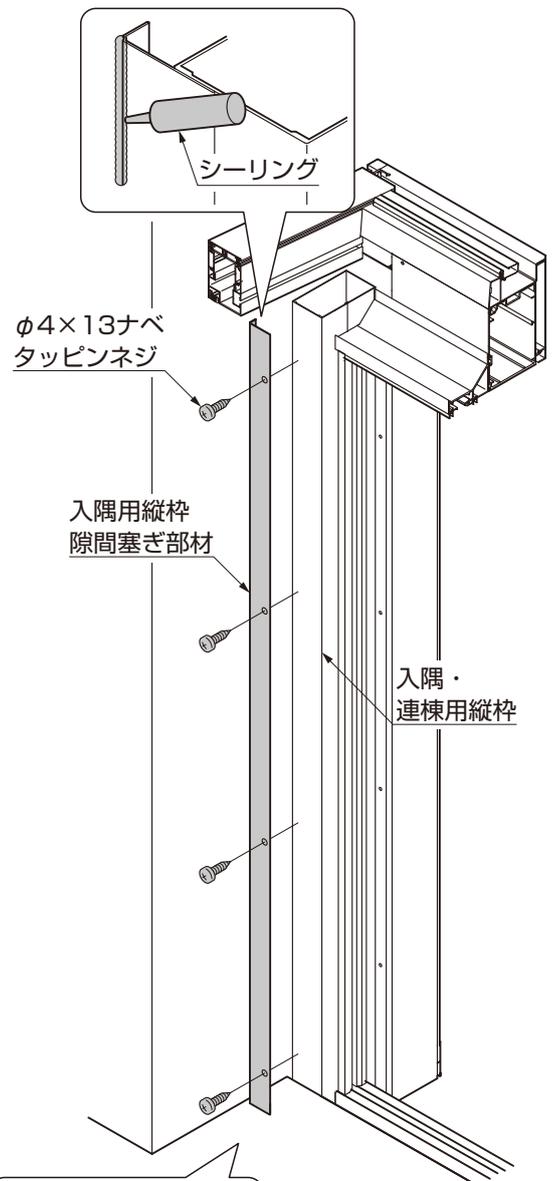
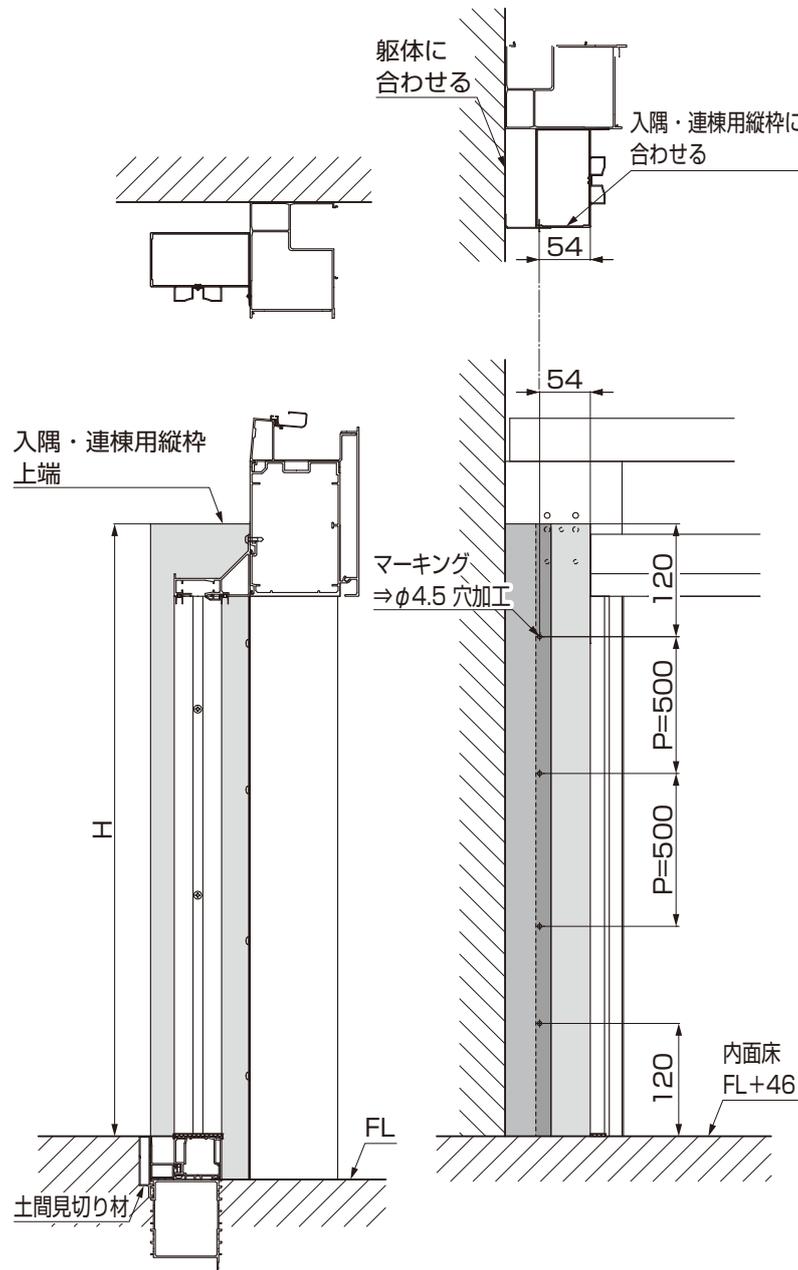


12-12-5 入隅用縦柵隙間塞ぎ部材の取付け ※片入隅・両入隅の場合のみの作業です。

- ①入隅・連棟用縦柵の上端から内面床までの距離Hを測定してください。
- ②入隅用縦柵隙間塞ぎ部材の長さがHになるように切断してください。
- ③図のように入隅側の躯体と入隅・連棟用縦柵に合わせ、下穴加工位置をマーキングしてください。
- ④入隅用縦柵隙間塞ぎ部材にφ4.5の下穴加工をした後、入隅・連棟用縦柵に取り付けてください。
- ⑤隙間塞ぎ部材と躯体・床面との継ぎ目にシーリングをしてください。

Pポイント

- 内面床仕様が土間で土間見切り材を取付け済の場合は本作業を行ってください。デッキ仕様の場合、内面床を仕上げデッキ見切り材を取付けた後の作業となります。
- (「エクシオール ジーマ デッキ編(樹ら楽ステージ)取付説明書(E428)」参照)
- 妻梁がある納まりの場合は、妻梁下面から内面床までの距離を測定してください。



12-12-6 入隅用縦柵上カバーの取付け

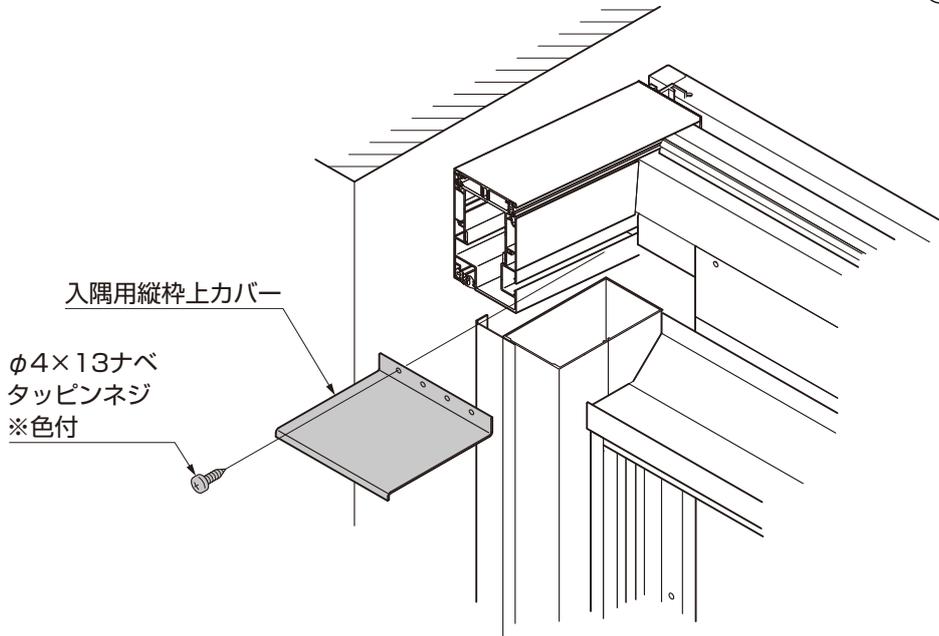
※妻梁がある仕様は作業不要です。
※片入隅・両入隅で内天井がつく仕様は作業不要です。

(1) 連棟部以外の場合

- ① 入隅用縦柵上カバーを入隅・連棟用縦柵と隙間塞ぎ部材の上端をカバーするように躯体側に寄せた位置で取付けてください。

Pポイント

- いちばん躯体側の穴にのみネジ止めしてください。

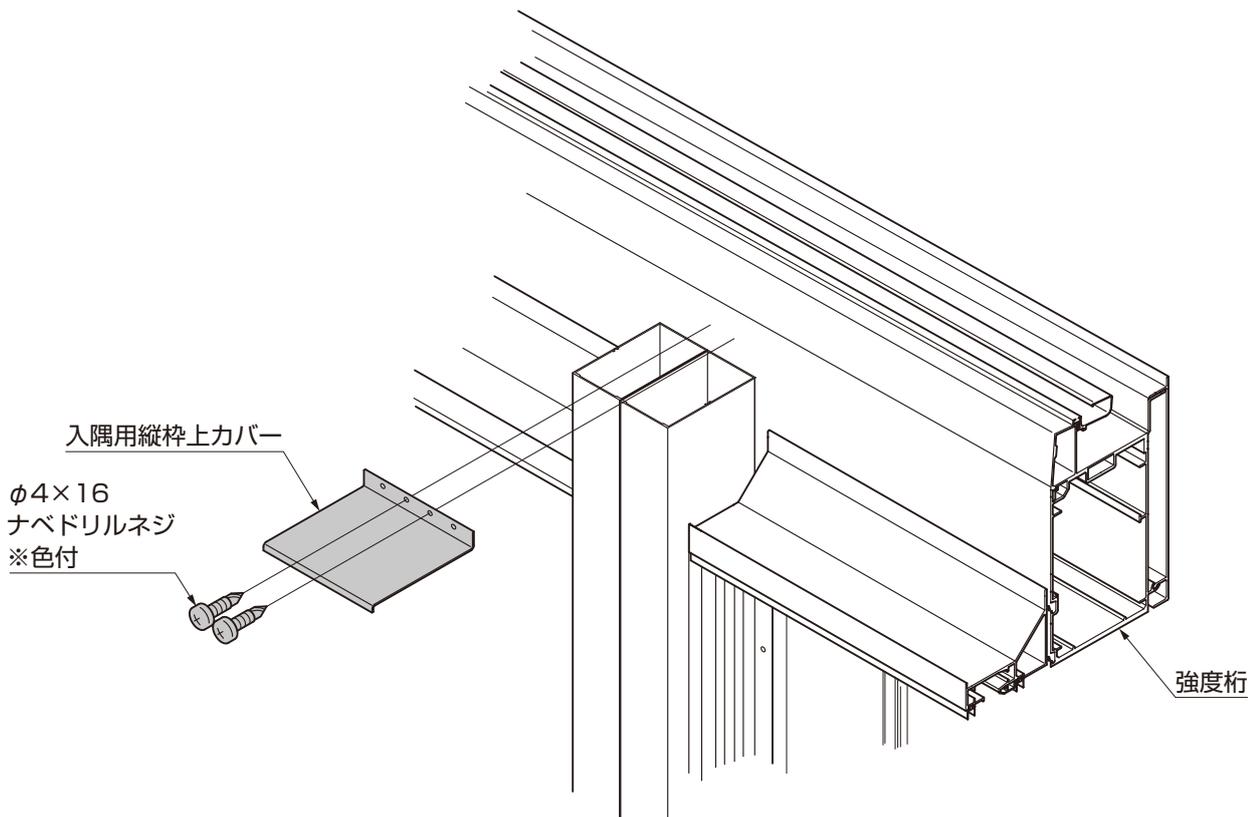


(2) 連棟部の場合

- ① 入隅用縦柵上カバーを2つの入隅・連棟用縦柵の上端をカバーするように取付けてください。

Pポイント

- 中央寄りの2つの穴にネジ止めしてください。



12-12-7 折戸パネルの吊込み

(1) 折戸パネルの吊込み順番の確認

【標準納まりの場合】

① 折戸パネルを吊込む順番を確認してください。

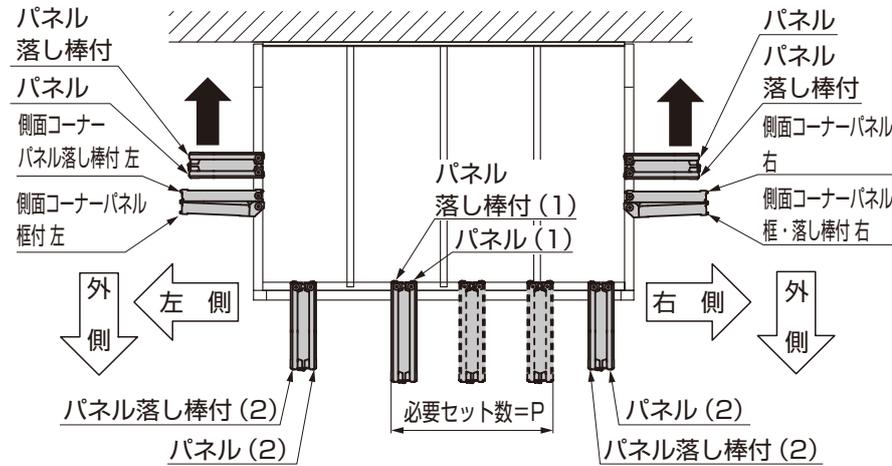


図12-5

Pポイント

- 梱包名称が「側面コーナパネルセット」の折戸パネルは、必ず側面コーナー部になるよう吊り込んでください。
- 折戸パネルおよび折戸パネル落とし棒付は図12-5の順番に吊り込んでください。順番を間違えると折戸パネルが正しく機能しません。
- 間口中央部の折戸パネル(1)および折戸パネル落とし棒付(1)の必要セット数は表12-2を参照し吊り込み枚数を確認してください。
- 折戸パネル外部把手・落とし棒付については配置箇所を確認の上、折戸パネル落とし棒付きのかわりに吊り込んでください。

表12-2 間口 中間折戸パネル

| | | | | |
|----------|------|------|------|------|
| | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| 必要セット数=P | 1 | 2 | 3 | 4 |

Pポイント

- 側面の折戸パネルの吊り込みは、下表のとおりにおこなってください。
- 右側面と左側面では、側面コーナパネルの種類が異なります。

| パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (左側面) | | | パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (右側面) | | |
|----------------------|--------|---------------|-------|-------|----------------------|--------|---------------|-------|-------|
| | | 6R | 8R | 10R | | | 6R | 8R | 10R |
| 折戸パネル落とし棒付 | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 折戸パネル | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 折戸パネル | | ×1折 | ×1折 | ×2折 | 折戸パネル落とし棒付 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナパネル 落とし棒付 左 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 側面コーナパネル 右 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナパネル 框付 左 | | ×1折 | ×1折 | ×1折 | 側面コーナパネル 框・落とし棒付 右 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |

【片側入隅納まりの場合】

① 折戸パネルを吊込む順番を確認してください。

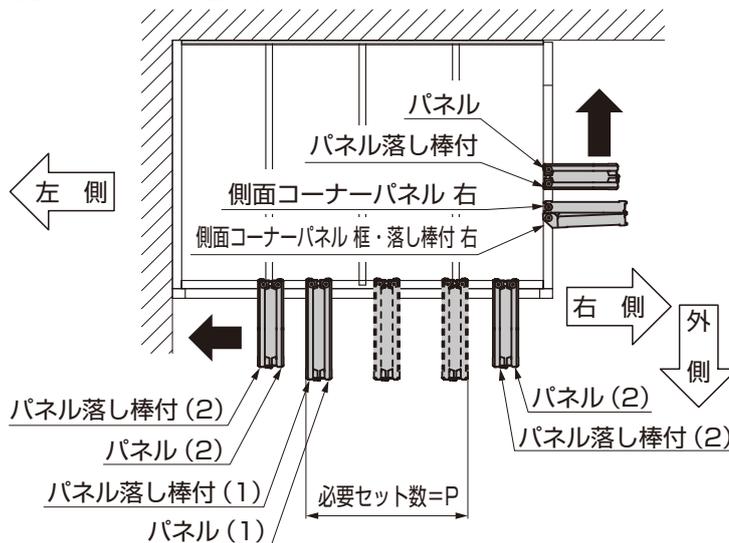


図12-6

Pポイント

- 梱包名称が「側面コーナパネルセット」の折戸パネルは、必ず側面コーナー部になるよう吊り込んでください。
- 折戸パネルおよび折戸パネル落とし棒付は図12-6の順番に吊り込んでください。順番を間違えると折戸パネルが正しく機能しません。
- 間口中央部の折戸パネル(1)および折戸パネル落とし棒付(1)の必要セット数は表12-3を参照し吊り込み枚数を確認してください。
- 折戸パネル外部把手・落とし棒付については配置箇所を確認の上、折戸パネル落とし棒付きのかわりに吊り込んでください。

表12-3 間口 中間折戸パネル

| | | | | |
|----------|------|------|------|------|
| | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| 必要セット数=P | 1 | 2 | 3 | 4 |

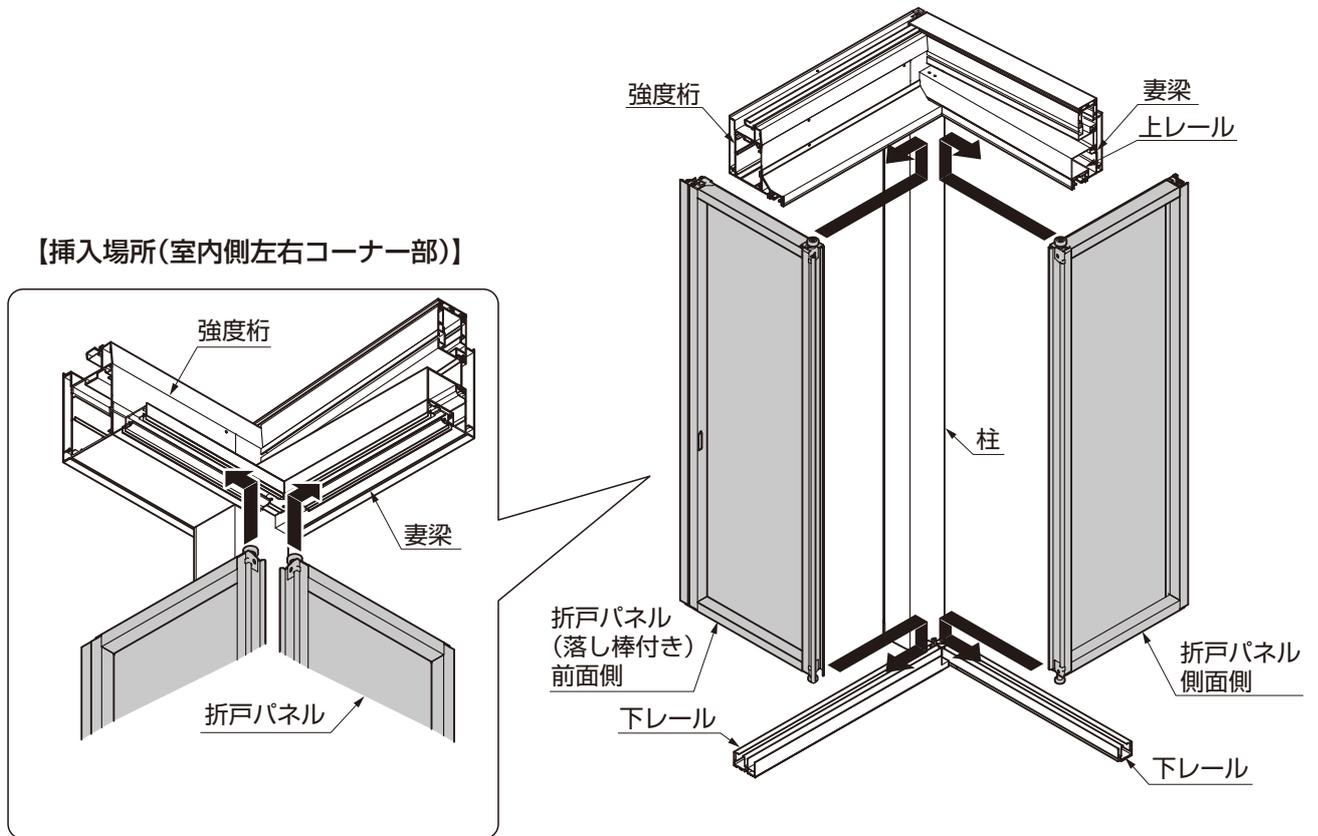
Pポイント

- 側面の折戸パネルの吊り込みは、下表のとおりにおこなってください。
- 右側面と左側面では、側面コーナパネルの種類が異なります。

| パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (左側面) | | | パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (右側面) | | |
|----------------------|--------|---------------|-------|-------|----------------------|--------|---------------|-------|-------|
| | | 6R | 8R | 10R | | | 6R | 8R | 10R |
| 折戸パネル落とし棒付 | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 折戸パネル | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 折戸パネル | | ×1折 | ×1折 | ×2折 | 折戸パネル落とし棒付 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナパネル 落とし棒付 左 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 側面コーナパネル 右 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナパネル 框付 左 | | ×1折 | ×1折 | ×1折 | 側面コーナパネル 框・落とし棒付 右 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |

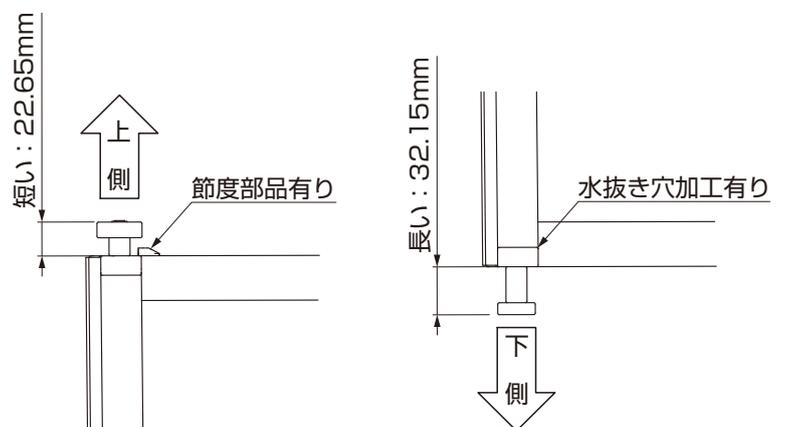
(2) 折戸パネルの吊込み方法

① 折戸パネルおよび折戸パネル落とし棒付の水平ローラーを左右のコーナー部より上下レールに吊込んでください。



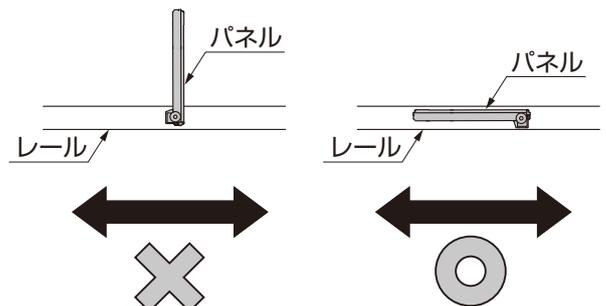
P ポイント

- パネルの上下にご注意ください。上下を間違えると折戸パネルが正しく機能しません。



P ポイント

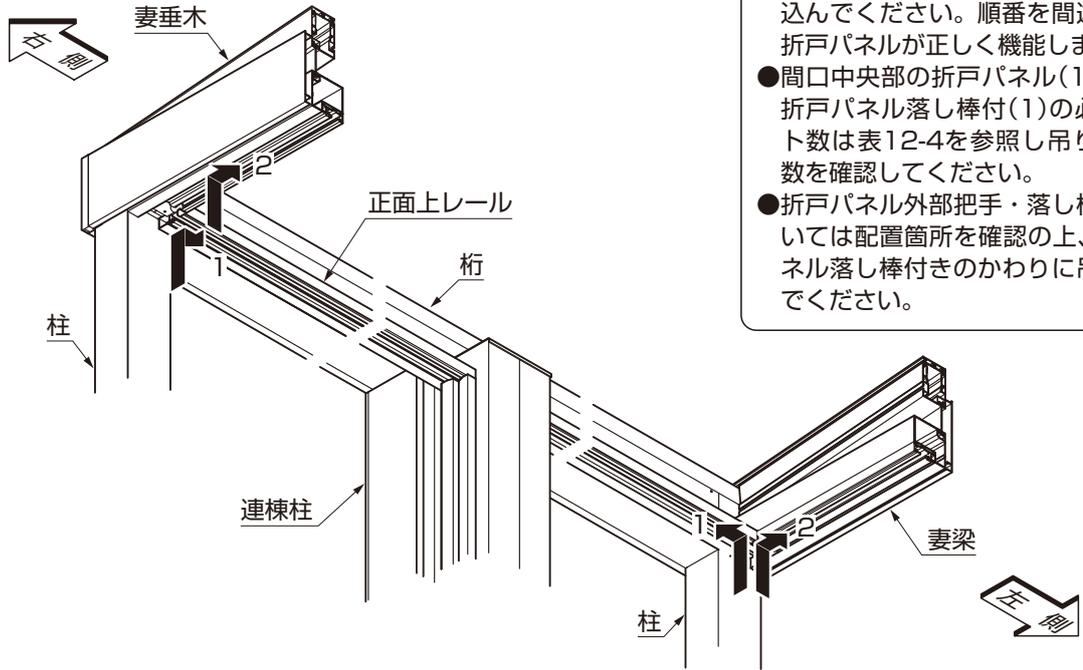
- 吊込み後、パネルを移動する際はパネルをレールと水平にして移動してください。上レールアタッチがずれて、上レールアタッチ端部キャップが外れてしまいます。



12-12-7 折戸パネルの吊込み(つづき)

(3) 連棟タイプの折戸パネルの吊込み

① 折戸パネルおよび折戸パネル落とし棒付の水平ローラーを左右のコーナー部より上下レールに吊込んでください。



Pポイント

- 折戸パネルおよび折戸パネル落とし棒付は図12-7の順番に挿入して吊り込んでください。順番を間違えると折戸パネルが正しく機能しません。
- 間口中央部の折戸パネル(1)および折戸パネル落とし棒付(1)の必要セット数は表12-4を参照し吊り込み枚数を確認してください。
- 折戸パネル外部把手・落とし棒付については配置箇所を確認の上、折戸パネル落とし棒付きのかわりに吊り込んでください。

Pポイント

- 側面の折戸パネルの吊り込みは、下表のとおりにおこなってください。
- 右側面と左側面では、側面コーナーパネルの種類が異なります。

| パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (左側面) | | | パネル種類 上から躯体側→柱側の順 | 吊り込み位置 | 幅呼称・折れ数 (右側面) | | |
|----------------------|--------|---------------|-------|-------|----------------------|--------|---------------|-------|-------|
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | | | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| 折戸パネル落とし棒付 | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 折戸パネル | 躯体側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 折戸パネル | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 折戸パネル落とし棒付 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナーパネル 落とし棒付左 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 側面コーナーパネル 右 | コーナー側 | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |
| 側面コーナーパネル 框付左 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 | 側面コーナーパネル 框・落とし棒付右 | | (3)・1 | (1)・1 | (2)・1 |

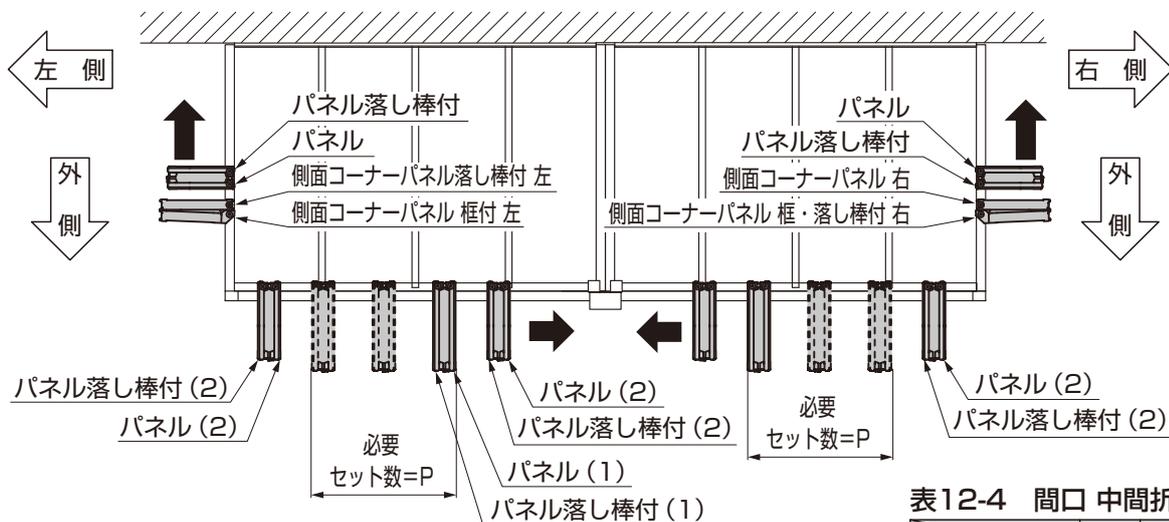


図12-7

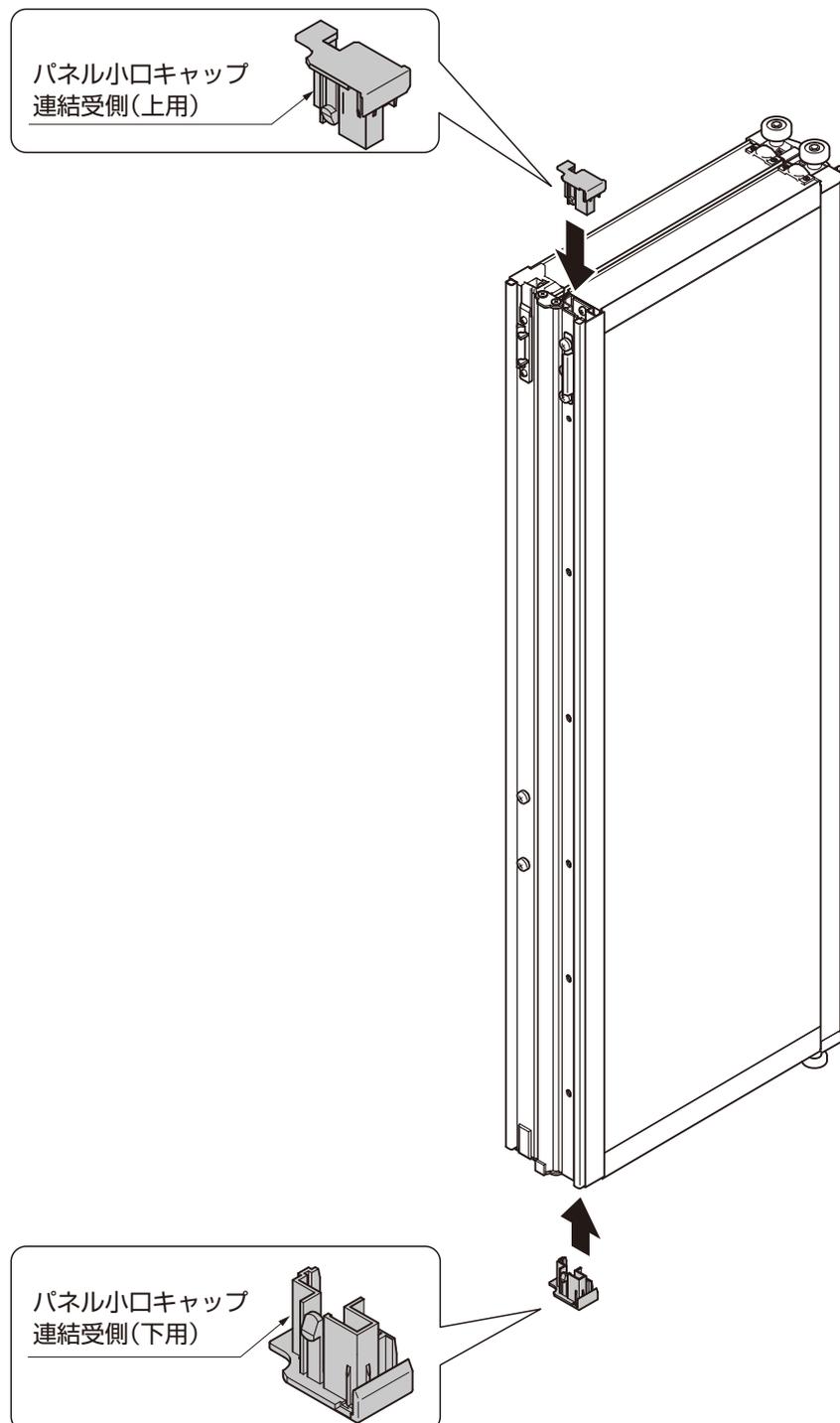
表12-4 間口 中間折戸パネル

| | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
|----------|------|------|------|------|
| 必要セット数=P | 1 | 2 | 3 | 4 |

12-12-7 折戸パネルの吊込み(つづき)

(5) 折戸パネルの部品取付け

① パネル小口キャップ連結受側を取付けてください。



12-12-8 上下レールコーナー部品の取付け

(1) 上レールコーナーピースの取付け

- ① 上レールコーナーピース1を妻梁取付け金具に【ネジ】で取付けてください。
- ② 上レールコーナー部品を上レールに差込んでください。
- ③ 上レールコーナーピース2を妻梁取付け金具に【ネジ】で取付けてください。
- ④ 上レール端部2箇所を強度桁に【ネジ】で取付けてください。

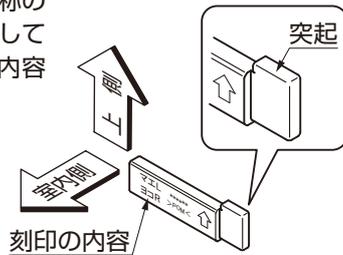
Pポイント

- コーナーピースを取付ける【ネジ】は手回しドライバーで固定してください。

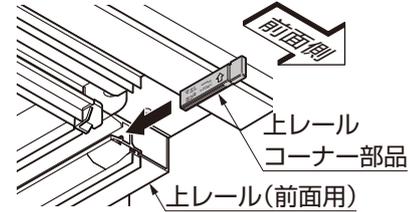
Pポイント

- 上レールコーナー部品は本図と対称の形もあります。取付け位置に注意してください。(突起の向きと刻印の内容を確認してください。)

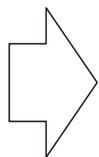
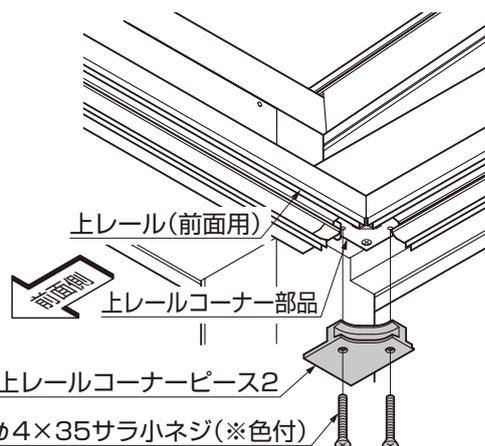
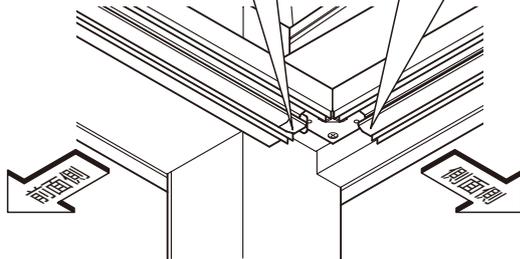
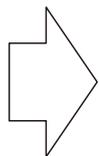
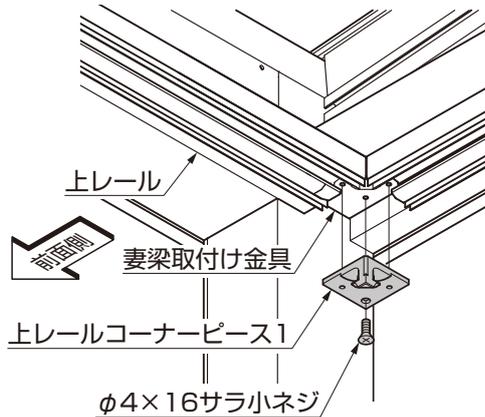
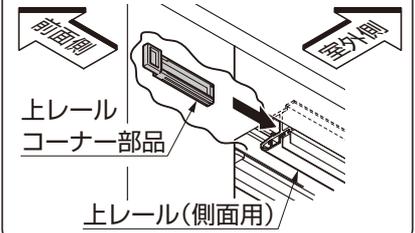
- ・「マエL」は上レール(前面用)の外観左側用です。
- ・「ヨコR」は上レール(側面用)の外観右側用です。



【前面レールへの取付け】

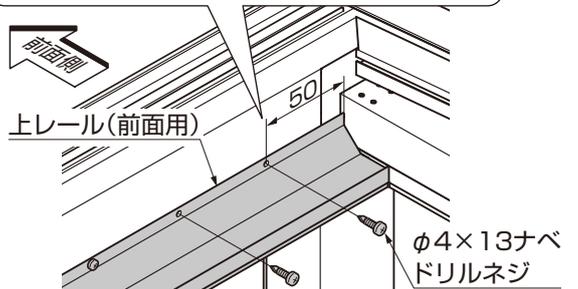


【側面レールへの取付け】



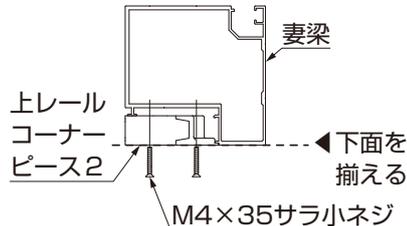
Pポイント

- 上レール(前面用)の端部から50mmの位置に【ネジ】で取付けてください。



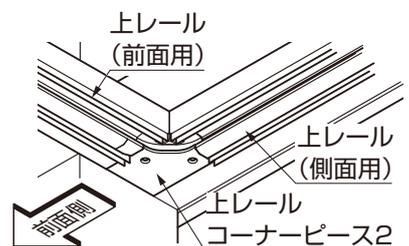
Pポイント

- 上レールコーナーピース2の下面と妻梁下面を揃えて固定してください。



Pポイント

- 必ず上レール(前面用)と上レール(側面用)、上レールコーナーピース2の下面が揃っていることを確認してください。



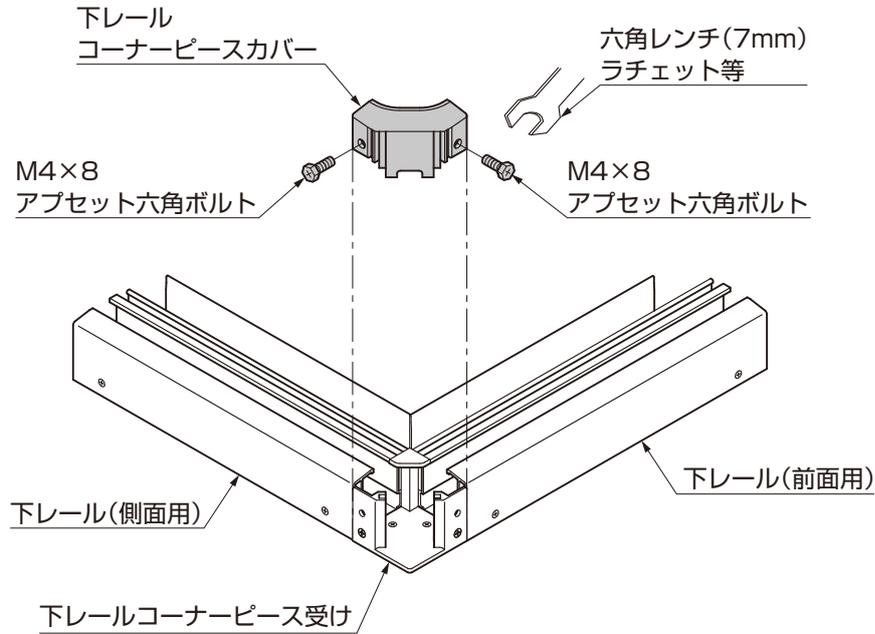
12-12-8 上下レールコーナー部品の取付け(つづき)

(2) 下レールコーナーピースカバーの取付け

- ① 下レールコーナーピースカバーを下レールコーナーピース受けにはめ込んでください。
- ② 下レールコーナーピースカバーを下レールコーナー金具に【ボルト】で取付けてください。

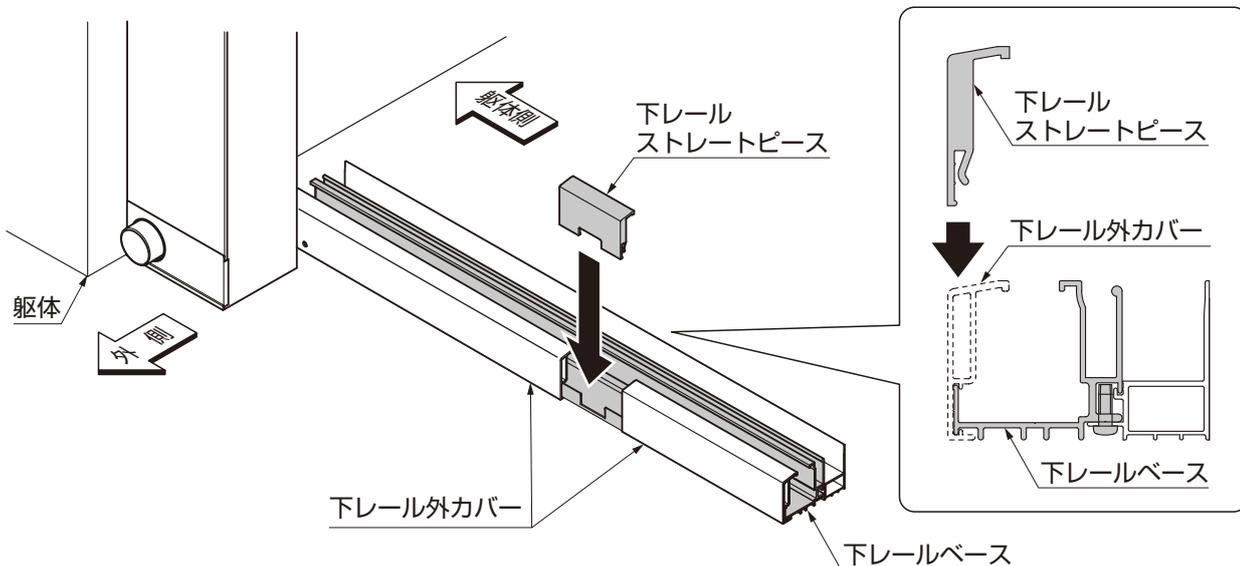
Pポイント

- コーナーピースカバーを取付ける【ボルト】は手回しドライバーおよび六角レンチ等で固定してください。



12-12-9 下レールストレートピースの取付け

- ① 下レールストレートピースを、下レールベースにはめ込んでください。



12-13 召し合せ部品の取付け ※前面側の折戸パネルに行う作業です。

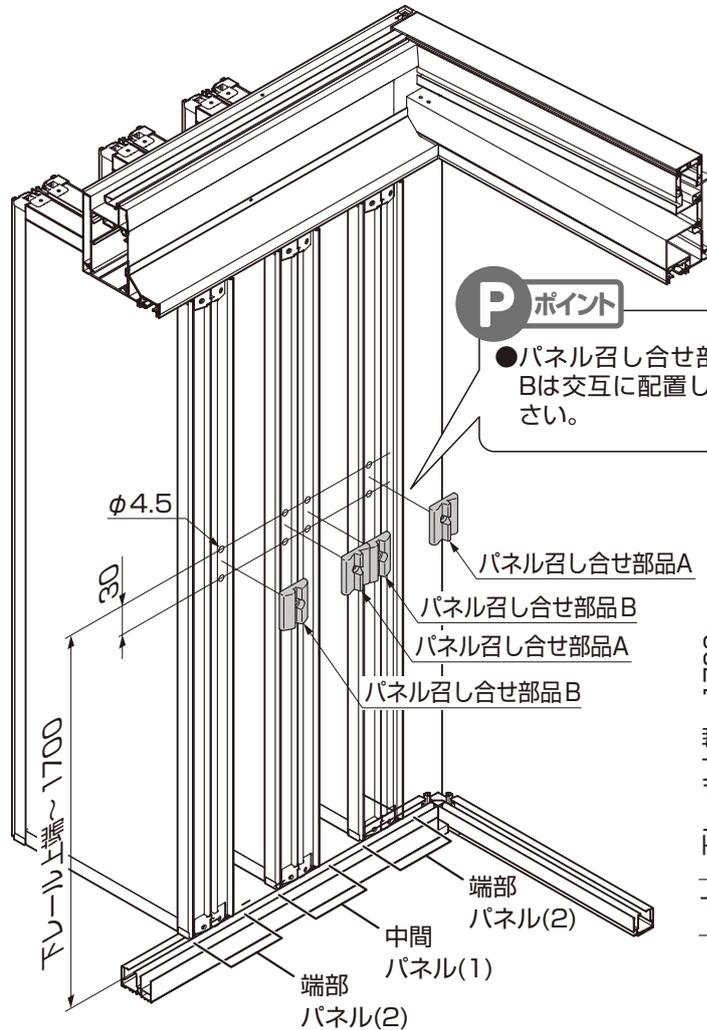
- ①折戸パネルに穴加工を行なってください。
- ②パネル召し合せ部品A、Bを折戸パネルに【ネジ】で取付けてください。

お願い

- 高さ切詰めをした折戸パネルの場合、高さが1900mm未満では取付け不要です。

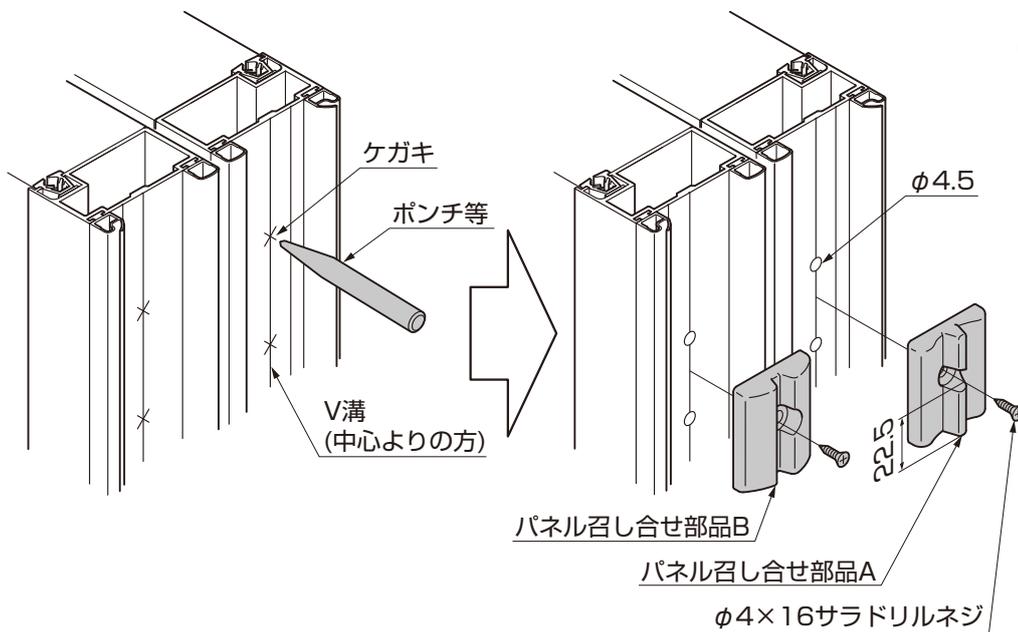
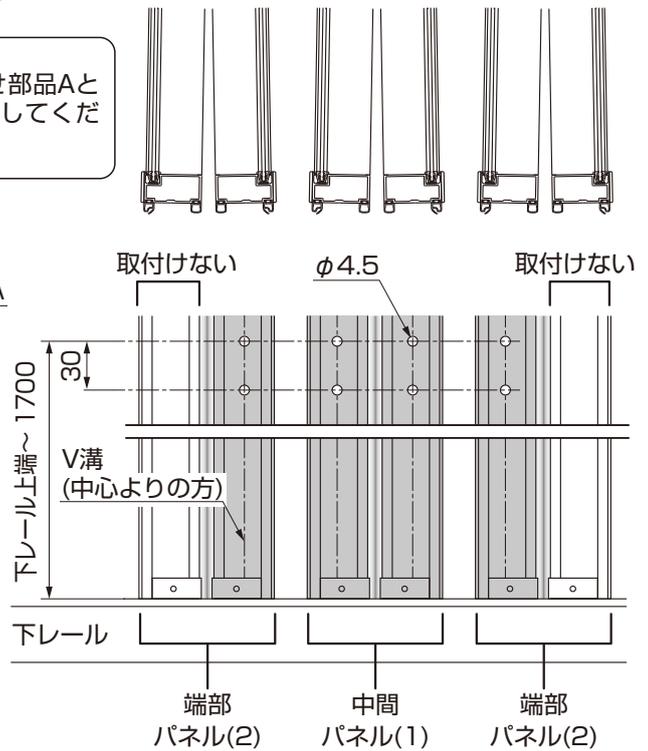
Pポイント

- 端部パネルの柱側のパネルには召し合せ部品の取付けは不要です。



Pポイント

- パネル召し合せ部品AとBは交互に配置してください。



Pポイント

- パネル召し合せ部品AとBは穴が上よりになる向きに取付けてください。取付けの際は部品が破損しないようにしてください。

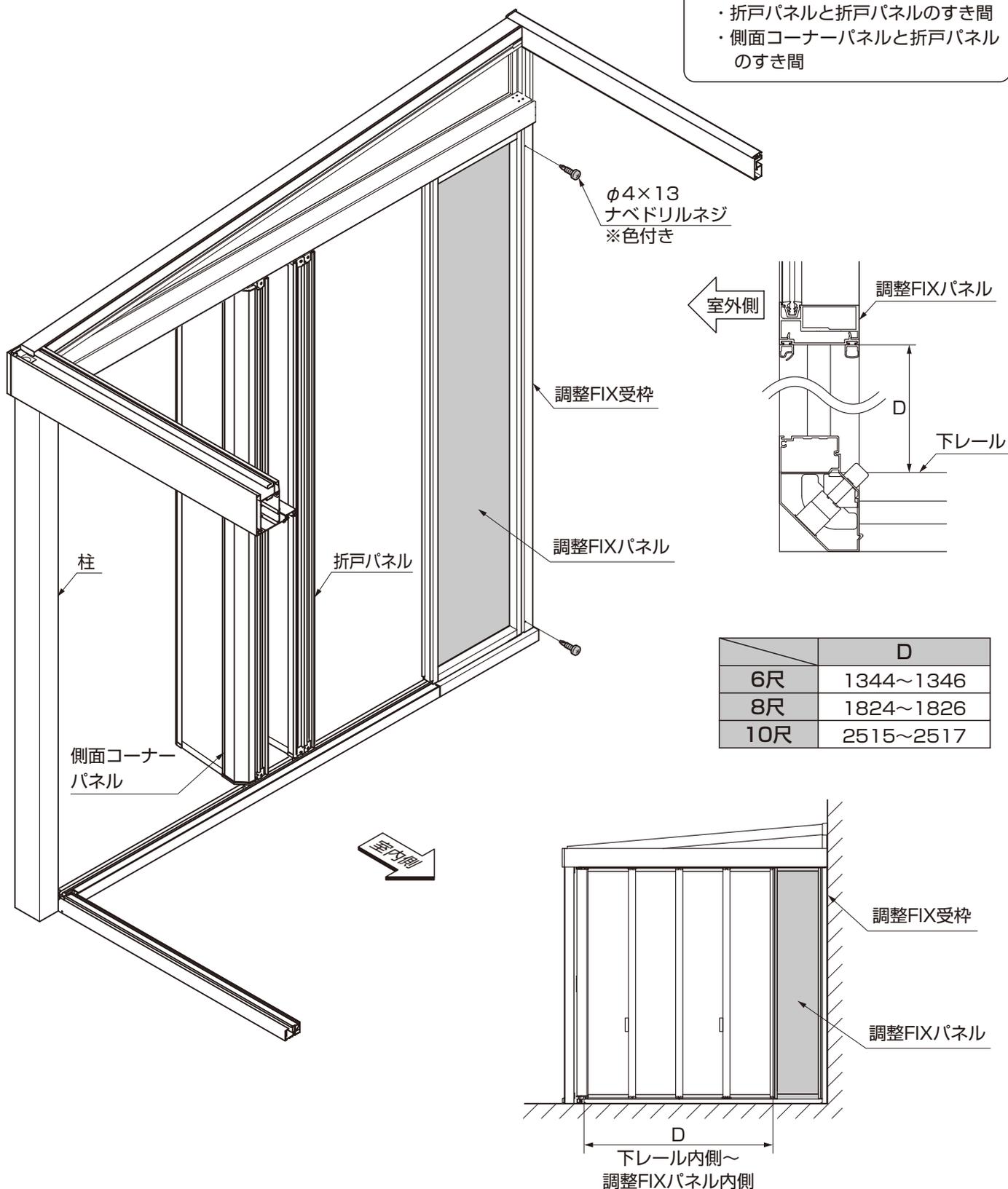
- 穴加工は必ずポンチなどを使用してV溝からずれないようにしてください。

12-14 調整FIXパネルの固定

- ①折戸パネルをすべて閉めて、調整FIXパネルの位置を調整してください。
※側面コーナーパネルの落し棒も落してください。
- ②調整FIXパネルと調整FIX縦枠を【ネジ】で固定してください。

Pポイント

- 下記のすき間ができないように調整FIXパネルの位置を調整してください。
 - ・調整FIXパネルと折戸パネルのすき間
 - ・折戸パネルと折戸パネルのすき間
 - ・側面コーナーパネルと折戸パネルのすき間

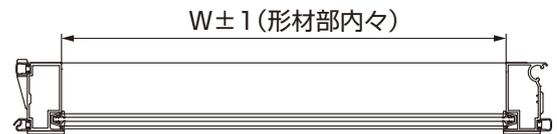
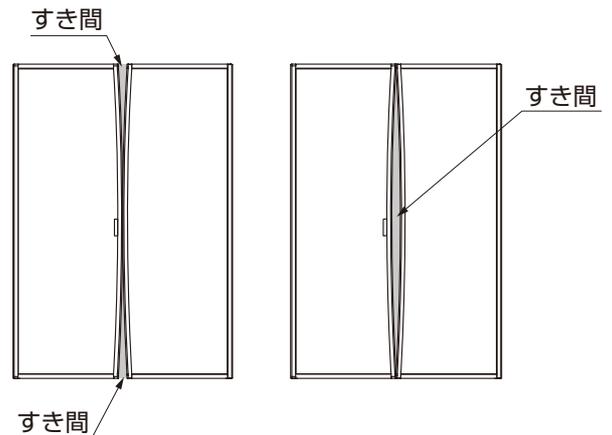
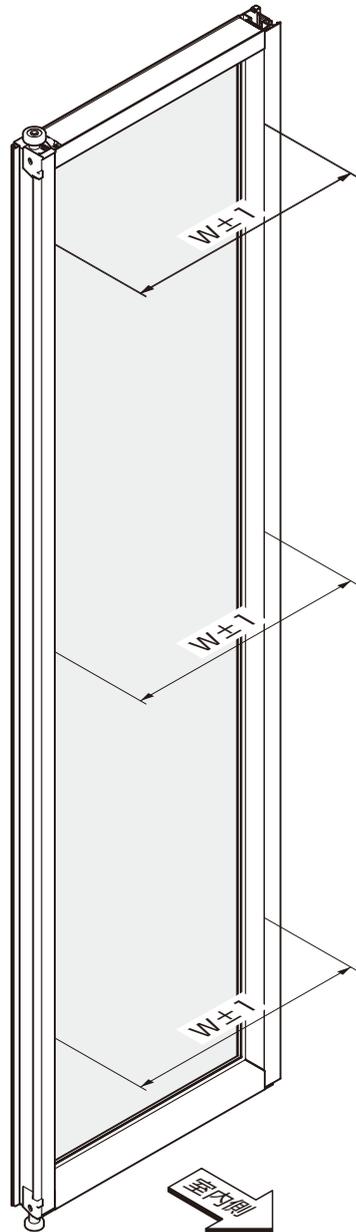


12-15 パネル寸法の確認

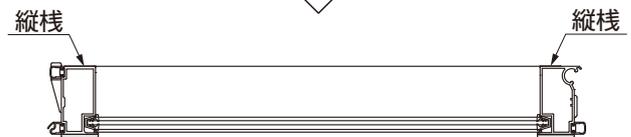
- ①すべての作業が終了したら、パネル1枚毎に縦桟形材の内々寸法を室内側より計測してください。
- ②各パネルを計測し、縦桟形材の内々寸法が上から下まで表12-5の寸法 $W \pm 1$ になっていることを確認してください。
- ③全てのパネル同士にすき間がないことを確認してください。

Pポイント

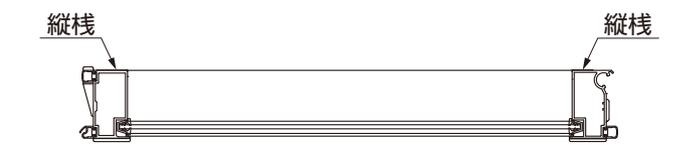
- パネル間にすき間がある場合、幅の調整を行なってください。
- パネルの幅が小さかった場合を縦桟を少し押し広げて、寸法を合わせてください。
- パネルの幅が大きかった場合はパネル縦桟を両外から挟み込んで、寸法を合わせてください。
- ガラスフィックスのW寸法も同じです。



室内側



縦桟を押し広げる
パネルの幅が小さい場合



縦桟を両外から挟み込む
縦桟を両外から挟み込む
パネルの幅が大きい場合

表12-5

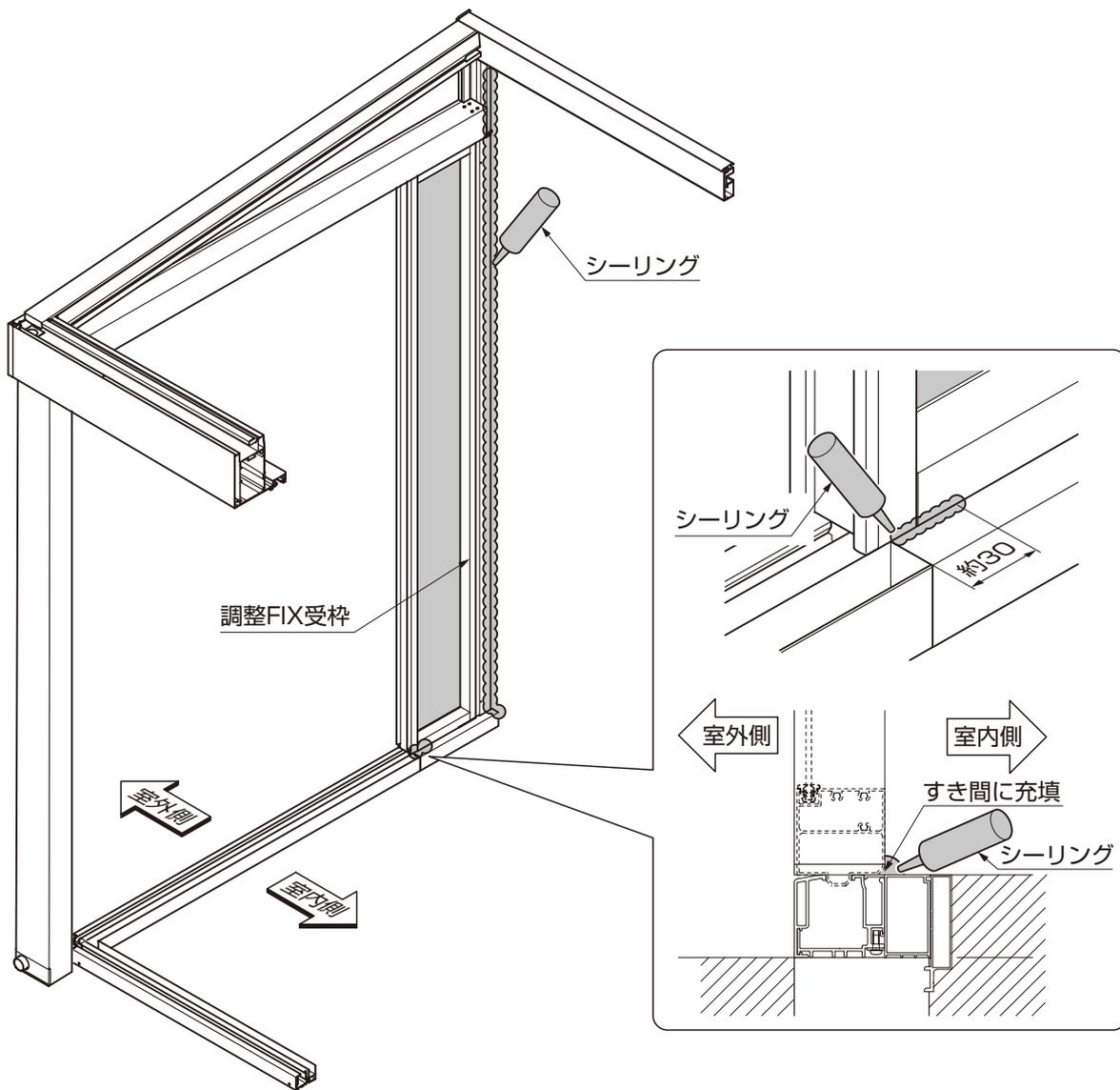
| | W |
|---------------------|-------|
| パネル(1) | 390 |
| パネル(2) | 353.5 |
| パネル(3) | 270 |
| 側面コーナーパネル(コーナー用)(1) | 424 |
| 側面コーナーパネル(コーナー用)(2) | 387.5 |
| 側面コーナーパネル(コーナー用)(3) | 304 |
| 側面コーナーパネル(躯体側)(1) | 356 |
| 側面コーナーパネル(躯体側)(2) | 319.5 |
| 側面コーナーパネル(躯体側)(3) | 236 |

12-16 シーリング

①調整FIX受枠の室内側にシーリングをしてください。

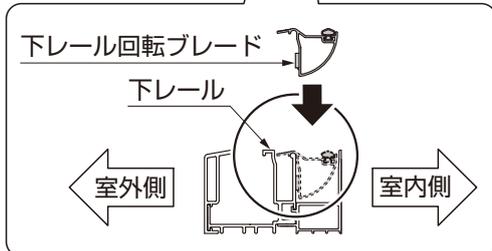
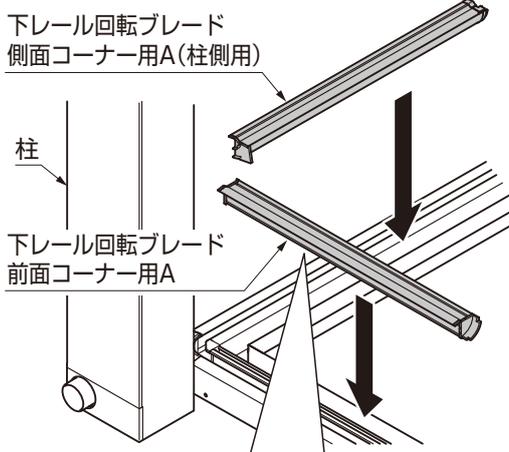
Pポイント

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。



12-17-2 下レール回転ブレードの取付け

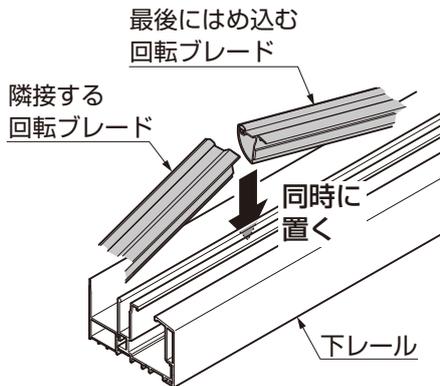
①下レール回転ブレードを下レールに取付けてください。



P ポイント

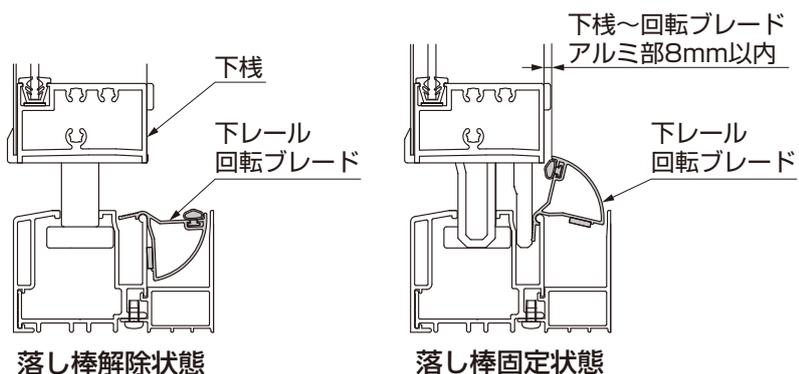
【最後の1本をはめるときは】

- 隣接する回転ブレードの端部を一度持ち上げ、同時に下レールに置くとはめ込みやすくなります。



P ポイント

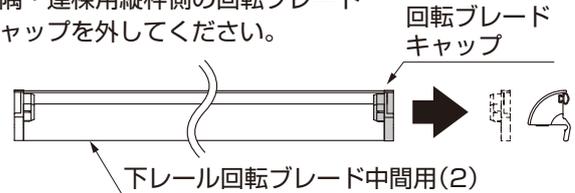
- 取付け完了後、折戸パネルの落し棒操作をし、下レール回転ブレードが正しく動作することを確認してください。



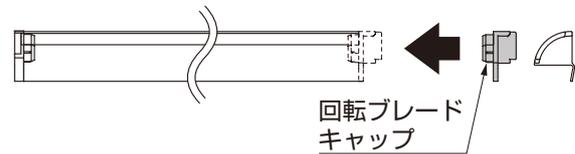
【入隅納まり、連棟納まり、側面ガラスフィックス納まりでの入隅・連棟用縦枠側の対応】

- 前面コーナー用A部
「中間用」の回転ブレードを使用してください(規格サイズは中間用(2))。

①入隅・連棟用縦枠側の回転ブレードキャップを外してください。

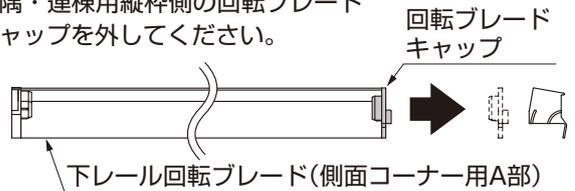


②入隅用縦枠セットに同梱の回転ブレードキャップを取付けてください。

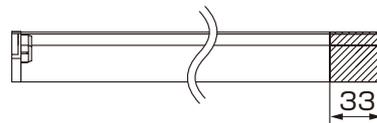


- 側面コーナー用A部

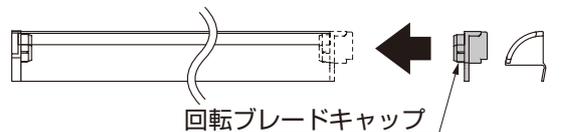
①入隅・連棟用縦枠側の回転ブレードキャップを外してください。



②回転ブレードを33mm切断してください。



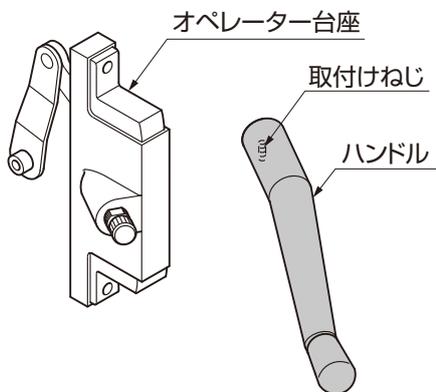
③入隅用縦枠セットに同梱の回転ブレードキャップを取付けてください。



12-18 換気パネルの取付け

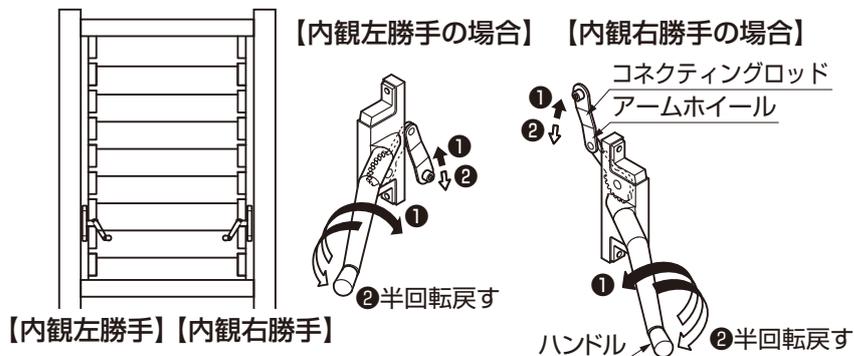
12-18-1 オペレーターハンドルの組立て

①ハンドルを【ネジ】でオペレーター台座に取付けてください。



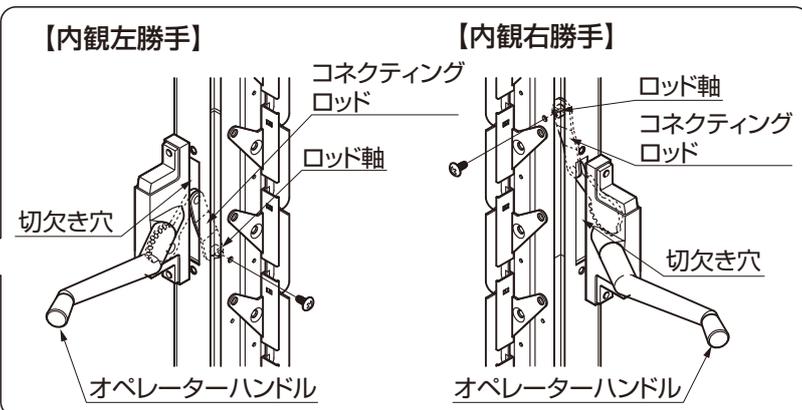
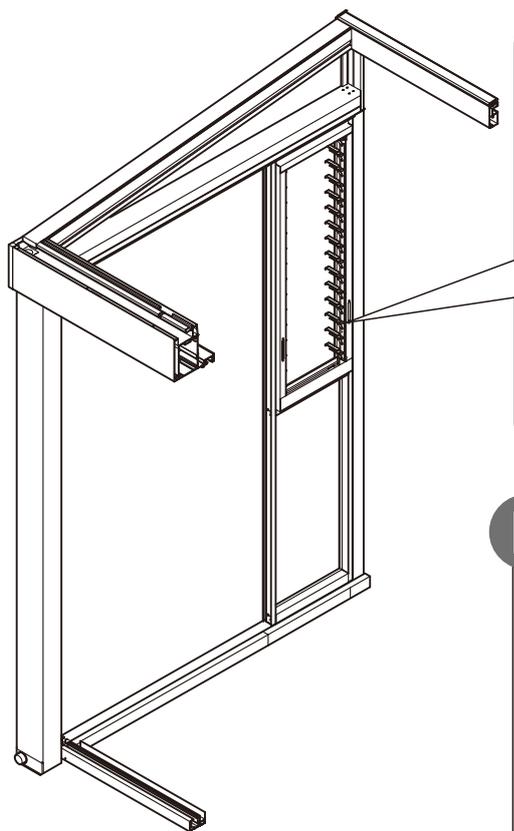
Pポイント

●勝手を確認して取付ける向きに合わせてアームホイールを調整してください。



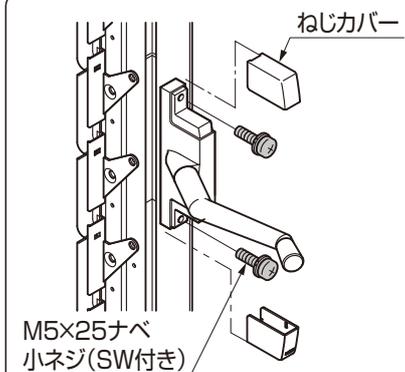
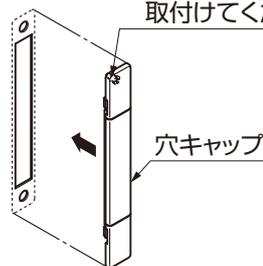
12-18-2 オペレーターハンドルの取付け

- ①コネクティングロッドを縦枠の切欠き穴に差込んでください。
- ②連動バーの固定穴にロッド軸が合うまで押し込んで【ネジ】で取付けてください。



Pポイント

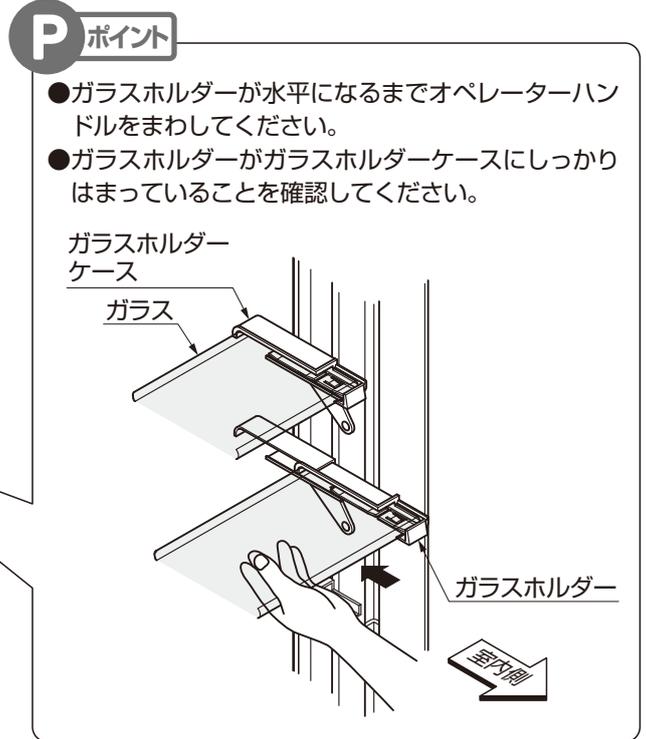
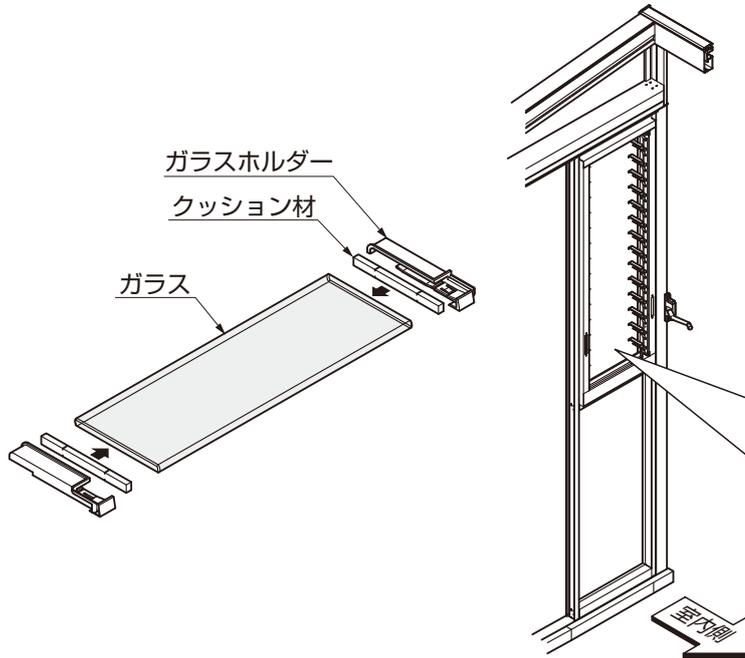
- ハンドルを取付けない側は穴キャップを取付けてください。
- ※ピンを上にして取付けてください。



12-19 換気パネルの取付け

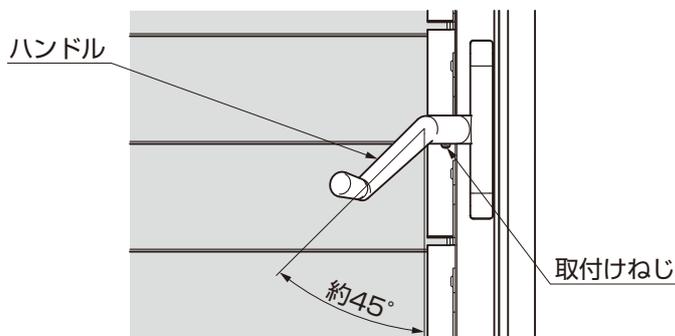
12-19-1 ガラスの取付け

- ①ガラスにガラスホルダーとクッション材を差し込んでください。
- ②組立てたガラスをガラスホルダーケースにはめ込んでください。



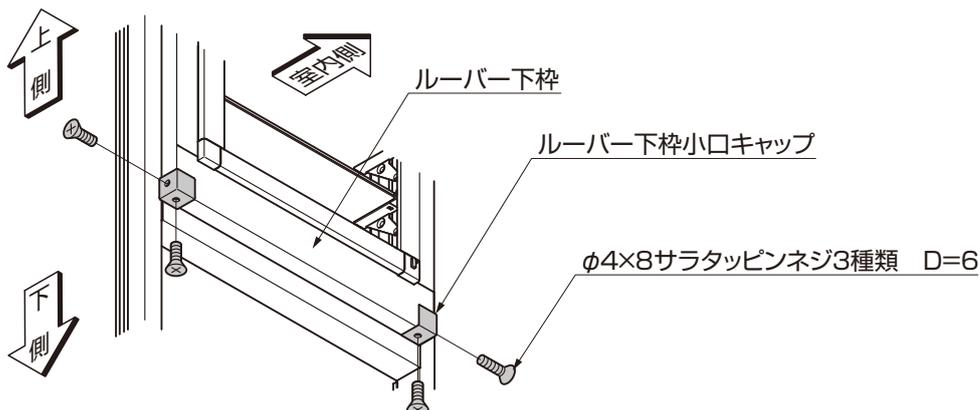
12-19-2 ハンドルの向き調整

- ①ルーバーを閉じた状態でハンドルが垂直下から約45°になるように付け直してください。



12-19-3 ルーバー下枠小口キャップの取付け

- ①ルーバー下枠小口キャップをルーバー下枠にあて、φ3.5の下穴をあけてください。
- ②ルーバー下枠小口キャップを【ネジ】で取付けてください。



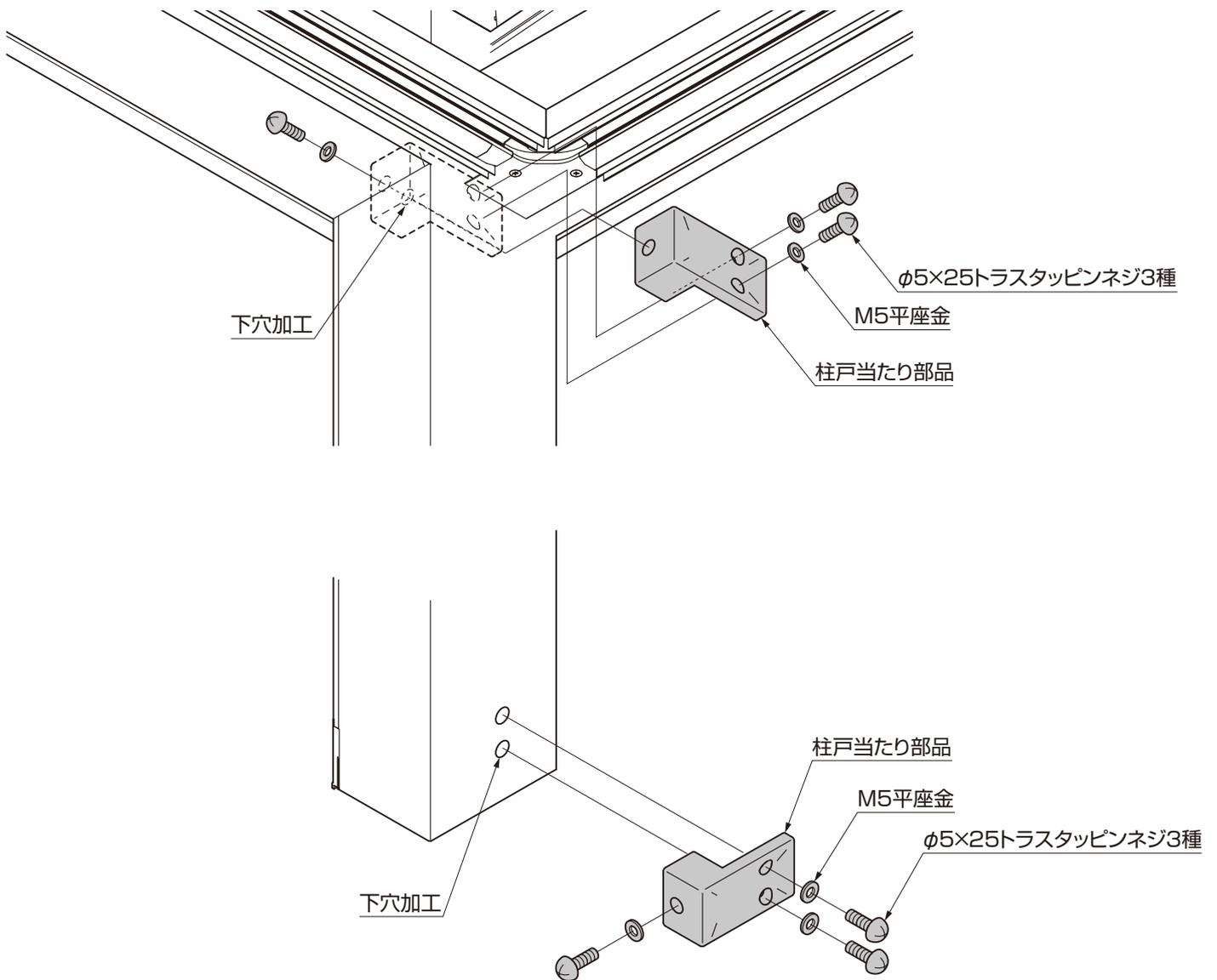
12-20 柱戸当り部品の取付け

12-20-1 取付け方法

- ① 柱に柱戸当り部品の穴をガイドに穴加工をしてください。
- ② 柱戸当り部品を柱に【ネジ】と【平座金】で取付けてください。

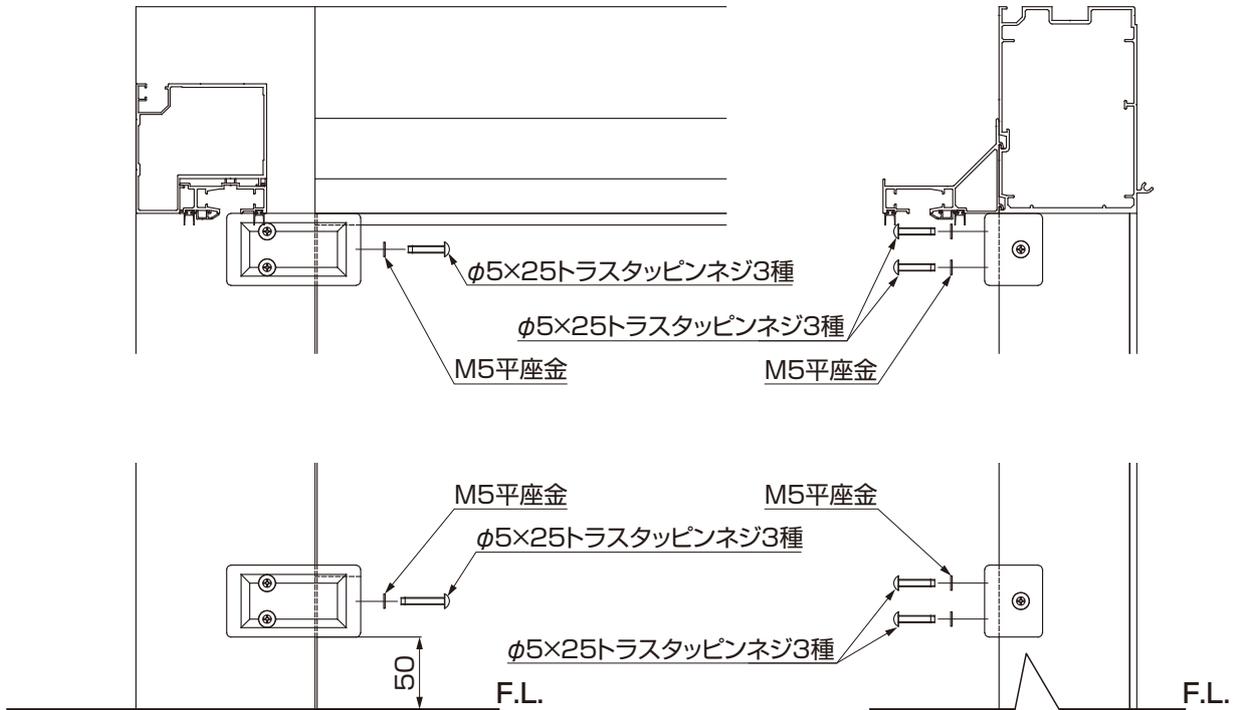
P ポイント

- 折戸パネルを柱から離れた状態で作業してください。
- なお、下記の図は主柱への取付けの図になります。取付け位置等の詳細については、次の手順を確認してください。

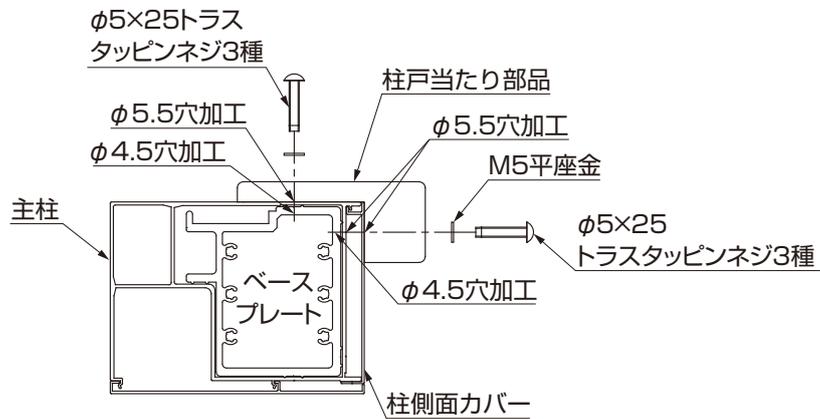


12-20-2 主柱への取付け

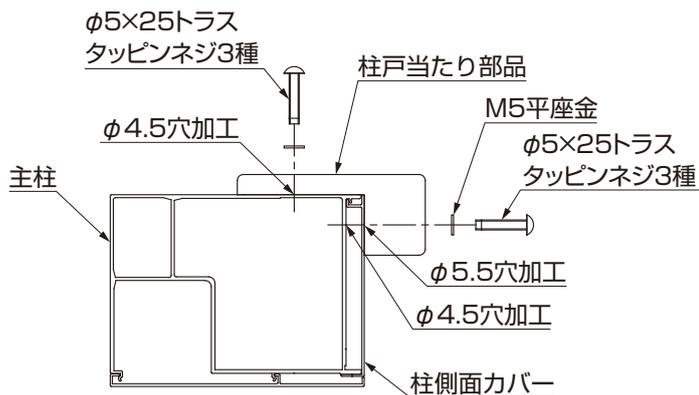
①下図を参照して主柱に下穴をあけて柱戸当たり部品を取付けてください。



【F.L.ベースプレート固定の場合】

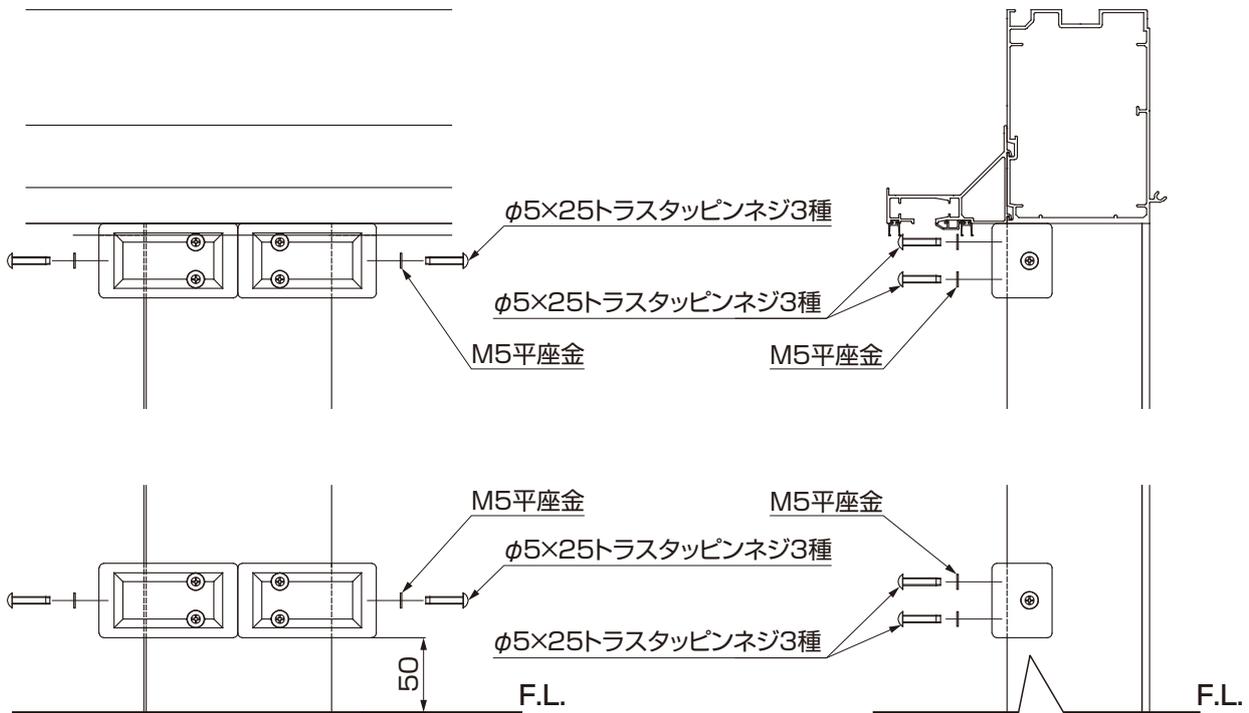


【G.L.ベースプレート固定または埋込み固定の場合】

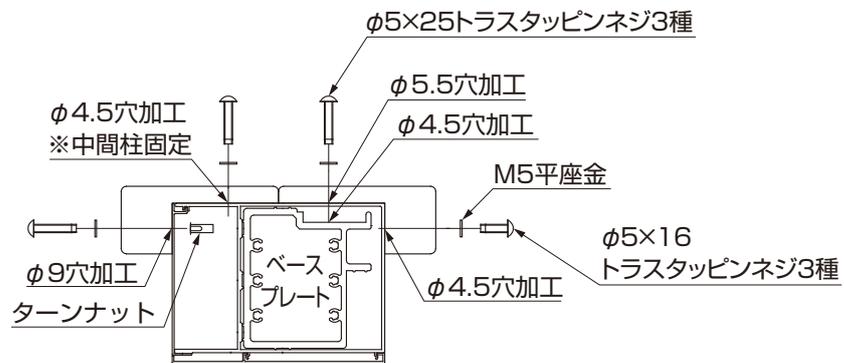


12-20-3 中間柱の場合

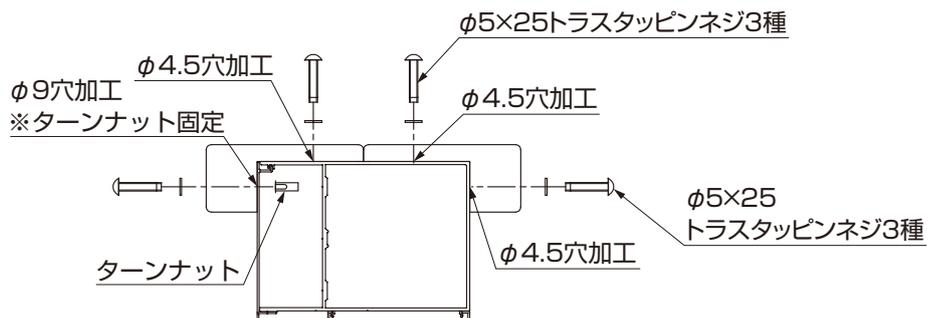
①下図を参照して中間柱に下穴をあけて柱戸当たり部品を取付けてください。



【F.L.ベースプレート固定の場合】



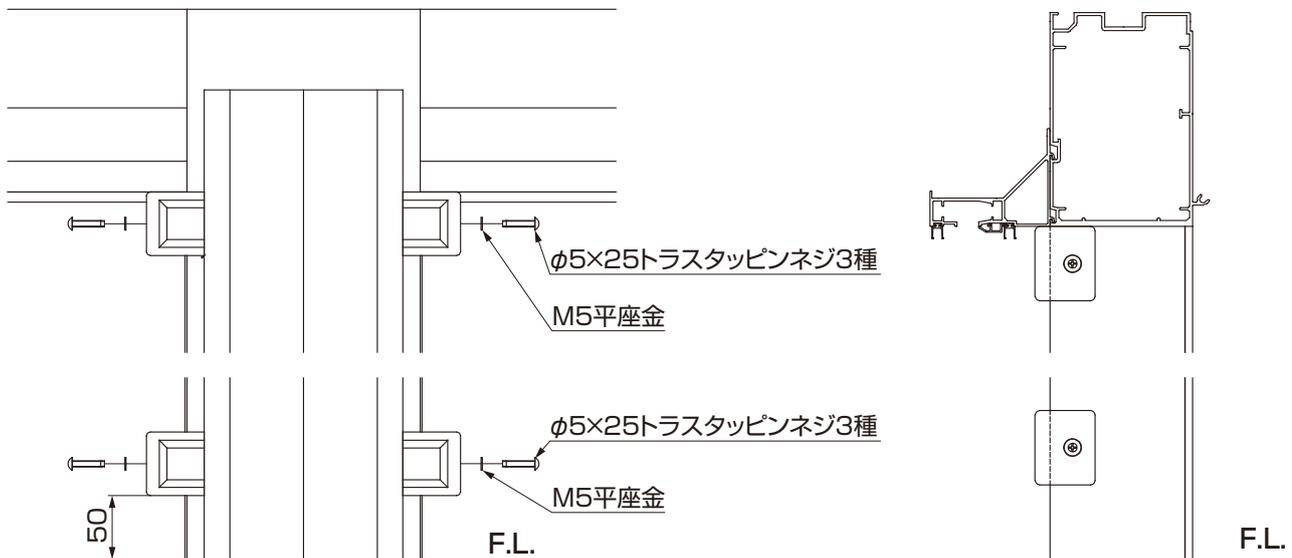
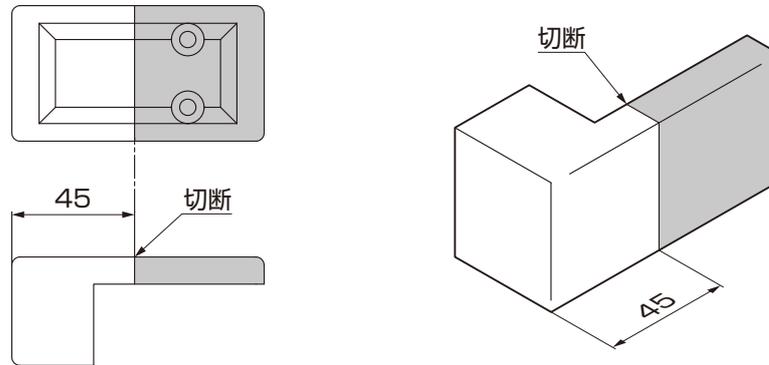
【G.L.ベースプレート固定または埋込み固定の場合】



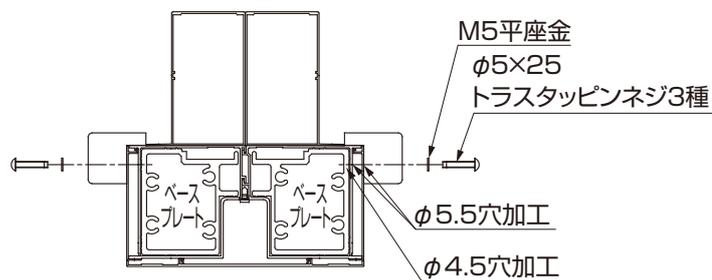
12-20-4 連棟柱の場合

※入隅・連棟用縦枠を使用する箇所について行なってください。
 ※ルームとテラスの境界の柱には切断しないものを取付けてください。

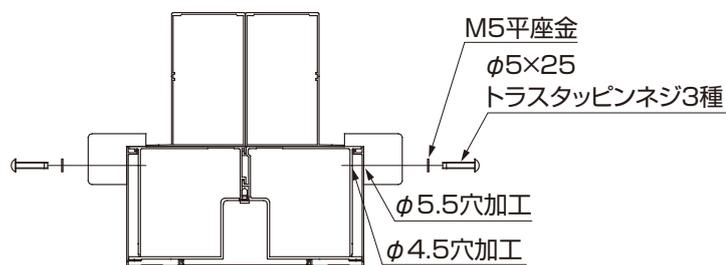
- ①4つの柱戸当り部品を切断してください。
- ②下図を参照して中間柱に下穴をあけて柱戸当り部品を取付けてください。



【F.L.ベースプレート固定の場合】

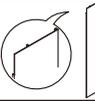
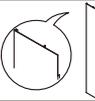
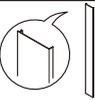
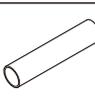
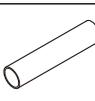
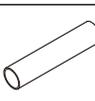
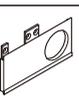


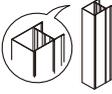
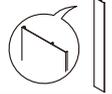
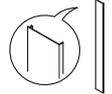
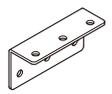
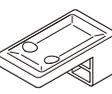
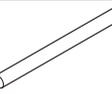
【G.L.ベースプレート固定または埋込み固定の場合】

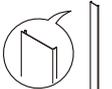
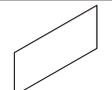
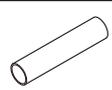
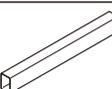
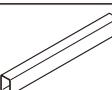
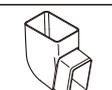
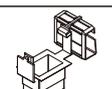
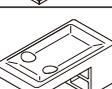
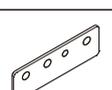


13 梱包明細表

| 主柱 | | | | | | | | | |
|-----------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | |
| | | 標準桁 | | | | 大型桁 | | | |
| | | H2100 | H2300 | H2500 | ロング | H2100 | H2300 | H2500 | ロング |
| | | 8LFA01□□ | 8LFA02□□ | 8LFA03□□ | 8LFA04□□ | 8LFA11□□ | 8LFA12□□ | 8LFA13□□ | 8LFA14□□ |
| 主柱 右 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 主柱 左 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 主柱前面カバー 右 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 主柱前面カバー 左 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 柱側面カバー |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 92° エルボ |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 縦樋 L=2450 |  | 2 | - | - | - | 2 | - | - | - |
| 縦樋 L=2600 |  | - | 2 | - | - | - | 2 | - | - |
| 縦樋 L=3000 |  | - | - | 2 | - | - | - | 2 | - |
| 縦樋 L=3300 |  | - | - | - | 2 | - | - | - | 2 |
| 縦樋 L=800 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 雨樋下部品 右 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 雨樋下部品 左 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 穴隠しシール |  | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 柱戸当り部品 |  | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

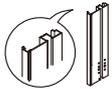
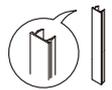
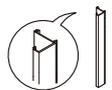
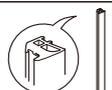
| テラス柱 | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | |
| | | 標準桁 | | | | 大型桁用 | | | |
| | | 右用 | | 左用 | | 右用 | | 左用 | |
| | | H3200 8LFA21□□ | ロング 8LFA22□□ | H3200 8LFA23□□ | ロング 8LFA24□□ | H3200 8LFA31□□ | ロング 8LFA32□□ | H3200 8LFA33□□ | ロング 8LFA34□□ |
| 主柱テラス用右 |  | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - |
| 主柱テラス用左 |  | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 |
| 主柱前面カバー 右 |  | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - |
| 主柱前面カバー 左 |  | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 |
| 柱側面カバー |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 92° エルボ |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 縦樋 L=3300 |  | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 1 | - |
| 縦樋 L=3900 |  | - | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 1 |
| 縦樋 L=800 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 雨樋下部品 右 |  | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - |
| 雨樋下部品 左 |  | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 1 |
| 穴隠しシール |  | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |

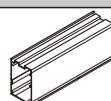
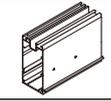
| 中間柱 | | | | | | |
|------------------|---|----------|----------|----------|--------------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | |
| | | H2100 | H2300 | H2500 | テラス H3200 | ロング |
| | | 8LFA41□□ | 8LFA42□□ | 8LFA43□□ | 8LFA44□□ | 8LFA45□□ |
| 中間柱 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中間柱前面カバー |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 柱側面カバー |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中間柱取付金具 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 柱戸当り部品 |  | 4 | 4 | 4 | - | 4 |
| アンカー棒 |  | 1 | 1 | 1 | - | - |
| M5ターンナット |  | 12 | 12 | 12 | - | 8 |
| φ5×25トラスタッピンネジ3種 |  | 12 | 12 | 12 | - | - |
| φ5×16トラスタッピンネジ3種 |  | 9 | 9 | 9 | - | - |
| M5平座金 |  | 12 | 12 | 12 | - | - |
| φ5×20トラスタッピンネジ3種 |  | - | - | - | - | 8 |
| φ5×14トラスタッピンネジ3種 |  | - | - | - | 6 | 6 |

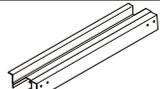
| 連棟柱 | | | | | | |
|------------------|--|----------|----------|----------|--------------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | |
| | | H2100 | H2300 | H2500 | テラス H3200 | ロング |
| | | 8LFA51□□ | 8LFA52□□ | 8LFA53□□ | 8LFA54□□ | 8LFA55□□ |
| 連棟柱 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 柱側面カバー |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 連棟柱前面カバー |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 水切りテープ |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 縦樋 φ40 L=800 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 雨樋下部品 連棟柱用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 角樋 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 角樋 L600 |  | - | - | - | - | 1 |
| 角横エルボ |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 変換ジョイント(角→丸) |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 桁キャップ 連棟用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 柱戸当り部品 |  | 4 | 4 | 4 | - | 4 |
| アンカー棒 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁取付金具B裏板 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| φ4×10トラスタッピンネジ3種 |  | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| M5ターンナット |  | 6 | 6 | 6 | - | 6 |
| φ5×25トラスタッピンネジ3種 |  | 12 | 12 | 12 | - | 12 |
| φ5×30トラスタッピンネジ3種 |  | 2 | 2 | 2 | - | 2 |
| M5平座金 |  | 12 | 12 | 12 | - | 12 |

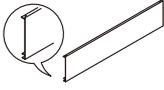
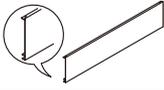
| 垂木掛け | | | | | | | | | |
|------------|-----|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | |
| | | 600N,1500N | | | | 3000N | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFA81□□ | 8LFA82□□ | 8LFA83□□ | 8LFA84□□ | 8LFA85□□ | 8LFA86□□ | 8LFA87□□ | 8LFA88□□ |
| 垂木掛け 上用 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 垂木掛け 下用 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 垂木掛けカバー | | 3 | 4 | 5 | 6 | 6 | 8 | 10 | 12 |
| 垂木掛け後付けビード | | 3 | 4 | 5 | 6 | 6 | 8 | 10 | 12 |

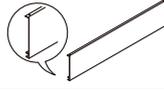
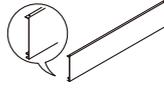
| 方立 | | | | | | | |
|------------------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | 右 | | | 左 | | |
| | | H2100 | H2300 | H2500 | H2100 | H2300 | H2500 |
| | | 8LFD81□□ | 8LFD82□□ | 8LFD83□□ | 8LFD84□□ | 8LFD85□□ | 8LFD86□□ |
| 調整FIX戸当り枠 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調整FIX受枠 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調整FIX調整縦枠 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FIXキャップ 上用 | ※図は左セットに同梱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FIXキャップ 下用 | ※図は左セットに同梱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調整FIXキャップ 上用 | ※図は右セットに同梱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調整FIXキャップ 下用 | ※図は右セットに同梱 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| φ4×13ナベドリルネジ | | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| φ4×13ナベドリルネジ(色付) | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| φ4.5×63丸木ネジ | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

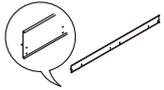
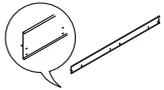
| 上部方立 | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|-----|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | | | | | |
| | | 標準桁 | | | | | | 大型桁 | | | | | |
| | | 右 | | | 左 | | | 右 | | | 左 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| 8LFC01□□ | 8LFC02□□ | 8LFC03□□ | 8LFC04□□ | 8LFC05□□ | 8LFC06□□ | 8LFC07□□ | 8LFC08□□ | 8LFC09□□ | 8LFC10□□ | 8LFC11□□ | 8LFC12□□ | | |
| 上部方立 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 上部方立溝フタ |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁上部FIX縦枠 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁上部FIX押縁 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁上部FIX縦枠 柱側 (標準桁用) |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| 妻梁上部FIX縦枠 柱側 (大型桁用) |  | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁上部FIX押縁 柱側 |  | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁上部フィックス 後付けビート |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 上部方立キャップ |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 強度桁 | | | | | | |
|----------|--|----------|----------|----------|------|------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | |
| | | 標準桁 | | | | 大型桁 |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | 3.0間 |
| 8LFA71□□ | 8LFA72□□ | 8LFA73□□ | 8LFA74□□ | 8LFA75□□ | | |
| 強度桁(標準桁) |  | 1 | 1 | 1 | 1 | - |
| 強度桁(大型桁) |  | - | - | - | - | 1 |

| 雨樋桁 | | | | | | | | | |
|-----|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | |
| | | 600N,1500N | | | | 3000N | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFA61□□ | 8LFA62□□ | 8LFA63□□ | 8LFA64□□ | 8LFA65□□ | 8LFA66□□ | 8LFA67□□ | 8LFA68□□ |
| 雨樋桁 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 幕板 前面 | | 員 数 | | | | |
|---------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 標準桁 | | | | 大型桁 |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | 3.0間 |
| | | 8LFC21□□ | 8LFC22□□ | 8LFC23□□ | 8LFC24□□ | 8LFC28□□ |
| 幕板(標準桁) 前面 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | - |
| 幕板(大型桁) 前面 |  | - | - | - | - | 1 |
| 幕板端部キャップ(標準桁) |  | 2 | 2 | 2 | 2 | - |
| 幕板端部キャップ(大型桁) |  | - | - | - | - | 2 |

| 幕板 出幅 | | 員 数 | | | | | |
|------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 標準桁 | | | 大型桁 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFC25□□ | 8LFC26□□ | 8LFC27□□ | 8LFC29□□ | 8LFC30□□ | 8LFC31□□ |
| 幕板(標準桁) 側面 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 幕板(大型桁) 側面 |  | - | - | - | 1 | 1 | 1 |

| 幕板取付材 | | 員 数 | | | | | |
|------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 標準桁 | | | 大型桁 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFC32□□ | 8LFC33□□ | 8LFC34□□ | 8LFC35□□ | 8LFC36□□ | 8LFC37□□ |
| 幕板取付材(標準桁) |  | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 幕板取付材(大型桁) |  | - | - | - | 1 | 1 | 1 |

| 幕板コーナーキャップ | | | | | | | |
|---------------|---|----------|----------|---------------|---|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | 名 称 | 略 図 | 員 数 | |
| | | 標準桁 | 大型桁 | | | 標準桁 | 大型桁 |
| | | 8LFC38□□ | 8LFC39□□ | | | 8LFC38□□ | 8LFC39□□ |
| 幕板コーナーキャップ標準桁 |  | 1 | - | 幕板コーナーキャップ大型桁 |  | - | 1 |

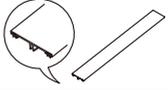
| ブラケット | | | | | | | |
|-----------|--|----------|----------|----------|----------|------|---|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | 標準桁 | | | | 大型桁 | |
| | | L300 | | L700 | | L900 | |
| | | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| 8LFH01ZZ | 8LFH04ZZ | 8LFH02ZZ | 8LFH05ZZ | 8LFH03ZZ | 8LFH06ZZ | | |
| ブラケットL300 |  | 1 | 1 | - | - | - | - |
| ブラケットL700 |  | - | - | 1 | 1 | - | - |
| ブラケットL900 |  | - | - | - | - | 1 | 1 |

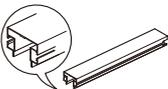
| 妻梁 | | | | | | | |
|------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | 右 | | | 左 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFB71□□ | 8LFB72□□ | 8LFB73□□ | 8LFB74□□ | 8LFB75□□ | 8LFB76□□ |
| 妻梁 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁取付金具A |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻梁取付金具B |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| セッティングブロック |  | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

| 妻梁フタ | | | | |
|-------|---|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFB79□□ | 8LFB80□□ | 8LFB81□□ |
| 妻梁カバー |  | 1 | 1 | 1 |

| 妻梁上部フィックス | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | | | | | |
| | | 標準桁 | | | | | | 大型桁 | | | | | |
| | | 右 | | | 左 | | | 右 | | | 左 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFC41MC | 8LFC42MC | 8LFC43MC | 8LFC44MC | 8LFC45MC | 8LFC46MC | 8LFC47MC | 8LFC48MC | 8LFC49MC | 8LFC50MC | 8LFC51MC | 8LFC52MC |
| 妻梁上部FIXパネル 標準桁用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| 妻梁上部FIXパネル 大型桁用 |  | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 部品 | | | | | |
|--------|---|----------|--------------------|---|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | 名 称 | 略 図 | 員 数 |
| | | 8LFH21□□ | | | 8LFH21□□ |
| 桁キャップ右 |  | 1 | 垂木掛けキャップ右 |  | 1 |
| 桁キャップ左 |  | 1 | 垂木掛けキャップ左 |  | 1 |
| | | | φ4×12サラタッピンネジ1種D=6 |  | 5 |
| | | | φ4×16サラドリルネジD=6 |  | 15 |

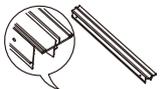
| 垂木 600タイプ | | | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | 2本入 | | | 3本入 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFB01□□ | 8LFB02□□ | 8LFB03□□ | 8LFB04□□ | 8LFB05□□ | 8LFB06□□ |
| 垂木 |  | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 垂木カバー |  | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 中骨 |  | 2 | 4 | 4 | 3 | 6 | 6 |
| 垂木カバー先端キャップ |  | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 垂木取付金具 |  | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 | 6 |

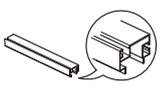
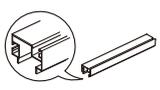
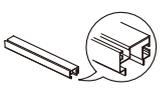
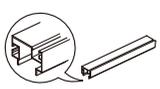
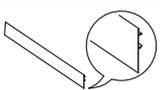
| 垂木化粧材 600タイプ | | | | | | | |
|--------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | 2本入 | | | 3本入 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFB31□□ | 8LFB32□□ | 8LFB33□□ | 8LFB34□□ | 8LFB35□□ | 8LFB36□□ |
| 垂木化粧材 |  | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 垂木フタ |  | 8 | 12 | 12 | 12 | 18 | 18 |

| 垂木 積雪用 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----------|----|----------|----|----------|----|----------|----|----------|--|----------|--|----------|--|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1500タイプ | | | | 3000タイプ | | | | | | | | | |
| | | 2本入 | | 3本入 | | 2本入 | | 3本入 | | | | | | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 6尺 | 8尺 | 6尺 | 8尺 | 6尺 | 8尺 | | | | | | |
| 8LFB07□□ | | 8LFB08□□ | | 8LFB09□□ | | 8LFB10□□ | | 8LFB11□□ | | 8LFB12□□ | | 8LFB13□□ | | 8LFB14□□ | |
| 垂木 |  | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | | | | | | |
| 垂木カバー |  | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | | | | | | |
| 中骨 |  | 4 | 6 | 6 | 9 | 4 | 6 | 6 | 9 | | | | | | |
| 垂木カバー先端キャップ |  | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | | | | | | |
| 垂木取付金具 |  | 4 | 4 | 6 | 6 | 4 | 4 | 6 | 6 | | | | | | |

| 垂木化粧材 積雪用 | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|----------|----|----------|----|------|---|----------|----|----------|----|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | |
| | | 2本入 | | 3本入 | | | | 2本入 | | 3本入 | |
| | | 6尺 | 8尺 | 6尺 | 8尺 | | | 6尺 | 8尺 | 6尺 | 8尺 |
| | | 8LFB37□□ | | 8LFB38□□ | | | | 8LFB39□□ | | 8LFB40□□ | |
| 垂木化粧材 積雪用 |  | 2 | 2 | 3 | 3 | 垂木フタ |  | 12 | 16 | 18 | 24 |

| サブ垂木 3000用 | | | | | | | | | |
|------------|---|----------|----|----------------|---|----------|----|--|--|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | |
| | | 6尺 | 8尺 | | | 6尺 | 8尺 | | |
| | | 8LFB15□□ | | | | 8LFB16□□ | | | |
| サブ垂木 |  | 1 | 1 | 垂木カバー先端キャップ |  | 1 | 1 | | |
| 垂木カバー |  | 1 | 1 | 垂木掛けカバー(サブ垂木下) |  | 1 | 1 | | |
| 中骨 |  | 2 | 3 | 垂木取付金具 |  | 2 | 2 | | |
| サブ垂木化粧材 |  | 1 | 1 | 垂木フタ |  | 6 | 8 | | |

| 妻垂木 | | | | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | |
| | | 600タイプ | | | 1500タイプ | | 3000タイプ | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 6R | 8R |
| | | 8LFB21□□ | 8LFB22□□ | 8LFB23□□ | 8LFB24□□ | 8LFB25□□ | 8LFB26□□ | 8LFB27□□ |
| 妻垂木 右 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻垂木 左 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 妻垂木カバー |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 中骨 |  | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 |
| 垂木カバー先端キャップ |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 垂木取付金具 |  | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 雪下し指示シール |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 妻垂木化粧材 | | | | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|--|--|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | | |
| | | 600タイプ | | | 積雪用 | | | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | | |
| | | 8LFB61□□ | 8LFB62□□ | 8LFB63□□ | 8LFB64□□ | 8LFB65□□ | | |
| 妻垂木化粧材 右 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | | |
| 妻垂木化粧材 左 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | | |
| 妻垂木化粧材 積雪用右 |  | - | - | - | 1 | 1 | | |
| 妻垂木化粧材 積雪用左 |  | - | - | - | 1 | 1 | | |
| 妻垂木フタ |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| 垂木フタ |  | 4 | 6 | 6 | 6 | 8 | | |

| シャッターボックス対応部材 垂木用 | | | | | | | |
|-------------------|----|----------|--|-----------------|----|----------|--|
| 名称 | 略図 | 員数 | | 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFH13□□ | | | | 8LFH13□□ | |
| 垂木掛け上用フタ | | 2 | | φ4×13サラドリルネジD=6 | | 4 | |
| 垂木化粧材キャップ | | 1 | | | | | |

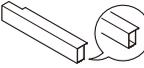
| 屋根材 ポリカーボネート | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|--------------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | | |
| | | 2枚入 | | | 3枚入 | | | 4枚入(3000タイプ) | | 6枚入(3000タイプ) | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 6R | 8R |
| | | 8LED59□□ | 8LED60□□ | 8LED61□□ | 8LED63□□ | 8LED64□□ | 8LED65□□ | 8LEE15□□ | 8LEE16□□ | 8LEE18□□ | 8LEE19□□ |
| 屋根材 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 6 | 6 |

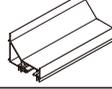
| 屋根材 熱線吸収ポリカーボネート | | | | | | | | | | | |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|--------------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | | |
| | | 2枚入 | | | 3枚入 | | | 4枚入(3000タイプ) | | 6枚入(3000タイプ) | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 6R | 8R |
| | | 8LED67□□ | 8LED68□□ | 8LED69□□ | 8LED71□□ | 8LED72□□ | 8LED73□□ | 8LEE21□□ | 8LEE22□□ | 8LEE24□□ | 8LEE25□□ |
| 屋根材 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 6 | 6 |

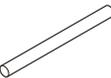
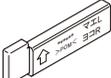
| 屋根材 熱線吸収アクアシャインポリカーボネート | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|----------|--------------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | | |
| | | 2枚入 | | | 3枚入 | | | 4枚入(3000タイプ) | | 6枚入(3000タイプ) | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 6R | 8R |
| | | 8LED75□□ | 8LED76□□ | 8LED77□□ | 8LED79□□ | 8LED80□□ | 8LED81□□ | 8LEE27□□ | 8LEE28□□ | 8LEE30□□ | 8LEE31□□ |
| 屋根材 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 6 | 6 |

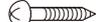
| 間口レール | | | | | | | | | | | |
|------------------|----|----------|----------|----------|----------|--------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | 名称 | 略図 | 員数 | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFD01□□ | 8LFD02□□ | 8LFD03□□ | 8LFD04□□ | | | 8LFD01□□ | 8LFD02□□ | 8LFD03□□ | 8LFD04□□ |
| 上レール(前面用) | | 1 | 1 | 1 | 1 | パネル召し合せ部品A | | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 下レール | | 1 | 1 | 1 | 1 | パネル召し合せ部品B | | 2 | 3 | 4 | 5 |
| φ4×13ナベドリルネジ(色付) | | 8 | 10 | 13 | 15 | φ4×16サラドリルネジ | | 6 | 9 | 12 | 15 |
| φ4×13ナベドリルネジ | | 7 | 9 | 11 | 14 | | | | | | |
| φ4.1×32丸木ネジ | | 7 | 9 | 11 | 13 | | | | | | |
| フィッシャープラグS6 L30 | | 7 | 9 | 11 | 13 | | | | | | |

| パネル召合せ部品 | | | | | | |
|------------|---|----------|--------------|---|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFK60□□ | | | 8LFK60□□ | 8LFK60□□ |
| パネル召し合せ部品A |  | 1 | φ4×16サラドリルネジ |  | 3 | |
| パネル召し合せ部品B |  | 1 | | | | |

| 側面用レール | | | | | | | |
|--------------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | |
| | | 右 | | | 左 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFD11□□ | 8LFD12□□ | 8LFD13□□ | 8LFD14□□ | 8LFD15□□ | 8LFD16□□ |
| 上レール(側面用)右 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 上レール(側面用)左 |  | - | - | - | 1 | 1 | 1 |
| 下レール 右 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 下レール 左 |  | - | - | - | 1 | 1 | 1 |
| 下レール躯体側塞ぎ調整材 右 |  | 1 | 1 | 1 | - | - | - |
| 下レール躯体側塞ぎ調整材 左 |  | - | - | - | 1 | 1 | 1 |
| φ4×13ナベドリルネジ |  | 11 | 13 | 16 | 11 | 13 | 16 |
| φ4.1×32丸木ネジ |  | 6 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 |
| フィッシャープラグS6 L30 |  | 6 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 |
| φ4×12サラタッピンネジ3種D=6 |  | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

| 直線レールピース | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------------------|---|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFD29□□ | | | 8LFD29□□ | 8LFD29□□ |
| 上レールピース 標準用 |  | 1 | 下レールコーナー金具 |  | 2 | |
| 下レールピース |  | 1 | φ4×12ナベタッピンネジ3種 |  | 3 | |
| | | | φ4×6サラタッピンネジ3種D=6 |  | 5 | |

| ネジ・取説セット 基本用 | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|----------|----------|----------|----------|-----------------------------|---|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | 名称 | 略図 | 員数 | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFH26ZZ | 8LFH27ZZ | 8LFH28ZZ | 8LFH29ZZ | | | 8LFH26ZZ | 8LFH27ZZ | 8LFH28ZZ | 8LFH29ZZ |
| シリコンスプレー |  | 1 | 1 | 1 | 1 | φ6×70六角 コーチスクリュー |  | 7 | 9 | 11 | 13 |
| 接着剤 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | M6×20六角ボルト |  | 28 | 28 | 28 | 28 |
| | | | | | | M6平座金 |  | 45 | 45 | 45 | 45 |
| 取扱説明書 ジーマ | — | 1 | 1 | 1 | 1 | φ4×13ナベドリルネジ |  | 200 | 240 | 280 | 320 |
| 取扱説明書 内部日除け | — | 1 | 1 | 1 | 1 | φ4×10 トラスタッピンネジ3種 |  | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 取付説明書 デッキ編 | — | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| 取付説明書 本体編 | — | 1 | 1 | 1 | 1 | φ4×14 トラスタッピンネジ3種 |  | 36 | 40 | 44 | 48 |
| 取付説明書 側面付け物干し | — | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| 取付説明書 内部日除け | — | 1 | 1 | 1 | 1 | φ4.5×63丸木ネジ |  | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 取付電気工事説明書 | — | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| 水切りテープ |  | 2 | 2 | 2 | 4 | φ5×14 トラスタッピンネジ3種 |  | 46 | 50 | 54 | 58 |
| アンカー棒 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | φ4×12 トラスタッピンネジ2種 座金付 |  | 80 | 100 | 120 | 136 |
| 上レール コーナー部品右用 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | φ4×16サラドリルネジ |  | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 上レール コーナー部品左用 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | φ5×25 トラスタッピンネジ3種 |  | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | | | | | | φ5×30 トラスタッピンネジ3種 |  | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | | | | M5平座金 |  | 12 | 12 | 12 | 12 |

| 部品箱 3000用 | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------|----------|----------|----------|---------------------|---|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | 名称 | 略図 | 員数 | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFH22□□ | 8LFH23□□ | 8LFH24□□ | 8LFH25□□ | | | 8LFH22□□ | 8LFH23□□ | 8LFH24□□ | 8LFH25□□ |
| φ4×12 トラスタッピンネジ2種 座金付 |  | 50 | 65 | 80 | 95 | φ6×70六角 コーチスクリュー |  | 6 | 8 | 10 | 12 |
| φ4×13ナベドリルネジ |  | 45 | 60 | 75 | 90 | M6平座金 |  | 7 | 9 | 11 | 13 |
| φ4×14 トラスタッピンネジ3種 |  | 14 | 18 | 22 | 26 | φ4.5×63丸木ネジ |  | 6 | 8 | 10 | 12 |
| φ5×14 トラスタッピンネジ3種 |  | 14 | 18 | 22 | 26 | | | | | | |

| 入隅用縦枠 | | | | 名称 | | | |
|----------------------|----|----------|--|----------------------|----|----------|--|
| 名称 | 略図 | 員数 | | 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFD61□□ | | | | 8LFD61□□ | |
| 入隅・連棟用縦枠(基本タイプ) | | 1 | | 下レール回転ブレードキャップD 外観左用 | | 1 | |
| 入隅用縦枠隙間塞ぎ部材 | | 1 | | 戸当り小口クッション材 | | 1 | |
| 入隅用縦枠戸当り | | 1 | | 入隅用縦枠上カバー | | 1 | |
| 下レール回転ブレードキャップD 外観右用 | | 1 | | φ4×13ナベドリルネジ | | 23 | |

| 床ベース材 延長用入隅 1本入 | | | |
|-------------------|----|----------|--|
| 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFG12□□ | |
| 床ベース材 延長用入隅 | | 2 | |
| 床ベース材連結スリーブ 延長用 | | 4 | |
| φ4×16ナベドリルネジD=8.2 | | 32 | |

| 床ベース材 延長用連棟 1本入 | | | |
|-------------------|----|----------|--|
| 名称 | 略図 | 員数 | |
| | | 8LFG13□□ | |
| 床ベース材 延長用連棟 | | 2 | |
| 床ベース材連結スリーブ 連結用 | | 4 | |
| φ4×16ナベドリルネジD=8.2 | | 48 | |

| 床ベース材 間口用 1本入 | | | | | | | | | | | |
|---------------|----|----------|----------|----------|----------|-----------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | 名称 | 略図 | 員数 | | | |
| | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 | | | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFG01□□ | 8LFG02□□ | 8LFG03□□ | 8LFG04□□ | | | 8LFG01□□ | 8LFG02□□ | 8LFG03□□ | 8LFG04□□ |
| 床ベース材 前面用 | | 1 | 1 | 1 | 1 | ベース材柱取付金具 左 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 束柱固定金具 | | 1 | 1 | 1 | 1 | φ4×14 トラスタッピン ネジ3種D=8 | | 12 | 12 | 12 | 12 |
| ベース材柱取付金具 右 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |

| 床ベース材 側面用 | | | | |
|-----------|----|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFG05□□ | 8LFG06□□ | 8LFG07□□ |
| 床ベース材 側面用 | | 1 | 1 | 1 |

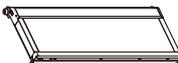
| 土間見切り材 | | | | | | | | |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 1.5間 | 2.0間 | 2.5間 | 3.0間 |
| | | 8LFG71□□ | 8LFG72□□ | 8LFG73□□ | 8LFG74□□ | 8LFG75□□ | 8LFG76□□ | 8LFG77□□ |
| 土間見切り材 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| φ4×16ナベドリルネジ | | 6 | 7 | 8 | 8 | 10 | 12 | 14 |

| パネル 1枚入 | | | | | | | | | | |
|---------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFE01□□ | H2300 8LFE02□□ | H2500 8LFE03□□ | H2100 8LFE11□□ | H2300 8LFE12□□ | H2500 8LFE13□□ | H2100 8LFE21□□ | H2300 8LFE22□□ | H2500 8LFE23□□ |
| パネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| パネル 外部把手・落とし棒付き 1枚入 | | | | | | | | | | |
|---------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFE07□□ | H2300 8LFE08□□ | H2500 8LFE09□□ | H2100 8LFE17□□ | H2300 8LFE18□□ | H2500 8LFE19□□ | H2100 8LFE27□□ | H2300 8LFE28□□ | H2500 8LFE29□□ |
| パネル(落とし棒付き・外部把手有) |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| パネル 落とし棒付き 1枚入 | | | | | | | | | | |
|----------------|--|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFE04□□ | H2300 8LFE05□□ | H2500 8LFE06□□ | H2100 8LFE14□□ | H2300 8LFE15□□ | H2500 8LFE16□□ | H2100 8LFE24□□ | H2300 8LFE25□□ | H2500 8LFE26□□ |
| パネル(落とし棒付き) |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 調整フィックスパネル クリア 1枚入 | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | H2100 | | | H2300 | | | H2500 | | |
| | | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 10R | 6R | 8R | 10R |
| | | 8LFE41□□ | 8LFE42□□ | 8LFE43□□ | 8LFE44□□ | 8LFE45□□ | 8LFE46□□ | 8LFE47□□ | 8LFE48□□ | 8LFE49□□ |
| 調整フィックスパネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 側面コーナーパネル 框・落とし棒付き (1枚入) 右 | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFK04□□ | H2300 8LFK05□□ | H2500 8LFK06□□ | H2100 8LFK14□□ | H2300 8LFK15□□ | H2500 8LFK16□□ | H2100 8LFK24□□ | H2300 8LFK25□□ | H2500 8LFK26□□ |
| パネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 側面コーナーパネル 框付 (1枚入) 左 | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFK01□□ | H2300 8LFK02□□ | H2500 8LFK03□□ | H2100 8LFK11□□ | H2300 8LFK12□□ | H2500 8LFK13□□ | H2100 8LFK21□□ | H2300 8LFK22□□ | H2500 8LFK23□□ |
| パネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 側面コーナーパネル（1枚入）右 | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFK31□□ | H2300 8LFK32□□ | H2500 8LFK33□□ | H2100 8LFK41□□ | H2300 8LFK42□□ | H2500 8LFK43□□ | H2100 8LFK51□□ | H2300 8LFK52□□ | H2500 8LFK53□□ |
| パネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 側面コーナーパネル 落とし棒付き（1枚入）左 | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFK34□□ | H2300 8LFK35□□ | H2500 8LFK36□□ | H2100 8LFK44□□ | H2300 8LFK45□□ | H2500 8LFK46□□ | H2100 8LFK54□□ | H2300 8LFK55□□ | H2500 8LFK56□□ |
| パネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

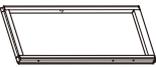
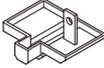
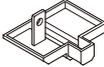
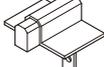
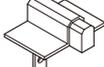
| 折戸パネル部品 2セット | | | | | |
|-------------------|---|----------|----------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFE51□□ | | | 8LFE51□□ |
| パネル小口キャップ連結受け側 下用 |  | 2 | 閉時節度部品B |  | 2 |
| パネル小口キャップ連結受け側 上用 |  | 2 | φ5×12トラスタッピンネジ3種D=10 |  | 15 |
| | | | M4×8ナベ小ネジ |  | 5 |
| | | | φ4×13ナベドリルネジ |  | 3 |

| 折戸パネル部品 3セット | | | | | |
|-------------------|---|----------|----------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFE52□□ | | | 8LFE52□□ |
| パネル小口キャップ連結受け側 下用 |  | 3 | 閉時節度部品B |  | 3 |
| パネル小口キャップ連結受け側 上用 |  | 3 | φ5×12トラスタッピンネジ3種D=10 |  | 22 |
| | | | M4×8ナベ小ネジ |  | 7 |
| | | | φ4×13ナベドリルネジ |  | 4 |

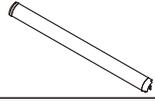
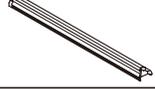
| 換気パネル 本体 網戸付き(1枚入) | | | | | | | | | | | |
|--------------------|----|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | | |
| | | H2100 | | | H2300 | | | H2500 | | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 | |
| | | | 8LFE71□□ | 8LFE72□□ | 8LFE73□□ | 8LFE74□□ | 8LFE75□□ | 8LFE76□□ | 8LFE77□□ | 8LFE78□□ | 8LFE79□□ |
| ガラスホルダーセット LR11個入り | | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | |
| ガラスホルダーセット LR18個入り | | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | |
| ガラスホルダーセット LR4個入り | | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | |
| ガラスホルダーセット LR6個入り | | 2 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | |
| ルーバー用固定網戸 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 換気パネル | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| オペレーター穴キャップ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| ルーバー下枠小口キャップ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| φ4×8サラタッピンネジ3種D=6 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |

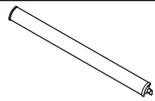
| 換気パネル オペレーターハンドル | | | | | |
|-----------------------|----|----------|-----------------------|----|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFE80□□ | | | 8LFE80□□ |
| オペレーターハンドルセット | | 1 | ハンドルネジカバー-B(ブランドマーク有) | | 1 |
| オペレーター本体 | | 1 | M5×25ナベ小ネジ座金組込SW | | 2 |
| | | | M4×8トラス小ネジD=8ネジロック付 | | 1 |
| | | | ハンドル式オペレーター組立説明書 | - | 1 |
| ハンドルネジカバー-A(ブランドマーク無) | | 1 | | | |

| 換気パネル ガラスパネル | | | | | | | |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | |
| | | ガラス5枚入り | | | ガラス6枚入り | | |
| | | 6尺 | 8尺 | 10尺 | 6尺 | 8尺 | 10尺 |
| | | 8LFE81□□ | 8LFE82□□ | 8LFE83□□ | 8LFE84□□ | 8LFE85□□ | 8LFE86□□ |
| ルーバーガラス | | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 |

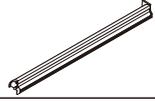
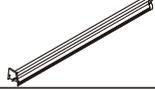
| ガラスフィックスパネル 1枚入 | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | (1) | | | (2) | | | (3) | | |
| | | H2100 8LFE32□□ | H2300 8LFE33□□ | H2500 8LFE34□□ | H2100 8LFE35□□ | H2300 8LFE36□□ | H2500 8LFE37□□ | H2100 8LFE38□□ | H2300 8LFE39□□ | H2500 8LFE40□□ |
| ガラスフィックスパネル |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 調整FIX戸当り枠 |  | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| FIXキャップ 下用 外観右用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FIXキャップ 下用 外観左用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FIXキャップ 上用 外観右用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FIXキャップ 上用 外観左用 |  | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| φ4×13ナベドリルネジD=8.2 |  | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |

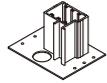
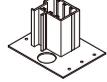
| レールコーナー部品 | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|----------|--|----------|--|--|--|--|--|--|
| 名称 | 略図 | 員数 | | | | | | | | |
| | | 右 | | 左 | | | | | | |
| | | 8LFJ71□□ | | 8LFJ74□□ | | | | | | |
| 下レールコーナーピースカバー |  | 1 | | 1 | | | | | | |
| 下レールコーナーピース受け |  | 1 | | 1 | | | | | | |
| 下レールコーナー金具 |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| 上レールコーナーピース1 |  | 1 | | 1 | | | | | | |
| 上レールコーナーピース2 |  ※図は外観左用 | 1 | | 1 | | | | | | |
| 30フィッシャープラグS6 |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| φ4×6サラタッピンネジ3種D=6 |  | 5 | | 5 | | | | | | |
| M4×8アプセット六角ボルト |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| φ4×16サラドリルネジD=6 |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| φ4.1×32サラ木ネジ |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| M4×35サラ小ネジ |  | 2 | | 2 | | | | | | |
| M4×16サラ小ネジ |  | 2 | | 2 | | | | | | |

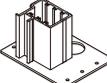
| 下レール回転ブレード 側面コーナー用A(1本入) | | | | | | | |
|--------------------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | (1) | | (2) | | (3) | |
| | | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | 8LFJ34□□ | 8LFJ35□□ | 8LFJ41□□ | 8LFJ42□□ | 8LFJ48□□ | 8LFJ49□□ |
| 下レール回転ブレード 柱側 外観右用 |  | 1 | - | 1 | - | 1 | - |
| 下レール回転ブレード 柱側 外観左用 |  | - | 1 | - | 1 | - | 1 |

| 下レール回転ブレード 側面躯体側用(1本入) | | | | | | | |
|------------------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | (1) | | (2) | | (3) | |
| | | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | 8LFD36□□ | 8LFD37□□ | 8LFD43□□ | 8LFD44□□ | 8LFD50□□ | 8LFD51□□ |
| 下レール回転ブレード 外観右用 |  | 1 | - | 1 | - | 1 | - |
| 下レール回転ブレード 外観左用 |  | - | 1 | - | 1 | - | 1 |

| 下レール回転ブレード 中間用(1本入) | | | | |
|---------------------|---|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | |
| | | (1) | (2) | (3) |
| | | 8LFD31□□ | 8LFD38□□ | 8LFD45□□ |
| 下レール回転ブレード 中間用 |  | 1 | 1 | 1 |

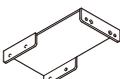
| 下レール回転ブレード 前面コーナー用A(1本入) | | | | | | | |
|--------------------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 名 称 | 略 図 | 員 数 | | | | | |
| | | (1) | | (2) | | (3) | |
| | | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | 8LFJ32□□ | 8LFJ33□□ | 8LFJ39□□ | 8LFJ40□□ | 8LJD46□□ | 8LFJ47□□ |
| 下レール回転ブレード 外観右用 |  | 1 | - | 1 | - | 1 | - |
| 下レール回転ブレード 外観左用 |  | - | 1 | - | 1 | - | 1 |

| 主柱固定ベース | | | | | |
|---------------|---|----------|-------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFA58□□ | | | 8LFA58□□ |
| 主柱固定ベースプレート 右 |  | 1 | φ5×35セルフタップアンカー |  | 14 |
| | | | φ5×70ナベドリルネジD=9.5 |  | 14 |
| 主柱固定ベースプレート 左 |  | 1 | | | |

| 中間柱固定ベース | | | | | |
|-----------------|---|----------|-------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFA59□□ | | | 8LFA59□□ |
| 中間柱固定ベースプレート |  | 1 | φ5×70ナベドリルネジD=9.5 |  | 7 |
| φ5×35セルフタップアンカー |  | 7 | | | |

| 連棟柱固定ベース | | | | | |
|-----------------|--|----------|-------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFA60□□ | | | 8LFA60□□ |
| 連棟柱固定ベース |  | 1 | φ5×70ナベドリルネジD=9.5 |  | 14 |
| φ5×35セルフタップアンカー |  | 14 | | | |

| 床ベース材取付部品A 1個入 | | | | | |
|-------------------|--|--|---|----------|--|
| 名称 | | | 略図 | 員数 | |
| | | | | 8LFG65□□ | |
| 大引-柱・床ベース材固定金具 | | |  | 1 | |
| φ4×16ナベドリルネジD=8.2 | | |  | 5 | |

| 床ベース材取付部品B 2個入 | | | | | |
|----------------|---|----------|---------------------|---|----------|
| 名称 | 略図 | 員数 | 名称 | 略図 | 員数 |
| | | 8LFG66□□ | | | 8LFG66□□ |
| ベース材取付金具 |  | 2 | φ4×12トラスタッピンネジ3種D=8 |  | 8 |
| φ4×13ナベドリルネジ |  | 4 | | | |

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



JZZ631764G
201609A_1049
202007G_1049